

ニュース



The Japan Association of Certified Care Workers

Vol.111  
8月15日号  
平成24年(2012年)

# 社団法人 日本介護福祉士会

URL : <http://www.jaccw.or.jp/>E-mail : [webmaster@jaccw.or.jp](mailto:webmaster@jaccw.or.jp)

## 平成24年度第1回都道府県介護福祉士会会長会を開催

本年度第1回目の都道府県介護福祉士会会長会が、神奈川県ウィリング横浜で開催された。



7月20日～21日にかけて行われた平成24年度第1回都道府県介護福祉士会会長会の冒頭で、石橋真二会長が挨拶し、今年で「社会福祉士及び介護福祉士法」が制定されてから25年が経ち、4月には介護福祉士登録者数が100万人を超え、介護福祉士資格

取得方法の整理やたんの吸引等で医行為が一部認められる等、介護福祉士に係る環境や制度が変化している状況を話された。このような状況の中、介護福祉士の質の向上が大きな課題であり、日本介護福祉士会が職能団体として介護福祉士の質の向上に向けた取り組みや、介護福祉士の役割について啓蒙活動を行っていく必要があると述べた。また、現在日本介護福祉士会を中心に行われている認定介護福祉士(仮称)制度構築のための事業について、検討状況が説明された。最後に、日本介護福祉士会は職能団体としてより一層の組織力の強化を図る必要があると述べ、会長会での活発な議論を求めた。

続いて、佐々木裕介氏(厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室長)が「介護人材確保対策の動向について」と題して講演を行った。(詳細は2ページ)

全体会では、平成24年度事業計画について説明がなされたほか、第10回日本介護学会及び第19回全国大会の告知が行われた。また事務局より、組織率向上のため

の取り組みの実施について説明がされたほか、公益社団法人移行申請に係る手続きの現状について報告がなされた。また、日本介護福祉士会生涯研修体系と認定介護福祉士(仮称)の関係性について議論がなされた。

グループ討議では、組織強化の方法について討議された。この中で、さらなる入会促進策の必要性、一定条件のもとでの入会金の免除、研修実施の際の会員優遇、養成校教員を通じた卒業生の加入、各都道府県介護福祉士会役員の実業所廻りの実施、各都道府県介護福祉士会の理事会の在り方の検討、各都道府県介護福祉士会の事務局体制の強化、日本介護福祉士会事務局との連携等が提案された。

最後に、木村副会長から、グループ討議で組織強化の取り組みを議論する中で新たな課題や視点が明らかになり、事務局で整理をしていきたいと述べた。また、今後とも日本介護福祉士会と各都道府県介護福祉士会が協力し意見交換を行う中で、日本介護福祉士会をより良い方向へ導いていきたいと述べた。



### ● 役員動き ● (6月1日～7月31日)

- 6月 2日 第2回セカンドステップ研修作業部会(内田、木村副会長)
- 6月 8日～10日 (仮称) 認定専門介護福祉士(認知症)養成研修(1回目/10回)(内田副会長)
- 6月14日 第2回常任理事会・第1回各種合同委員会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)
- 6月15日 第8回介護プロフェッショナルワーキング・グループ(田中名誉会長)
- 6月22日 第1回障害者支援のためのモデル研修プログラム検討委員会(三浦副会長)
- 6月22日 第91回社会保障審議会介護給付費分科会(田中名誉会長)
- 6月26日 社会福祉振興・試験センター評議員会(石橋会長)
- 6月27日 国際医療技術交流財団評議員会(石橋会長)

- 6月29日 第1回学会委員会(内田副会長)
- 7月 3日 第1回サービス提供責任者研修テキスト作成作業部会(内田副会長)
- 7月 6日 第3回常任理事会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)
- 7月 7日～8日 (仮称) 認定専門介護福祉士(認知症)養成研修(2回目/10回)(内田副会長)
- 7月14日 東海・北陸ブロック研修会(石橋会長)
- 7月20日～21日 平成24年度第1回都道府県介護福祉士会会長会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)
- 7月21日 第3回セカンドステップ研修作業部会(内田、木村副会長)
- 7月27日 第2回障害者支援のためのモデル研修プログラム検討委員会(三浦副会長)

## 会長会 講演

### 介護人材確保対策の動向について

平成24年度第1回都道府県介護福祉士会会長会に厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長佐々木裕介氏をお招きし、講演が行われた。



#### 介護職を取り巻く状況

最初に介護職を取り巻く状況について、現在、政府・国会で「社会保障・税一体改革」が進むなか、社会保障の今後の在り方は日本の将来像を考える際に重要なポイントであり、「医療・福祉分野」の雇用者数は最近の10年で約1.5倍となり、雇用の増加に合わせてサービス量も増加するなど、今後の経済の活性化や雇用の創出を考える際に「医療・福祉分野」は非常に大きな役割を果たすものになる、と述べられた。

また、現在の介護職員の求人状況について、有効求人倍率は一時期より下がったものの、他産業よりは依然として高い数字であり、入職者も多いが常勤職員の離職率が高く、定着のために資質向上とキャリアパスの明確化が重要である、と述べられた。

#### 介護職制度の変更

次に介護職のキャリアパスについて、現在の介護職のキャリアパスは介護福祉士になる前に「ホームヘルパー2級研修」「ホームヘルパー1級研修」「介護職員基礎研修」といった様々なルートがあり、研修の実施状況も様々であることから、キャリアパス体系が非常に複雑になっているため、今後介護福祉士となるまでのキャリアパスを整理し、入職段階の研修として「初任

者研修」を設けるほか、介護福祉士となるための「実務者研修」の整備などを行う、と述べられた。

また、「介護職員等によるたんの吸引等」も制度化され、各地で研修会が実施されているほか、介護福祉士養成校のカリキュラムにも追加される等、介護と医療の近接領域として今後重要な要素となる、と述べられた。

#### 認定介護福祉士（仮称）の構築

また、認定介護福祉士（仮称）について、介護福祉士取得後のキャリアパスとして「認定介護福祉士（仮称）」の構築が日本介護福祉士会を中心に実施されているところであり、認定介護福祉士（仮称）のイメージは介護現場のリーダーであり、要支援・要介護度の改善ができる、他職種・事業主・利用者からの評価を高められる人材とし、特に医療職やリハビリテーション職などの他職種から高い評価を得られるものとした、と述べられた。

また、今年度の「認定介護福祉士（仮称）」の構築事業ではモデル研修の実施、制度運営の仕組みの検討等を実施する予定である、と述べられた。

#### 日本介護福祉士会に求める事

最後に日本介護福祉士会に求める事として、介護福祉士の待遇向上のためには、介護福祉士自身の資質の向上だけでなく、後進を指導できる事が重要であり、日本介護福祉士会として後進指導の重要性の周知を図ること、また、介護の仕事の魅力を特に若者に対して積極的にPRしていただきたいと思う、と述べられた。

## ソウエルクラブ(福利厚生センター) ご加入のおすすめ

#### ■職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康相談

#### ■職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

#### ■地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)

#### ■職員の万一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

#### ■職員の余暇活用のために

- 指定保養所・休暇村他 全国115カ所
- 会員制リゾート施設・ラフォーレ倶楽部他 全国239カ所
- 海外Jアフィリエイトツアー
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

#### ■職員の資質向上のために

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会

#### ■職員の生活サポートのために

- 住宅ローン・特別資金ローン
- ソウエル団体生命保険 損害保険

#### ■各種情報提供

- 会員情報誌
- ホームページ

#### ■加入できる職員

社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。

#### ■掛金

掛金は職員一人あたり毎年度1万円です。

加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル

TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
http://www.sowel.or.jp/

Sowel CLUB

社会福祉法人 福利厚生センター  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-3-11  
NBF小川町ビルディング10階

福祉で働く人の福利厚生を支援しています。

## 「障害者総合支援法」について

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」は平成24年4月に衆議院にて可決、6月に参議院にて可決・成立し、平成24年6月27日に公布されました。以下にその概要を掲載します。また、詳細は厚生労働省ホームページ（[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/shougaihashukushi/sougoushien/](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaihashukushi/sougoushien/)）から見るることができます。

### 1. 題名

「障害者自立支援法」を「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」とする。

### 2. 基本理念

法に基づく日常生活・社会生活の支援が、共生社会を実現するため、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生、社会的障壁の除去に資するよう、総合的かつ計画的に行われることを法律の基本理念として新たに掲げる。

### 3. 障害者の範囲（障害児の範囲も同様に対応。）

「制度の谷間」を埋めるべく、障害者の範囲に難病等を加える。

### 4. 障害支援区分の創設

「障害程度区分」について、障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示す「障害支援区分」に改める。

※障害支援区分の認定が知的障害者・精神障害者の特性に応じて行われるよう、区分の制定に当たっては適切な配慮等を行う。

### 5. 障害者に対する支援

①重度訪問介護の対象拡大（重度の肢体不自由者等

であって常時介護を要する障害者として厚生労働省令で定めるものとする）

②共同生活介護（ケアホーム）の共同生活援助（グループホーム）への一元化

③地域移行支援の対象拡大（地域における生活に移行するため重点的な支援を必要とする者であって厚生労働省令で定めるものを加える）

④地域生活支援事業の追加（障害者に対する理解を深めるための研修や啓発を行う事業、意思疎通支援を行う者を養成する事業等）

### 6. サービス基盤の計画的整備

①障害福祉サービス等の提供体制の確保に係る目標に関する事項及び地域生活支援事業の実施に関する事項についての障害福祉計画の策定

②基本指針・障害福祉計画に関する定期的な検証と見直しを法定化

③市町村は障害福祉計画を作成するに当たって、障害者等のニーズ把握等を行うことを努力義務化

④自立支援協議会の名称について、地域の実情に応じて定められるよう弾力化するとともに、当事者や家族の参画を明確化

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

介護専門職情報誌

# 介護福祉

☆発行回数 年4回／夏・秋・冬・春号  
 ☆購読料(年) 3,440円(4号分・送料含む)  
 ☆申込み先 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター  
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル  
 TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514  
 定期購読の申込方法 <http://www.sssc.or.jp/>  
 郵便振替口座 00120-5-138401

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

夏号（24年6月発行）

特集「認知症ケアの新たな流れ」

秋号（24年9月発行）

特集「問題解決能力を高めて介護職のキャリアアップを目指す」

# 介護現場におけるQ&A

## ～法律編～

日本介護福祉士会ニュースでは、会員の皆様の「介護現場でのお悩み・疑問」にお答えするため、「介護現場におけるQ&A～法律編～」コーナーを設置いたしました。当コーナーでは、東京晴和法律事務所の十時麻衣子弁護士にご協力いただき、会員の皆様の「介護現場でのお悩み・疑問」に対し、法律的にお答えしていきます。



私の勤める介護老人保健施設に入居していた認知症のAさんが、職員に気づかれることなく浴室に入り、浴槽内で亡くなってしまいました。

施設では十分に気をつけていたつもりですが、責任を負うことはありますか？



### (1) 回答

介護老人保健施設は、亡くなった方の家族に対して、介護契約の債務不履行責任（安全配慮義務違反）または不法行為に基づく損害賠償責任を負うことがあります。

### (2) 解説

#### ①債務不履行責任と不法行為責任

まず、債務不履行責任について説明します。

債務不履行責任とは、契約関係にある当事者間において、一方が契約に定めた義務を怠ったときに、その一方が相手方に対して負う責任をいいます。通常、施設と契約しているのはAさんご本人ですから、Aさんが施設の義務違反を追及できると考えることが原則です。しかし、Aさんは他界されたので、その息子さんら相続人がAさんの権利を相続して施設に対し、損害賠償を請求できるのです。これに対し、不法行為責任とは、契約関係のない当事者間において、一方の不注意（過失）またはわざと（故意）行った行為によって相手方が損害を受けた場合に、行為者に生じる責任です。たとえば、今回の事故が、Aさんを担当していた特定の介護福祉士の行為に不注意があったという場合には、介護福祉士個人とともに施設も介護福祉士の使用者として不法行為責任（使用者責任）を負うこともあります。

#### ②今回のケースについて

類似の裁判例<sup>1)</sup>では、施設側に施設管理義務違反があったとしてその責任をみとめました（使用者責任）。この裁判例では、本件の浴室は、認知症に陥っている者が勝手に利用すれば、溺死、転倒による骨折などの事故が発生する危険な場所に該当すると認定した上で、当該浴室に通じる扉を施錠していなかったのであるから、徘徊の傾向にある者が浴室内に進入することは予見可能であったと判断し、施設管理義務違反があったとしました。

認知症の入居者を預かる施設において、どの扉を施錠し、または浴室等の施設をどのように管理するか（浴槽への給水設備の管理方法等）については、介護事業者各々の信念、信条に基づくところもあり、頭を悩ませるところだとは思いますが、この裁判例も参考にしながら、様々な事態を想定して施設の管理に努めていただければと思います。

1) 岡山地裁平成22年10月25日判決。



高齢者福祉サービス契約締結にあたって、介護事業者には説明義務があると聞きました。説明義務とは具体的にどのような義務ですか？



#### (1) 回答

高齢者福祉サービス契約の締結における事業者の説明義務には、大きく分けて契約締結前の説明義務と契約締結後の説明義務とに分けることができます。

このうち、契約締結前の説明義務は、法律で定められた義務です（社会福祉法76条、77条）。これに対し、契約締結後の説明義務は、法律に定められた義務ではありません。しかし、契約の締結にともない付随的に発生する義務として認められるべきと考えられています。

#### (2) 解説

##### ① 契約締結前の説明義務

福祉サービスの提供にあたって、福祉サービスの専門家である介護事業者と、利用者の間には、大きな情報格差があります。

そこで、法律は、利用申し込みがあった場合には、具体的な契約内容の説明を行うことを事業者に義務付けています。これは、契約締結前の説明ですので、契約内容等についての情報を利用者に提供するという点に大きな意味があります。

##### ② 契約締結後の説明義務

これに対して、契約締結後の説明は、前述のとおり法律で定められた義務ではありません。皆様ご存じのとおり、福祉サービス契約にあつては、要介護状態の変化により、常に介護サービスの内容を見直さなければなりません。また、介護サービスの提供には、利用者との信頼関係の構築が必要不可欠です。以上のことから、介護事業者は、契約締結後も利用者に対し、説明義務を負っていると考えられています。介護サービスの提供にあたって介護事故は避けられませんが、日頃から説明義務を果たし、利用者の家族とのコミュニケーションをはかることによって、介護事故の防止につなげることができるのではないかと思いますし、介護事故が起きてしまった場合に大規模な紛争に至ることを防止できるのではないのでしょうか。

### 質問募集のご案内

「介護現場におけるQ&A～法律編～」では会員の皆様からの「介護現場でのお悩み・疑問」を募集しております。

当コーナーでは、ご応募いただいた「介護現場でのお悩み・疑問」の中より、十時弁護士にご回答いただきます。

投稿はこちらまで

日本介護福祉士会事務局

MAIL: webmaster@jaccw.or.jp

FAX: 03-3507-8810

### とときまいこ 十時麻衣子 弁護士

東京晴和法律事務所

千葉県出身

第二東京弁護士会所属

高齢者・障がい者財産管理セン

ター運営委員会所属

倒産法研究会所属

MAIL: totoki@t-seiwa.com

URL: http://www.t-seiwa.com/



連載

9

## 介護の現場で輝いています！

## ゆとりを持つことの大切さ

社会福祉法人和幸園 特別養護老人ホーム 兼平 沙織

現在私は特別養護老人ホーム和幸園に勤務しています。たくさんの利用者の方々と触れ合い笑顔を見ることができると、この仕事の楽しさを改めて実感し、また頑張ろうという気持ちになります。その一方で、排泄介助や食事、入浴介助等の業務に追われることもあり、利用者さん一人ひとりと向き合いながらゆつくりとコミュニケーションを図ることが出来れば…と思うのですが、どうしても業務を優先する場面も出てきてしまいます。

ナースコールが重なった時、一度利用者さんに「30数える間に戻るので待って下さいね」と言ったことがありました。他の利用者さんの対応をし戻った後、「30を乗り越えて70も数えたよ」と言われました。待たせる方は30秒位だと思っている時間も、実際には倍以上の時間だということにとっても衝撃を受けました。利用者さんに「少し待って下さいね」と何気なく言ってしまった時、「わかったよ」と言ってくれる利用者さんもありますが、改めてその利用者さんの立場になって考えると「早く来て欲しい」「いつまで待てばいいんだろう」と思っている方もいるでしょう。業務の流れで利用者さんの生活を考えるのではなく、利用者さん一人ひとりの生活の流れを中心に考えなくてはいけないと実感しました。

職員側に急いだり焦る気持ちが出てくると、快適な生活環境であったり穏やかに過ごせる雰囲気ではなくなってしまいます。利用者さんに少しでも楽しい生活、活気のある生活を送って頂けるよう、私たち職員が気持ちにゆとりを持ち、穏やかに接していくことが何よりも大切だと思いました。

利用者さんと会話をする中で「あなたを頼りにしてるよ」と言われることもあります。利用者さんの言葉が自分の行動や言動を見つめ直す機会となり、また利用者さんから学ぶこともたくさんあります。このことを忘れずに利用者さんとこれからも関わり合いたいと思います。



## 代議員選挙と会費納入について（重要）

社団法人日本介護福祉士会では、平成24年度通常総会の決議に基づき、平成25年4月1日の登記を目指して公益社団法人への移行申請を行います。公益認定を受ける前に、公益社団法人としての最初の代議員予定者を選出するため、「代議員選出規則」に則り、代議員選挙を下記のスケジュールのとおり実施いたしますので、ご確認下さいますようお願い申し上げます。

また、会員専用サイトを新しく立ち上げ、会員の皆様には事前にID、パスワードをお知らせいたします。それにより電子投票（Web上での投票）が可能となりましたので、代議員選挙は電子投票を導入することといたします。当面の措置として郵送による投票も併せて実施いたします。

今後の最新情報は随時本会ホームページでのご案内を予定いたしておりますのでご確認下さいますようお願い申し上げます。

なお、代議員選挙実施にあたり、選挙権・被選挙権については、平成24年9月末までにすべての会費を納入している正会員が有することになります。

つきましては、社団法人日本介護福祉士会としての初めての代議員選挙が円滑に実施されますよう、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 代議員選挙スケジュール（予定）

2012年 9月30日	会費納入締切 選挙権・被選挙権（すべての会費を2012年9月30日までに納入している正会員が対象となります。）
2012年10月15日	代議員選挙公示（ニュースNo.112号及びホームページ上に掲載） 都道府県支部を通して選挙人名簿を送付
2012年10月下旬～11月上旬	会員の皆様へID、パスワードのご案内を送付
2012年11月1日～11月22日	代議員立候補受付期間
2012年12月15日	立候補者の公示（ニュースNo.113号及びホームページ上に掲載）
2013年1月7日～1月25日	投票
2013年1月下旬	開票・集計
2013年2月15日	選挙結果の公表（ニュースNo.114号及びホームページ上に掲載）
2013年5月下旬	平成25年度通常総会

# ふれあいケア

2012年  
9月号  
8月20日発行

●定価1,020円（本体971円） ●毎月20日発行 ●B5判・80頁  
●送料300円（10冊以上・定期購読の場合は送料サービス）

介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアに関わる施設福祉や在宅福祉の最新情報や、先駆的な実践事例も紹介。

### 特集 利用者主体の排泄ケア

介護のなかで大きな比重を占める排泄ケアは、利用者の尊厳の確保などに介護のプロの手腕が問われます。排泄の仕組みなどの基本を踏まえつつ、QOLの低下や寝たきりを引き起こさない適切な排泄ケアのあり方について考えます。また、自然な排泄への個別ケアの取り組みなどを紹介します。

### 解説 実践レポート ほか

#### 好評連載企画

- 老い考 ●介護現場のリスクマネジメント ●パワーUP! 訪問介護 ●ワンポイント介護技術
- Close Up福祉用具 ●実践! 脳活性化リハビリテーション ●認知症ケア相談室 ●介護の味方・看護の見方
- 職場のあなたの物語 ●災害リスクマネジメント ほか

### 定期購読申込み受付中!

【FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい】  
お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号、冊数」を忘れずにご記入下さい。  
バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい（品切れの際はご容赦下さい）。

●お申し込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ●

#### ■ 全社協出版部受注センター ■

受注専用 TEL: 049-257-1080 FAX: 049-257-3111  
E-mail: zenshakyo-s@shakyo.or.jp

全社協

社会福祉 全国社会福祉協議会 出版部  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ

福祉の本出版目録

検索

▶▶ <http://www.fukushinohon.gr.jp>

支部  
リレー

都道府県介護福祉士会 情報交流の泉⑧ ◆北海道

## なまらとうきびが旨い季節だべさ。大通り公園で1本！

## 道会について

北海道介護福祉士会は、お陰様で今年の5月に一般社団化致しました。

会長が居住する北見から副会長が居住する札幌までおよそ310km。車で4時間半程。東京から東名で名古屋まで行ける距離らしい…そんな中で、会議を年に数回開催しています。活動として、ここ数年は他県も同様かと思いますが、実習指導者研修を複数回開催する状況であり、会員以外の方にも「介護福祉士会」の名称に触れてもらう機会が増えています。ただし、会員数については微増といった所で、う～ん…力を入れていきたいところではあります。

広い北海道、10地区に分けて活動をしています。(地区といっても道北支部は、稚内から富良野まであり、距離は300km) 基本的には、その地域の活動が会員数を増やすのに一番の近道だと思います。身近な介護福祉士会、しかし、世の中の動きはしっかりと見える。そんな会にと思います。



## 道の見どころ

北海道といえば、なんといってもその広大な大地が連想されます。ちなみに総面積83,457km<sup>2</sup>で、島としては世界でも21番目の大きさだそうです。そんな北海道ですが、日本の中では食糧基地としての側面があり、食料自給率は北海道に限ると198%と断トツ (2010年) なんです。海の幸や山の幸が盛りだくさんで、北海道に旅行に来る方は食の面でもかなり楽しみにされておられる方も多いですね。旅行と言え、いまや世界遺産に認定された知床を始めとする豊かな自然があります。



国立公園・国定公園は11箇所あり、1つの県でこれだけあるのは北海道ならではののではないかと思います。実は北海道の土地の半分はなんと森林です。札幌市辺りに住んでいるとそんな気はしないかも知れませんがなんと宅地部分は1.6%しかありません。(ちなみに札幌市は人口190万を超える全国で4番目に人口の多い市です) 畑、原野、田は21.1%ですから、どこまでも続く真っすぐな道、萌えるような樹海の中を縫うように進むワインディングロード、その先に広がる大海原といったシチュエーションが実現できるのです。

昔から夏の北海道は、ツーリングライダーの聖地でもあります。

では冬はどうでしょう？冬は意外かもしれませんが東北北陸地方と比べると、北海道の方が降雪量は少ないです。ただ気温は-20度位までなるところもあり、過去には-40度になったところもあります。そんな極寒でも、



例えばかまくらで一晩過ごすとか、外でジンギスカン食べたりといったイベントがあるところもあり、極寒を楽しむ方法も知っています。流水が見られるのも北海道だけですし、四季を通じて見どころ満載な北海道です。細かく書いたら1冊丸ごと使うことになるので、もし何か北海道の事知りたければお尋ねください。ただし北海道でも函館の人に知床の事を聞いても、網走の人に稚内の事を聞いても多分わからない可能性が高いです。ご注意ください。なにせ広くて…。



それじゃ、したっけ。

次回は、兵庫県にバトンタッチ。

## 第19回全国大会開催県

# やまなし

## シリーズ 3



暑さが厳しい2012年夏。残暑にも負けずバリバリと仕事をしていますか？この夏が過ぎてしまえば“あつ”という間に12月です…。

夏バテしている場合ではありませんね！高校野球やオリンピック、あのパワーとエネルギーを我々も！（気持ちだけは上向きで：笑）

山に囲まれた盆地の暑さにもめげず、支部実行委員会は、全国大会に向けて会場での打ち合わせを行いました。もろもろ下見を兼ねての話し合いにも熱が入り、時間オーバーになろうかという会議も7回を数え、詰めていく内容が増えてきました。

会議では、懇親会のメニューと大会のお弁当の試食会も実施！季節が変わるので内容に若干の変更はあるものの、満足の“食”であることが確認でき、会場ホテルにお任せすることとなりました。

参加予定の皆様、是非とも懇親会へもご参加ください！

“おもてなし”第一で、お迎えする準備を整えて待っています。

残すところ数か月…。まだまだ越えなければならない課題は山積みですが、会議を重ねるごとに各担当責任者への要望や役割の連携等、一歩ずつ確実に本番へ向けて進んでいます。



甲府富士屋ホテル  
〒400-0073 山梨県甲府市湯村3-2-30  
TEL 055-253-8111 <http://www.fujiyahotel.co.jp>

## 土橋久忠氏（特別講演講師）



今回、山梨県で唯一お願いした講師は山梨学院大学の土橋久忠氏です。

講演依頼のため大学へ伺った際には、出された昆布茶の話で盛り上がり、大学オリジナルグッズのお土産までいただいた楽しい初対面となりました。

大会要綱だけでは講演内容の充実さをお伝えできないか？と思い、内容のさわり部分をいただきましたので掲載させていただきます。

自己理解と他者理解、理解の基本は、傾聴スキル。「聞く」と「聴く」とは、大きく違う。自己変革で相手が変わる。「過去」と「他人」は変えるのは難しい。変えるのは「自分」と「明日」である。ジョハリの窓から見える、自己の可能性、その可能性を開く鍵はなにか？カウンセリング、コーチング、ティーチング、メンタリング、相手の状態によって、どのスキルを使えばいいのか？うまく使うと、人は、勝手に変化し、成長していく。「できないことをできるようにするには？」どうすれば、できるようになるのか。PDSを基本に、でも人生は計画通りにはいかない。だから、「ブランド・ハプンスタンス（計画された偶然）」が大事。転機にチャンスを逃さないこと。

リーダーの条件は？今からのリーダーは「サーバント・リーダーシップ」が必要。組織活性化は、リーダーの変身から…。

## フランスの「在宅入院」から学んだもの

公益社団法人 福岡県介護福祉士会 副会長 賀戸 麻里子

フランスには「在宅入院 (Hospitalisation a Domicile<以下HADと略す)」制度という言葉があり、実施されているということで、大きな関心と興味をもって参加した。「在宅医療」と「訪問看護」を24時間病院に入院しているのと同じ治療や看護ケアが自宅で受けられるというものである。日本では、病院で亡くなる方が多いことと、病院ケアや施設ケア重視から、今以上に在宅ケアに向けての政策として地域包括ケアを展開することになったことから是非見たい、聞きたいという私の好奇心に火がついた。

フランスにはHAD機関が270カ所あり、私たちは、パリにある機関を訪問した。その機関には、医療スタッフ (医師17名を含む) と福祉スタッフ635人がいる。患者の定員は800名であるが、現在は750人の患者に日々対応している。就任してまだ半年の所長は、HAD制度がまだ十分に知られていないということで、戦略的に発展させるのが自分の仕事で、戦略的広報活動をする、と意欲的だった。

HAD制度は、赤ちゃんから高齢者までを対象にして、次のように大きく3つの取り組みをしている。(1) 期間を限った医療：安定期にない疾病について、抗がん剤による化学療法や抗生物質療法のような技術的かつ複合的な治療を予め期間を限って行う医療である。(2) 在宅リハビリテーション医療：産後や急性期を脱した場合に行う医療である。ケア提供期間が予め計画できる。(3) 終末期医療 (緩和ケア)：人生の末期に関するものであり、生を全うできるように付き添い、世話 (ケア) をする。癌、心疾患、肺結核などで安定期にない疾病について継続的な治療を行う医療である。

HAD制度は、入院先の医師の勧めで、本人または家族の同意を得て行われる。治療計画に基づいて医師が1週間に1回訪問し、看護師や看護助手が毎日午前2回、午後2回訪問する。病状が悪化した時には、夜間でも連絡体制があるので、すぐに訪問する。救急病院へ移送する場合もある。期間を区切った医療では、患者の状態に応じて何度でも治療計画を反復するが、それが無理だった場合は、病院へ再入院する。

HAD制度は医療ニーズだけでなく、看護師とソーシャルワーカーが心理・社会面を含む包括的なアセスメントを行い、ニーズを出し、ケアプランを作成して患者に交付する。ケアプランに基づいて各専門職が個別プラン (リハビリ計画や訪問看護計画など) を作成する。HAD制度は医療サービスに特化しているが、ホームヘルプサービスなど介護サービスが必要な場合に

は、市の福祉センターや公益団体が提供するホームヘルプサービスなどを導入する。

HAD制度の目的は、平均在院日数を短縮しつつ、在宅生活への円滑な移行を支援することにある。そして、社会保障費 (医療) を抑えることにある。例えば、650人の病院入院と同数の患者のHADの経費を比較すると、人件費は変わらないが、全体としては3分の1の費用で済む。病院滞在日数、ベッド数を減らすことによって安く上がるとともに、患者にとっては精神的な面での安心と病院としての医療面の安心が得られる。子どもは親の側にいることが好ましいし、高齢者の場合も老人病院での生活は、生きる意欲をなくし食欲がなくなり、生活の質も低下する。看とりにおいては、がん患者も高齢者も人生の最後を家族 (一般的には別居) や友人とともに過ごすことができる。メリットは大きいですが、次のようなデメリットもある。病院と違って患者に起こっていることが常時把握できているとは限らず、看護の質の評価は難しい面がある。

以上、フランスの医療費削減を目的にしたHAD制度の一部について述べてきた。HAD制度は新しい制度であると思い込んでいたが、“目に見えない病院”として1955年から存在していることを知って驚いたのは、私だけであろうか。この制度はすでに50年の歴史があるが、まだまだ啓発しなければならないのが現状である。これはフランスが緩やかに高齢社会になったことと関係があると思われるが、HAD制度が発展するためには、コメディカルの相互の理解と連携、特に医師の意識改革と協力が必要であると思う。これから日本で地域包括ケアを本格的に展開すべき時期を目前にして、学ぶべきことは多いと思った。



# 福祉用具を活用しよう

公益財団法人テクノエイド協会

このコーナーでは、本人が実現したいケアプランの生活目標を前提に考え、それに対する福祉用具や生活環境などを生活場面ごとに紹介します。

## Part 1 起居 –起きることは生活の始まり–

「寝心地の良いマットレスで安眠したい」というニーズを解決するには、本人の希望に沿ったマットレスを選定することが基本ですが、これまでの生活習慣、ベッド上での身体の動かしやすさ、床ずれのリスク、部屋の大きさなどを考慮しながら、多くの種類の中から選定します。

介護ベッド用のマットレスは本来寝心地を追求したものではありません。

背上げ、膝上げ機能に併せて柔軟性が必要になり、高さを低くするために薄くするなどの特徴を持っています。また、多くがレンタル用として普及しているため、消毒方法などに対応した耐久性を重視しています。

本人の希望に沿ったマットレスを試した後で選定することで安眠を目指しましょう。

### ■マットレス

#### ①ウレタン系マットレス

ウレタン系マットレスには低密度発泡のウレタンを中心とした一般的なウレタンと、高密度発泡・低反発ウレタンを主体としたオーバーレイ（上敷きするもの）があります。

前者は弾性に富み、圧の分散性も比較的よく寝心地も比較的良いという特徴があります。欠点は吸水性が良く、失禁した尿などの臭いが取れにくいということがあります。

一方、低反発ウレタンは粘性に富み、圧の分散性に優れていますが弾性が不足し、このマットレスだけではすぐに底づきをしてしまいます。そのため、低密度発泡の弾性を主体としたウレタンと組み合わせてオーバーレイとして使用されます。また、この素材は身体に密着しますので蒸れやすいという欠点もあります。

#### ②繊維系マットレス

消毒に対して変形、変質することのない材質で作られているため、薄くできる利点があります。構成を工夫することによって、ベッドの背上げなどの曲がりに対する追従もよくできます。弾性が不足するのが欠点で、一般的にこのタイプのマットレスは硬

めです。

#### ③スプリングマットレス

一般のベッドにも使用されている素材ですから、寝心地は最も良いといえます。適度な柔らかさがあり、それでいて沈み込みが少ないという利点があります。しかし、ベッドの背上げなどの曲がりに対しては追従しにくいいため、マットレスが浮き上がった状態になりやすく、機種によってはベッドの動く部分に合わせて分割されています。

マットレスの上に布団を敷くと、マットレス本来の性能が損なわれます。耐圧分散性能や身体の動きやすさに合わせた硬さなどが損なわれるばかりでなく、布団とマットレスの間でずれが生じ、ベッドの背を上げたときに身体が不適切な位置にずれてしまいます。極端な場合には背を上げたときに布団ごとマットレスの上を滑り、ベッドから落下したという事例も報告されていますので注意してください。

### ■ポジショニングクッション

主に拘縮予防で利用されるポジショニングクッションですが、自然に身体を支え接触面積を増やすことで、筋肉の緊張がほぐれリラックスできる場合もあります。



ポジショニングクッション

次回からは、「Part 2 床ずれ –仕組みを知って防ごう–」のシリーズになります。

## 第19回 全国大会開催要綱

1. 日時 平成24年12月7日 (金) ~12月8日 (土)
2. 場所 「甲府富士屋ホテル」 (山梨県甲府市)
3. テーマ 「原点回帰」 ~私たちがめざしてきたもの  
そして 何をめざすのか~
4. 参加定員 600名
5. 参加対象者 社団法人日本介護福祉士会会員 その他一般
6. 会費 会員/3,000円 一般/10,000円 学生/1,000円
7. プログラム  
(12月7日) 基調講演 厚生労働省 (予定)  
記念講演 太田 貞司氏 (聖隷クリストファー大学社会福祉学部教授)  
懇親会  
(12月8日) 分科会 (座長は予定)  
第1分科会 「介護福祉士って何だろう」  
専門職として “在宅” の現場から見てきたもの  
座長: 服部 万里子氏 (服部メディカル研究所所長)  
第2分科会 「介護福祉士って何だろう」  
専門職として “施設” の現場から見てきたもの  
座長: 村岡 裕氏 (社会福祉法人依田窪福祉会常務理事)  
第3分科会 「医療的ケアと介護福祉士」  
座長: 田中 涼子氏  
(高齢者福祉総合施設ももやま施設長)  
特別講演 土橋 久忠氏  
(山梨学院大学 就職・キャリアセンター次長)  
「人を育てることは自らを育てること、  
自己改革で明日を拓く」
8. 問い合わせ 社団法人日本介護福祉士会事務局

## 都道府県介護福祉士会研修情報

### 東京都介護福祉士会

#### 平成24年度コミュニケーション研修

- 日程 11月10日 (土) 10:00~16:00 受付 9:30~
- 場所 北とびあ 7階 第1研修室
- テーマ 「コミュニケーションを仕事に活かす (仮題)」
- 講師 東京メンタルヘルス 村上章子氏
- 締切 11月2日 (金) 又は定員 (80名) になり次第
- 受講料 会員 4,000円 非会員 6,500円  
※キャンセル等による受講料の返金はいたしません。
- 問い合わせ NPO法人 東京都介護福祉士会 (担当: 阿久津)  
TEL.03-5624-2821 FAX.03-5624-9650

### 長崎県介護福祉士会

#### 設立20周年記念式典・祝賀会開催要綱

- 日程 10月5日 (金) 14:30~19:30 受付 14:00~  
・基調講演 (長崎県)  
・記念講演 講師 高光りようすけ氏  
演題 「あなたを輝かせる源は感動力にある」  
・祝賀会
- 場所 ホテルニュー長崎 鳳凰閣西の間
- 定員 200名 ● 締切 9月25日 (火)
- 会費 会員/無料 一般/1,000円
- 祝賀会 会員/5,000円・一般/8,000円
- 問い合わせ 一般社団法人長崎県介護福祉士会  
TEL.095-842-1237 FAX.095-842-1310

## 皆様からの投稿をお待ちしています

- 「介護の現場で輝いています！」  
「介護現場でのお悩み・疑問」  
「私のストレス解消法」「手作り介護用品」

## 北海道・東北ブロック研修会

### ~見直そう介護の魅力 取り戻そう福祉の力~ 世界遺産登録平泉の地 岩手から発信

1. 日時 平成24年10月7日 (日) 13:00~17:30  
(懇親会 18:30~) 8日 (月) 9:30~12:15
2. 場所 研修会: いわて県民情報交流センター アイーナ  
懇親会: ホテルメトロポリタン盛岡NEWWING
3. 定員 300名
4. 参加費 会員/3,000円 非会員/8,000円 学生/1,000円
5. プログラム  
(10月7日)  
【基調講演】 「地域包括ケアシステムと介護福祉士への期待」  
(仮題) 厚生労働省  
【平泉世界遺産登録 特別講演】 「奥州藤原氏と女性たち」  
社団法人岩手県文化財愛護協会 顧問 金野静一氏  
【講演】 「介護福祉士の現状と今後の課題」  
一般社団法人岩手県介護福祉士会 会長 吉田 均  
懇親会  
(10月8日) 【記念講演】 「介護のすずむ道」 ~これからの想う~  
【分科会】 第1分科会 「災害支援と介護福祉士」  
福島県・宮城県・岩手県から  
(座長 一般社団法人岩手県介護福祉士会)  
第2分科会 「地域包括ケアシステムと介護福祉士」  
地域連携・医療連携  
(座長 一般社団法人岩手県介護福祉士会)
6. 申込締切 9月28日 (金)
7. 問い合わせ 一般社団法人岩手県介護福祉士会 事務局  
TEL.019-637-4527 FAX.019-637-9612

## 九州ブロック研修会

1. 日時 平成24年11月16日 (金) ~17日 (土)
2. 場所 杉乃井ホテル (大分県別府市)
3. テーマ 「介護の絆」 ~インクルーシブな社会を求めて~
4. 参加費 会員/3,000円 非会員/6,000円 学生/1,000円
5. プログラム  
(11月16日) 【基調講演】 演題 「未定」 厚生労働省 (予定)  
【記念講演 第一部】 演題 「未定」  
パラリンピック陸上 日本記録保持者 仲西麻耶氏  
【記念講演 第二部】 演題 「未定」  
自立生活センター・メインストリーム協会 副代表 玉木幸則氏  
交流会  
(11月17日) 分科会
6. 参加定員 500名 7. 申込締切 10月1日 (月)
8. 問い合わせ 一般社団法人大分県介護福祉士会  
TEL.097-551-6555 FAX.097-547-9936

## 第10回日本介護学会まもなく開催!

9月28日 (金) ~29日 (土)

ピアザ淡海 (滋賀県立県民交流センター) にて

記念講演 : 笹田昌孝氏 (滋賀県立成人病センター総長)  
「変遷する医療とケアの将来」

シンポジウム : 「介護と医療の連携~介護福祉士の役割~」

分科会 : 「介護と医療の連携」「災害と介護福祉士」  
「介護人材の教育、育成」  
「ケアの質の向上に関する実践」

その他盛りだくさんのプログラムで皆様をお待ちしています!

発行所/社団法人 日本介護福祉士会

事務局 (〒105-0001) 東京都港区虎ノ門1-22-13 西勤虎ノ門ビル3F

電話 (03) 3507-0784 FAX (03) 3507-8810 <http://www.jaccw.or.jp> 発行責任者・石橋真二



(問合せ) (会員情報変更)

ニュース



The Japan Association of Certified Care Workers

**Vol.112**  
**10月15日号**  
 平成24年(2012年)

# 社団法人 日本介護福祉士会

URL : <http://www.jaccw.or.jp/>E-mail : [webmaster@jaccw.or.jp](mailto:webmaster@jaccw.or.jp)

## 第10回日本介護学会 開催

### 介護と医療の連携～介護福祉士の役割～

平成24年9月28日から29日にかけて、ピアザ淡海滋賀県立県民交流センター(滋賀県大津市)において第10回日本介護学会が開催され、全国から400人を超える参加者が集まりました。



石橋 真二 会長

日本介護学会は、村田美穂子(滋賀県介護福祉士会会長)と石橋真二(日本介護福祉士会会長・日本介護学会会長)の挨拶で始まった。その中で、石橋会長は現在介護福祉士の資質の向上が求められており、昨年に引き続き介護福祉士のキャリアアップ制度として、認定介護福祉士(仮称)の構築のための事業を実施していること、また、日本介護学会が介護福祉士の専門性を高める機会の一つであり、介護福祉士が研究を積極的に行うことが重要であると述べた。

引き続き笹田昌孝氏(滋賀県立成人病センター総長・病院長)による記念講演「変遷する医療とケアの将来」が行われた。(詳細は2ページ参照)

続いて、記念講演をしていただいた笹田昌孝氏と三ツ浪健一氏(国立大学法人滋賀医科大学医学部医学科家庭医療学講座教授)をコーディネーターに迎え、シンポジウムが開催された。(詳細は3ページ参照)

大会二日目は、嘉田由紀子氏(滋賀県知事)の来賓特別挨拶で始まった。

その後、4部会に分かれ分科会が行われた。今年は計35本の研究が発表された。

第1分科会は太田秀樹氏(一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会事務局長)を助言者に迎え「介護と医療の連携」をテーマに、第2分科会は川井太加子

氏(桃山学院大学社会学部社会福祉学科准教授)を助言者に迎え「災害と介護福祉士」をテーマに、第3分科会は丸山晃氏(東洋大学非常勤講師)を助言者に迎え「介護人材の教育、育成」をテーマに、第4分科会は宮島渡氏(社会福祉法人恵仁福祉協会高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ総合施設長)および坂本洋一氏(和洋女子大学生活科学系社会福祉学研究室教授)を助言者に迎え「ケアの質の向上に関する実践」をテーマに行われ、それぞれ各研究発表者による発表および助言者からの助言、参加者から質疑応答が行われた。

最後に内田千恵子(日本介護福祉士会副会長・学会委員長)から閉会の挨拶が行われ、他職種連携のためには、専門知識を学ぶと共に介護福祉士の専門性を言語化する必要があり、その手段の一つとして介護を研究する事が有効であり、来年の日本介護学会に向けてさらに研究に取り組んでいただくよう依頼した。また、次回開催地山形県介護福祉士会会長の齋藤幸子による挨拶で終了した。

また、今回初めて学会開催中に各種セミナーが実施された。セミナーは「プレセミナー」、「カフェセミナー」、「ランチョンセミナー」の3回実施され、学会参加者の学びの場、また意見交換の場となった。(詳細は2ページ参照)



村田 美穂子(滋賀県介護福祉士会会長)

#### ●役員の動き●(8月1日～9月30日)

- 8月 2日 第9回介護プロフェッショナルワーキング・グループ(田中名誉会長)
- 8月 3日 リーダー研修(講師養成特別講座)東会場(内田副会長)
- 8月 4日～5日 第6回日本介護支援専門員協会全国大会in青森(内田副会長(シンポジスト))
- 8月 6日 第1回災害福祉広域支援ネットワークの構築に関する検討会(福祉医療機構)(三浦副会長)
- 8月10日～12日(仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修(3回目/10回)(内田副会長)
- 8月17日 認定介護福祉士(仮称)の在り方に関する検討会(石橋会長)
- 8月25日～26日 介護技術講習主任指導者養成講習会(内田副会長(26日講師))
- 9月 7日 第92回社会保障審議会介護給付費分科会(田中名誉会長)
- 9月 7日～8日 中国・四国ブロック研修会(石橋会長)
- 9月 7日～8日 関東・甲信越ブロック研修会(内田副会長)

- 9月 9日 一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会設立記念式典(石橋会長)
- 9月10日 大学生向け就職情報WEBサイト「マイナビ」のインタビュー(石橋会長)
- 9月15日～17日(仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修(4回目/10回)(内田副会長)
- 9月18日 施設サービスにおけるケアマネジメントと介護支援専門員が担う役割に関する調査研究事業第1回検討委員会(日本介護支援専門員協会)(木村副会長)
- 9月27日 第4回常任理事会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)
- 9月28日 第1回社会保障制度委員会(全国老人保健施設協会)(木村副会長)
- 9月28日～29日 第10回日本介護学会in滋賀県(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)
- 9月29日 第1回「サービス提供責任者テキスト」作成に係る打合せ会議(内田副会長)

## 記念講演

### 変遷する医療とケアの将来



滋賀県立成人病センター総長・病院長  
笹田 昌孝氏

笹田昌孝氏は京都大学医学部を卒業後、京都大学大学院（医学研究科内科学専攻）を修了され、米国コロラド大学留学を経て、京都大学医療技術短期大学部教授・京都大学医学部人間健康科学科教授など要職を歴任され、現在滋賀県立成人病センターの総長・病院長を務められている。

これからの医療が目指すことは、「望ましい健康を創る」ことと「(患者が) 納得のいく人生をすごす」ことであり、これまでの医療が重視してきた「体の健康」の維持よりも、「こころの健康」を維持することが重要となる、と述べられた。

その上で、我が国は今後より高齢化が進み、高齢者に多いがんや肺炎などの病気が増加し、医療現場で扱う疾病の状況が変化するため、介護福祉士は介護の専門職として、高齢者の特徴や高齢者に多い感染症などの知識を増やし、利用者が自立した健康生活を送るという視点で、対象者の自己実現を助けるためのケアを実施することが求められる、と述べら

れた。また、障がいを持つ人の潜在能力を開発することにより、その人が到達しうる最高のQOLを実現し、新たに自分らしい生活を構築するというリハビリテーションの考え方の理解や、病気にならない様に健康を維持するという予防の考え方の実践が求められる、と述べられた。

また、将来の社会の在り方として、老人世代を現役世代が支えるという考え方で今後社会を維持することは難しく、今後は老人世代・現役世代・子供世代の3世代がそれぞれ役割を持ち、支えあう社会を作ることが望まれており、こうした社会で老人世代が健康で自立した生活を送ることは、こころの健康維持・体の健康維持にも有効であり、経済的にも有意義である、と述べられた。

最後に、国も「便のいい」街づくりから「生活しやすい」街づくりへと重心を動かしてきており、内閣官房で実施された「環境未来都市」構想に応募・企画している、健康生活未来都市『三世代が自立・共生し、健康生活をおくる未来都市創造事業』の概要について、子供世代が「のびのび」と、若者世代が「はつらつ」と、老人世代が「いきいき」と健康的に生活することを支えるための仕組みとして、説明された。

## セミナー

第10回日本介護学会では初めての試みとして、学術集会開催前にプレセミナー「入門！介護研究へのいざない」を、開催中にカフェセミナー「発表者を囲んで」、ランチョンセミナー「口腔ケア」を行った。



プレセミナー「入門！介護研究へのいざない」は大会1日目の開会式前に矢原隆行氏（広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科准教授）を迎え開催され、なぜ介護福祉士に研究が必要なのか、介護研究の考え方及び手法についての講義があった。

カフェセミナー「発表者を囲んで」は大会1日目の夜に開催され、分科会研究発表者と参加者が軽食を



取りながら、各分科会に分かれ意見交換や情報交換の場となった。

ランチョンセミナー「口腔ケア」は大会2日目に立石雅子氏（一般社団法人日本言語聴覚士協会副会長・目白大学保健医療学部言語聴覚学科学科長）を迎え開催され、セミナー参加者は昼食を取りながら口腔ケアの意義や目的と摂食・嚥下に係るリスク対応を学んだ。

## シンポジウム

### 介護と医療の連携～介護福祉士の役割～

シンポジウムは笹田昌孝氏(滋賀県立成人病センター総長・病院長)と三ツ浪健一氏(国立大学法人滋賀医科大学医学部医学科家庭医療学講座教授)の2人をコーディネーターに、また、雨森正記氏(弓削メディカルクリニック院長)、大迫芳孝氏(社団法人滋賀県薬剤師会常務理事)、加藤順子氏(加藤歯科医院院長)、幣憲一郎氏(京都大学医学部附属病院疾患栄養治療部栄養管理室長)、藤本武司氏(滋賀県健康福祉部管理監)、村田美穂子(滋賀県介護福祉士会会長)の6名をシンポジストに迎え、「介護と医療の連携～介護福祉士の役割～」と題して行われた。



始めに三ツ浪健一氏より、介護職員を取り巻く環境の変化をふまえ、介護職員等によるたんの吸引等や認定介護福祉士(仮称)などを通して、これまで医療者が行ってきた職務が介護福祉士の職務に含められてきている中、どこまで介護福祉士が生活支援として行っていくのか、また、日常的な介護福祉士と他職種の連携のあり方についてシンポジウムを通して明らかにしたい、と述べられた。

続いて、村田美穂子より医療と介護の連携が取れなかったことにより利用者が在宅生活を続けられなかった事例を元に問題提起がなされ、利用者本人や家族の事情を理解し、利用者自身の人生が有意義になる支援をするという観点から、医療との連携を図る必要がある、と提言がなされた。

雨森正記氏は、在宅医療で対応している患者の医療依存度が高まってきている中、たんの吸引や褥創の処置などの医療行為を医師の指示の下に実施すること、また、介護福祉士が対応できない状況になった際に医師に相談をしてもらいたい、と述べられた。

加藤順子氏は、高齢者における口腔ケアの重要性について説明されたのち、日ごろから意識を持って

利用者の口内の観察を実施し、気づきがあれば歯科医師等に相談してほしい、と述べられた。

大迫芳孝氏は、薬剤師は医師と患者のつなぎ役であり、介護福祉士とも連携して医師の出した処方箋の管理やお薬手帳等を通して、患者の薬剤の管理を行うことが必要である、と述べられた。

幣憲一郎氏は、入院中は栄養管理を的確に行うが、介護職と医療職が連携してそれを退院後に在宅の場で継続すること、また、利用者に対し定期的に栄養アセスメントを実施することを通し、認知症などの原因となる低栄養の早期発見や改善に寄与してほしい、と述べられた。

最後に藤本武司氏は、行政として、「在宅で亡くなりたい」という多くの方の望みをかなえるために、訪問医療サービスの周知や、地域包括支援の推進を行っている、と述べられた。また、滋賀県で行われている地域創造会議について説明され、自発的に参加した多職種が連携して在宅死を地域で受け入れるための啓発の仕組みの構築を目指している、と述べられた。

また、会場より「食べる」ということが人間にとって非常に重要であり、胃ろうを造設する際にも、経口での食事の摂取に復帰するという視点が重要であること、また、介護職が医療職と患者及び患者家族の間に入り、家族の立場から医療職に意見をすることが望まれる、という意見が出た。また、よりよい福祉用具等の開発を通して、現在ケアが困難な場面において効果的なケアが提供できること、少ない体力で移乗などのケアを提供できる環境が整えられることが望ましい、と発言があった。

シンポジウムは、介護福祉士のさらなる資質向上によって、医療との連携を円滑にすることを確認し、期待を込め終了した。



## 平成24年度 代議員選挙公示

平成24年10月15日  
社団法人 日本介護福祉士会  
選挙管理委員会

公益法人制度改革による新法人移行に伴い、社団法人日本介護福祉士会は、平成24年度通常総会の決議に基づき、平成25年4月1日の登記を目指して公益社団法人への認定申請を行います。公益認定を受ける前に、新定款及び規則等に則り公益社団法人としての最初の代議員予定者を予め選出しておく必要があります。このため、下記の要領で、代議員選挙を実施いたします。

### 記

#### 1. 日程

平成24年11月1日～22日	立候補受付期間
平成24年12月15日	立候補者の公示
平成25年1月7日～25日	投票期間
平成25年2月 上旬	開票日
平成25年2月15日	当選者の公示

#### 2. 選挙区及び定数

- 1) 正会員は所属する支部の選挙権及び被選挙権を有する。
- 2) 正会員が選挙区確定後、選挙区を変更した場合は、変更前に所属していた支部選挙区の選挙権を有するものとする。
- 3) 代議員定数は、平成23年度3月末日現在の会費納入会員数に基づくものとする。

選挙区	定数	選挙区	定数	選挙区	定数
北海道	5	石川県	6	岡山県	6
青森県	4	福井県	2	広島県	7
岩手県	3	山梨県	3	山口県	10
宮城県	3	長野県	15	徳島県	2
秋田県	2	岐阜県	2	香川県	5
山形県	2	静岡県	8	愛媛県	5
福島県	2	愛知県	6	高知県	3
茨城県	2	三重県	3	福岡県	14
栃木県	3	滋賀県	4	佐賀県	3
群馬県	4	京都府	5	長崎県	4
埼玉県	3	大阪府	11	熊本県	3
千葉県	4	兵庫県	6	大分県	7
東京都	6	奈良県	2	宮崎県	7
神奈川県	6	和歌山県	2	鹿児島県	5
新潟県	9	鳥取県	3	沖縄県	2
富山県	10	島根県	2	合計	231

#### 3. 選挙権及び被選挙権

選挙権及び被選挙権を有するのは、定款第5条第1号に規定する正会員で、平成24年9月30日までにすべての年会費を納入した者とする。

#### 4. 代議員の任期

代議員の任期は、選任の2年後に実施される代議員選挙終了の時までとする。

## 5. 立候補者の資格要件

- 1) 立候補者は、被選挙権を有する正会員であり所属支部の正会員5名の推薦があること。
- 2) 選挙の公示を行った時点で、本会の正会員として在籍しており向こう2年以内に他県に異動または退会の予定がないこと。
- 3) 海外に在住、または長期にわたり県外に在住していないこと。
- 4) 立候補者は、他の立候補者の推薦人になることはできない。
- 5) 代議員として連続して3期6年の任期を満了したものは、立候補できない。

## 6. 推薦人の資格要件

- 1) 推薦者は、選挙権を有する正会員であること。
- 2) 同一推薦者が、他の候補者及び所属支部以外の候補者を推薦することはできない。

## 7. 立候補の届出

立候補しようとする者は、本会ホームページの立候補届「様式1」・立候補者推薦書「様式2」をダウンロードし、必要事項を記入・捺印の上、5名の推薦書を同封のうえ、平成24年11月22日(必着)までに選挙管理委員会に「代議員立候補届在中」と朱書きのうえ郵便で送付してください。

なお、立候補者は本会ホームページ「代議員選挙」内の入力フォームより100字以内で「立候補者の抱負」を入力して下さい。

※所定の「様式1」、「様式2」以外は受付けません。

## 8. 立候補の取消

立候補を辞退する場合は、本会ホームページの立候補者辞退届「様式3」をダウンロードし、必要事項を記入・捺印の上、平成24年11月22日(必着)までに選挙管理委員会に「代議員立候補辞退届在中」と朱書きのうえ郵便で送付してください。

※所定の「様式3」以外は受付けません。

送付先	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13 西勤虎ノ門ビル3階 社団法人 日本介護福祉士会 選挙管理委員会 宛
-----	---

## 9. 選挙方法

立候補者に対し、選挙区ごとに正会員が投票により当選者を決定します。

なお、各選挙区の立候補者数が定数以下の場合は投票を行わずに全員当選といたします。

投票方法は原則Web投票によるものとしますが、今回は初めての代議員選挙ということもあり、郵便投票の受付も致します。(投票方法の詳細については、後日ホームページでご案内いたします。)

<h1>ふれあいケア</h1>	<b>2012年</b> <b>11月号</b> 10月22日発行	●定価1,020円(本体971円) ●毎月20日発行 ●B5判・80頁 ●送料300円(10冊以上・定期購読の場合は送料サービス)
	介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアに関わる施設福祉や在宅福祉の最新情報や、先駆的な実践事例も紹介。	
<b>特集 不適切ケアをなくし、虐待を防ぐ</b> 「高齢者虐待防止法に基づく対応状況等に関する調査」(厚生労働省)において、高齢者介護施設における高齢者虐待が報告されています。施設での虐待は、不適切なケアや職員のストレスが積み重なって起こるともいわれており、その防止には不適切なケアを放置せず適切に改善していくことが重要です。本特集では、施設における不適切ケアを見直し、虐待を防ぐための方策について考えます。		
<b>解説 実践レポート ほか</b>		
<b>好評連載企画</b>	●老い考 ●介護現場のリスクマネジメント ●パワーUP!訪問介護 ●ワンポイント介護技術 ●Close Up福祉用具 ●実践!脳活性化リハビリテーション ●認知症ケア相談室 ●介護の味方・看護の見方 ●職場のあなたの物語 ●災害リスクマネジメント ほか	
<b>定期購読申込み受付中!</b>		
【FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい】 お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号、冊数」を忘れずにご記入下さい。 バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい(品切れの際はご容赦下さい)。		
●お申し込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ●		
<b>■ 全社協出版部受注センター ■</b> 受注専用 TEL: 049-257-1080 FAX: 049-257-3111 E-mail: zenshakyo-s@shakyo.or.jp		<b>全社協</b> 社会福祉法人 <b>全国社会福祉協議会</b> 出版部 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ <a href="http://www.fukushinohon.gr.jp">http://www.fukushinohon.gr.jp</a>		福祉の本出版目録 <input type="text"/> <input type="button" value="検索"/>

連載

9

# 介護の現場で輝いています！

## ちいさな出会いから

一般社団法人茨城県介護福祉士会 坂野 浩子

私はグループホーム舞夢に勤めて丸5年が過ぎました。

私より人生の先輩である利用者さんから笑いと元気をもらい楽しく働いています。

3年前から福祉専門学校の実習生を、1年前からヘルパー2級養成講座の実習生の受け入れを行っています。

学生さんのイメージは10～20代と思っていましたが、実際は10～50代と年齢層の広さに驚き、何歳になっても学習する向上心は大切だと感じます。自分たち職員が気付かない質問をくれたり、仕事にも新鮮な刺激をもらっています。

介護の現場を体験した実習生にとって、1番難しいことは利用者さんとのコミュニケーション作りが大変だということです。

「何を話していいかわからない」「あいさつがすんだら話題がみつからない」などです。

そんな時は、何か話さなければと固く考えずに、身近な話から始めてみたらと声を掛けています。『『今日は何月何日ですね』『いい天気ですね』『畑の野菜が大きくなりました』など、特別なことではなく、普通に話しかけることで話が始まりますよ。利用者さんからも昔話や話題も出てきます。』と話しています。利用者さんも家のことや家族を思っただけの気持ちの方もいるけれど、会話やレクリエーションを通して笑顔になることが多いことを話しています。

実習期間はわずかですが、利用者さんと実習生、そして職員がともに楽しく同じ時間を過ごせることはとてもうれしいことです。

そしてこのちいさな出会いから実習生たちが、介護の現場を肌で感じ、介護がより好きになってもらえたらと思っています。

世評では、離職率の高さや3Kなど、介護のイメージは暗かったりしますが、「他の職種にはない、あたたかなふれあい」や「仕事のやりがい」「利用者さんが待ってくれていること」「頼りにされていること」を知ってもらい、そして、私たちと仲間になって働きたいと思ってもらえる施設や職場でありたいと思っています。



## 利用者さんと向き合って

特別養護老人ホーム和幸園 若山 陽子

現在、私は特別養護老人ホーム和幸園に勤務しています。私は以前、介護とは別の仕事に就いており、その際ホームヘルパーの方が優しく利用者さんに手を差し伸べている姿に心を打たれ、ホームヘルパー2級を取得し、和幸園に入社致しました。そこで実務経験を経て一昨年介護福祉士を取得致しました。

食事・排泄・入浴介助等の業務に日々追われ、利用者さん一人一人とゆっくり向き合う事が出来ないのが現状です。しかし、そんな中、ちょっとした空き時間に利用者さんとコミュニケーションを図る事が出来ました。コミュニケーションの内容は利用者さんの生い立ちや趣味といった昔話であり、まだまだ業務面で不慣れな私に笑顔で一生懸命語って頂きました。私はとても嬉しくなり夢中になって話を聞いていると「私の話を真剣に聞いてくれてありがとうね。あんたはまだ若いのに、こんな私の話を聞いてくれて…。それに世話までしてくれて…。本当にありがたい。」と涙ぐまれながら話して下さった姿がとても印象的でした。



沢山の利用者の方々と触れ合い、笑顔を見ていると介護の仕事のやりがいや楽しさ・利用者の力になりたいと改めて実感し、また明日からも介護の仕事を頑張ろう!!という気持ちが湧いてきます。介護の仕事は身体介護が主である事には変わりはありません。しかし、日々の業務の中で心のケアも身体介護に勝るとも劣らない位大切なのは…?といった思いが強くなってきました。身体と心、両面のケアをしっかりと行う事が利用者さんにとっても良いケアに繋がるのだと今では強く強く実感しています。これまで学んできた事、利用者さんから教わった事を活かし、利用者さんと向き合った介護をしていきたいと思えます。

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

介護専門職情報誌

# 介護福祉

- ☆発行回数 年4回/夏・秋・冬・春号
- ☆購読料(年) 3,440円(4号分・送料含む)
- ☆申込み先 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル  
TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514  
定期購読の申込方法 <http://www.sssc.or.jp/>  
郵便振替口座 00120-5-138401

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

**秋号(24年9月発行)**

特集「問題解決能力を高めて介護職のキャリアアップを目指す」

**冬号(24年12月発行)**

特集「発達・行動障がいへの支援」

# 介護現場におけるQ&A

## ～法律編～

日本介護福祉士会ニュースでは、会員の皆様の「介護現場でのお悩み・疑問」にお答えするため、「介護現場におけるQ&A～法律編～」コーナーを設置いたしました。当コーナーでは、東京晴和法律事務所の十時麻衣子弁護士にご協力いただき、会員の皆様の「介護現場でのお悩み・疑問」に対し、法律的に答えさせていただきます。



私は、特別養護老人ホームで働いています。

先日、食事介助中、Cさんがかまぼこをつまらせ窒息してしまいました。私としては十分に注意していたつもりですが、どのような場合に、損害賠償責任を負うことになりますか？



(1) 回答

誤嚥事故に関する裁判例の多くは、不法行為に基づく損害賠償責任を認めています。

この不法行為責任が認められるための重要な要素が介護従事者の不注意（過失）の存在です。過失が認められる場合には損害賠償責任を負いますが、過失はなかったと判断された場合には、損害賠償責任を負いません。

そして、多くの裁判例では、①誤嚥事故発生に至るまでの経緯と②事故発生後の対応に分けて不注意（過失）があったか否かを検討、判断しています。

(2) 解説

①誤嚥事故発生に至るまでの経緯

まず、債務不履行責任について説明します。

裁判例では、誤嚥事故に近接した時期の要介護者の嚥下能力に関する医師の診断や、要介護者がむせたり、咳き込んだりなどの異常その他の症状に着目して、誤嚥の兆候があったにも関わらず、その可能性を認識しなかったような場合には、この点に不注意（過失）を認めて、損害賠償責任を負うものと判断しています。

②事故発生後の対応

事故発生後の対応の過失については、ご相談の場合のように誤嚥事故が極めて重大な結果に直結することから（1）迅速かつ適切な応急処置が執られたか否か、（2）事故後一刻も早く医師若しくは救急車を呼び救急隊員の手に乗せたか否かが問われています。

例えば、救急車を呼んだものの、救急車到着までの間、バイタルチェックや心臓マッサージ、家族への電話しかなかった事例で適切な応急措置がとられたとはいえないとして過失があると判断された裁判例があります<sup>1)</sup>。また、介護職員が応急処置をしたものの、救急車を呼ぶなどしなかった事例で、経過を観察し、再度様態が急変した場合には直ちに医師に連絡をして適切な処置を施すよう求めたり、救急車の出動を直ちに要請すべき義務を負っていたのにこれをしなかったとして過失を認めた裁判例もあります。誤嚥事故は起らない方がいいのはもちろんですが、実際にゼロにすることは非常に難しいと思います。しかし、事故後の対処を適切に行うことは可能だと思います。もしもの時にどうするかを、ぜひ考えてみてください。

1) 横浜地裁川崎支部平成12年2月23日判決。

## 第19回全国大会開催県

# やまなし

シリーズ 4



山梨シリーズ最終回。

今回の開催は山梨で！と、正式なお話をいただいてから、あっという間の一年でした。全国の皆様をお迎えするにあたり、良い研修の場を提供できること、リフレッシュしていただくこと等を中心に準備を進めてまいりました。聞けば、早くからお申込みをいただいているとか！ようこそ山梨へ！！楽しみにお待ちしております。



さて、シリーズ最後のご紹介は、県下の地場産業品が揃っている「かいてらす」をご案内します。1Fのスペースにワインコーナー・ジュエリーコーナー・土産物の数々と、各組合加盟業者のイチオシが展示販売されています。

ワインコーナーでは41社246種類のワインが並び、その全てが試飲できるという試飲コーナーが！！日本一！いや、世界一…かも？とのこと。自分を見失わない程度に世界一を堪能してください(笑)



ジュエリーも山梨県が誇る産業ですが、意外と知られていないようです。

県外からも買いにこられますよ！と担当の方がお話ししてくれたジュエリーコーナーでは、老若男女を網羅する輝く石たちの姿を見ることができます。〇(ゼロ)の数を数えてしまうほど高額な一品もありますので、楽しみながら探してみてください。溜息がもれなく出ます！



鹿革を使った印伝や甲斐絹の製品、その他にも山梨の名産がたくさん展示販売されていますので、お帰りまでの時間が少なくてあちらこちら回れない方は是非立ち寄ってみてください。

最寄の甲府駅から少し離れていますが、一見の価値ありですよ！

地場産業センター「かいてらす」  
〒400-0807 山梨県甲府市東光寺3-13-25  
TEL 055-237-1641 FAX 055-228-9185 E-mail: info@kaiterasu.jp

山梨を堪能していただけるように、エキスカージョンの内容も実行委員会で提案させていただきました。限られた時間ではありますが、思い出を作っていただけなら嬉しいです。

やまなしシリーズ、最後までお付き合いいただきありがとうございました。山梨の魅力はまだあります、来県していただいた際にはいろいろと探してみてください。

それでは、12月7日・8日 山梨でお会いしましょう！

支部  
リレー

都道府県介護福祉士会 情報交流の泉⑨ ◆兵庫県

## 「知っとう？神戸だけとちゃうよ！ホンマに広い兵庫県！」

兵庫県介護福祉士会はここ数年の間、会員数1,000名以上を維持し、昨年度に至っては1,200名近くまで会員数を増やすことができました。県下7つのブロックでそれぞれの地域性や会員の強みを生かして、会の活動が見える体制づくりに取り組んでいます。



兵庫県マスコットはばタン

また、介護福祉士としての専門性をより高めるため、ニーズに合った研修制度の充実を図り、従来から行ってきた「介護福祉士初任者研修」「ファーストステップ研修」に加え、平成23年度兵庫県委託事業として実施した「介護職員の生涯研修体系と新たな段位制の調査研究」の結果に基づくカリキュラムで学ぶ「介護職員初級研修・中級研修」を開催致します。

会員の皆様の専門性を高める場として、また会員相互の交流の場としての活動を積極的に展開していき、魅力ある介護福祉士会を作っていきたいと考えています。

兵庫県は、日本のほぼ中心に位置し、1868年の神戸港開港以来、日本の玄関口として、世界や日本各地との陸・海・空の交通アクセスが整備されてきました。また兵庫を通じて、映画やゴルフをはじめとする欧米の文化が日本各地へ広がるとともに、カラオケやアニメーションなどの日本文化が世界に広がっていきました。

面積8,395km<sup>2</sup>、人口約560万人 (2010年1月現在)。日本海と瀬戸内海の2つの海に面している数少ない県で、大都市から農山村、離島まで様々な地域で構成されており、多様な気候と風土を通して、海水浴やスキー、温泉などの多彩なレジャーが楽しめる事から「日本の縮図」と言われています。特に、歴史や風土、産業などの違いから、摂津 (神戸・阪神)、播磨、但馬、丹波、淡路の個性豊かな5つの地域に分ける事ができます。



## ☆観光スポット……あえて よかった“丹波篠山”

神戸市から車で北へ1時間、兵庫県の中東部、山々が重なり、深い緑と土の薫りに包まれた丹波地域。阪神大都市圏の近郊にありながら、山林面積が約75%を占めるこの地には、澄みきった空気と豊かな自然に恵まれた、美しく懐かしい田園風景が今も残されています。情緒あふれる風景、豊かな自然、歴史を感じ、文化に触れ、癒される街です。



城下町の雰囲気や今に伝える歴史的な街並みが残り、篠山城跡、青山歴史村、武家屋敷など歴史を歩く事ができます。町並みは妻入商家が特徴で、江戸時代の城下町の姿を今に伝え、国の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれています。

篠山盆地特有の気候と豊かな土壌に恵まれた、美味しい農産物も魅力の一つです。大粒でほんのり甘く、色つやも美しい『黒豆』。粒が大きくて甘みに優れた『丹波栗』。ごつごつした外観とは対照的に、すりおろすと純白できめ細やかな粘り気のある『山の芋』。その他にも『黒枝豆』や『大納言小豆』、『猪肉』に『松茸』など、紹介しているだけでよだれが出てくる「うまいもん」だらけです。

旅の疲れを癒す温泉も多数あります。ぜひ一度、足を運んでみて下さい。



次回は神奈川県へバトンタッチ！

## 福祉用具を活用しよう

公益財団法人テクノエイド協会

### Part 2 床ずれ -仕組みを知って防ごう-

今回は、「床ずれ発生のメカニズム」について解説します。

床ずれ（褥瘡）とは一定の場所に外力が加わったことによって、組織が血流不全をおこした結果、壊死する病態をいいます。皮膚が少し赤くなっている発赤程度のものから、深部組織が破壊され骨・腱・筋肉が露出するような重度のものまであります。適切に処理しないと、発赤の状態からごく短期間で深刻な褥瘡になってしまうこともあります。「できるのはあつという間、治るには長い期間が必要」というのが褥瘡の特徴です。

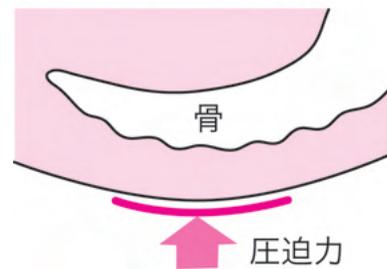
皮膚表面にかかる「圧」には2種類あり、皮膚表面に対して垂直にかかる力を「圧迫力」、平行にかかる力を「ずれ力」と呼びます。「圧迫力」については注意が向けられる一方で、「ずれ力」については見逃されがちであり、わずかな力、わずかな時間でも褥瘡の原因になりやすいことから、格別な配慮が必要になります。特に福祉用具の使用場面においては「圧迫力」以上に「ずれ力」の影響が深刻で、この「ずれ力」への配慮を欠いた福祉用具の使い方によって、知らず知らずのうちに褥瘡を作ってしまうこともあります。

かつて褥瘡の原因は単純に「圧」とされてきましたが、「応力」も褥瘡予防には無視できない概念です。「応力」とは外部から力を受けたときに、その力に応じて物体内部に生じる抵抗力のことです。つまり皮膚表面に「圧迫力」や「ずれ力」が加わると、組織内部に「応力」が生じます。応力は「圧縮応力」、「せん断応力」、「引っ張り応力」の3つの要素で考えられます。

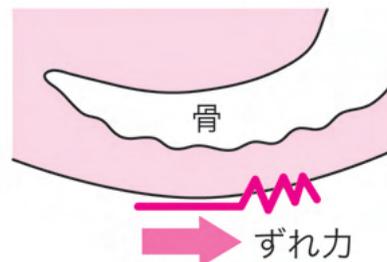
「応力」というと難しい感じがしてしましますが、手の甲の皮膚を反対の手の指でぐぐっと押しとどめるのでしょうか？ 皮膚や脂肪が「押し縮められて（圧縮応力）、ねじれて（せん断応力）、引っ張られた（引っ張り応力）状態」を確認できると思います。これが応力です。本来、脂肪や筋肉は血管の変形を防ぐクッション材のような働きをしますが、高齢や疾病によってクッション材が失われた組織は、応力の影響をより直接的に受けて内

部の血管は変形し血流が阻害されます。その状態を長時間続けることによって組織は壊死して褥瘡となります。逆に時間は短くても圧が大きければ同様の状況に陥ります。つまり「応力」に「持続時間」、そしてさらに「頻度」という要素が組み合わされることによって褥瘡発生の可能性は高まっています。

圧迫力 皮膚表面に垂直な力



ずれ力 皮膚表面に平行な力



また、褥瘡を発生しやすくする様々な要因が存在します。リスク要因を正確に把握し、適切に対処することは褥瘡予防・治療のいずれにおいても必要不可欠です。

#### 【リスク要因の例】

- 可動・活動の減少
- 皮膚の湿潤・汚染
- 病的骨突出
- 関節拘縮
- 栄養状態低下
- むくみ
- 知覚・認知の障害
- 介護力不足

次回は、「褥瘡予防の基本」について解説します。

(出典：公益財団法人テクノエイド協会発行「福祉用具選定支援書」より改編)

### 第19回 全国大会開催要綱

- 日時 平成24年12月7日 (金) ~12月8日 (土)
- 場所 「甲府富士屋ホテル」(山梨県甲府市)
- テーマ 「原点回帰」~私たちがめざしてきたもの  
そして 何をめざすのか~
- 参加定員 600名
- 参加対象者 社団法人日本介護福祉士会会員 その他一般
- 参加費 会員/3,000円 一般/10,000円 学生/1,000円
- プログラム  
(12月7日) 基調講演 厚生労働省 (予定)  
記念講演 太田 貞司氏 (聖隷クリストファー大学大学院社  
会福祉学研究科教授)  
懇親会  
(12月8日) 分科会 (座長は予定)  
第1分科会 「介護福祉士って何だろう」  
専門職として “在宅” の現場から見てきたもの  
座長: 服部 万里子氏 (服部メディカル研究所所長)  
第2分科会 「介護福祉士って何だろう」  
専門職として “施設” の現場から見てきたもの  
座長: 村岡 裕氏 (社会福祉法人依田窪福祉会常務理事)  
第3分科会 「医療的ケアと介護福祉士」  
座長: 田中 涼子氏  
(高齢者福祉総合施設ももやま施設長)  
特別講演 土橋 久忠氏  
(山梨学院大学 就職・キャリアセンター次長)  
「人を育てることは自らを育てること、  
自己改革で明日を拓く」
- 問合わせ 社団法人日本介護福祉士会事務局

### 皆様からの投稿をお待ちしています

- 「介護の現場で輝いています！」
- 「介護現場でのお悩み・疑問」
- 「私のストレス解消法」「手作り介護用品」

### 都道府県介護福祉士会研修情報

#### 東京都介護福祉士会

#### 「たんの吸引・経管栄養の基礎知識と手技研修」

- 日程 平成25年2月16日 (土) 9:30~16:30
- 場所 ティアラこうとう 大会議室
- 内容 たんの吸引概論、たんの吸引実施手順、  
経管栄養概論、経管栄養の実施手順、  
演習 (たんの吸引実施手順・経管栄養実施手順)
- 定員 80名 (先着順・会員優先)
- 参加料 会員 4,000円 非会員6,500円  
テキスト代金1,000円含まず
- 問合わせ NPO法人 東京都介護福祉士会  
TEL 03-5624-2821 (担当: 阿久津)

### 会員の皆様へ

- 機関誌などの郵送物発送、研修会参加時の会員価格適用、  
書籍購入時の割引適用などのサービスは会費の納入が確認  
できた会員様のみ提供させていただきます。
- 婚姻等による姓の変更や、ご住所・ご連絡先、ご勤務先な  
どの登録情報に変更があった際は、必ずご連絡いただきま  
すようお願い申し上げます。
- やむをえずご退会される場合は、所定の様式により退会申  
請を行ってください。
- 当会の会計年度は4月1日~3月31日までとなっております。  
ご退会される場合でも当該年度に在籍されている場合  
は会費をお支払いいただく必要がございますので、ご了承  
ください
- ご不明点等ございましたら、日本介護福祉士会事務局まで  
お問い合わせいただけますようお願い申し上げます。  
(電話03-3507-0784 E-mail:webmaster@jaccw.or.jp)
- 職場などお近くのお知り合いで会に未加入の方がいらっし  
やる際は是非とも入会をおすすめいただきますようお願い  
申し上げます。

# ソウエルクラブ(福利厚生センター) ご加入のおすすめ

#### ■職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康相談

#### ■職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

#### ■地域に密着した事業

- 会員交流事業 (旅行・観劇・スポーツ大会等)

#### ■職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

#### ■職員の余暇活用のために

- 指定保養所・休暇村他 全国115か所  
会員制リゾート施設…ラフォーレ倶楽部  
他 全国239か所
- 海外リフレッシュツアー
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

#### ■職員の資質向上のために

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会

#### ■職員の生活サポートのために

- 住宅ローン・特別資金ローン
- ソウエル団体生命保険 損害保険

#### ■各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

#### 加入できる職員

社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。

#### 掛金

掛金は職員一人あたり毎年度1万円です。

#### 加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル



TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
http://www.sowel.or.jp/

社会福祉法人 福利厚生センター  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-3-11  
NBF小川町ビルディング10階

発行所/社団法人 日本介護福祉士会  
事務局 (〒105-0001) 東京都港区虎ノ門1-22-13 西勤虎ノ門ビル3F

電話 (03) 3507-0784 FAX (03) 3507-8810 http://www.jaccw.or.jp 発行責任者・石橋真二



(問合せ) (会員情報変更)

ニュース



The Japan Association of Certified Care Workers

**Vol.113**  
**1月1日号**  
 平成25年(2013年)

# 社団法人 日本介護福祉士会

URL : <http://www.jaccw.or.jp/>E-mail : [webmaster@jaccw.or.jp](mailto:webmaster@jaccw.or.jp)

## 新年にあたって

社団法人日本介護福祉士会 会長 石橋 真二



新年明けましておめでとうございます。

社会福祉士及び介護福祉士法が制定され25年が経過し、介護福祉士の登録者数も平成24年4月には100万人を超える状況になりました。

この間、少子高齢化の進行や介護保険制度・障害者自立支援法の施行などにより介護サービスのあり方は大きく変わり、また、制度に伴う新たな介護サービスの導入などもあり、介護を取り巻く状況は大きく変わりました。

介護福祉士制度も2007年に介護福祉士の定義規定・義務規定の見直し、資格取得方法の一元化などの一部改正が行なわれ、2011年は略痰の吸引など一部の医療行為が可能となる法律改正が行なわれる等、時代に求められる介護ニーズの変化と共に介護福祉士に求められる役割は幅広くなり、介護福祉士にはより高度な知識、技術と高い倫理が求められるようになりました。

このようななか、私たち日本介護福祉士会は、平成6年2月の設立以来、全国の介護福祉士の仲間とともに、常に新たな時代の介護ニーズに対応するため、介護福

祉士の職業倫理の向上、介護に関する専門性の向上、介護福祉士の資質の向上などに努め、国民の介護サービス向上と介護福祉士の専門性の確立、社会的評価の確立に取り組んできたところです。

現在は、介護福祉士の上位資格として認定介護福祉士(仮称)の検討を行なっていますが、今後も、生涯意欲を持って介護現場で働き続けることができるように、キャリアパスに応じた生涯研修体系を構築し、介護福祉士の仕事が若い世代から憧れの職業となるよう魅力ある資格として確立できるように皆さんと共に取り組んでまいりたいと思います。

なお、本会は平成25年度に公益社団法人へ移行できるように内閣府に申請を行なっているところであります。さらに来年度は設立20周年を迎えることになり、今後は、組織率の向上を重点的に行い、職能団体としての存在感を高めていかななくてはなりません。

これまで以上に、20周年、組織率の向上、専門性の確立、キャリアパスに応じた研修体系の構築など取り組むべき課題は多いですが、本会がますます発展できるようあらためて会員の皆様、行政、関係団体、関係者の皆様方にご協力・ご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

### ●役員の動き● (10月1日～12月8日)

- 10月 7日～ 8日 北海道・東北ブロック研修会(石橋会長)
- 10月12日～14日 リーダー研修(ファーストステップ研修講師養成研修)(内田副会長)
- 10月13日～14日 認定介護福祉士(仮称)モデル研修(1回目)(石橋会長、内田副会長)
- 10月18日 「障害者支援のための研修内容構築事業」第3回検討委員会(三浦副会長)
- 10月20日～21日 (仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修(5回/全10回)(内田副会長)
- 10月27日～28日 認定介護福祉士(仮称)モデル研修(2回目)(石橋会長)
- 11月 6日 介護福祉士初任者研修に係る打合せ会議(石橋会長、木村副会長)
- 11月10日～11日 (仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修(6回/全10回)(内田副会長)

- 11月16日～17日 九州ブロック研修会・ブロックリーダー研修会(石橋会長、三浦副会長)
- 11月17日～18日 認定介護福祉士(仮称)モデル研修(3回目)(木村副会長)
- 11月27日 「実務者研修教員養成講習会」打合せ(木村副会長)
- 11月27日 第1回制度・政策検討委員会(石橋会長、内田、木村副会長)
- 12月1日 長野県介護福祉士会20周年記念式典(石橋会長)
- 12月 5日 第2回認定介護福祉士(仮称)の在り方に関する検討会(石橋会長)
- 12月 6日 第5回常任理事会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)
- 12月 7日～ 8日 第19回全国大会inやまなし(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)

## 第19回全国大会 山梨で開催

### 「原点回帰」

～私たちがめざしてきたもの そして、何をめざすのか～



甘利俊明会長

開会に先立ち、一般社団法人山梨県介護福祉士会会長甘利俊明、また社団法人日本介護福祉士会会長石橋真二より開会の挨拶が行われた。介護ニーズが多様化・高度化する中、「介護職員等によるたんの吸引等」が制度化されるなど介護福祉士の役割も増え、介護福祉士の資質の向上に対する社会的要請が増大している状況で、日本介護福祉士会が、研修会や学会の開催などを通し介護福祉士の資質の向上に向けて活動してきたこと、また、生涯意欲をもって介護福祉士として働けるよう、介護福祉士のキャリアアップとして認定介護福祉士(仮称)の検討を行っていることが報告された。最後に、全国から介護福祉士が集まり、その中で研修や発表が行われることは意義深い事であるとし、全国大会が開会した。続いて、厚生労働省、山梨県知事代理、甲府市長をはじめ数多くの来賓の方にご参列いただき、祝辞を頂いた。

大会初日は、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室介護福祉専門官村橋功氏より「介護人材確保対策の動向等について」と題した基調講演を頂いたほか、聖隷クリストファー大学大学院社会福祉研究科教授太田貞司氏より「地域包括ケアシステムの構築と介護福祉士の今後 - 認定介護福祉士(仮称)の創設を - 」と題した記念講演を頂いた。

大会二日目は、午前中に分科会が行われた。「介護福祉士って何だろう～専門職として“在宅”の現場から見てきたもの～」(第1分科会)、「介護福祉士って何だろう～専門職として“施設”の現場から見てきたもの～」(第2分科会)、「医療的ケアと介護福祉士」(第3分科会)の3テーマに分けて実施され、会員による発表、また座長による講評が行われたほか、質疑応答では参加者とも活発な議論が行われた。また、それぞれの分科会終了後に「分科会報告」が行われ、大会のテーマである「原点回帰」や各分科会の発表内容を踏まえ、「ケアに向き合う

のではなく、人に向き合うこと」の大切さや、「生活を取り戻す」という視点の元に日々のケアを「可視化すること」の大切さ、「医療ニーズのある人にケアを実施する際の他職種協働の視点」などが、報告された。

また、昼食時にランチョンセミナーが開催され、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社コッドマン事業部疾患啓発事業佐々木博信氏より「知っておきたい!いろいろなタイプの認知症～特発性正常圧水頭症(iNPH)」と題し、特発性正常圧水頭症による症状や医療的対応と予後について、講演が行われた。

午後は、山梨学院大学就職・キャリアセンター次長土橋久忠氏より「人を育てることは自らを育てること、自己改革で明日を拓く」と題した特別講演が行われた。

最後に、第19回全国大会開催支部実行委員長飯野浩史、日本介護福祉士会副会長木村晴恵より挨拶が行われたほか、次回の全国大会開催地である一般社団法人鳥取県介護福祉士会会長三橋一久などによる挨拶で閉会した。

全国から約600名を超える参加者が集まり、また山梨県内の介護福祉士養成校の生徒も参加した大会の熱気は冷めることなく、大盛況のうちに幕を閉じた。

(各講演の内容は4ページ参照)



木村晴恵副会長



## 全国大会の初日終了後、300名近くの参加を得て懇親会が行われました

懇親会では、「鼓摩の会和太鼓和楽」による太鼓の演奏や、「山梨市民吹奏楽団」による演奏が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

また、全国の介護福祉士会より持参されたお土産が、懇親会の参加者に抽選で手渡されました。

懇親会場は楽しく穏やかな雰囲気の中、全国から集まった参加者の情報交換や日頃の疲れを癒す場となりました。



懇親会



抽選会



和太鼓



ゆるキャラ「とりもっちゃん」登場



吹奏楽演奏

## 全国大会を終えて

一般社団法人山梨県介護福祉士会 実行委員長 飯野浩史

山梨大会は神奈川県のパピンヒッターという波乱のスタートでした。昨年8月、甘利会長の「来年の全国大会は山梨で行います。」の一言から始まり、通常より短い期間での準備となりましたが、7名の実行委員で話し合いを積み重ね、63名の大会スタッフとともに最高のおもてなしを目指しました。

青森大会の懇親会で最高潮に盛り上がった次の日、静寂の中での閉会式の挨拶が私の全国大会デビューでした。2日間に渡り体験したプレッシャーと強烈な胃痛の中での挨拶でしたが、「山梨に行きますよ」の声に励まされ、そして今回「青森での挨拶で参加を決めましたよ。」の嬉しい言葉と共に多くの方たちと再会できたことに本当に感激しました。

「実行委員長は大変でしょ？」と多くの方が心配をしてくれましたが、山梨の場合、本当に大変だったのは甘利会長、各部門を仕切る責任者、事務局の市川さん、協力してくれたスタッフなんですよ。私の心遣い不足や配慮不足による大小の不備を周りの方たちに支えてもらい本当にありがたかったです。

今回、交通網の混乱、地震などの事態があっても関わらず、600名の定員を超える参加者に集まっただけ、本当にありがとうございました。『2日間のスケジュール通りの進行』、『ワインの力だけでなく、余興の太鼓・吹奏楽の演奏、セクシー&キュートなサンタ・トナカイ、キャラクターと参加者の皆様が一体になり盛り上がりをもせた懇親会』、すべて協力していただいた皆様のおかげです。お見送りでの参加者の皆様・山梨のスタッフの笑顔と「ありがとう」の言葉が今大会の成功を実感させていただけるものでした。

最後になりますが、次回開催の鳥取県介護福祉士会の皆様、大会が終わるまで神経をすり減らすと思いますが、終了時の安心感・達成感・解放感は何ものすこくいいですよ！



## 記念講演

地域包括ケアシステムの構築と介護福祉士の今後  
—認定介護福祉士(仮称)の創設を—

聖隷クリストファー大学大学院  
社会福祉研究科教授  
太田 貞司 氏

講師である太田貞司氏は広島女子大学などを経て、神奈川県立保健福祉大学に勤務された後、平成24年に退官、現在は聖隷クリストファー大学大学院に勤務されている。また、「日本介護福祉学会」総務担当理事や「認定介護福祉士(仮称)の在り方に関する検討会」委員長などを歴任されている。

地域包括ケアシステム構築のためには「地域ケアのマネジメント“力”」が必要であることと、地域包括ケアにおけるサービス提供の5つの視点である「介護」、「生活支援」、「医療」、「住まい」、「予防」の全てにおいて介護職員が必要とされている、と述べられた。

また、現在はベテランの介護福祉士のキャリアア

ップ資格が介護支援専門員しかないため、介護支援専門員となることを望んでいない介護福祉士が介護支援専門員を目指さざるを得ない現状を改める必要がある、と述べられた。

その上で、今後は「日常生活の営みの支援」の視点から他職種と連携が行え、地域での暮らしを支えることの出来る「地域型」の介護福祉士が求められていること、また、地域に「介護職の厚い層を作る」ことが必要であり、そのためには介護人材確保対策を行うほかに、後輩の指導ができるリーダーの養成が不可欠である、と述べられた。

こうした「地域型」かつ「介護福祉士集団のリーダー」となりうる人材として認定介護福祉士(仮称)の検討が行われており、今後モデル研修などを実施しながら、その在り方を構築していく、と述べられた。

最後に、諸外国の制度と比較すると、日本の介護は福祉分野が基礎となったことが特徴的であり、生活を支えるという視点が重要である、と述べられた。

## 基調講演

## 介護人材確保対策の動向等について



厚生労働省 社会・援護局  
福祉基盤課 福祉人材確保対策室  
介護福祉専門官  
村橋 功 氏

日本の今後の人口構造の変化を踏まえ、現在の介護職員の雇用状況の変化や待遇について説明された上で、実施されている主な福祉・介護人材確保対策について述べられた。

その後、今後の介護人材のキャリアパス像について、介護福祉士資格取得方法の変更、さらに現在、日本介護福祉士会を中心に介護福祉士資格取得後のキャリアパスとして検討されている認定介護福祉士(仮称)の概要について説明された。

また、会場にいた介護福祉士養成校の学生に対し、現在介護福祉士として働いている諸先輩を手本とし、一人前の介護福祉士となるよう激励の言葉をかけられた。

## 特別講演

人を育てることは自らを育てること、  
自己改革で明日を拓く

山梨学院大学  
就職・キャリアセンター 次長  
土橋 久忠 氏

社会の変化が激しい21世紀に求められている人材は、自己変革をすることのできる人材である、と述べられた。

その上で、キャリア理論によると、自分自身が変化する事により他人や組織を変化させることが可能であり、その為には新たなチャレンジを行い変化のきっかけとすることが重要であるとともに、他人を変化させるためのカウンセリングなどの手法を用いる必要がある、と述べられた。

また、人はそれぞれ違うという事をふまえた上で自分自身の判断基準を持ち、PDSサイクルにそって行動し、予期せぬ出来事にも最善を尽くし対応をすることが必要であると、述べられた。

## 代議員選挙立候補者の公示

平成24年12月14日  
社団法人日本介護福祉士会  
選挙管理委員会  
委員長 沖田 健太郎

社団法人日本介護福祉士会代議員選挙立候補者の氏名を次のとおり公示いたします。

平成24年度代議員選挙立候補者の届出締切日までに、届出のあった書類を審査した結果、立候補者の資格要件を満たしていることが確認できました。

47都道府県すべての選挙区において選挙（投票）は行われず、立候補者が定数と同数の選挙区については、立候補者を無投票当選とします。

なお、立候補者が定数に達しない選挙区及び立候補者のなかった選挙区については、選挙管理委員会に設置した代議員推薦委員会が定数に達するように推薦し、無投票当選とします。

○今回は選挙（投票）の実施はありませんが、届出のあった立候補者については、本会ホームページ上でもご確認下さい。

【届出順、敬称略】

### 1. 無投票当選となる選挙区の立候補者一覧

以下の13県介護福祉士会は立候補者が定数と同数で無投票当選となり、投票は行われません。

都道府県	定数	立候補者	氏名
青森県介護福祉士会	4	4	中村純子、中川れい子、山内良治、安ヶ平学
宮城県介護福祉士会	3	3	今出川武志、末永久美子、雫石理枝
栃木県介護福祉士会	3	3	谷口美智、長山ミサエ、岩原真
群馬県介護福祉士会	4	4	佐藤智昭、木村鈴子、小池昭雅、攪上ゆき江
千葉県介護福祉士会	4	4	山本英清、村越洋子、松下やえ子、野口渉子
東京都介護福祉士会	6	6	玉土靖、河内律子、佐々木宰、阿久津まち子、白井幸久、小峰良子

都道府県	定数	立候補者	氏名
新潟県介護福祉士会	9	9	中村和弘、計良直美、倉茂浩司、出羽秀樹、 吉田サチ子、大塚トシ子、浅野直市、 大越幸栄、宮崎則男
富山県介護福祉士会	10	10	須藤郁恵、土後富士子、中村かおる、 萩中博幸、加藤まゆみ、福野友美、 中村千春、水島誠、古川雅子、椛加奈絵
岡山県介護福祉士会	6	6	齋藤七七重、神寶誠子、湯川美帆子、 田渕美野里、安達悦子、田中美保子
徳島県介護福祉士会	2	2	中野順也、河野和代
香川県介護福祉士会	5	5	谷崎和美、三井早苗、鴨田洋子、大坪稔、 北池健三
宮崎県介護福祉士会	7	7	木場圭一、飯森圭一、手塚美智子、坂元三枝子、 井上里美、菊池優子、春田健一
沖縄県介護福祉士会	2	2	福井彰雄、山川 勇

## 2. 無投票に当選となる選挙区の立候補者一覧

以下の介護福祉士会は立候補者が定数に達しないため、立候補者は無投票当選となり投票は行われません。  
定数に達しない支部については、選挙管理委員会に設置した代議員推薦委員会が推薦します。

都道府県	定数	立候補者	氏名
北海道介護福祉士会	5	3	間所剛、福島義典、八巻貴穂
茨城県介護福祉士会	2	1	沼田正人
石川県介護福祉士会	6	4	中野朋和、逢坂恵、愛宕悦子、北野正敏

都道府県	定数	立候補者	氏名
長野県介護福祉士会	15	12	三澤ちと江、桃根千恵、栗林まつ江、 豊田まさえ、小林真弓、戸崎洋子、 北村加保里、代田百合子、度会多恵子、 柳澤玉枝、松本悟、細川安子
静岡県介護福祉士会	8	2	小林彰宏、及川ゆりこ
愛知県介護福祉士会	6	3	奥原文香、大羽啓允、森本シズエ
大阪介護福祉士会	11	9	鎌田勝二、永吉輝幸、富島望、法橋幸子 矢部賢太、岡部友規子、庄司亘、旗手真也 櫻井信吾
兵庫県介護福祉士会	6	5	安達真理子、北澤邦子、稲積初美、 小西和弘、福井誠人
広島県介護福祉士会	7	3	藤川守、長谷川佳子、佐伯晋平
愛媛県介護福祉士会	5	4	村上和也、藤田英樹、浅田稔、山本将宏
福岡県介護福祉士会	14	6	棚町康子、毛利満則、三角和子、前田和彦、 杉本勢津子、中野千恵
長崎県介護福祉士会	4	1	二見都世

### 3. 無投票当選となる選挙区

以下の22介護福祉士会は立候補者がなかったため、選挙管理委員会に設置した代議員推薦委員会が定数に達するように推薦します。

- ◆岩手県介護福祉士会
- ◆秋田県介護福祉士会
- ◆山形県介護福祉士会
- ◆福島県介護福祉士会
- ◆埼玉県介護福祉士会
- ◆神奈川県介護福祉士会
- ◆福井県介護福祉士会
- ◆山梨県介護福祉士会
- ◆岐阜県介護福祉士会
- ◆三重県介護福祉士会
- ◆滋賀県介護福祉士会
- ◆京都府介護福祉士会
- ◆奈良県介護福祉士会
- ◆和歌山県介護福祉士会
- ◆鳥取県介護福祉士会
- ◆島根県介護福祉士会
- ◆山口県介護福祉士会
- ◆高知県介護福祉士会
- ◆佐賀県介護福祉士会
- ◆熊本県介護福祉士会
- ◆大分県介護福祉士会
- ◆鹿児島県介護福祉士会



# 介護現場におけるQ&A

## ～法律編～



私は、介護老人保健施設で従業員として働いています。

先日、私の勤める施設入所者のAさんが骨折してしまいました。夜間の見回りから戻ってきたところ、「痛い、痛い、転んだの」とAさんが私たちに訴えたために骨折していたことが判明したのですが、いつ転倒し骨折したのかはわかりません。Aさんは、重症度分類が4のパーキンソン病と診断されていたため、私たちも注意深く見守ってきたつもりでしたが、Aさんの家族から賠償金を支払ってくれと言われていす。施設は、賠償金等を支払わなければならないのでしょうか？



### (1) 回答

施設が損害賠償金を支払わなければならないか否かは、①Aさんに転倒の危険があり施設がそのことを認識し得たか、②施設が認識し得たときに、転倒事故を防止するための措置がとられていたかが問題となります。そして、施設において転倒の危険を認識していたため、転倒回避義務があったにもかかわらず①、十分な転倒事故防止措置をとらなかったため（転倒回避義務違反）に事故が発生し②、被介護者がけがをしたといえる場合には、施設が責任を負うことになります

### (2) 解説

#### ①転倒の危険を認識し得たかについて

多くの裁判例は、被介護者の健康状態や疾病、薬の服用状況、及びこれまでの転倒、躓きの状況等を考慮して、施設が転倒の危険を認識し得たか否かについて判断します。

今回の相談内容と類似の裁判例<sup>1)</sup>も、被介護者がパーキンソン病に罹患して四肢の運動障害があったこと、これまで転倒することが度々ありこれを施設が認識していた事実を認定し、「本件介護施設入所後多数回転倒しており、転倒の危険性が高いことをよく知っていたのであるから、入所利用契約上の安全配慮義務の一内容として原告がベッドから立ち上がる際などに転倒することのないよう見守り、原告（被介護者）が転倒する危険のある行動に出た場合には、その転倒を回避する措置を講ずる義務を負っていた。」として、契約上の責任として転倒回避義務があったことを認めました。

#### ②十分な転倒事故防止措置をとっていたかについて

次に、転倒回避義務があったことを前提として、転倒回避義務を履行して転倒事故防止措置をとっていたか否かが問題となりますが、この点について、前掲の裁判例で責任を問われた施設は、見守りのためにサービスステーションから常時目の届く場所にベッドを移動させたこと、リハビリパンツをはかせ、また体動があったときは適切にトイレに誘導していたこと等の事実を主張して転倒回避措置を十分にとっていたことを主張しました。しかし、裁判所は、本件転倒事故に気がついてすらいなかった以上、様々な措置を講じていたとしても見守り（防止措置）が不十分だったと言わざるを得ないと判断して、転倒回避義務違反があったと判断し、施設の責任を認めました。

様々な制約のある中で介護をしていかなければならないと思いますが、この裁判例を参考にしながら人員配置が適切か等を再度考えて頂ければと思います。

1) 東京地裁平成24年3月28日判決。

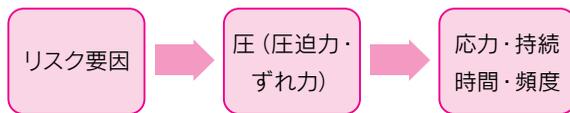
# 福祉用具を活用しよう

公益財団法人テクノエイド協会

## Part 2 床ずれ -仕組みを知って防ごう-

今回は、「褥瘡予防の基本」について解説します。

褥瘡発生のリスク要因を適切にコントロールした上で褥瘡予防を考えると、基本は皮膚表面に発生する「圧迫力を小さくする」か「ずれ力を小さくする」の2つになります。どちらの場合も褥瘡発生の可能性を高める「応力・持続時間・頻度」の3つの要素からアプローチします。



### ■圧迫力を小さくする

#### 【動くこと】

実際には要介護状態にある人だけに限らず、誰しもこれら応力を受けながら生活しています。それでもなぜ褥瘡にならないのかというと、無意識に身体を動かして不快な圧を解放しているからです。

つまり、最もシンプルで効果的な褥瘡予防は「動くこと」だといえます。しかし身体機能が低下した人にとっては、身体を動かすこと自体必ずしも容易なことではありません。まず本人が「どれだけ動くことができるのか」、「どのような条件が整えば動くことができるのか」を正確に把握し、それらを補完するものとして、介助動作や福祉用具などによる圧への対策を検討するようにしましょう。

#### 【皮膚表面にかかる圧への対策】

圧への対策としては、大きく分けると「減圧」と「除圧」の2つの方法があります。減圧というのは、身体をより広い面積で保持することによって圧を分散し、身体にかかる圧を減らすことです。圧は力をそれがかかる面積で割ることで求められます(力÷面積=圧)。つまり面積を大きくすれば圧は小さくなります。これが減圧の考え方です。具体的に福祉用具に当てはめると、軟らかいマットレスでは身体が沈み込むことによって接触面積が増し、体圧は分散されます。この状態が「減圧」された状態です。

それに対して除圧とは、体位変換のように身体の接触箇所を変えることによって圧を解放し取り除くことをいいます。福祉用具では、時間ごとにセルの膨縮によって身体に接触する箇所が変わる、圧切り替えタイプのマットレスの機能が「除圧」にあたります。

自力での体位変換(=除圧)が不十分、または困難になってきた場合には、臥位姿勢時には静止型褥瘡対応マットレスやエアマットレスなどの体圧分散寝具の導入、座位姿勢時には車いす用クッションの導入を検討します。



減圧(体圧分散)



除圧

### ■ずれ力を小さくする

ずれ力は福祉用具の不適切な利用方法によって容易に生じてしまうことがあります。代表的な福祉用具によるずれ力に関して例示します。

#### 【介護ベッドの背上げ動作は大きなずれ力の原因に】

介護ベッドの背上げ動作は、ベッドの大きさが本人の身体の大きさに合っていない、または寝ている位置が正しくないと大きなずれ力を発生させます。ベッドのボトム(底板)構造に留意し、背上げをする前には必ず寝ている位置を「正しい位置」に変えてから背上げを行きましょう。なお、「正しい位置」というのは、ベッドの機種や寝ている人の体格によって異なるため、画一的な基準はありませんので、一人ひとりにあった位置を確認しましょう。

#### 【背上げ座位姿勢でもずれ力が生じる可能性がある】

背上げ動作時だけではなく長時間背上げ座位で過ごす場合も、膝上げ機能を使用するなどの姿勢保持対策を行わないと、ずれは発生します。「足もむくまないし、膝上げはいらぬ」ということで、背膝連動機能を解除した状態で使用する人がいますが、長時間背上げ座位を取る可能性がある場合には注意が必要です。

#### 【車いすの不適合は座っているだけでずれ力が生じる】

骨盤はその形状や身体の中での位置といった解剖学的・力学的な理由によって後傾しやすいという特徴があります。骨盤が後傾する時に坐骨が前方へ滑る力が働き、この動きによってずれ力が生じます。つまり、



ベッド上でのずれた姿勢

骨盤が後傾した瞬間にずれ力が生じるのです。しかし、この骨盤の後傾は車いすを正しくフィッティング(適合)することによって防ぐことができます。それは同時に車いすの不適合が骨盤後傾⇒坐骨の前滑り⇒ずっこけ姿勢というように、ずれ力の原因にもなるということを意味しています。

今回は、「仙骨部の褥瘡～介護ベッドを正しく使おう～」について解説します。

(出典：公益財団法人テクノエイド協会発行「福祉用具選定支援書」より改編)



車いす上でのずっこけ姿勢



**3000部から  
46000部に  
大幅増**

## 実践現場のための専門誌 「介護福祉士」（仮称）の 論文募集を開始しました。

この度、介護現場の研究促進のため社団法人日本介護福祉士会が発行する専門誌「介護福祉士」は、内容をリニューアルして、いままでの発行部数3000から46000部（予定）に大幅に増やし、会員の皆様に無料配布することといたしました。

この度リニューアル第1号に掲載する介護、福祉に関する論文を募集させていただきました。この雑誌の特徴は、介護福祉士としての専門性を高めるために論文発表の機会を増やすことと、掲載された論文などを全ての会員の皆様に読んでいただけるように無料で配布することです。

介護福祉士の専門性を向上させて行くには、臨床研究が必須です。日々多くの事例に対応されておられる皆様、日頃から取り組まれているケアを形にして全国の仲間に発信してみませんか。「やってみたかったけどきっかけがなかった」という臨床研究活動に取り組めていない方は、是非皆様もこれを機に研究活動を開始してみてください。ケアの根拠が分かれば日々のケアももっと楽しくなるはずですよ。また研究をおこなってきたが、発表する場がなかったという方、是非とも当誌にご応募頂きますようお願い致します。

この「実践現場のための専門誌「介護福祉士」（仮称）」が、臨床研究を普及させ、介護福祉士の専門性を構築し、ケアの質の向上の一助になることを祈念しております。

論文投稿をご希望の方は、執筆要領に基づいて原稿を作成し、投稿規程に従って下記の方法で投稿して下さい。皆様より多数のご応募お待ちしております。

### 申込方法

受付期間中に抄録と論文の原稿を3部印刷し、その原稿データをCDに収録して【日本介護福祉士会「介護福祉士編集委員会宛」】に送付して下さい。なお論文の作成に際しては、投稿規程及び執筆要領を厳守して下さい。※投稿規程、執筆要領は当会ホームページをご確認下さい。

### 論文投稿締切日

平成25年3月29日（金）必着

### 論文掲載の可否

編集委員会によって決定いたします。結果通知は、文書によってご案内いたします。

なお選考は実践に基づく研究を優先させていただきます。

### 発行部数

当会会員及び日本介護学会員に配布されます。約46000部を予定しております。

### 発刊予定日

平成25年8月

広告も同時募集中！詳しくは当会ホームページで！



**会員の皆様に  
無料配布**

## 近畿ブロック大会

1. 日時 平成25年2月1日(金)～2日(土)
2. 場所 なら100年会館 中ホール
3. テーマ 介護福祉士の未来にむけて  
～これからの介護福祉士のあり方～
4. 参加定員 300名
5. 参加対象者 社団法人日本介護福祉士会会員 その他一般
6. 参加費 会員/2,000円 非会員/5,000円 学生/無料
7. プログラム  
(2月1日)【基調講演】「介護福祉士と介護保険制度について」  
(仮題) 厚生労働省(予定)  
【記念講演】「介護と胃ろう」(仮題)  
世田谷区立芦花ホーム常勤医師 石飛幸三氏  
懇親会  
(2月2日)【講演】「施設経営から考える介護福祉のあり方」  
株式会社セーフセクション代表取締役 安部諒一氏  
来賓特別挨拶 奈良県知事 荒井正吾氏  
【介護福祉士の主張】「私の目指す介護福祉士」  
介護福祉士養成校学生・介護福祉士従事者職員
8. 問合わせ 一般社団法人奈良県介護福祉士会  
TEL.0744-35-5286 FAX.0744-35-5286

## 介護予防体操研修会受講者募集について

1. 日程 平成25年2月22日(金), 3月1日(金), 3月7日(木), 3月22日(金) 午前9時から午後4時まで
2. 場所 茨城県立健康プラザ 1階 体操室
3. 目的 (1) 介護福祉士が、介護対象者の日常生活動作の改善や可能な限りの心身機能の維持が図れるよう、介護予防体操の知識と技術を身につけること  
(2) 介護福祉士が、介護予防体操を通じて合理的な介助技術を習得し、業務に活用できるようにすること  
(3) 介護予防についての専門的な知識や技術を習得し、介護福祉士の業務能力の一層の向上を図ること
4. 募集人員 45名
5. 受講対象者 次のすべての条件を満たす方  
(1) 茨城県内の介護施設または病院に勤務する介護福祉士であること  
(2) 研修会の全日程に参加できること  
(3) 研修会で学んだ内容を実践することに対し、所属施設の理解と協力が得られること  
(4) 過去に「介護予防体操指導者講習会」「介護予防体操研修会」を受講していないこと
6. 受講料 10,000円(テキスト代含む)
7. 申込方法 往復はがきにてお申込み下さい
8. 申込期限 平成24年12月21日(金)必着  
※募集状況により、期限を延期することがございますので、詳しくは下記問合わせ先までお問い合わせ下さい。
9. 問合わせ 茨城県立健康プラザ 介護予防推進部  
TEL.029-243-4217 FAX.029-305-5711

## 都道府県介護福祉士会研修情報

### 京都府介護福祉士会

「障がい児者の虐待について」～障がい者虐待防止法の制定～

- 日程 平成25年2月23日(土) 13:30～16:00
- 場所 京都社会福祉会館 2階・第1会議室
- 講師 近畿医療福祉大学特任講師 中川順子氏  
経管栄養概論、経管栄養の実施手順、演習(たんの吸引実施手順・経管栄養実施手順)
- 申込締切 平成25年2月15日(金)
- 問合わせ 一般社団法人京都府介護福祉士会  
TEL.075-801-8060 FAX.075-801-8083

### 東京都介護福祉士会

平成24年度「ターミナルケア」研修

- 日程 平成25年3月16日(土) 10:00～16:30
- 場所 ティアラこうとう 大会議室
- 内容 午前「平穏死のすすめ」10:00～12:30  
講師 医師 石飛幸三氏  
午後「看取りケアについて」13:30～16:30  
講師 鎌田ケイ子氏
- 定員 80名
- 申込締切 平成25年3月8日(金)又は定員になり次第
- 参加料 会員 3,200円 非会員5,700円  
※キャンセル等による受講料の返金はいたしません。
- 問合わせ NPO法人 東京都介護福祉士会  
TEL.03-5624-2821 FAX.03-5624-9650

## 皆様からの投稿をお待ちしています

「介護の現場で輝いています！」  
「介護現場でのお悩み・疑問」  
「私のストレス解消法」「手作り介護用品」

## 会員の皆様へ

- 機関誌などの郵送物発送、研修会参加時の会員価格適用、書籍購入時の割引適用などのサービスは会費の納入が確認できた会員様のみ提供させていただいております。
- 婚姻等による姓の変更や、ご住所・ご連絡先、ご勤務先などの登録情報に変更があった際は、必ずご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- やむをえずご退会される場合は、所定の様式により退会申請を行ってください。
- 当会の会計年度は4月1日～3月31日までとなっております。ご退会される場合でも当該年度に在籍されている場合は会費をお支払いいただく必要がございますので、ご了承ください。
- ご不明点等ございましたら、日本介護福祉士会事務局までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。  
(電話03-3507-0784 E-mail:webmaster@jaccw.or.jp)
- 職場などお近くのお知り合いで会に未加入の方がいらっしゃる際は是非とも入会をおすすめいただきますようお願い申し上げます。

発行所/社団法人 日本介護福祉士会

事務局(〒105-0001)東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎ノ門ビル3F

電話(03)3507-0784 FAX(03)3507-8810 <http://www.jaccw.or.jp> 発行責任者・石橋真二

会員専用サイト「ケアアウェル」 <http://www.jaccw-carewel-site.net/>



(問合せ) (会員情報変更)

**中央法規 最新刊**

# 介護職員等 実務者研修テキスト (450時間研修)

全4巻

■B5判/ヨコ組み/本文2色刷り/並製/2012年9月発行

【編集】

黒澤貞夫(群馬医療福祉大学大学院教授) 石橋真二(社団法人日本介護福祉士会会長)  
上原千寿子(尾道福祉専門学校校長) 白井孝子(東京福祉専門学校教務主任)

◎1,800時間の介護福祉士養成課程のうち、実務経験のみでは習得できない知識・技術を中心に全4巻のシリーズで構成。

◎訪問介護員研修や介護職員基礎研修等を修了したことにより履修免除となる科目を「章単位」で設定。教えやすく学びやすい構成。

◎国が示す実務者研修の「教育に含むべき事項」「到達目標」に基づいて、介護福祉士に求められる知識と技術が習得できる。

◎介護保険法をはじめとする制度の解説や、医学的知識の中でも身体構造の解説等については、図表やイラストを多用して解説。



## 第1巻 人間と社会

定価2,100円(本体2,000円+税5%) 220頁  
ISBN978-4-8058-3700-9

- 主な目次
- 人間の尊厳と自立
  - 介護保険制度の理解
  - 社会のしくみの理解



## 第2巻 介護I

定価3,150円(本体3,000円+税5%) 316頁  
ISBN978-4-8058-3701-6

- 主な目次
- 介護福祉士と介護の考え方
  - コミュニケーション技術
  - 自立に向けた介護の方法
  - 利用者の心身の状況に応じた介護



## 第3巻 介護II

定価1,680円(本体1,600円+税5%) 194頁  
ISBN978-4-8058-3702-3

- 主な目次
- 介護過程の基礎的理解
  - 介護過程の展開の実際
  - 介護過程の展開の実践



## 第4巻 心とからだのしくみ

定価3,570円(本体3,400円+税5%) 346頁  
ISBN978-4-8058-3703-0

- 主な目次
- 老化に伴う心とからだの変化
  - 認知症の基礎的理解
  - 障害の基礎的理解
  - 介護に関連するからだのしくみ

### 実務者研修カリキュラムの「医療的ケア」に対応



## 介護職員等による 喀痰吸引・経管栄養研修テキスト

■社団法人全国訪問看護事業協会=編集  
●B5判・308頁 ●2012年5月発行  
●定価2,100円(本体2,000円+税5%) ISBN978-4-8058-3666-8

平成23年度に全国の都道府県で使用された「介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修」のテキストをより理解しやすいように再編集。カリキュラムに基づく基本知識の解説、実施の手順、自己評価票を収載。実務者研修、介護福祉士養成校のテキストに最適。

## スッキリ, ナットク 介護記録の減らし方

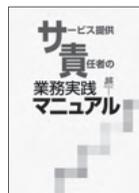
■阿部俊子=監修  
●B5判・168頁 ●2012年8月発行  
●定価1,680円(本体1,600円+税5%) ISBN978-4-8058-3691-0



介護現場は制度が複雑になり、記録が膨大になりがち。監査や訴訟に備える必要も…。本書は、いかにシンプルに、大切なポイントをはずさないで記録を行うかを解説したマニュアル。個人の記録術向上だけでなく、職場での記録量スリム化に役立つ一冊。

## サービス提供責任者の 業務実践マニュアル

■佐藤ちよみ=著  
●B5判・218頁 ●2012年5月発行  
●定価2,310円(本体2,200円+税5%) ISBN978-4-8058-3635-4



訪問介護の要として重要な役割を果たしているサービス提供責任者。本書は、サービス提供責任者がどんな心構えをもって、どのように仕事をしていけばよいのかを、詳細かつわかりやすく、根拠をもとに解説。帳票類の記載方法も充実しており、ただちに実務で活用できる一冊。

## 中田光彦流 発想転換の介護

■中田光彦=著  
●B5判・180頁 ●2012年7月発行  
●定価2,310円(本体2,200円+税5%) ISBN978-4-8058-3695-8



「つらい」「大変」が「楽しい」に変われば、介護はもっと楽になり、やりがいも出てくる。本書は、基本的な介護技術とともに、利用者と暮らしを楽しむためのヒントを、様々な場面ごとに解説。著者ならではの視点で介護の楽しさが学べる一冊。

### 介護専門職の総合情報誌

## おはよう21

●月刊・毎月27日発売・A5判・定価950円(税込)  
※増刊号年2回発行 定価1,250円(税込)

1年契約(計14冊)◇特価13,500円(税込・送料サービス)  
3年契約(計42冊)◇特価39,000円(税込・送料サービス)

専門職として、更なる熟練を目指す方のための総合専門誌。介護福祉士国家試験に関する最新情報や予想問題も紹介。介護現場の様々な実践・創意工夫の中から「介護とは何か」を問い続けます。



〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-4  
<http://www.chuohoki.co.jp/>

TEL 03-3379-3861  
FAX 03-3379-3820

インターネットでのご注文はe-booksへ!  
<http://www.chuohoki.jp/ebooks/main>



薄くて軽い最先端素材  
「ePTFEメンブレン」

ふとん生地  
のウラ面に  
貼っています!

# きれいな呼吸をするふとん

## ゴア®ふとん



ダニアレルギーや  
細菌を通さない!

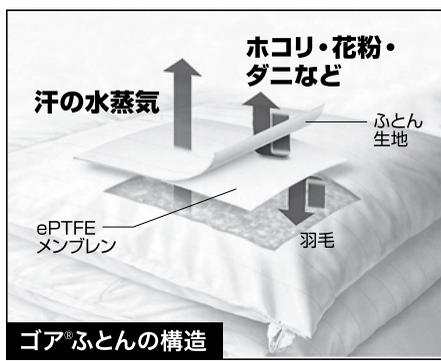
なのに



汗はぐんぐん放出!

ゴア®ふとんで  
眠ると・・・

- ムレにくく爽やか!
- とっても軽くてあたたか!
- ホコリの少ない環境に!
- 5年後も羽毛きれい!



汗の水蒸気 ↑

ホコリ・花粉・ダニなど ↓

ふとん生地

ePTFEメンブレン

羽毛

ゴア®ふとんの構造

**TUK 東洋羽毛工業株式会社**

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺2-26-5

www.toyoumo.co.jp

詳しくは営業社員・お客様相談室に  
お気軽にお問い合わせください

お客様相談室 ☎ **0120-410840**

ヨイオハヨオ

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

介護専門職情報誌

# 介護福祉

- ☆発行回数 年4回/夏・秋・冬・春号
- ☆購読料(年) 3,440円(4号分・送料含む)
- ☆申込み先 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル  
TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514

定期購読の申込方法 <http://www.sssc.or.jp/>

郵便振替口座 00120-5-138401

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

冬号(24年12月発行)  
特集「発達・行動障がいへの支援」

春号(25年3月発行)  
特集「介護の専門性とは何か」

## ソウェルクラブ ご加入のおすすめ

2012年10月から新しいサービス ソウェルクラブ“クラブオフ”が始まりました。これまでのサービスに加え、全国宿泊、レジャー、スポーツ、映画、カラオケ、グルメなど約75,000カ所の施設を割引価格で利用できます。

### ■職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康相談

### ■職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

### ■地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)

### ■職員の万一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

### ■職員の余暇活用のために

- 指定保養所・休暇村他 全国115カ所
- 会員制リゾート施設・ラフォーレ倶楽部他 全国239カ所
- 海外リフレッシュツアー
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

### ■職員の資質向上のために

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会

### ■職員の生活サポートのために

- 住宅ローン・特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険 損害保険

### ■各種情報提供

- 会員情報誌
- ホームページ

### ■加入できる職員

社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。

### ■掛金

掛金は職員一人あたり毎年度1万円です。

### ■加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル

**Sowel**  
CLUB

TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
<http://www.sowel.or.jp/>

社会福祉法人 福利厚生センター  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-3-11  
NBF小川町ビルディング10階

福祉で働く人の福利厚生を支援しています。

# ふれあいケア

2013年  
1月号  
12月20日発行

●定価1,020円(本体971円) ●毎月20日発行 ●B5判・80頁  
●送料300円(10冊以上・定期購読の場合は送料サービス)

介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアに関わる施設福祉や在宅福祉の最新情報や、先駆的な実践事例も紹介。

## 特集 2013年への施設長の願い、職員の思い

新たな年2013年を迎えるにあたり、あなたはどのような介護をしたいと思っていますか？ また介護の現場がどのような状態であればよいと願っていますか？ 施設長・介護職員などの皆さんから、夢や意気込みを聞かせていただきます。新たな年に力強く踏み出す、エネルギーとなりますように！

### 座談会 2013年私のめざす介護 施設長・職員の2013年に向けての思い

#### 好評連載企画

- 老い考 ●介護現場のリスクマネジメント ●パワーUP!訪問介護 ●ワンポイント介護技術
- Close Up福祉用具 ●実践!脳活性化リハビリテーション ●認知症ケア相談室 ●介護の味方・看護の見方
- 職場のあなたの物語 ●災害リスクマネジメント ほか

#### 定期購読申込み受付中!

【FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい】  
お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号、冊数」を忘れずにご記入下さい。  
バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい(品切れの際はご容赦下さい)。

●お申し込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ●

#### ■ 全社協出版部受注センター ■

受注 TEL: 049-257-1080 FAX: 049-257-3111  
専用 E-mail: zenshakyo-s@shakyo.or.jp

全社協

社会福祉 全国社会福祉協議会 出版部  
法人 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ

福祉の本出版目録

検索

▶▶ <http://www.fukushinohon.gr.jp>

## 介護職員処遇改善に関する調査を ホームページにて行います ぜひ、ご協力ください

このたび、日本介護福祉士会ホームページに、会員の専用サイトを新設しました。その会員専用サイトにおいて会としての初の試みであるインターネットを活用した調査を実施したいと思います。

本調査は、平成24年度の介護報酬改定により「介護職員処遇改善交付金」が「介護職員処遇改善加算」となったことで、介護福祉士にどのような影響を及ぼしたのかを検証し、今後の介護福祉士の処遇改善等に向けて、本会が政策提言をしていくための基礎資料とする大切な調査となります。

今までの郵送にての調査では、客体が限られておりますが、今回は会員全てを対象とした調査が可能となり、より介護福祉士の実態を正確に把握できると考えております。

調査は平成25年2月1日を予定しています。具体的な日程は日本介護福祉士会ホームページにて通知いたしますので、ぜひホームページをご確認ください。

会員専用サイト「ケアウエル」 <http://www.jaccw-carewel-site.net/>



(会員サイトQR)

# ニュース



The Japan Association of Certified Care Workers

**Vol.114**  
**2月15日号**  
平成25年(2013年)

# 社団法人 日本介護福祉士会

URL : <http://www.jaccw.or.jp/> E-mail : [webmaster@jaccw.or.jp](mailto:webmaster@jaccw.or.jp)

## 代議員選挙結果の公示について

平成25年2月15日  
社団法人日本介護福祉士会  
選挙管理委員会  
委員長 沖田 健太郎

平成24年10月15日に公示いたしました代議員選挙につきましては、立候補者が定数内であったため、代議員選出規則に基づき、投票が行われず立候補者及び推薦候補者が無投票による当選となりましたことを次ページのとおり公示いたします。

なお、任期は、平成25年4月1日から平成27年3月末までとなります。

(代議員名簿は次ページ参照)

## 平成25年度 年会費振替のお知らせ 5月27日に実施します。

○下記の日程でご指定の口座から年会費の自動振替を実施いたします。  
つきましては前日までに口座へのご入金をお願いいたします。

日 程：平成25年5月27日(月)  
対象者：口座登録されている継続会員のみなさま

※口座情報に関することや会費納入について不明な点がございましたら、恐れ入りますがご本人様より会員番号をご用意のうえ、日本介護福祉士会事務局までお問い合わせください。  
※この日程の引落に関する通知は、本記事をもって替えさせていただきますので、予めご了承ください。

### ●役員の動き● (12月1日～1月31日)

- |   |   |
|---|---|
| 12月 1日 長野県介護福祉士会20周年記念式典(石橋会長)                    | 12月23日～24日 実務者研修教員養成講習会(1回/全4回)(石橋会長、木村副会長)       |
| 12月 6日 正副会長会、第5回常任理事会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)           | 1月 5日～ 6日 認定介護福祉士(仮称)モデル研修(5回目)視察(内田副会長)          |
| 12月 7日 キャリアブレイン取材(石橋会長)                           | 1月 9日 第20回全国大会第1回実行委員会(木村副会長)                     |
| 12月 7日～ 8日 第19回全国大会inやまなし(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)       | 1月13日～14日 (仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修(8回/全10回)(内田副会長)  |
| 12月15日～16日 認定介護福祉士(仮称)モデル研修(4回目)視察(石橋会長、内田、木村副会長) | 1月17日 シルバー新報取材(石橋会長)                              |
| 12月20日 「障害者支援のための研修内容構築事業」第4回検討委員会(三浦副会長)         | 1月17日 正副会長会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)                     |
| 12月21日～22日 (仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修(7回/全10回)(内田副会長) | 1月21日 第42回社会保障審議会介護保険部会(田中名誉会長)                   |
|   | 1月23日 正副会長会、第1回組織強化委員会、第6回常任理事会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長) |



## 公益社団法人 日本介護福祉士会 平成25・26年度代議員名簿

選挙区	定数	氏名
北海道	5	神門紀之、郡司諭、福島義典、間所剛、八巻貴穂
青森県	4	中川れい子、中村純子、安ヶ平学、山内良治
岩手県	3	佐藤晋作、橋本律子、古川栄美子
宮城県	3	今出川武志、雫石理枝、末永久美子
秋田県	2	大滝和枝、佐々木久美子
山形県	2	井田智、坂野晴美
福島県	2	柿沼充、関根誠一
茨城県	2	糟谷千枝子、沼田正人
栃木県	3	岩原真、谷口美智、長山ミサエ
群馬県	4	攪上ゆき江、木村鈴子、小池昭雅、佐藤智昭
埼玉県	3	荒川由美子、清水剛、富原恒子
千葉県	4	野口涉子、松下やえ子、村越洋子、山本英清
東京都	6	阿久津まち子、河内律子、小峰良子、佐々木宰、白井幸久、玉土靖
神奈川県	6	阿部良子、梅田滋、熊谷真理子、田島セイ子、平野浩子、丸山夕工子
新潟県	9	浅野直市、大越幸栄、大塚トシ子、倉茂浩司、計良直美、出羽秀輝、 中村和弘、宮崎則男、吉田サチ子
富山県	10	加藤まゆみ、須藤郁恵、土後富士子、中村かおる、中村千春、 萩加奈絵、萩中博幸、福野友美、古川雅子、水島誠
石川県	6	愛宕悦子、逢坂恵、北野正敏、島野鈴江、中野朋和、端久美
福井県	2	松見静男、山口孝俊
山梨県	3	甘利俊明、嵯峨和子、清水たまき
長野県	15	北村加保里、栗林まつ江、小林誠、小林真弓、小林美恵、 代田百合子、戸崎洋子、豊田まさえ、細川安子、松本悟、 三澤ちと江、桃根千恵、森泉衣子、柳澤玉枝、度会多恵子
岐阜県	2	浅井タツ子、奥村昇
静岡県	8	飯田泰子、及川ゆりこ、小林彰宏、鈴木直江、中島進也、前田万正、 山畑晋也、吉山初代

選挙区	定数	氏名
愛知県	6	岡田ヒロミ、奥原文香、大羽啓允、藤森千恵子、森本シズエ、守谷晴子
三重県	3	柴原緑、西村扶美子、野田智美
滋賀県	4	高島聡、田中清隆、山中一矢、吉田和浩
京都府	5	浅田ゆかり、植野幸生、神月和枝、杉原優子、杉山久美
大阪府	11	荒木啓元、岡部友規子、鎌田勝二、櫻井信吾、庄司亘、富島望、 永吉輝幸、旗手真也、法橋幸子、矢部賢太、山ヶ城和男
兵庫県	6	安達眞理子、稲積初美、北澤邦子、小西和弘、福井誠人、古川純
奈良県	2	西村澄子、西本房乃
和歌山県	2	井端智子、嶋田直美
鳥取県	3	大塚一史、小谷章子、西田ひろみ
島根県	2	稲田政雄、新田めぐみ
岡山県	6	安達悦子、齋藤七七重、神寶誠子、田中美保子、田淵美野里、湯川美帆子
広島県	7	佐伯晋平、重岡秀和、中村美喜子、長谷川佳子、藤川守、舛木明子、吉岡俊昭
山口県	10	飴屋貴子、伊木康人、小川文子、河本由美、橘美佐子、鳥居紀子、 瀨田のり子、藤本真樹、森田宏子、山内朱美
徳島県	2	河野和代、中野順也
香川県	5	大坪稔、鴨田洋子、北池健三、谷崎和美、三井早苗
愛媛県	5	浅田稔、藤田英樹、松本雄一、村上和也、山本将宏
高知県	3	畑中基、山中由美子、吉永沙織
福岡県	14	井ノ口理恵、黒木翔一郎、境健太郎、猿渡久実子、杉本勢津子、棚町康子、中野千恵、 西島勝也、泰美喜子、前田和彦、三角和子、三樹佳孝、毛利満則、安田幸子
佐賀県	3	内島久子、野田喜則、松尾貴子
長崎県	4	有村俊男、櫻川恭子、福嶋孝紀、二見都世
熊本県	3	石本淳也、今村文典、本田裕志
大分県	7	河野美紀、古城奈緒美、柴田智美、中田美保、難波悦与、堀直美、矢野美智子
宮崎県	7	飯森圭一、井上里美、菊池優子、木場圭一、坂元三枝子、手塚美智子、春田健一
鹿児島県	5	川原英範、堂脇聖子、中森美恵子、原田啓介、水溜正子
沖縄県	2	福井彰雄、山川勇
合計	231	(五十音順、敬称略)

## リーダー研修会

「リーダー研修会(講師養成特別講座)」が8月3日～8月5日(東京)、12月15日～12月17日(大阪)に行われた。

本研修は昨年度まで行われていた、介護福祉士初任者研修、ファーストステップ研修、サービス提供責任者研修講師養成研修の前期部分に該当し、主に教授法に特化した研修となっている。

現に指導的立場、または今後指導的立場になる介護福祉士を対象として、指導者又は講師としての基礎的事項の修得を目的とし、全国各地から、各都道府県介護福祉士会会長の推薦を受けた両会場合わせ99名が、3日間にわたる研修を受講した。

東京会場のオリエンテーションでは内田千恵子副会長より、日本介護福祉士会が介護福祉士初任者研修、ファーストステップ研修、サービス提供責任者研修を行うにあたって、今回養成する講師の方々による介護福祉士の卒後教育が、資質の向上を担保するのにどれだけ必要かということ、そしてそれが介護福祉士の将来にも関わっていくだけの重要性を持っていることなどが説明された。

研修3日間の講義内容は次のとおり。

- 1日目【講義】なぜ講師養成なのか【講義】実務者教育とは【講義・演習】受講者の理解
- 2日目【講義・演習】受講生とのコミュニケーション技法【講義・演習】エンパワメントのしくみ
- 3日目【講義】職種間連携の実践的展開【講義・演習】問題解決のための思考法
- 【講義】教育方法論【講義・演習】シラバス、レジュメとは

なお、本研修会は次年度以降も実施の予定。

### 会員専用サイト「ケアウェル」のご案内

当会では、会員様向けの情報発信強化を図るため、会員の皆様のための専用サイト「ケアウェル」を設置いたしました。会員様にとって有益なツールとなるよう注力して参りたいと思います。メールアドレスを登録して頂ければ、指定のアドレス宛にケアウェルニュースを配信させていただきます。また16面に掲載しているような様々な実態調査も行っておりますので、是非ともご登録頂きますようお願い致します。

皆様方より配信内容にご要望ご希望などございましたら、広くご意見賜れば幸いです。ご意見ご感想はこちらへwebmaster@jaccw.or.jp

★使用環境：PC、スマートフォン、従来の携帯電話。

★機能：ケアウェルニュース配信、登録情報、研修履歴の閲覧、代議員選挙システム等。

★アドレス：<http://www.jaccw-carewel-site.net/> 携帯電話からはQRコードをご利用下さい。

★ログイン方法：上のアドレスにアクセスし、IDとパスワードを入力してください。

※ログイン方法がわからない場合は事務局までお問い合わせください。



# 平成25年度介護福祉士海外研修・調査 募集要項

公益財団法人社会福祉振興・試験センター（以下「センター」という。）では毎年、介護業務等を行っている三福祉士の海外研修・調査を行っています。日本介護福祉士会（以下「本会」という。）では、その中の介護福祉士海外研修・調査の申込みを受け付けています。

## ●実施主体

公益財団法人社会福祉振興・試験センター

## ●研修・調査の実施方法

施設又は在宅における介護の実態について、福祉先進国（昨年はスウェーデン・バルベイ市）で、現地のケアワーカーと高齢者介護の実地体験研修を行う。

## ●派遣対象者（10名）

- (1) 平成25年12月1日現在において、つぎのいずれにも該当する者
  - ア 現に社会福祉施設等において、介護業務に従事して3年以上の者
  - イ 介護福祉士の資格取得後3年以上の者
  - ウ 25歳以上55歳未満の者
- (2) 研修・調査終了後も引き続き介護業務に従事する意志を有する者
- (3) 心身ともに健康で、協調性があり、研修期間中団体行動ができる者
- (4) 過去において、センターの海外研修に参加したことのない者

※本会の会員であるか否かは問わない

## ●研修・調査実施期間

平成25年8月31日（土）～9月14日（土）

## ●研修・調査派遣国

福祉先進国（北欧）を予定

## ●研修費用

原則、センターが全額負担

## ●オリエンテーション

平成25年7月19日（金）実施

（派遣決定者はこれに出席することを条件とする）

## ●応募方法（締切：平成25年5月7日（火）必着）

参加希望者は、次に掲げる書類を、本会を經由してセンターに提出するものとする。

- (1) 「介護福祉士海外研修・調査参加申込書」（所定のもの）
- (2) 履歴書（写真添付のこと）
- (3) 健康診断書（1年以内の定期健康診断書等のコピー可）
- (4) 小論文（1,200字程度、横書き、A4サイズたて用紙を使用すること。海外研修に参加したい目的及び理由を明記すること。）

## ●派遣者の選考方法

センターにおいて書類審査により決定し、選考結果は6月下旬に通知

## ●研修・調査報告書

派遣者は、報告書を提出するものとする

※提出書類は一切返却しないものとする。

※その他詳細、申込用紙のダウンロードは本会のホームページをご覧ください。



24年度派遣団員と研修施設スタッフ

## 第20回全国大会開催県



# とっとり

シリーズ1

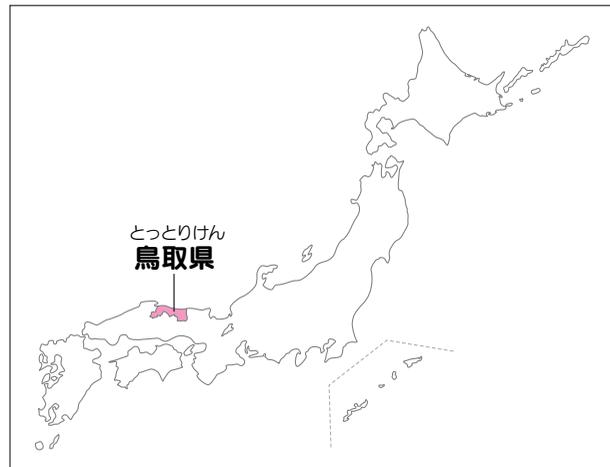


第19回全国大会inやまなしでは、全国のみなさまに次回開催県のPRを大変盛り上げていただきありがとうございました。ゆるキャラたちも大喜びでした。今年は、第20回という記念すべき大会をこの神話の地、山陰で開催できることをとてもうれしく思っております。どうぞ、みなさまお誘い合わせのうえお越しください。スタッフ一同お待ちしております。

## ◆鳥取県ってどこにあるの？

鳥取県は、中国地方の北東にあり、北は日本海に面し、東は兵庫県、南は岡山県と広島県、西は島根県と隣り合っています。南北に約20～50キロメートル、東西に約120キロメートルの細長い形をしていて、美しい山や海に囲まれ、四季折々の自然を楽しむことができます。

気象の特徴としては、梅雨と台風のころに雨が多く降り、冬には雪が降りつもらりますが、気温は比較的暖かです。



## ◆鳥取県のシンボルは？

あるときは豪快に、あるときはおだやかに表情を変える鳥取砂丘。風が吹くたびに変わる風紋や砂簾（されん）は、まさに自然の作り出す芸術です。

特に早朝、まだ誰も足を踏み入れていない砂丘の一面に広がる風紋は、圧倒的なスケールと美しさで迫ってきます。日本海に沈む夕日もすばらしく、刻々と変わっていく空と海の微妙な色合いが絶景です。

## ◆鳥取県のう～まいもんは？

冬の味覚の王様、松葉がにです。成長した雄のズワイガニのことを山陰地方ではこう呼びます。漁期は11月から3月までで、その上品な甘みと潮のかおりは究極の逸品です。茹でてもしゃぶしゃぶにしても美味しいですが、もっとも香りを楽しむには炭火で焼いて食べると最高です。



## 第11回日本介護学会開催県

## 山形県①

一般社団法人 山形県介護福祉士会

介護福祉士の全国規模の大会が開催されるのは初めての山形県の紹介をします。4回シリーズでの紹介・連載との事でしたので、今回は山形の基本的な観光などについて紹介します。皆様はこれから記載する内容のいくつをご存じでしょうか？

まず、なんといっても「サクランボ」。山形の佐藤錦はサクランボのブランドとしては最高のランクです。初競りでは、1粒がなんと2,000円にもなる高級品として有名です。さらに、果物で言うなれば「天童のラフランス」「尾花沢スイカ」等たくさんの美味しいものがそろっています。また、全国の人口比率で何と第1位を獲得するほどのラーメン好きがそろっています。ぜひ県内各地のラーメンを食べてみてください。

観光地としては、温泉を欠かすことはできません。山形の全市町村に温泉があります。最も有名なのは樹氷で知られる「蔵王温泉」。たびたびテレビの撮影で使われる「銀山温泉」。将棋で有名な「天童温泉」。日本海に面した「湯の浜温泉」「あつみ温泉」等、全国でも有数の温泉地です。

山並みがきれいで、秋田県との境には「鳥海山」。県中央に「月山」。新潟県との境には「大朝日山」を代表とする朝日連峰がそびえています。また、月山・湯殿山・羽黒山の3つ合わせて出羽三山といい、山伏の修験の地としても有名です。

山形市から近く、観光客が多く集まる寺「立石寺(山寺)」があります。貞観2年(860年)に開いた天台宗のお山・宝珠山立石寺(ほうじゅさんりっしゃくじ)は、山寺と呼ばれ国指定重要文化財の根元中堂(こんぼんちゅうどう)があります。松尾芭蕉がこの地で詠んだ「閑(しずけ)さや岩にしみ入る蟬の声」はあまりにも有名です。登山口から登る階段1050段は圧巻です。1段登るごとに煩惱が1つ消えて行くと伝えられています。

最後に、文学に興味のある方は、「藤沢周平文学」に触れてみるのも良いと思います。開催会場からは少し離れますが、藤沢周平生誕の地が山形県の鶴岡市というところ。最近では、映画「おくりびと」の撮影の地としても知られるようになりました。

次回の紹介では、地元の人知っている秘密の品などを紹介しようと思います。たくさんの方が山形に来県していただくよう、心よりお待ちしております。



## 日本介護学会 研究発表募集要綱

第11回日本介護学会で発表する研究を募集いたします。受付期間内に、必要書類を所定の方法によりお申し込み下さい。多数のご応募をお待ちしております。

### 【第11回日本介護学会】

日時 平成25年10月11日(金)～12日(土)  
会場 山形テルサ(山形市双葉町1-2-3)  
メインテーマ 「認知症ケア～認知症をささえる社会とは～」

### 【募集する研究発表テーマ】

認知症ケア       介護人材の育成       介護実践の改善

### 【申込方法】

次頁「研究発表に際しての留意事項」をご覧の上、受付期間中に提出物の全てを電子媒体で研究発表申込フォームからお申し込みいただくか、またはCDに収録して事務局宛に郵送して下さい。期間外及び下記申込方法以外は受付できませんのでご了承下さい。

研究発表申込フォームURL <http://www.jaccw.or.jp/gakkai/gakkaironbun.html>  
 CDの郵送先 〒105-0001東京都港区虎ノ門1-22-13西勘虎ノ門ビル3F  
社団法人日本介護福祉士会事務局 宛

### 【申込受付期間】

平成25年4月1日(月)～5月31日(金)

### 【提出物】

研究発表申込書・共同発表者登録書       抄録

### 【実践現場のための専門誌「介護福祉士」(仮称)への掲載について】(詳細は14頁をご参照下さい)

発表した研究を、当会が発刊する専門誌へ投稿することができます。ご希望の方は、募集要綱、投稿規程、執筆規程を厳守のうえお申し込み下さい。  
 専門誌に掲載する論文は、別に設置する編集委員会によって決定致します。  
※詳細、ご不明な点は日本介護学会事務局までお問い合わせ下さい。

### 【お問い合わせ先】

社団法人日本介護福祉士会  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎ノ門ビル3階  
TEL: 03-3507-0784  
FAX: 03-3507-8810  
Email: webmaster@jaccw.or.jp



モバイルサイトからお問い合わせ

## 日本介護学会 研究発表に際しての留意事項

- 研究発表者は、日本介護福祉士会または日本介護学会会員であることが条件です。非会員の方は、入会の手続きをお願いいたします。（日本介護福祉士会会員の方は、自動的に日本介護学会会員となります。介護福祉士国家資格を有する方は、演題申込締切日までに日本介護福祉士会への入会手続きを完了して下さい。また介護福祉士国家資格を有さない方は、演題申込締切日までに日本介護学会への入会手続きを完了して下さい。）
- 共同研究者は、以下の条件を満たしていることが条件です。
  - ①介護福祉士国家資格を有する方は、日本介護福祉士会会員であること
  - ②日本介護学会会員であること
  - ③上記以外の方は研究発表者、共同研究者を合わせた人数の半数未満（例：人数が6名の場合、2名）までであること
- 発表者は「第11回日本介護学会」の参加申込が必須です。別途必ず参加申込を行って下さい。
- 複数人で発表される場合、代表者のみ「研究発表申込書」をご記入いただき、その他の方は「共同研究者登録書」をご提出下さい。（連絡は発表申込書に記載されている方にさせていただきます。）
- 発表するテーマは、要綱記載のものから選択し、申込書に必ず明記して下さい。
- 抄録は所定のテンプレートを使用して、A4用紙2枚にまとめて下さい。テンプレートは日本介護福祉士会ホームページ（<http://www.jaccw.or.jp>）からダウンロードして下さい。
- 発表の採否は、投稿された抄録の内容が介護学会に相応しい内容であるかについて、複数の学会委員による査読で判断し、結果は研究発表申込締切日から1ヶ月以内に文書にて通知いたします。採用された方は当日発表用の資料（パワーポイントデータなど）のご準備をお願いします。
- 発表は実践に基づく研究を優先させていただきます。
- 事例などを使用する際は、個人情報保護及び倫理上の問題を事前に解決しておいて下さい。これらの問題に関して、当学会は一切の責を負いません。  
※詳細、ご不明な点は日本介護学会事務局までお問い合わせ下さい。

### 【お問い合わせ先】

社団法人日本介護福祉士会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎ノ門ビル3階

TEL：03-3507-0784 FAX：03-3507-8810

Email：webmaster@jaccw.or.jp



モバイルサイトからお問い合わせ

支部  
リレー

都道府県介護福祉士会 情報交流の泉⑩ ◆神奈川県

お陰さまで設立20年 公益社団法人に移行!

こんにちは、神奈川県介護福祉士会です!

私たち神奈川県介護福祉士会は、1993年10月26日に田口久美子初代会長の呼び掛けで、県内の介護福祉士213名が集い、神奈川県老人ホーム協会(現神奈川県高齢者福祉施設協議会)の中に発足、広報誌『ほほえみ』も創刊しました。

1996年に野上現会長にバトンが渡され、会の活動は更に活発化し、新しい事業も増え、介護保険制度施行など社会的な背景もあり、介護福祉士会の知名度は県内にも定着してきました。事務所も1999年に老人ホーム協会を単立ち、神奈川県社会福祉会館の3階に社会福祉士会と共同の事務所を構え独立しました。

2008年12月1日には、「一般社団法人神奈川県介護福祉士会」を設立、2010年5月に現事務所に移転しました。新事務所は、「会員のみなさんが気軽に立ち寄り、交流できる拠点になれば」と30名程度の研修会を開催できるスペースがあります。

昨年2012年10月4日「公益社団法人」の登記をし、10月26日には、設立20周年を迎えて、記念の祝賀会

を開催しました。会場は1927年開業の横浜山下公園前の由緒ある「ホテルニューグランド」。出席者は黒岩神奈川県知事をはじめ、関係団体の代表者等60名のご来賓と今まで会を支えてきた会員90名です。横浜港の夜景を眺め、フルコースディナーを楽しみながら優雅で和やかなひと時を過ごすことが出来ました。

お陰様で、神奈川県介護福祉士会は設立20年、公益社団法人として、新成人の自覚で「神奈川県民の介護福祉の推進に一層の責任を担う会」を目指して新出発をしました。

神奈川県内 ぐるっと一周

人口は900万人(2012年12月1日現在)で東京都に次ぐ全国第2位。横浜市、川崎市、相模原市と3つの政令指定都市が県内にあるのは、全国でも神奈川県だけ。神奈川県は国内のみならず、海外からの観光客にも人気の見所が満載!

今回は福岡県へバトンタッチ!

箱根(箱根、芦ノ湖)

お正月の伝統「箱根駅伝」、往路のクライマックス箱根の山登り。硫黄の香りに包まれて温泉巡りもよし、大自然の中で美術館巡りをするもよし。初夏には満開の紫陽花の中を箱根登山鉄道が走ります。



JAXA(相模原)

世界と日本の宇宙科学技術の情報交換拠点が神奈川に! JAXA相模原キャンパスは1989年4月に開設され、宇宙科学研究の拠点として宇宙科学の研究・開発をリードしています。

みなとみらい21(横浜)

横浜ランドマークタワーや横浜赤レンガ倉庫、横浜ベイブリッジなどで有名なみなとみらい21地区。ウォーターフロント都市再開発により、街と自然が美しく調和するように設計されている。映画やドラマのロケ地になることもしばしば。



大磯  
日本初の海水浴場

横浜馬車道  
日本で初めてアイスクリームを販売

小田原城  
国史跡指定「小田原城跡」  
広大な外郭(9km)を有す



横須賀・三浦  
大根の全国市町村別収穫量「日本一!」

湘南(鎌倉、江ノ島、茅ヶ崎)

神社仏閣、花、グルメ...、古都鎌倉を巡る楽しみも人それぞれ。サーファーを横目に湘南海岸を西へ向かえば、江ノ島へ。そして、サザンオールスターズのふるさと、湘南茅ヶ崎。



# 介護現場におけるQ&A

## ～法律編～（送迎の際の事故）



自立歩行が可能なAさん（78歳）は、Y医院のデイケア室へ通院し、Y医院の雇用する介護福祉士であるBさんの運転する送迎バスにより自宅マンション前まで送り届けられました（Bさんの他に介護職員の同行はありませんでした）。介護福祉士Bさんは、Aさんが送迎バスから路上に降りるための踏み台を出してAさんをそのバスから降ろしました（降ろした場所は一部未舗装の道路上でした）。その後、介護福祉士Bさんがその踏み台を片づけるなどの作業をしている間に、Aさんは、路上で転倒し、右大腿部けい部骨折の傷害を負ってしまいました。

Aさんが 傷害を負ったことについて、Y医院はどのような責任を負いますか。



### （1）回答

Y医院は、債務不履行（契約上の義務の不履行）に基づく損害賠償責任を負います。

### （2）解説

Y医院とAさんは、Y医院においてデイケアを受けるとともに、その通院にあたってY医院の送迎バスによる送迎を受けるという、診療契約と送迎契約が一体となった契約を締結していたと考えることができます。

そして、Y医院は、この契約に付随する信義則上の義務として、Aさんを送迎するに際し、Aさんの生命及び身体の安全を確保すべき義務（安全確保義務）を負担していたものと考えられます。

上記の質問と類似の裁判例（H15.3.20東京地判）では、①Aさんの身体的状況（自立歩行は可能であったが、78歳という高齢であったことに加えて貧血状態にあり転倒しやすい状況であったこと。）②降車場所の状況（一部未舗装のために足場の良い場所とはいえ、転倒を予見することが可能だったこと。）に着目し、安全確保義務の一環としてAさんの送迎については常時Aさんから目を離さずにいることが可能となる態勢をとるべき義務があったと認定しています。Y医院は、介護福祉士Bさんに対して、送迎バスが停車してAさんが移動する際にAさんから目を離さないように指導するか、それが困難であるならば、送迎バスに配置する職員を1名増員するなどして、Aさんから常時目を離さずにいることが可能となる態勢をとることができ、こうした措置をとることによって、転倒事故を防ぐことができたはずでした。

しかし、Y医院はこうした措置をとることを怠り（安全確保義務違反）、転倒事故を防ぐことができず、Aさんに、右大腿部けい部骨折の傷害を生じさせました。したがって、契約上の義務の不履行（債務不履行）があったとして損害賠償責任を負うことになるのです。

\*次回は、上記質問の事例において、Y医院が負う損害賠償責任の具体的な内容についてお話しさせていただきます。

連載

10

## 介護の現場で輝いています！

## 笑顔でいこう

一般社団法人 山梨県介護福祉士会 会員 青柳 久実

私は訪問介護員2級課程修了後、ホームヘルパーをしながら介護福祉士を取得、現在は在宅介護6年目です。趣味は読書、ドライブ、ラジオ体操、いつも笑顔を心がけています。明るい笑顔は連鎖反応で周囲も和み、良い関係が生まれると思います。その中でご利用者の言葉、表情、生活状況を観察し、よい介護ができたかと思っています。

ある日、ご利用者が「トイレに間に合わない時がある」と小さい声で話されました。原因と思われる病状から尿とりパットの他に術がないことを確認し、その説明をしました。排泄機能の低下は「恥かしい事」と思われがちですが、ご利用者から「もっと年寄りができるものだと思っていた」とニコニコされながら答えてくれました。このような会話ができるのも、日頃から状態の変化を予測し、「最近寒いし、膝の具合も…トイレは間に合っていますか」等、ご利用者に寄り添い、答えやすい質問を行い、笑顔で相談しやすい関係を築いてきたからだと思います。御年85歳の女性、気持ちはまだまだ少女です。ご利用者にとって不安な体の老化、その方の未来と一緒に考え、いつも笑顔で温かい支援をしたいと思っています。

また、在宅の軽介護者でも、訪問時、仰向けに倒れていたり、活動中、急に心肺停止になったり、と予測不可能な事が起こります。緊急時にも冷静な判断が出来るよう日々の活動から学び、専門性を高めていきたいです。

2012年度介護保険制度改正により生活援助の時間区分が変更されました。限られた時間の中でより良いケアを、ご利用者とご家族が慣れ親しんだ自宅で安心して暮らせるよう、これからも笑顔で歩いていきたいと思っています。



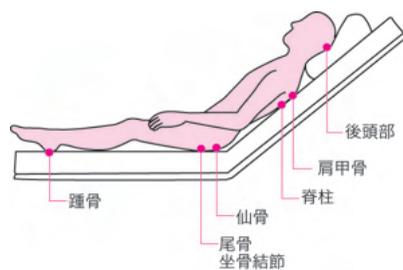
# 福祉用具を活用しよう

公益財団法人テクノエイド協会

## Part 2 床ずれ —仕組みを知って防ごう—

今回は、「仙骨部の床ずれ～介護ベッドを正しく使おう～」について解説します。

背上げ機能を有するベッドを利用している場合、誤った使い方によって仙骨部に「ずれ力」が発生し、床ずれを作ってしまう可能性があります。まず現在のベッドの使い方を確認し、床ずれの危険性のある使い方を理解し、正しい使い方を習得しましょう。



ベッド上（長座位）での床ずれ好発部位

### ■背上げる時に本人は「正しい位置」に寝ていますか？

一般的には足側寄りに寝ていることが多いといえます。この状態で背上げをすると、腹部への圧迫の原因となる仙骨部の圧迫が強くなります。また、この姿勢を維持していると坐骨が前に滑ったいわゆる「ずっこけ姿勢」ですから、仙骨部周辺に上半身体重が集中し、圧迫が強くなります。

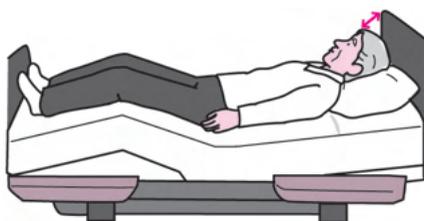
この対策としては、ベッドの背上げの回転軸と本人の股関節の位置を合わせることが有効です。

### ■背上げ時に足元側へ臀部が滑り落ちてはいませんか？

背だけ上げると身体は足側に滑ります。背を上げる前にベッドの膝を上げましょう。

膝上げ→背上げの順番で動かすことのできないベッドの場合は、ベッドを変更するか、膝下にポジショニングクッションを入れるなどの工夫をしましょう。

寝ている位置が頭側に片寄りすぎていると、膝を上げてから背を上げて身体が足側に滑ります。背を上げる時には正確な位置に寝ることがとても大切です。



適切な位置はヘッドボードから頭までの距離で覚えると便利

### ■ベッド上で寝位置を修正するときに、本人を引きずっていませんか？

本人の不快感や介護者の腰痛予防のためにもスライディングシートなどを使用して、寝位置調整の摩擦やずれ力を軽減しましょう。



スライディングシートを利用した寝位置修正（上下）



スライディングシートを利用した寝位置修正（左右）

### ■背上げ・背下げをした後、本人をそのままにしていますか？

ベッドの背を上下すると、身体とマットレスの間にずれが生じます。身体に残っているずれ力を取り除きましょう。



滑る布で背中をさする



足抜き

次回は、「仙骨部の床ずれ～圧を分散（減圧）しよう～」について解説します。

（出典：公益財団法人テクノエイド協会発行「福祉用具選定支援書」より改編）

## 実践現場のための専門誌 「介護福祉士」(仮称)の論文募集中!!

実践現場のための専門誌「介護福祉士」(仮称)のリニューアル第1号に掲載する論文投稿を募集しています。

当専門誌は発行部数3,000部から46,000部(予定)に大幅に増やし、会員の皆様に無料配布されます。日々の研究結果を全国の介護福祉士に報告しましょう!皆様より多数のご応募お待ちしております。

### ●申込方法

受付期間中に抄録と論文の原稿を3部印刷し、その原稿データをCDに収録して【日本介護福祉士会「介護福祉士編集委員会」宛】に送付してください。なお論文の作成に際しては、投稿規程及び執筆要領を厳守してください。※投稿規程、執筆要領は当会ホームページをご確認下さい。

### ●論文投稿締切日

平成25年3月29日(金)必着

### ●論文掲載の可否

編集委員会によって決定いたします。結果通知は、文書によってご案内いたします。  
なお選考は実践に基づく研究を優先させていただきます。

### ●発行部数

当会会員及び日本介護学会員に配布されます。約46,000部を予定しております。

### ●発刊予定日

平成25年8月

## 障害者支援のためのモデル研修 開催要綱

1. 研修目的 障害者支援の専門性を有する介護福祉士として、職務にあたるための基本姿勢や事業所・施設内及び関係機関、団体と連携を図りながら質の高い支援を提供するための基礎的な知識・技術等を習得すること。
2. 日 時 平成25年3月23日(土)～24日(日)
3. 場 所 フクラシア東京ステーション6G  
東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル6階
4. プログラム 「介護福祉士と障害者支援制度」  
「障害者支援における自立支援」  
「利用者主体のアセスメント」  
「事例検討《支援方針の作成演習》」  
「障害者支援現場における権利擁護」  
「障害者支援と地域連携」  
「介護過程の展開と個別支援計画の作成」  
「事例検討《個別支援計画作成演習》」  
「障害者支援のための研修/2日間のまとめ」
5. 参加定員 約40名(希望者多数の場合は、先着順)
6. 参加費用 会員/5,000円 非会員/10,000円  
(ともに資料代、報告書発送料を含む)  
※宿泊はご自身でご手配いただきますようお願いいたします。
7. 申込締切 平成25年3月8日 必着
8. 問い合わせ 社団法人日本介護福祉士会事務局  
※お申し込みはHPをご確認下さい。

## 都道府県介護福祉士会研修情報

### 東京都介護福祉士会

#### 高齢者に多くみられる疾患を学ぶ研修会

- 日程 平成25年4月20日(土)9:30～16:30  
受付9:00～
- 場所 北とびあ7階 第2研修室
- 講師 医療法人社団プラタナス  
桜新町アーバンクリニック  
院長 遠矢 純一郎氏
- 定員 80名
- 受講料 会員 3,200円 非会員5,700円  
※キャンセル等による受講料の返金はいたしません。
- 申込締切 平成25年4月12日(金)又は定員になり次第
- 問合わせ NPO法人 東京都介護福祉士会  
TEL.03-5624-2821 FAX.03-5624-9650

### 福井県介護福祉士会

#### 「東日本大震災からの命のバトン」

#### ～災害支援から考える介護の専門性と連携～

- 日程 平成25年3月16日(土)13:30～16:30
- 場所 福井県立大学 福井キャンパス 交流センター 1階講堂
- 講師 教育講演  
国立長寿医療センター 遠藤 英俊先生  
報告  
岩手県介護福祉士会 萬谷 健太氏、鳩岡 貴士氏
- 定員 300名
- 参加料 会員 1,000円 非会員1,500円
- 申込 当日受付 可(事前メール必要)
- 問合わせ 一般社団法人 福井県介護福祉士会  
TEL.0776-63-5868 FAX.0776-63-5869

## 介護福祉士資格を持つケアマネジャー のためのケアマネジメント講座 ～医療ニーズのある利用者の支援～

1. 日 時 平成25年3月27日(水)10:00～、  
28日(木)17:00
2. 場 所 T K P 梅田ビジネスセンター 13B
3. 対象者 ①介護福祉士資格を持つ現任の介護支援専門員  
②介護福祉士資格保持者であって、今後介護支援専門員の資格取得を予定する者
4. 受講定員 約50名
5. 受講料 会員/10,000円 /その他一般15,000円
6. 問合わせ 社団法人日本介護福祉士会事務局  
※お申し込みはHPをご確認下さい。

## 皆様からの投稿をお待ちしています

採用された方にはもちろん1,000円分のクオカードを差し上げます!  
詳しくはホームページをご覧ください。

- ・介護の現場で輝いています!
- ・介護現場でのお悩み・疑問
- ・私のストレス解消法
- ・手作り介護用品

発行所/社団法人 日本介護福祉士会

事務局(〒105-0001)東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎ノ門ビル3F

電話(03)3507-0784 FAX(03)3507-8810 <http://www.jaccw.or.jp> 発行責任者・石橋真二

会員専用サイト「ケアアウェル」 <http://www.jaccw-carewel-site.net/>



(問合せ)



(会員専用サイト  
「ケアアウェル」)

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

介護専門職情報誌

# 介護福祉

- ☆毎年3月・6月・9月・12月の25日発行
- ☆定価860円(本体819円/送料含む)  
年間購読料3,440円
- ☆申込先 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル  
TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514

定期購読の申込方法 <http://www.sssc.or.jp/>

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

冬号(24年12月発行)  
特集「発達・行動障がいへの支援」

春号(25年3月発行)  
特集「介護の専門性とは何か」

## ソウェルクラブ ご加入のおすすめ

2012年10月から新しいサービス ソウェルクラブ“クラブオフ”が始まりました。これまでのサービスに加え、全国宿泊、レジャー、スポーツ、映画、カラオケ、グルメなど約75,000カ所の施設を割引価格で利用できます。

### ■職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康相談

### ■職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

### ■地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)

### ■職員の万一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

### ■職員の余暇活用のために

- 指定保養所・休暇村他 全国115カ所  
会員制リゾート施設・ラフォーレ倶楽部  
他 全国239カ所
- 海外リフレッシュツアー
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

### ■職員の資質向上のために

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会

### ■職員の生活サポートのために

- 住宅ローン・特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険 損害保険

### ■各種情報提供

- 会員情報誌
- ホームページ

### ■加入できる職員

社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。

### ■掛金

掛金は職員一人あたり毎年度1万円です。

### ■加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル

**Sowel**  
CLUB

TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
<http://www.sowel.or.jp/>

社会福祉法人 福利厚生センター  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-3-11  
NBF小川町ビルディング10階

福祉で働く人の福利厚生を支援しています。

# ふれあいケア

2013年  
3月号  
2月20日発行

●定価1,020円(本体971円) ●毎月20日発行 ●B5判・80頁  
●送料300円(10冊以上・定期購読の場合は送料サービス)

介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアに関わる施設福祉や在宅福祉の最新情報や、先駆的な実践事例も紹介。

## 特集 東日本大震災から2年 介護現場の復興状況は？

東日本大震災から2年、介護施設の職員不足、新規の要介護認定者の急増、仮設住宅での生活不活発病の増加など、まだまだ多くの課題があるのが被災地の現状です。被災地の介護現場はどのような状況にあるのか、今後の復興に向けてどのような展望や課題があるのか、被災地の今をお伝えします。

### 被災地の施設からのレポート ほか

#### 好評連載企画

- 老い考 ●介護現場のリスクマネジメント ●パワーUP!訪問介護 ●ワンポイント介護技術
- Close Up福祉用具 ●実践!脳活性化リハビリテーション ●認知症ケア相談室 ●介護の味方・看護の見方
- 職場のあなたの物語 ●災害リスクマネジメント ほか

### 定期購読申込み受付中!

【FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい】  
お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号・冊数」を忘れずにご記入下さい。  
バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい(品切れの際はご容赦下さい)。

●お申し込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ●

#### ■全社協出版部受注センター■

受注 TEL: 049-257-1080 FAX: 049-257-3111  
専用 E-mail: zenshakyo-s@shakyo.or.jp

全社協

社会福祉 全国社会福祉協議会 出版部  
法人 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ

福祉の本出版目録

▶▶ <http://www.fukushinohon.gr.jp>

## 介護職員処遇改善に関する調査を実施中!! 是非ともご協力下さい!!

この度日本介護福祉士会ホームページに会員専用サイトを新設致しました。その会員専用サイトにおいて会として初の試みであるインターネットを活用した調査を実施しております。

本調査は、平成24年度の介護報酬改定により「介護職員処遇改善交付金」が「介護職員処遇改善加算」となったことで、介護福祉士にどのような影響を及ぼしたのかを検証し、今後の介護福祉士の処遇改善に向けて、本会が政策提言していくための基礎資料とする大切な調査となります。

今までの郵送による調査では、客体が限られておりましたが、今回は会員全てを対象とした調査が可能になり、より介護福祉士の実態を正確に把握できると考えております。

調査期間は平成25年2月1日～平成25年2月28日となっております。下記のURLにアクセスし、是非とも調査にご協力いただきますようお願い致します。

会員専用サイト「ケアウエル」<http://www.jaccw-carewel-site.net/>

携帯電話からは、右のQRコードを読み取って下さい。

※ログインの方法が分からない方は事務局までお問い合わせ下さい



# ニュース



The Japan Association of Certified Care Workers

**Vol.115**  
4月15日号  
平成25年(2013年)

## 公益社団法人 日本介護福祉士会

URL : <http://www.jaccw.or.jp/>

E-mail : [webmaster@jaccw.or.jp](mailto:webmaster@jaccw.or.jp)

**平成25年4月1日に日本介護福祉士会は公益社団法人になりました**

### 平成24年度第2回都道府県介護福祉士会会長会を開催

24年度2回目の都道府県介護福祉士会会長会が、神奈川県ウィリング横浜で開催された。

2月23日から24日にかけて行われた平成24年度第2回都道府県介護福祉士会会長会の冒頭挨拶で、石橋真二会長が介護福祉士のキャリアアップシステムの整備や、日本介護福祉士の組織強化の取り組みなどについて述べた。(詳細は2ページ)

続いて、佐々木裕介氏(厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長)、山口保氏(公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会常務理事)より挨拶をいただいた。(詳細は2ページ)

全体会では、平成25年度事業計画について説明がされたほか、平成24年度事業についての状況報告などが行われた。また、第11回日本介護学会及び第20回全国大会の告知、実施された研修等についての報告が行われた。そのほか、日本介護福祉士生涯研修制度における認定介護福祉士(仮称)の位置付けや、専門介護福祉士像について説明がされた。その後、日本介護福祉士会の公益社団法人移行申請に係る手続きの現状について報告がされた。また、組織率向上のための取り組みの実施状況について、各都道府県介護福祉士会における会員数・組織率の推移を交え説明がされたほか、平成25年度に予定している入会促進キャンペーンについて説明され、さらに日本介護福祉士会・各都道府県介護福祉士会において有効だと思われる取り組み

と役割について、説明がされた。

グループ討議では、平成25年度事業計画、20周年記念事業、組織強化や、災害支援、生涯研修制度などについて討議がされた。(詳細は3ページ)

最後に、内田副会長から、グループ討議で都道府県介護福祉士会にて行われている組織強化の方策を議論する中で、様々な取り組みが明らかになり、こうした取り組みが会員増加につながっている事を実感したと述べられた。また、今後とも日本介護福祉士会と各都道府県介護福祉士会が協力し意見交換を行う中で、日本介護福祉士会をより良い方向へと導いていきたいと述べた。



#### 平成25年度 年会費振替のお知らせ

**5月27日に実施します**

○下記の日程でご指定の口座から年会費の自動振替を実施いたします。  
つきましては前日までに口座へのご入金をお願いいたします。

日 程 : 平成25年5月27日(月)

対象者 : 口座登録されている継続会員のみなさま

※口座情報に関することや会費納入について不明な点がございましたら、恐れ入りますがご本人様より会員番号をご用意のうえ、日本介護福祉士会事務局までお問い合わせください。

※この日程の引落に関する通知は、本記事をもって替えさせていただきますので、予めご了承ください。

## 会長会挨拶



日本介護福祉士会 会長  
石橋 真二

介護ニーズが多様化・高度化する中、介護福祉士の質の向上が求められており、日本介護福祉士会としてこれまで構築してきた研修会や学会の開催などの活動を、今後も継続していきたい、と述べた。

また、日本介護福祉士会が中心となって認定介護福祉士(仮称)制度の構築が進められており、来年度は今年度に引き続きモデル研修を開催するほか、制度化後の体制の構築を行っていく予定である、と述べた。

最後に、25年度は日本介護福祉士会が公益社団法人へ移行するとともに、設立20周年を迎える年でもあり、思いを新たに職能団体として組織強化を図っていききたい、と述べた。



厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課  
福祉人材確保対策室長  
佐々木 裕介 氏

はじめに、福祉サービスを取り巻く介護人材の状況について説明をされた。

その上で、介護職員の資質向上を目的とし、介護福祉士養成課程の一元化や認定介護福祉士(仮称)制度の構築など、介護職員のキャリアパスの再構築の実施状況について説明された。また、介護職員の資質の向上の際には、その待遇改善も同時に図る必要があると考えられ、そのための仕組みを構築していきたい、と述べられた。

最後に、日本介護福祉士会が中心となって実施される介護福祉士の資質の向上に向けた取り組みに対し、厚生労働省として積極的に支援していきたい、と述べられた。



公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会  
常務理事  
山口 保 氏

日本が超高齢化社会を迎える中、先頭に立って活躍するのは介護福祉士であり、医療的ケアなど求められる仕事の

領域も広がってきている、と述べられた。

今後の課題は介護福祉士の資質の向上や社会的評価の確立が必要であり、そのためには介護福祉士資格取得段階と資格取得後のキャリアアップの両面で資質の向上を図る必要があると、述べられた。

日本介護福祉士養成施設協会と日本介護福祉士会は、介護福祉士の地位の向上と制度の安定化という共通の目的に向かって活動している団体であり、その目的を果たすためには今後連携をより深めていく必要がある、と述べられた。

### ● 役員の動き ● (2月1日～3月31日)

- 2月 2日～ 3日 認定介護福祉士(仮称)モデル研修(6回目)  
(内田副会長)
- 2月 4日 介護技術マニュアル打合せ(内田副会長)
- 2月 9日～10日 実務者研修教員養成講習会(2回/全4回)  
(木村副会長)
- 2月10日～11日 (仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修(9回/全10回)(内田副会長)
- 2月14日 「居宅療養管理指導及び訪問薬剤管理指導のあり方に関する調査研究事業」委員会  
(公益社団法人日本薬剤師会)(内田副会長)
- 2月16日～17日 認定介護福祉士(仮称)モデル研修(7回目)  
(内田副会長)
- 2月23日～24日 平成24年度第2回都道府県介護福祉士会会長会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)
- 2月26日 「障害者支援のための研修内容構築事業」第5回検討委員会(三浦副会長)
- 3月 5日 第2回学会委員会(内田副会長)
- 3月 7日 正副会長会、第7回常任理事会(石橋会長、内田、三浦副会長)

- 3月 8日 第93回社会保障審議会介護給付費分科会(田中名誉会長)
- 3月 9日～10日 実務者研修教員養成講習(3回/全4回)  
(木村副会長)
- 3月14日 日本精神科病院協会意見交換会(石橋会長)
- 3月16日～17日 認定介護福祉士(仮称)モデル研修(8回目)  
(石橋会長)
- 3月16日～17日 (仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修(10回/全10回)(石橋会長)
- 3月23日 日本ホームヘルパー協会40周年記念式典出席(石橋会長)
- 3月23日～24日 障害者支援のためのモデル研修(三浦副会長)
- 3月24日～26日 リーダー研修会(介護福祉士初任者研修講師養成研修)(西会場)(木村副会長)
- 3月25日 第6回災害福祉広域支援ネットワークの構築に関する検討会(独立行政法人福祉医療機構)(三浦副会長)
- 3月26日 一般財団法人長寿社会開発センター評議員会出席(石橋会長)
- 3月29日 平成24年度第2回理事会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)
- 3月29日 日本看護協会との意見交換会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)

## 会長会 グループ討議の検討内容

グループ討議では、各都道府県介護福祉士会会長が4つのグループに分かれ、『平成25年度事業計画』、『20周年記念事業』、『組織強化』、『その他事業』の4テーマについて議論が行われた。

『平成25年度事業』では、「認定介護福祉士(仮称)」、「(仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修」、「障害者支援のための研修」、「ファーストステップ研修」、「初任者研修」、「各研修の到達目標」などについて討議が行われた。

「認定介護福祉士(仮称)」では、認定介護福祉士(仮称)の研修とファーストステップ研修の位置づけを検討してほしい、という意見があった。また、「ファーストステップ研修」では、受講生を増やすための方策を教えてください、研修の到達目標」においては、日本介護福祉士会生涯研修制度図で示されているそれぞれの階層に合わせた到達目標を明確に打ち出すと分かりやすいのではないか、という意見があった。

『20周年記念事業』では、「記念事業」、「記念誌」について討議がされた。「記念事業」で、広く会員が参加する記念講演を開催してはどうか、という提案があった。

『組織強化』は、「会員専用サイトの利用」、「会員証へのさらなるサービス付加」、「研修券の作成」、「研修の充実」、「会員獲得、会のPR等」、「ブロックでの連携、県の補助金事業の活用」、「退会防止策」、「会員資格の見直し」等について意見が交わされた。

「研修の充実」については、現場の声を反映し、充実した研修を開催すること、加えて講師養成に尽力することで、すぐに効果が出ずとも、長期で考えると会員増につながるのではないかと、意見が出された。また、「会員獲得」について、医療施設に勤務する介護福祉士の入会者が増えている一方で、障害者支援サービスに勤務する介護福祉士の入会者が少ない、という報告があった。その上で、法人の協力を受け入会した会員には、その法人をやめると日本介護福祉士会も退会する傾向があり、こうした会員を引き留める方策の構築が望ましい、という意見があった。

『その他事業』では、「災害支援」、「日本介護福祉士会生涯研修制度」、「研修ポイントの活用」などについて議論が交わされた。

「研修ポイントの活用」について、支部独自に10ポイントで研修会が1回無料となるシステムを採用している、という報告があった。また、研修ポイントの蓄積数に応じて会員カードのデザインが代わるような仕組みを作ってはどうか、という提案があった。



## 会員の皆様の写真を募集します

平成25年4月1日に日本介護福祉士会は公益社団法人となりました。そのため、日本介護福祉士会パンフレットの改訂をいたします。

つきましては、パンフレットに掲載するために会員の皆様が働かれている様子を写した写真を募集いたします。(具体的な写真の場面は、下記を参照してください)

応募締め切りは5月10日までとさせていただきます。

採用された方には、もれなく1,000円分のクオカードを差し上げます。

多くの方のご応募をお待ちしています。

### 【写真の場面例】

- ・利用者に介護サービスを提供している様子
- ・ケアカンファレンスなどの会議
- ・職場内研修の様子 等

### 【応募・お問合せ先】

公益社団法人日本介護福祉士会事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎ノ門ビル3F 電話：03-3507-0784

ホームページ：http://www.jaccw.or.jp Email：webmaster@jaccw.or.jp

支部  
リレー

都道府県介護福祉士会 情報交流の泉⑪ ◆ 福岡県

## よかところよー 福岡！！

## ●福岡県介護福祉士会はこんなところ

全国に先駆けて公益社団化した福岡県支部は、県内を5ブロックに分け各支部長を中心に活発な活動を行うとともに、九州の玄関口・JR博多駅より徒歩約3分という恵まれた環境に置かれた事務局を拠点として日々活動しています。

事務局は、常勤職員4名・パート職員2名の計6名で会員の皆様の活動を支えています。また40名程の研修が出来る研修室や、簡単な会合が出来るミーティングルームを併設し、本会の事務局が研鑽と話合いの拠点として誰もが気軽に立ち寄れるように心がけています。

会員数は約3,000名。組織強化に向けて理事は県内の施設を訪問する等、頑張っています。「実務者研修教員養成講習会」の開催や、今年で13回目を迎えた「海外研修」、全国より著名な講師を迎えての「認知症シリーズ研修」(平成25年度は「医療シリーズ研修」を予定)等、会員の皆様のニーズにお応えできるよう充実した研修を年間延べ100回近く企画・開催しています。

## ●福岡の魅力って

福岡と聞いてまず思い浮かぶのは毎年5月3・4日におこなわれる「博多どんたく」でしょう。動員数は200万人を超え、ゴールデンウィークの人出ランキング1位になっています。そして7月1日から15日にかけて開催される700年以上の伝統のある祭「博多祇園山笠」。期間中は行事参加者の間ではキュウリを食べることが御法度・女人禁制・期間中着用するハッピー姿は背広と同等の正装とされ、結婚式など公式の場でも着用が許されているなど、見どころ満載です。



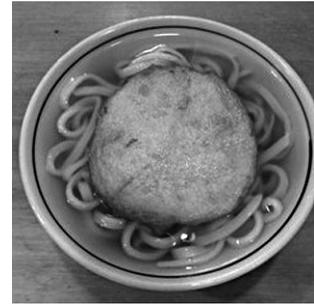
【博多どんたく】

提供：福岡市／出典：「まるごと博多・福岡」  
(<http://www.city.fukuoka.lg.jp/showcase/index.html>)

そして、福岡は九州の玄関口はもとより、アジアへの玄関口です。例えば福岡空港から韓国仁川空港まで

の所要時間は1時間20分。なんと福岡から東京へ行くよりも早い・近い。もちろん日帰りも可能！焼肉を食べにソウル日帰り…なんて博多っ子には決して珍しい話ではないんです。

食べ物の話が出たので、福岡の名物料理にも触れましょう。福岡・博多といえば「明太子」「博多ラーメン」「もつ鍋」が有名ですが、裏名物(?)としてオススメなのが「うどん」です。博多のうどんはコシがなく柔らか目で、モチモチした歯触り。トッピングにはごぼうのさがきをかき揚げにした「ごぼ天」、または魚のすり身を丸く平らにして揚げた「丸天」をどうぞ。「ゆずごしょう」も忘れずに！



【丸天うどん】

出典：「一般財団法人うどんミュージアム」  
(<http://udon.mu/gallery>)

●九州ブロック研修大会 in ふくおかへきんしゃい！  
待っと～よ！

平成25年度九州ブロック研修大会は福岡県支部が担当県です。10月25、26日に福岡ヤフオク！ドーム横の「ヒルトン福岡シーホークホテル」で開催します。福岡ソフトバンクホークスがパリーグ優勝し、日本シリーズに出ることになればひょっとして日本シリーズの興奮も同時に味わえるかも!? “やっぱ、福岡はよかところねー！またきたかねー”と、言っていただけのように、内容など検討中!! 研修後は、太宰府天満宮や隣接する九州国立博物館がおすすめスポット。他にも見所はいっぱい。ぜひ福岡にきんしゃい！待っと～よ！



【ホテルヒルトン福岡シーホーク】

出典：ヒルトン福岡シーホークオフィシャルサイト

今回は福井県へバトンタッチ！

# 平成25年度介護福祉士海外研修・調査 募集要項

公益財団法人社会福祉振興・試験センター（以下「センター」という。）では毎年、介護業務等を行っている三福祉士の海外研修・調査を行っています。日本介護福祉士会（以下「本会」という。）では、その中の介護福祉士海外研修・調査の申込みを受け付けています。

## ●実施主体

公益財団法人社会福祉振興・試験センター

## ●研修・調査の実施方法

施設又は在宅における介護の実態について、福祉先進国（昨年はスウェーデン・バルベイ市）で、現地のケアワーカーと高齢者介護の実地体験研修を行う。

## ●派遣対象者（10名）

- (1) 平成25年12月1日現在において、つぎのいずれにも該当する者
  - ア 現に社会福祉施設等において、介護業務に従事して3年以上の者
  - イ 介護福祉士の資格取得後3年以上の者
  - ウ 25歳以上55歳未満の者
- (2) 研修・調査終了後も引き続き介護業務に従事する意志を有する者
- (3) 心身ともに健康で、協調性があり、研修期間中団体行動ができる者
- (4) 過去において、センターの海外研修に参加したことのない者

※本会の会員であるか否かは問わない

## ●研修・調査実施期間

平成25年8月31日（土）～9月14日（土）【15日間】

## ●研修・調査派遣国

福祉先進国（北欧）を予定

## ●研修費用

原則、センターが全額負担

## ●オリエンテーション

平成25年7月19日（金）東京都内にて実施

（派遣決定者はこれに出席することを条件とする）

## ●応募方法（締切：平成25年5月7日（火）必着）

参加希望者は、次に掲げる書類を、本会を經由してセンターに提出するものとする。

- (1) 「介護福祉士海外研修・調査参加申込書」（所定のもの）
- (2) 履歴書（写真添付のこと）
- (3) 健康診断書（1年以内の定期健康診断書等のコピー可）
- (4) 小論文（1,200字程度、横書き、A4サイズたて用紙を使用すること。海外研修に参加したい目的及び理由を明記すること。）

## ●派遣者の選考方法

センターにおいて書類審査により決定し、選考結果は6月下旬に通知

## ●研修・調査報告書

派遣者は、報告書を提出するものとする

※提出書類は一切返却しないものとする。

※その他詳細、申込用紙のダウンロードは本会のホームページをご覧ください。



24年度派遣団員と研修施設スタッフ

## 研修報告

全8日間の「実務者研修教員講習会」が東京で行われ、38名の方が修了されました。本研修は介護教育方法、介護過程の展開、実務者研修の目的、評価の3つの領域からなり、27年度より本格的に実施される「実務者研修」の専任教員、介護過程」を教授するために必要となる研修となります。

修了者の方より受講した感想をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

現場で12年介護福祉士として勤務する中で人材の育成に興味を湧き、この先育成の場に身を置きたいと感じたため、本研修を受講しました。

講義では育成するためのノウハウを教えて頂き、グループワークではそれらを活かし授業の組み立てを行いました。久保田先生の穏やかな立ち振る舞い、山崎先生の熱意、眞鍋先生の発想、各先生のたくさんの経験や知識を少しでも自分の糧と出来るよう、介護福祉士として、講師として成長していきたいと改めて思いました。受講を通し知識や考え方を教えて頂いたことはもちろん、様々な立場や地域の方との貴重な出会いを頂いたことに感謝いたします。(東京都所属 宗石光英)



今回の研修ではテキスト作成に携われた先生方から直接ご指導を受けられるとあり自ら望んで受講したのですが、参加者の方々は各支部の代表や講師経験の豊富な方々ばかりで、講師としては未熟な私は当初受講したことに少し戸惑いもありました。しかしそんな私にも一つひとつ丁寧に指導頂き、厳しく温かい叱咤激励を受けつつ、教師としての資質や情熱、受講生への対応方法、教材の大切さ、他科目との整合性、授業の運営の仕方等、この研修に対する先生方の強い思いを教えて頂いた気がしました。また、自分の未熟さに落ち込んだ時に経験値の違う他の参加者から刺激を受けて再び学びの意欲を深めることができ、グループワークを通じて刺激し尊敬し合える全国の仲間巡り合えた事は貴重な経験でした。(埼玉県所属 勝俣仁美)

先生方の厳しくも楽しく、そして我々受講生の常に興味を引く熱血指導に、そのすべてが目からウロコの研修でした。ご指導いただいた内容のすべてが重要であることを理解しているつもりですが、その中でも一番大切なのは「教育者としての態度や心構え」なのではないかと感じています。研修の中で先生方から「教育者として学生から常にどのように自分の姿が映っているか自覚しなさい」とご教授頂いたとき、自分自身を振り返り、多くの事に気付く事ができました。

このような研修に恵まれ、これからは私も教育者の一人として介護福祉士養成の指導をさせていただくこととなります。今後の日本の後輩介護福祉士のため、安心して介護福祉士として職務を全うできる環境作りのため、そして目の前にいるご利用者様のため、たくさんの素晴らしい介護福祉士養成に尽力させていただきたいと思えます。(沖縄県所属 羽鳥訓秀)



第20回全国大会開催県



とっとり

シリーズ2



さあ、みなさん!! 今年も、鳥取県に集合です。今回は、鳥取県の温泉を紹介します。今、話題の温泉もありますよ。

- テーマ 「介護福祉士 われらの“支命(しめい)” ～うちに まかせて ごさないな～
- 期 日 平成25年 11月15日(金)～16日(土)
- 会 場 とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町101-5 TEL 0857-21-8700)

◆はわい温泉



その昔、東郷湖に船を浮かべて湖中からわき出る温泉を利用したという「はわい温泉・東郷温泉」。湖上に浮かぶ明媚な湖畔の風景に溶け入るように静かにたたずんでいます。温泉街は、風光湖のささやきを聞きながら、移ろいゆく四季折々の情緒を満喫することができます。

【泉質・効能】

- はわい温泉：塩化物・硫酸塩泉/リウマチ、婦人病、神経痛、関節痛など
- 東郷温泉：塩化物・硫酸塩泉/神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺など

◆三朝温泉

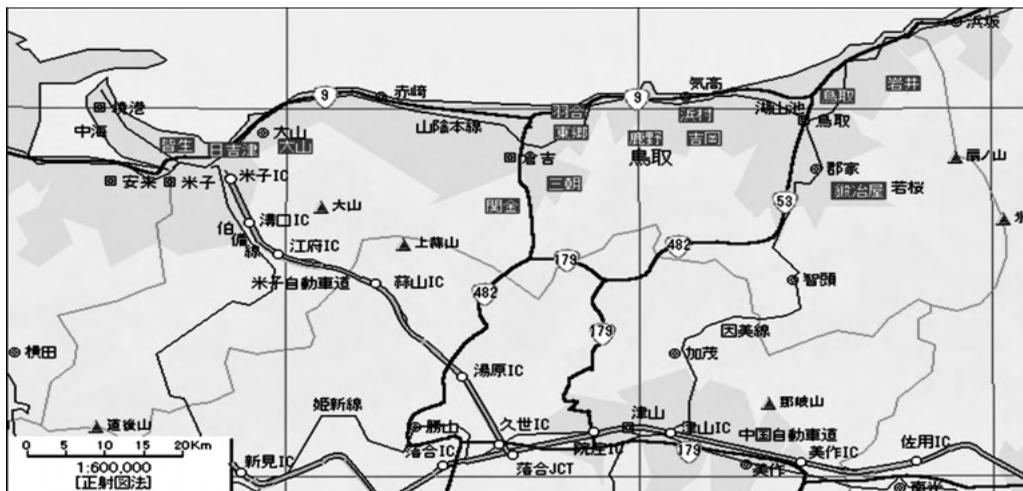
三朝温泉のお湯は、世界有数のラドン含有量を誇ります。ラドンとはラジウムが分解されて生じる弱い放射線のこと。ラドンが呼吸で体内に入ると、新陳代謝が活発になり、免疫力や自然治癒力を高める効果があります。これを「放射線のホルシミス効果」といい、観光はもちろん、療養目的の湯治として多くの人々に親しまれています。

【泉質・効能】

気管支炎、肺炎腫、慢性気管支炎、関節リュウマチ、変形性関節症、肩凝り、腰痛、神経痛、高血圧、糖尿病、痛風、慢性消化器病、肝臓疾患、胆道疾患、冷え性、婦人病、アトピー性皮膚炎、美肌効果、疲労回復、ストレス解消など



◆鳥取県の温泉マップ



## 第11回日本介護学会開催県

## 山形県②

一般社団法人 山形県介護福祉士会

シリーズ2回目の山形紹介となりました。前回紹介しきれなかった事をまず始めに紹介します。山形と言ったらやはり「花笠まつり」を紹介せずにはいられません。毎年8月に「やっしょう! まかしょ!」の掛け声とともに、花笠を操ります。山形県民なら誰でも踊れる花笠ですが、正統派花笠と、笠をくるくる回しながら踊る躍動的な花笠の2種類があります。

もう一つ忘れていました。「芋煮」です。日本一の芋煮鍋があり、直径6メートル、ひと鍋で3万食分の芋煮を作ります。里芋3トン、牛肉1トン等、ひしゃくの代わりに、クレーン車を使った芋煮会は圧巻です。秋は人が集まる所に芋煮あり。と、言われます。芋煮にも2種類あることをご存じでしたか? 山形県の内陸では、牛肉を使って醤油で味付けますが、海側の庄内地区では、豚肉を使って味噌で味付けます。牛肉で思い出しました。米沢牛を忘れていました。全国各地の有名店で使用されている米沢牛が度々宣伝されます。「牛肉どまんなか」という駅弁が品評会1位になったこともありますから、一度食べてみてください。

さて、本題に入ります。第2回目の今回は、地元の人だけが知っている品々をテーマとしています。アトランダムにその品々を並べてみますので、その中身を想像してみてください。「山形のだし」「ひっぱりうどん」「寒だら汁」「どんどん焼き」「おみづけ納豆」「黒森かぶき」「玉こん」「だだちゃ豆」「コイのうま煮」「ひゃっこいラーメン」「そば街道」「最上川の舟下り」。いくつわかりましたか? 山形のだしは、あったかいご飯にかけて食べると最高です。お土産もありますが、日持ちしないのでご注意ください。ひっぱりうどんは、準備と後片付けが楽で主婦には大人気です。寒たら汁は、寒い1月の荒波の中で捕れたぜいたく品で、内臓もすべて食べられます。だだちゃ豆は、8月のお盆過ぎに収穫される枝豆で、東京の銀座の高級クラブではお通しにもなる高級品です。

米沢は、先に述べた米沢牛と上杉神社で有名ですが、コイのうま煮も有名です。甘く煮たコイは、はしで簡単にほぐれ、骨まで軟らかく食べることができます。また、米沢市より数十分で行ける距離にある小野川温泉では、温泉の熱を活用した豆もやしの栽培がおこなわれています。豆もやしラーメンは一度は食べる価値が十分にあります。

山形は蕎麦の産地です。特に、村山地区にはそば街道があり新蕎麦の時期には大勢の観光客に交じって地元の人達も食しています。日本三大急流の一つ、「最上川」は四季おりおりの風情を醸し出しています。冬の船下りでは、船の中にこたつを配置してコタツに入りなが熱爛と冬景色に感動すること間違いなしです。

観光と食べものの紹介をしてきましたが、山形に興味を抱いてもらえたでしょうか? 山形紹介の3回目以降は、会の活動や取り組み、会員の声などを紹介していきたいと思えます。



# 介護現場におけるQ&A

## ～法律編～（送迎の際の事故）



自立歩行が可能なAさん（78歳）は、Y医院のデイケア室へ通院し、Yの雇用する介護福祉士であるBさんの運転する送迎バスにより自宅マンション前まで送り届けられました（Bさんの他に介護職員の同行はありませんでした）。介護福祉士Bさんは、Aさんが送迎バスから路上に降りるための踏み台を出してAさんをそのバスから降ろしました（降ろした場所は一部未舗装の道路上でした）。その後、介護福祉士Bさんがその踏み台を片づけるなどの作業をしている間に、Aさんは、路上で転倒し、右大腿部けい部骨折の傷害を負ってしまいました（第4回と同事例）。

Aさんが 傷害を負ったことについて、Y医院の負う損害賠償責任の具体的な内容を教えてください。



損害賠償責任の内容は、大きく3つに分類することができます。まず1つ目は、積極損害です。治療費や通院交通費等がこれに該当します。2つ目は、消極損害です。怪我により仕事を休まざるを得なくなったことによって生じた損害（休業損害）等をいいます。最後3つ目は、慰謝料です。これは、事故による精神的損害等財産以外の損害に対する賠償をいいます。

では、質問の事例で、具体的にはどのような内容になるのか、みていきたいと思えます。

### (1) 積極損害

#### ①治療費（手術費）、薬品代

Aさんは、路上で転倒したことによって、右大腿部けい部骨折という怪我を負いました。したがって、Y医院は、かかる怪我の治療に必要な費用について、負担することになります。

#### ②通院交通費

上記の怪我の治療のために特別に交通費が必要となる場合、Y医院は、かかる交通費を負担しなければなりません。

#### ③その他

その他、診断書の取得に要した費用や、医師の指示で付添看護が必要になった場合の看護費、入院が必要となった場合の入院雑費、必要な装具・器具等購入費も負担することになります。

### (2) 消極損害

消極損害の例として上記で休業損害を挙げましたが、デイケア室へ通院しているAさんが仕事をしている可能性は低く、こういった場合消極損害は発生しません。もっとも、Aさんが家事労働を行っていた場合には、これができなくなった損害について、Y医院は消極損害として賠償しなければならないことがあります。

### (3) 慰謝料

Aさんは、怪我によって精神的な損害を被っています。したがって、Y医院はこの精神的損害に対する慰謝料を負担します。かかる慰謝料は、入通院日数を基礎に算定されるのが通常です。また、かかる怪我が完治せず、後遺症が残ったような場合には、後遺症に対する慰謝料も別途負担することになります。

\*今回は、上記質問の事例において、Y医院が負う損害賠償責任の具体的な内容についてお話しさせて頂きたいと思えます。

連載

11

## 介護の現場で輝いています！

## 介護の現場で働いて

能美市立病院 療養病棟 山本 三恵

私は介護福祉士になって7年が経とうとしています。療養病棟に配属され、在宅・施設待ち・ターミナル期の患者様それぞれの受け持ちをしてきました。その中で必ず心がけていることは、患者様に挨拶を忘れずに行い、出来れば名前を覚えてもらうことと、患者様家族との会話を大事にすることです。現在のケアや最近の様子を伝えることで、日々の様子が分かり、転倒などが起こった時もその前後の行動を知ってもらうことで不信感が和らぐと考えているからです。認知症の患者様は難しいこともあります。「私の名前何でしたか？」と聞き返すことで、何度目かには患者様から「やまもとさ〜ん」と呼び止めてもらえることもあります。

患者様と1・2分でも他愛もない会話をし、笑顔がみられるとつられて私も笑ってしまうことがあります。またタッチングをしながらの会話は安心感や親密感が伝わるのか、休み明けの勤務でその患者さまに会うと「あんた随分見なかったな。どうしてたんや」と気遣いの言葉をいただけることもあります。患者様にとっては孫のような年齢の私に、温かい言葉をかけてもらえることは、介護福祉士をしてよかったと感じる瞬間です。

患者様の数に対する職員の人数は充足していますが、日々の勤務帯の中でもっと職員がいると患者様一人ひとりと関わる時間が増え、その方のペースに合わせたケアがより多く出来るのではないかと思います。

カンファレンスなどで悩みを相談できる場があることや、患者様のケアについて他職種の意見を聞きながら介護計画を検討することが出来ていることはチーム医療が重要といわれている中で恵まれている環境だと感じています。これからも、自分の意見だけでなく、本人や他職員の意見を聞きながらケアが充実できるよう努力していきたいと思っています。



# 福祉用具を活用しよう

## 公益財団法人テクノエイド協会

### Part 2 床ずれ -仕組みを知って防ごう-

今回は、「圧の分散(減圧)・除圧」について解説します。

仙骨部にかかる圧の解放から何らかの理由で自力では圧の分散、除圧ができない、もしくは不十分な人の場合には寝具や介助などによる圧対策を行う必要があります。

#### ■圧を分散しなければならない状態

##### ①腰回りが痩せていて、仙骨部が顕著に突出していませんか？

痩せると骨と皮膚の間でクッション材の役割をする脂肪や筋肉などが減少し、この結果、この周辺の皮膚や血管に直接大きな圧力が加わることになります。身体と接する寝具の側に圧対策機能を備えたものを用います。(体圧分散寝具)

具体的にはマットレスで対応しますが、床ずれ予防を目的としたマットレスには静止型床ずれ予防マットレスとエアマットレスがあります。

##### ②身体に拘縮や変形はありませんか？

肘や膝などに関節拘縮や変形があつて、臥位時に身体が真っ直ぐにならない人の場合、マットレスと身体の接触面積は小さくなるため、その接触している場所に圧が集中します。また、接触面積が少ないことによってマットレス上での身体が安定せず、それによってさらに身体が緊張して拘縮を助長するという悪循環に繋がりがねません。拘縮や変形が強い場合には、まず接触面積をできるだけ増すために、低圧保持が可能な高機能エアマットレスの導入を検討しましょう。その上で身体を安定させる工夫を行います。

##### ③極端にオムツを重ね付けていませんか？

仙骨部の床ずれの場合、オムツにも注意が必要です。漏れの心配から極端に多くのオムツをつけている人がいます。しかしそれによってマットレスに工夫しても効果が妨げられている可能性があります。

#### ■マットレスの選定

圧分散機能の高いマットレスには、静止型床ずれ予防マットレスとエアマットレスがあります。

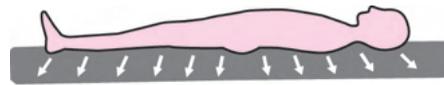
##### ①静止型床ずれ予防マットレス

原則として、離床動作、寝返り動作などができる人、身体状況が悪い人が使います。

#### 【特徴】

エアマットレスの圧切り替え機能に対しての静止型という意味で、静止型床ずれ(褥瘡)対応マットレス

といます。ウレタンフォームやジェル、空気などによって身体を沈み込ませて接触面積を増やし、減圧、体圧分散を行います。



減圧(体圧分散)

静止型マットレスによる減圧(体圧分散)

介護保険の種目上、高い体圧分散効果を有するものは「床ずれ防止用具」と分類され、床ずれ防止用具ほどの効果のないものは「特殊寝台付属品」と分類されていますが、境界線となる明確な基準はありません。本人の生活状況や動作、寝心地などによって「体圧分散効果を有する特殊寝台付属品の静止型マットレス」を選定してもよいでしょう。

#### 【選定】

静止型床ずれ(褥瘡)対応マットレスは、本人の体重、体型、またマットレス自体のへたりに具合などによって体圧分散効果に差が生じます。自力で動くことができている場合、エアマットレスにしてしまうと運動性が著しく落ちてしまう可能性もあるため、まずは静止型床ずれ(褥瘡)対応マットレスの導入を検討しましょう。

また、低反発素材のマットレスは構造上、へたりやすいので特に注意が必要です。

#### 【上手に利用できない時】

一般的にウレタンフォームやジェルタイプのものは、身体がマットレスに埋まるため、肌が表面に密着し蒸れて熱がこもりやすいという特徴があります。加えて、マットレス本体のシートが防水性のあるものの場合、その特徴はより顕著に現れます。汗をよくかく人や熱がこもりやすい体質の人の場合には注意が必要です。

このような場合にはシートの素材を工夫する、通気性に優れた網状クッション構造の静止型床ずれ(褥瘡)対応マットレスなどを検討しましょう。

自分で動くことができる人であっても、床ずれの状態や床ずれができた背景(熱発による一時的な栄養不良や活動量減少など)によっては、エアマットレスの導入を検討することも必要です。

今回は、「エアマットレスの特徴と選定」について解説します。

(出典：公益財団法人テクノエイド協会発行「福祉用具選定支援書」より改編)

## 日本介護学会 研究発表募集要綱

第11回日本介護学会で発表する研究を募集いたします。必要書類を受付期間内に所定の方法により申し込んで下さい。多数のご応募をお待ちしております。

### 【第11回日本介護学会】

日時 平成25年10月11日(金)～12日(土)  
会場 山形テルサ(山形市双葉町1-2-3)  
メインテーマ 「認知症ケア～認知症をささえる社会とは～」

### 【募集する研究発表テーマ】

認知症ケア  介護人材の育成  介護実践の改善

### 【申込方法】

次頁「研究発表に際しての留意事項」をご覧の上、受付期間中に提出物の全てを電子媒体で研究発表申込フォームからお申し込みいただくか、またはCDに収録して事務局宛に郵送して下さい。期間外及び下記申込方法以外は受付できませんのでご了承下さい。

研究発表申込フォームURL <http://www.jaccw.or.jp/gakkai/gakkaironbun.html>

### 【申込受付期間】

平成25年4月1日(月)～5月31日(金)

### 【提出物】

研究発表申込書・共同発表者登録書  抄録

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

介護専門職情報誌

# 介護福祉

☆毎年3月・6月・9月・12月の25日発行

☆定価860円(本体819円/送料含む)

年間購読料3,440円

☆申込先 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル

TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514

定期購読の申込方法 <http://www.sssc.or.jp/>

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

春号(25年3月発行)

特集「介護の専門性とは何か」

夏号(25年6月発行)

特集「人間関係とコミュニケーション」

## 日本介護学会 研究発表に際しての留意事項

- 研究発表者は、日本介護福祉士会または日本介護学会会員であることが条件です。非会員の方は、入会の手続きをお願いいたします。(日本介護福祉士会会員の方は、自動的に日本介護学会会員となります。介護福祉士国家資格を有する方は、演題申込締切日までに日本介護福祉士会への入会手続きを完了して下さい。また介護福祉士国家資格を有さない方は、演題申込締切日までに日本介護学会への入会手続きを完了して下さい。)
- 共同研究者は、以下の条件を満たしていることが条件です。
  - ①介護福祉士国家資格を有する方は、日本介護福祉士会会員であること
  - ②日本介護学会会員であること
  - ③上記以外の方は研究発表者、共同研究者を合わせた人数の半数未満(例：人数が6名の場合、2名)までであること
- 発表者は「第11回日本介護学会」の参加申込が必須です。別途必ず参加申込を行って下さい。
- 複数人で発表される場合、代表者のみ「研究発表申込書」をご記入いただき、その他の方は「共同研究者登録書」をご提出下さい。(連絡は発表申込書に記載されている方にさせていただきます。)
- 発表するテーマは、要綱記載のものから選択し、申込書に必ず明記して下さい。
- 抄録は所定のテンプレートを使用して、A4用紙2枚にまとめて下さい。テンプレートは日本介護福祉士会ホームページ (<http://www.jaccw.or.jp>) からダウンロードして下さい。
- 発表の採否は、投稿された抄録の内容が介護学会に相応しい内容であるかについて、複数の学会委員による査読で判断し、結果は研究発表申込締切日から1ヶ月以内に文書にて通知いたします。採用された方は当日発表用の資料(パワーポイントデータなど)のご準備をお願いします。
- 発表は実践に基づく研究を優先させていただきます。
- 事例などを使用する際は、個人情報保護及び倫理上の問題を事前に解決しておいて下さい。これらの問題に関して、当学会は一切の責を負いません。  
※詳細、ご不明な点は日本介護学会事務局までお問い合わせ下さい。

### 【お問い合わせ先・CDの郵送先】

公益社団法人日本介護福祉士会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎ノ門ビル3階

TEL：03-3507-0784 FAX：03-3507-8810

Email：webmaster@jaccw.or.jp



モバイルサイトからお問い合わせ

## 第20回日本介護福祉士会全国大会inとっとり

「介護福祉士 われらの “支命(しめい)”」  
～うちに まかせて ごしないな～

平成24年4月にわが国における介護の将来像(地域包括ケアシステム)ー住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現により、重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるようになるーが示され、さらに平成24年6月19日 国から「今後の認知症施策の方向性について」(6.18文書)と、それに基づく「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」が提出されました。それによると平成25年度から29年度までの計画として、1)標準的な認知症ケアパスの作成・普及 2)早期診断・早期対応 3)地域での生活を支える医療サービスの構築 4)地域での生活を支える介護サービスの構築 5)地域での日常生活・家族の支援の強化 6)若年性認知症施策の強化 7)医療・介護サービスを担う人材の育成 としています。「認知症になっても本人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることができる社会」の実現を目指し、ここ砂丘の町鳥取県で全国の介護福祉士が集い、さまざまな角度から検討したいと考えます。全国大会20周年を機に、介護福祉士が「今、共になにをなすべきか。介護福祉士の存在を確認する」ことをテーマに全国大会を開催します。

**期 日** 平成25年11月15日(金)～16日(土)  
**会 場** とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町101-5 TEL 0857-21-8700)  
**参加定員** 1,000名(先着順)

### 内 容

<1日目>平成25年11月15日(金)

13:30～ 開会式典  
14:00～ 基調講演 厚生労働省(予定)  
15:15～ 記念講演 高田 佳子 氏(日本笑いヨガ協会 代表)  
「笑いヨガでプレイクスルー ～笑いがあふれるケア現場～」  
16:45～ 懇親会準備・会場移動  
18:30～ 懇親会 会場:砂丘センター予定

<2日目>平成25年11月16日(土)

9:00～ 分科会(各分科会にて座長によるミニ講演を予定しています。)  
12:10～ ランチオンセミナー 「介護者に役立つ睡眠」  
13:20～ 全体会  
14:30～ 特別講演 徳永 進 氏(野の花診療所 院長)  
「家の神さま、いまどこ？」  
16:00～ 閉会式典  
17:00 第20回全国大会閉会

## 全国大会発表事例募集のご案内

第20全国大会であなたの研究成果を発表してみませんか!

### <事例発表の申込方法>

1. 本大会における発表者は会員に限定いたします。  
(共同研究者については、この限りではありません。)
  2. 事例発表の希望者は「事例発表申込書」に必要事項を記入し、抄録を添えて、事務局宛てにEメール又は郵送にて送付してください。  
申込締切は7月31日(水)必着です。  
○申込書請求先及び申込先(申込書は本会ホームページよりダウンロードできます。)  
FAX : 03-3507-8810  
Eメール: webmaster@jaccw.or.jp
  3. 発表事例は、第1～第4分科会のテーマより選択してください。  
第1分科会「介護福祉士の“しめい”～施設の現場から思うこと～」  
第2分科会「介護福祉士の“しめい”～在宅の現場から思うこと～」  
第3分科会「介護職員としてのライフワークバランス」(仮)  
第4分科会「管理者としての視点」(仮)
  4. 抄録は必ずパソコンで作成(文章はWord、図表データはExcel)し、Eメール又はCD等の電子媒体による提出とします。
  5. 原稿量は図表を含め、おおむねA4用紙で4枚程度とします。
  6. 申込事例は本会で選考のうえ発表事例を決定し、ご本人宛てに通知いたします。
  7. 発表事例は抄録原稿を大会資料冊子に掲載し、分科会において決められた時間内で口頭発表していただきます。(発表15分、質疑応答5分程度の予定)
  8. 事例発表者は予め申し出てパソコン・プロジェクター等を使用することができます。
- 注) 発表者の大会参加費用は全て本人負担とします。

## ソウエルクラブ ご加入のおすすめ

2012年10月から新しいサービス ソウエルクラブ“クラブオフ”が始まりました。これまでのサービスに加え、全国宿泊、レジャー、スポーツ、映画、カラオケ、グルメなど約75,000カ所の施設を割引価格で利用できます。

### ■職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康相談

### ■職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

### ■地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)

### ■職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

### ■職員の余暇活用のために

- 指定保養所・休暇村他 全国115カ所
- 会員制リゾート施設・ラフォーレ倶楽部他 全国239カ所
- 海外リフレッシュツアー
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

### ■職員の資質向上のために

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会

### ■職員の生活サポートのために

- 住宅ローン・特別資金ローン
- ソウエル団体生命保険 損害保険

### ■各種情報提供

- 会員情報誌
- ホームページ

### ■加入できる職員

社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。

### ■掛金

掛金は職員一人あたり毎年度1万円です。

加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル

**Sowel**  
CLUB

TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
http://www.sowel.or.jp/

社会福祉法人 福利厚生センター  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-3-11  
NBF小川町ビルディング10階

福祉で働く人の福利厚生を支援しています。

## 都道府県介護福祉士会研修情報

### 岐阜県介護福祉士会

介護福祉士に求められる認知症ケア  
(最新の知識や動向を学ぶ研修会)

- 日程 5月25日(土) 受付13:00~
- 場所 高山市民文化会館 2階 会議室2-5
- 内容 第一部 基調講演~ 専門医から学ぶ認知症ケア~  
13:30~15:00  
講師 垣内 無一氏  
(医療法人生仁会 須田病院 認知症疾患医療センター医師)  
第二部 「現場で活かすパーソン・センタード・ケア」  
15:20~16:20  
講師 岩永 千代氏 (パーソン・センタード・ケアとDCM法上級ユーザー/認知症ケア上級専門士)
- 定員 60名(定員になり次第締め切ります)
- 受講料 会員 500円 非会員1,000円
- 問い合わせ 一般社団法人岐阜県介護福祉士会  
TEL.058-322-3971 FAX.058-322-3972

- 問い合わせ 一般社団法人茨城県介護福祉士会  
TEL.029-353-7244 FAX.029-353-7246

### 東京都介護福祉士会

- シーティング研修会
- 日程 平成25年6月22日(土)又は7月27日(土)  
9:30~16:30(受付9:00~)  
※2日間とも同一の内容です
  - 場所 6/22 北とびあ 7階 第2研修室  
7/27 ティアラこうとう 大会議室
  - 内容 講義・骨の構造や体の仕組み等  
演習・シーティング技術  
講師 調整中
  - 定員 50名(先着順)
  - 参加料 会員 4,000円 非会員 6,500円
  - 問い合わせ NPO法人 東京都介護福祉士会  
TEL.03-5624-2821 FAX.03-5624-9650

### 茨城県介護福祉士会

- 講演会  
「私の体験したディズニーマジック感動を呼ぶサービス」
- 日程 平成25年5月12日(日) 14:00~16:00
  - 場所 茨城県総合福祉会館 大研修室
  - 講師 (有) 香取感動マネジメント 香取 貴信氏  
※当日は午前中に新人研修会、総会を開催します。

### 皆様からの投稿をお待ちしています

採用された方にはもちろん1,000円分のクオカードを差し上げます!  
詳しくはホームページをご覧ください。

- ・介護の現場で輝いています!
- ・介護現場でのお悩み・疑問
- ・私のストレス解消法
- ・手作り介護用品

# ふれあいケア

2013年  
5月号  
4月22日発行

- 定価1,020円(本体971円) ●毎月20日発行 ●B5判・80頁
- 送料300円(10冊以上・定期購読の場合は送料サービス)

介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアに関わる施設福祉や在宅福祉の最新情報や、先駆的な実践事例も紹介。

## 特集 施設ケアマネジャーの役割—再考 施設ケアマネジメント

他職種兼務も少なくない施設ケアマネジャー。施設ケアマネジメントを強化するためのキーパーソンとして、どのような役割を担い、どのように他職種と連携してケアマネジメントを展開したらよいのかを再考します。

### 被災地の施設からのレポート ほか

#### 好評連載企画

- 老い考 ●介護現場のリスクマネジメント ●パワーUP!訪問介護 ●ワンポイント介護技術
- Close Up福祉用具 ●認知症ケア相談室 ●介護の味方・看護の見方 ●職場のあなたの物語 ほか

### 定期購読申込み受付中!

[FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい]  
お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号・冊数」を忘れずにご記入下さい。  
バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい(品切れの際はご容赦下さい)。

●お申し込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ●

#### ■ 全社協出版部受注センター ■

受注 TEL:049-257-1080 FAX:049-257-3111  
専用 E-mail: zenshakyo-s@shakyo.or.jp

全社協

社会福祉 全国社会福祉協議会 出版部  
法人 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ [福祉の本出版目録](#)

▶▶ <http://www.fukushinohon.gr.jp>

発行所/公益社団法人 日本介護福祉士会  
事務局(〒105-0001)東京都港区虎ノ門1-22-13 西勤虎ノ門ビル3F  
電話(03)3507-0784 FAX(03)3507-8810 <http://www.jaccw.or.jp>  
会員専用サイト「ケアアウェル」 <http://www.jaccw-carewel-site.net/>



(問合せ)



(会員専用サイト「ケアアウェル」)



# ニュース



The Japan Association of Certified Care Workers

## Vol.116

### 6月15日号

平成25年（2013年）

# 公益社団法人 日本介護福祉士会

URL : <http://www.jaccw.or.jp/>E-mail : [webmaster@jaccw.or.jp](mailto:webmaster@jaccw.or.jp)

## 平成25年度公益社団法人日本介護福祉士会定時総会 全議案が原案通り可決される

平成25年度定時総会は、5月25日（土）、株式会社損害保険ジャパン本社ビル2階大会議室で開催された。代議員定数231名、出席195名、欠席36名（うち委任状31名、書面評決5名）。全議案は原案通り承認され可決した。



午前中は太田貞司氏（神奈川県立保健福祉大学名誉教授・聖隷クリストファー大学社会福祉学部大学院社会福祉学研究科特任教授）による講演「地域包括ケアシステムにおける介護福祉士の役割認定介護福祉士（仮称）の創設を」（3頁掲載）が行われた。

午後からの開会式典では、佐々木裕介氏（厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長）、川井一心氏（社会福祉法人全国社会福祉協議会常務理事）、山口保氏（公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会常務理事）が臨席され、祝辞をいただいた。

佐々木裕介氏は、介護福祉士の資質の向上に向け「入職段階での能力の向上」と「介護福祉士としてのキャリアアップシステムの確立」に取り組んでいきたいと述べられた。

川井一心氏は、地域で生活上の課題を抱えている方へ適切な支援を行うための連携を図っていききたいと述べられた。

山口保氏は、養成校と職能団体が協力し、介護福祉士の資質の向上に取り組みたいと述べられた。

定時総会挨拶で石橋会長は、平成24年度事業総括を行った後、日本介護福祉士会が平成25年4月1日に公益社団法人として再出発したこと、また平成26年2月に設立20周年を迎えることから、介護サービスの質の向上と介護福祉士の専門性や社会的評価の確立に向けてより一層の努力をしていきたい、と述べた（2頁掲載）。

総会議事は、議長に柳澤玉枝氏（長野県介護福祉士会）と柴原緑氏（三重県介護福祉士会）を選出した後、議案の審議に入った。

平成25年度定時総会の各議案は以下の通りである。

1. 平成24年度事業報告（案）に関する件（4～7頁掲載）
2. 平成24年度決算報告（案）並びに監査報告に関する件（10頁掲載）
3. 平成25年度事業計画（案）に関する件（8～9頁掲載）
4. 平成25年度収支予算（案）に関する件（11頁掲載）

以上の各議案はいずれも採決の結果、原案通り承認、可決した。

### ● 役員の変動 ●（4月1日～5月31日）

4月13日～14日 実務者研修教員養成講習会（内田、木村副会長）  
4月22日 専門誌「介護福祉士」座談会（内田副会長）  
4月25日 43回社会保障審議会介護保険部会（田中名誉会長）  
4月26日 第1回常任理事会（石橋会長、内田、木村、三浦副会長）  
5月 7日 第1回理事会（石橋会長、内田、木村、三浦副会長）  
5月15日 第44回社会保障審議会介護保険部会（田中名誉会長）  
5月19日 大阪介護福祉士会20周年及び公益社団法人化記念式典（石橋会長）

5月25日 平成25年度定時総会（石橋会長、内田、木村、三浦副会長）  
5月28日 自民党議員との意見交換会（石橋会長、内田副会長）  
5月28日 第1回認定介護福祉士（仮称）の在り方に関する検討委員会（石橋会長）  
5月31日 第94回社会保障審議会介護給付費分科会（田中名誉会長）  
5月31日 正副会長会議（石橋会長、内田、木村、三浦副会長）



# 平成25年度公益社団法人日本介護福祉士会定時総会挨拶 平成24年度事業総括

公益社団法人日本介護福祉士会 会長 石橋 真二



社会福祉士及び介護福祉士法が制定され25年が経過し、介護福祉士の登録者数も平成25年3月には109万人を超える状況になりました。

この間、少子高齢化の進行や介護保険制度・障害者自立支援法の施行などにより介護サービスのあり方は

大きく変わり、介護福祉士制度も平成19年に介護福祉士の定義規定・義務規定の見直し、資格取得方法の一元化などの一部改正が行われ、平成23年には喀痰吸引等一部の医療行為が可能となるなど、介護ニーズの変化と共に介護福祉士に求められる役割は幅広くなり、介護福祉士にはより高度な知識、技術と高い倫理が求められるようになりました。

このようななか、私たち日本介護福祉士会は、平成6年2月の設立以来、全国の介護福祉士の仲間とともに、常に新たな時代の介護ニーズに対応するため、介護福祉士の職業倫理及び、介護に関する専門性の確立、介護福祉士の資質及び社会的地位の向上などに努め、国民の介護サービス向上に取り組み、平成26年2月には

20周年を迎えようとしています。

また、厚生労働省や関係団体などの協力を得て介護福祉士のキャリアアップの仕組みができるよう「認定介護福祉士（仮称）」に関する検討会を設け、平成24年度はモデル研修を行いました。平成25年度も引き続きモデル研修を行い、その効果や研修内容への評価を踏まえ、研修カリキュラムの成案や認定の方法、制度運営の仕組みについて検討を進め、平成26年度からの本格的な実施を目指し準備を進めてまいりたいと思います。

さらに本会は平成25年4月1日に公益社団法人日本介護福祉士会として再出発を行うことができました。今後はより公益性の高い事業を行い、介護福祉士の仕事が若い世代から憧れの職業となり、魅力ある資格として確立できるように皆さんと共に取り組んでまいりたいと思います。

平成25年度は、20周年記念事業、組織率の向上、専門性の確立、認定介護福祉士（仮称）の検討状況を踏まえた生涯研修体系の確立など、取り組むべき課題は多いですが、本会がますます発展できるようあらためて会員の皆様、行政、関係団体、関係者の皆様方にご協力・ご支援をお願い申し上げます。

## ソウェルクラブ ご加入のおすすめ

ソウェルクラブは、多種多様な福利厚生サービスを提供しています。2012年10月から“クラブオフ”が加わり、一段とパワーアップしました。

### ■職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康相談

### ■職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

### ■地域に密着した事業

- 会員交流事業（旅行・観劇・スポーツ大会等）

### ■職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

### ■職員の余暇活用のために

- 指定保養所・休暇村他 全国113か所
- 会員制リゾート施設・ラフォーレ倶楽部他 全国104か所
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

### ■職員の資質向上のために

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会
- ティズニアアカデミー
- 社会福祉法人新会計基準（解説）
- 防災・危機管理講習会
- 障害者総合支援法（解説）
- 人材育成

### ■職員の生活サポートのために

- 住宅ローン・特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険 傷害保険

### ■各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

### ■ソウェルクラブ“クラブオフ”

- 宿泊、レジャー、スポーツ、映画、カラオケ、グルメなど約7,500か所の施設を割引料金で利用できます。

### 加入できる職員

社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。

### 掛金

掛金は職員一人あたり毎年度1万円です。

### 加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル



TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
http://www.sowel.or.jp/

社会福祉法人 福利厚生センター  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-3-11  
NBF小川町ビルディング10階

福祉で働く人の福利厚生を支援しています。

定時総会講演

## 地域包括ケアシステムにおける介護福祉士の役割 認定介護福祉士（仮称）の創設を

神奈川県立保健福祉大学 名誉教授 聖隷クリストファー大学 特任教授  
太田貞司氏



太田貞司氏は福祉事務所で相談員として在宅支援に携わられたことをきっかけに研究者となられ、現在は地域ケアを中心に研究をされている。また、「認定介護福祉士（仮称）の在り方に関する検討会」の委員長を務められている。

平成24年度介護報酬改定において強調された「地域包括ケアシステム」構築を行う際には「支援」と「生活基盤」の2面から考えることが重要であり、「医療との連携強化」、「介護サービスの充実強化」、「予防の推進」、「見守り、配食、買い物など、多様な生活支援サービスの確保や権利擁護など」、「高齢期になっても住み続けることのできる高齢者住まいの整備」の5つの視点で検討が進められている、と説明された。

その上で、「地域包括ケアシステム」構築の中で「『施設』から『地域へ』・『医療』から『介護』へ」という考え方による医療と介護機能の再編が進められていることにより介護分野の社会的な役割が増大していると説明され、そのことにより介護職員の中核であ

る介護福祉士に対し、他職種と適切に連携することや「身近な生活支援者」として地域の暮らしを支えることがこれまで以上に求められている、と述べられた。

こうした社会的要請に答えるためには、介護と地域の相互理解を深めること、各地で行われている介護福祉実践の共有を図ることに加え、ベテランの介護福祉士が介護の現場で働き続けられるキャリアアップの仕組みを作ることや、地域で質の高い介護職を育成できるリーダーを養成することが必要である、と述べられた。

そのため、介護福祉士集団のリーダーとして十分な介護実践力を備えた上で、介護チームの運営、介護チームのリーダーの育成、他職種との連携・協働を促進できる人材として、認定介護福祉士（仮称）の資格が日本介護福祉士会を中心に検討が進められている、と説明された。

最後に、「日常生活の営みへの支援」の場は、「ベッド上」から「地域社会」へと広がり、利用者の様子も大きく変化すると説明された上で、この変化を継続させるためには「医療」と「社会的ケア」による地域ケアの基盤を確立させる必要があり、その「社会的ケア」を中心となって担う介護福祉士の在り方が最も重要な課題である、と述べられた。

### 専門性が支える介護福祉の充実のために

介護専門職情報誌

## 介護福祉

☆毎年3月・6月・9月・12月の25日発行

☆定価860円（本体819円／送料含む）

年間購読料3,440円

☆申込先 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル

TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514

定期購読の申込方法 <http://www.sssc.or.jp/>

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

春号（25年3月発行）

特集「介護の専門性とは何か」

夏号（25年6月発行）

特集「人間関係とコミュニケーション」

# 平成24年度事業報告

## I 法人の概況

### 1. 設立年月日

平成12年6月26日(任意団体設立:平成6年2月12日)

### 2. 定款に定める目的

本会は、介護福祉士の職業倫理及び専門性の確立、介護福祉に関する専門的教育及び研究の推進並びに介護に関する知識の普及を図り、介護福祉士の資質及び社会的地位の向上に資するとともに、国民の福祉の増進に寄与することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- (1) 介護福祉士の職業倫理並びに専門的知識及び技術の向上に関する事業
- (2) 介護福祉に関する調査研究に関する事業
- (3) 介護福祉士教育機関その他関係団体との連携及び協力に関する事業
- (4) 介護福祉の普及啓発に関する事業
- (5) 介護福祉士の相互福祉に関する事業
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

### 4. 所管官庁に関する事項

厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課

### 5. 会員の状況

種類	当期末	前期末比増減
正会員	45,547名	890名
賛助会員	16団体	1団体
名誉会員	—	—

### 6. 主たる事務所の状況

事務所:東京都港区虎ノ門1丁目22番13号  
西勘虎の門ビル3階

### 7. 役員等に関する事項 (省略)

### 8. 職員に関する事項

職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数	
男子	5名	0名	歳	3年9月
女子	2名	0名	歳	7年6月
合計又は平均	7名	0名	39歳	5年7月

※他に有期労働契約社員3名

## II 事業の状況

### 1. 各種事業推進のための会議・委員会の実施

#### 1) 生涯研修制度検討委員会

○当年度においては8回の作業委員会を開催し、生涯

研修体系の見直しや既存テキストの見直し等について検討した。

- ・生涯研修制度図の改定や生涯研修ポイントの活用に関する運営方法について検討を行った。
- ・「認定介護福祉士(仮称)の在り方に関する検討会」の検討結果に基づき、「認定介護福祉士(仮称)モデル研修」を実施した。(モデル研修は次年度も継続予定。)
- ・介護福祉士初任者研修のテキスト改訂に関する検討会を実施し、全支部へ行ったアンケート結果をもとに、テキストの目次等について検討した。
- ・リーダー研修の実施により、介護福祉士初任者研修、ファーストステップ研修、サービス提供責任者研修等の研修講師の養成を行った。
- ・(仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修の修了認定を行うため、昨年度に引き続き認定基準について検討を行い、認定試験を実施した。
- ・日本介護福祉士会の提唱する介護技術マニュアル(仮)の内容について引き続き検討を行った。
- ・障害者支援のための研修について、モデル研修を実施するとともに、各ブロックにおける実施へ向けた検討を行った。

#### 2) 制度・政策検討委員会

- 当年度においては委員会を1回開催し、政策提言事項、要望事項等の内容を検討し、それぞれ対応した。
- ・介護福祉士の処遇改善に関する実態を把握し、行政へ提言するため、「介護職員処遇改善に関する調査」の内容について検討を行い、調査を実施した。
- ・行政及び関係団体の行う委員会等に参画し、提言を行うとともに、ホームページ等を活用して、国民へ情報発信を行った。

#### 3) 調査研究委員会

- 第10回介護福祉士の就労実態と専門性の意識に関する調査
- ・より良い介護サービスの提供に資すること等を目的として、時代の変遷とともに介護福祉士に求められているものおよび就労実態に関する調査を実施し、調査結果をまとめた報告書を配布した。

#### 4) 組織財政運営関係委員会

- 諸会議を開催し、本会の健全な運営を図った。
- ・通常総会 1回
- ・理事会 2回
- ・常任理事会 7回
- ・選挙管理委員会 3回
- ・都道府県会長会 2回
- ・調査研究委員会 4回
- ・広報委員会 4回
- ・倫理委員会 5回
- ・全国大会実行委員会 2回

- ・編集委員会 1回
- ・学会委員会 2回
- ・災害対策マニュアル検討委員会 2回
- ・ブロック会議 (各ブロックごと)

5) 倫理委員会

○介護福祉士をはじめとする介護職員全体の倫理向上を目的とした普及啓発及び倫理的問題に取り組む、新たな委員会の設置へ向けた検討を行った。

6) 災害対策マニュアル検討委員会

○東日本大震災を踏まえ委員会を2回開催し、「災害時における介護福祉支援ボランティア・マニュアル」を改訂し、また介護福祉士ボランティア活動者育成研修について検討した。

○介護福祉士災害支援活動に関する研修会及び東日本大震災に関するボランティア交流会を開催した

2. 各種研修会の開催及び学術研究活動

1) 日本介護福祉士会会員（日本介護学会会員）が広く参加する研修

○全国大会の開催

- ・全ての介護福祉士の研究意欲を高めるとともに、介護福祉実践場面での知識・技術の向上を図るため次のとおり開催した。

開催年月日	開催場所	人数
第19回全国大会 24.12.7（金）～8（土）	甲府富士屋ホテル （山梨県）	551名

○学術研究活動

- ・介護福祉にかかわる学術的な研究を推進し、介護福祉の専門的な技術、知識の向上を図るため、次のとおり開催した。

開催年月日	開催場所	人数
第10回日本介護学会 24.9.28（土）～29（土）	ピアザ淡海 （滋賀県）	396名

○ブロック研修会の実施

- ・介護福祉士としての資質の向上を図るため、介護問題を巡る最新のテーマに基づいた研修会を実施した。

(ブロック研修)

開催年月日	開催場所	人数
北海道東北ブロック(岩手) 24.10.7（日）～8（月）	いわて県民情報交流センター アイーナ	155名
関東甲信越ブロック(栃木) 24.9.7（金）～8（土）	鬼怒川温泉 あさや	205名
東海北陸ブロック(愛知) 24.7.14（土）～15（日）	ホテル竹島	281名
近畿ブロック(奈良) 25.2.1（金）～2（土）	なら100年会館	143名
中国・四国ブロック(香川) 24.9.7（金）～8（土）	高松テルサ	235名
九州ブロック(大分) 24.11.16（金）～17（土）	杉乃井ホテル	428名
合計		1447名

(ブロックリーダー研修)

開催年月日	開催場所	人数
北海道・東北ブロック 第1回 24.7.7（土）～8（日）	北海道	22名
北海道・東北ブロック 第2回 25.1.26（土）～27（日）	福島県	101名
関東甲信越ブロック 第1回 24.10.27（土）	神奈川県	23名
東海北陸ブロック 第1回 24.12.24（月）	三重県	72名
東海北陸ブロック 第2回 25.3.16（土）	静岡県	46名
近畿ブロック 第1回 24.8.18（土）	和歌山県	29名
近畿ブロック 第2回 25.3.9（土）	兵庫県	37名
九州ブロック 第1回 24.11.17（土）	大分県	60名
九州ブロック 第2回 25.1.12（土）～13（日）	鹿児島県	41名
合計		431名

2) 総合的なキャリアアップを目的とする研修（生涯研修体系に基づき実施）

○介護福祉士初任者研修の実施

- ・介護福祉士初任者を対象として都道府県支部において実施した。

○ファーストステップ研修の実施

- ・資格取得後の実務経験2～3年の介護福祉士を対象として、都道府県支部において次のとおり実施した。

開催年月日	開催場所	人数
24.4.28（土）～25.3.2（土）	新潟県	31名
24.5.12（土）～25.3.13（水）	宮崎県	20名
24.5.13（日）～24.12.9（日）	愛知県	33名
24.5.20（日）～24.12.16（日）	東京都	10名
24.6.4（月）～25.1.10（木）	長野県	39名
24.6.4（月）～24.12.19（水）	岡山県	29名
24.6.9（土）～24.12.15（土）	鳥取県	21名
24.6.12（火）～25.1.29（火）	滋賀県	14名
24.6.16（土）～24.12.15（土）	富山県、石川県、福井県	17名
24.6.23（土）～25.2.16（土）	兵庫県	22名
24.6.30（土）～25.1.26（土）	京都府	17名
24.7.1（日）～25.1.26（土）	三重県	38名
24.7.7（土）～25.3.24（日）	神奈川県	3名
24.7.22（日）～25.2.23（土）	広島県	24名
24.7.28（土）～25.3.10（日）	埼玉県	17名
24.7.28（土）～25.2.19（火）	静岡県	28名
24.7.28（土）～25.1.12（土）	大阪府	10名
24.8.25（土）～25.3.23（土）	福岡県	15名
24.8.25（土）～25.3.16（土）	鹿児島県	23名
24.9.8（土）～25.3.19（火）	大阪府	8名
合計		419名

## ○リーダー研修の実施

- ・講師養成特別講座を実施した。

開催年月日	開催場所	人数
24.8.3(金)～4(日)	フクラシア浜松町	36名
24.12.15(土)～17(月)	TKP大阪梅田ビジネスセンター	64名

- ・介護福祉士初任者研修の講師養成研修を実施した。

開催年月日	開催場所	人数
24.11.30(金)～12.2(日)	フクラシア東京ステーション	16名
25.3.24(日)～26(火)	TKP大阪梅田ビジネスセンター	34名

- ・ファーストステップ研修の講師養成を実施した。

開催年月日	開催場所	人数
24.10.12(金)～14(日)	フクラシア東京ステーション	9名
25.2.1(金)～3(日)	ツイン21MDタワー(大阪)	18名

## ○(仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修

- ・昨年度に引き続きモデル研修を実施した。また、認定試験の内容や研修内容の評価について検討を行った。

開催年月日	開催場所	人数
第1回24.6.8(金)～10(日)	TIME24ビル (東京)	34名
第2回24.7.7(土)～8(日)		
第3回24.8.10(金)～12(日)		
第4回24.9.15(土)～17(月)		
第5回24.10.20(土)～21(日)		
第6回24.11.10(土)～11(日)		
第7回24.12.21(金)～22(土)		
第8回25.1.13(日)～14(月)		
第9回25.2.10(日)～11(月)		
第10回25.3.16(土)～17(日)		

## ○障害者支援のためのモデル研修の実施

- ・障害者支援のためのモデル研修を実施した。

開催年月日	開催場所	人数
25.3.23(土)～24(日)	フクラシア東京ステーション	42名

## 3) 職能的研修

## ○介護福祉士実習指導者講習会の実施

- ・45都道府県支部(延べ81開催)において実施した。

## ○サービス提供責任者研修の実施

- ・多くの介護福祉士がその責務を担うサービス提供責任者に必要な知識を付与することを目的として都道府県支部において実施した。

## ○介護技術講習会主任指導者・指導者養成講習会の実施

- ・主任指導者養成講習会を次のとおり実施した。

開催年月日	開催場所	人数
24.8.25(土)～26(日)	サンパルテ山王 (長野県)	78名

- ・指導者養成講習会を次のとおり13支部で実施した。

開催年月日	開催場所	人数
24.6.9(土)、24.7.1(日)	京都府	13名
24.6.24(日)～24.6.30(土)	福岡県	23名
24.8.16(木)、24.8.19(日)～20(月)	神奈川県	27名
24.8.18(土)～19(日)	富山県	19名
24.9.16(土)～17(日)	鹿児島県	22名
24.9.29(土)～30(日)	埼玉県	12名
24.11.17(水)～18(日)	福島県	15名
24.12.1(土)～2(日)	愛知県	24名
25.1.12(土)～13(日)	東京都	21名
25.1.26(土)～27(日)	京都府	22名
25.2.2(土)～3(日)	東京都	16名
25.2.15(土)～16(日)	大阪府	21名
25.2.16(土)～17(日)	岡山県	11名
合計		246名

## ○たんの吸引、経管栄養に関する研修会の実施

- ・厚生労働省の定める本研修受講前に、予備的な知識・技術を身につけるための研修を都道府県支部において実施した。

## ○実務者研修教員講習会の実施

開催年月日	開催場所	人数
第1回24.12.23(日)～24(月)	東京八重洲ホール (25.3.9のみ 読売理工医療福祉 専門学校)	38名
第2回25.2.9(土)～10(日)		
第3回25.3.9(土)～10(日)		
第4回25.4.13(土)～14(日)		

## 4) その他の研修

## ○海外研修の実施

- ・「介護福祉士海外研修・調査」への会員参加及び募集協力を行った。

主 催：公益財団法人社会福祉振興・試験センター  
派遣国：スウェーデン

実施期間：平成24年9月1日～9月15日

## 3. 関係団体との連携・協力に関する事業

## ○当年度は、各団体と連携強化を図った。

- 第25回介護福祉士国家試験(実技試験)の現地試験委員として329名、試験モデルとして331名を社会福祉振興・試験センターに派遣した。

- 厚生労働省「社会保障審議会介護給付費分科会及び介護保険部会」及び内閣府「実践キャリア・アップ戦略推進チーム 専門タスク・フォース 介護人材ワーキング・グループ及び介護プロフェッショナルワーキング・グループ」に参画し意見を述べた。

## 4. 介護福祉の普及啓発に関する事業

## ○「介護の日」に関する事業を実施した。

- ・「介護の日」ひろめ隊の活動等に積極的に取り組んだ。

## ○老人の日・老人週間に関する事業を実施した。

- ・敬老の日・老人保健福祉週間や介護の日に合わせて、介護相談などを都道府県支部において実施した。

## ○日本介護福祉士会ニュースの発行

- ・当年度は通巻No.109からNo.114を偶数月15日に発行した。支部を通じて全会員に送付するほか、有償購読者105（介護福祉士養成施設、その他団体・個人）に送付した。

## ○リーフレットの作成

- ・入会を促進するためリーフレットを作成し、適宜配布した。

## ○ホームページによる情報提供

- ・「認定介護福祉士（仮称）」に関する専用ページを新設した。また、昨年度に引き続き、速やかな情報更新を行った。

## ○会員サイト「ケアウェル」の開設

- ・全会員に対しID、パスワードを発行し、適宜情報発信を行った。
- ・メールアドレス登録者に対し、メール配信を開始した。

## ○調査研究事業の情報提供

## ○介護福祉士国家試験受験対策事業の実施（模擬試験等）

- ・介護福祉士国家試験受験支援のための、全国一斉模擬試験を実施した。
- ・福祉新聞「受験ゼミナール」コーナーの模擬問題を作成し、掲載した。

## ○介護支援専門員全国一斉模擬試験を実施した。

**5. 介護福祉士の相互福祉に関する事業**

## ○会員専用福利厚生制度（安心三重奏）の団体加入促進に取り組んだ。

## ○昨年度に引き続き、会員証付帯福利厚生制度の充実に取り組んだ。

**6. その他本会の目的を達成するために必要な事業**

## ○災害救援事業

- ・介護福祉士災害支援活動に関する研修会・東日本大震災に関するボランティア交流会を開催して、東日本大震災の災害ボランティアに派遣された人達のフォローアップとブラッシュアップ、交流の場を設けた。（12名）
- ・随時、災害ボランティアの登録を受け付けて、有事の際には迅速にボランティアを派遣できる体制を整備した。

## ○会員の加入促進

- ・都道府県会長会において提言を行い、具体的な目標数を決定し、各支部はその達成の取り組みを行った。
- ・本会活動の積極的な周知に努め、賛助会員の獲得を図るなどして組織基盤を整備した。
- ・都道府県介護福祉士会の健全な発展のため、公益社団法人化及び一般社団法人化を支援した。公益社団法人化支部は2支部（神奈川県、長野県）、一般社団法人化支部は10支部（北海道、青森県、岩手県、山形県、福島県、茨城県、石川県、福井県、三重県、和歌山県）。

## ○補助金等事業（公的助成の確保を図り、事業の充実を図った。）

- ・厚生労働省「質の高い介護サービスの提供力、医療連携能力等を持つ介護福祉士（認定介護福祉士）の養成・技能認定等に関する調査研究事業」の実施（3回の親委員会、6回の作業委員会及び8回のワーキングを実施し、「認定介護福祉士（仮称）モデル研修を実施した。また、平成24年度の研究成果をまとめた「中間まとめ」を作成し、会員のみならず、関係団体等に広く配布した。）
- ・公益財団法人社会福祉振興・試験センター「リーダー研修会」の実施（介護福祉士初任者等を指導するリーダーを養成するために、研修会を実施した。）
- ・公益財団法人社会福祉振興・試験センター「介護福祉士福祉人材・養成研修助成事業」の実施（介護福祉士のキャリアアップシステムとなる生涯研修制度を充実し、介護福祉士の専門性の向上、社会的地位の向上を図るため、制度に関する検討や「認定専門介護福祉士（認知症）養成研修」を行った。）

## ○第三者評価事業

- ・評価実績：社会福祉法人多摩済生医療団（特別養護老人ホーム、通所介護、訪問介護、訪問看護、居宅介護支援）
- ・東京都福祉サービス評価推進機構より認証を受けた。評価者の継続研修11名
- ・評価者を対象としたスキルアップ研修を実施した。
- ・各支部の実施状況  
神奈川県、新潟県、富山県、長野県、京都府、福岡県で実施した。

## ○介護サービス情報の公表事業

- ・各支部の実施状況  
新潟県、富山県、福岡県で実施した。

## ○20周年記念事業

- ・日本介護福祉士会設立20周年記念事業について検討を行った。



# 平成25年度事業計画

「公益社団法人日本介護福祉士会定款」第4条に定める次の事業

- (1) 介護福祉士の職業倫理ならびに専門的知識及び技術の向上に関する事業
- (2) 介護福祉に関する調査研究に関する事業
- (3) 介護福祉士教育機関その他関係団体との連携及び協力に関する事業
- (4) 介護福祉の普及啓発に関する事業
- (5) 介護福祉士の相互福祉に関する事業
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業を行うため、以下の事業を実施する。

## 1. 各種事業推進のための会議・委員会の実施

- 1) 生涯研修制度検討委員会【定款第4条-(1)】
  - ・生涯研修システムを運営し、認証制度を実施する。さらに継続してシステムの普及・推進について検討を行う。
  - ・生涯研修制度に基づいた研修のあり方について見直すとともに、ポイントの新たな活用方法を実施する。
  - ・「認定介護福祉士（仮称）養成の在り方に関する検討会」の検討結果に基づき、試行事業として引き続きモデル研修を実施する。また、平成26年度からの本格実施に向けて準備を行う。（認証・認定機関の設置及び研修体制の整備など）
  - ・リーダー研修の実施により、介護福祉士初任者研修、ファーストステップ研修、サービス提供責任者研修等の講師養成を行い、各支部における事業運営に必要なサポート体制を充実する。
  - ・介護福祉士を取り巻く環境の変化に対応すべく、介護福祉士初任者研修等のカリキュラムの充実を図る。
  - ・（仮）生涯研修制度評価委員会を設置し、（仮称）認定専門介護福祉士（認知症）養成研修等、日本介護福祉士会の実施する各種研修会の評価及び修了者の認定について検討する。
  - ・都道府県介護福祉士会との連携のもと、日本介護福祉士会としての介護技術のモデル化について引き続き検討する。
  - ・障がい者に対する介護の現状と課題を整理し、生涯研修制度に基づいて障がい種別に応じた研修を実施するとともに、ブロック又は支部での実施に向けた支援を行う。
  - ・日本介護福祉士会のキャリアパス（生涯研修制度）について、社会的認知度の向上を目指す。（認定介護福祉士の位置づけを明確化した制度にする）
- 2) 制度・政策検討委員会【定款第4条-(6)】
  - ・介護福祉士の社会的評価の向上・労働条件の改善に対する取り組みを図る。
  - ・介護保険制度とサービスの質の評価に関する指標、障害者自立支援法・医療行為・国家試験・介護福祉教育・外国人労働者などの介護福祉制度に関する政策・提言について調査研究、研修部門と連携して検討を行う。
  - ・行政を始めとする各委員会等に参画し提言していく。また、国民に向けた情報発信を積極的に行う。

## 3) 調査研究委員会【定款第4条-(2)】

- ・時代の変遷とともに移り変わる「介護福祉士の専門性」や就労実態について把握し、より良い介護サービスの提供に資すること等を目的とした「就労実態と専門性の意識に関する調査研究」に関する調査内容を検討する。また、介護福祉士制度に関わる制度・政策検討委員会と連動して、必要な調査を検討する。

## 4) 組織財政運営関係委員会【定款第4条-(6)】

- ・諸会議を開催し、健全な本会運営を図る。
  - ・総会、理事会及び常任理事会の開催
  - ・各種委員会及び選挙管理委員会の運営

## 5) 倫理委員会【定款第4条-(6)】

- ・倫理綱領及び倫理基準（行動規範）に基づき、各支部における倫理委員会の設置に向けた検討を行う。

## 6) 災害対策マニュアル検討委員会【定款第4条-(6)】

- ・災害時支援活動実践マニュアルの充実、普及を図り、本会の災害対策並びに災害対策本部設置などのあり方等についても見直す。

## 2. 各種研修会の開催及び学術研究活動

- 1) 日本介護福祉士会会員（日本介護学会会員）が広く参加する研修
  - 全国大会の開催【定款第4条-(1)】
    - ・全ての介護福祉士の研究意欲を高めるとともに、介護福祉実践場面での知識・技術の向上を図るため、時宜に合ったテーマに沿って、講演や分科会等、開催県を全支部が支援し、実施する。（第20回開催県＝鳥取県、平成25年11月15日～16日）
  - 学術研究活動【定款第4条-(6)】
    - ・日本介護学会の運営と学術集会の開催（第11回開催県＝山形県、平成25年10月11日～12日）
    - ・学術研究を行う際の倫理指針について、倫理委員会とも連携して検討を進める。
    - ・会員の実践・研究業績を広く周知し、介護現場におけるケアの質の向上に生かすため、専門誌「介護福祉士」（年2回）の内容を見直し、充実、普及を図る。
  - ブロック研修会の開催【定款第4条-(1)】
    - ・介護福祉士としての資質の向上を図るため、介護問題を巡る最新のテーマに基づいた研修会を実施する。
- 2) 総合的なキャリアパスを目的とする研修【定款第4条-(1)】
  - 介護福祉士初任者研修
    - ・介護福祉士初任者を対象とした研修を全支部で実施する。
  - ファーストステップ研修
    - ・小規模チームのリーダーや初任者等の指導係を養成するため、これまでに作成されたシラバスや教材を参考にして、各支部で実施する。
  - リーダー研修
    - ・介護福祉士初任者研修・ファーストステップ研修・サービス提供責任者研修等の研修会をさらに充実させる目的として講師養成研修を実施する。
  - 介護職のための研究・発表に関する研修
    - ・全国大会、日本介護学会、ブロック研修会等における発表を促進するとともに、各支部において研

修を実施する際の運営スキームを提示し、実施県を支援する。

- （仮称）認定専門介護福祉士（認知症）養成研修
  - ・昨年度より新カリキュラムで実施しているモデル研修会を引き続き実施し、研修内容について評価委員会にて評価する。
- 法制度等に関する研修会
  - ・介護福祉士を取り巻く法制度等に関する正しい知識を身につけ、後進の育成に資するための研修を支部において実施する。
- 3) 職能的研修【定款第4条- (1)】
- 介護福祉士実習指導者講習会
  - ・社会福祉士及び介護福祉士法改正に伴う実習指導者の資格要件を付与すること等を目的として介護福祉士実習指導者講習会を各支部で実施する。また、テキストの改訂について検討を進める。
- サービス提供責任者研修
  - ・介護保険制度で多くの介護福祉士がその責務を担うサービス提供責任者に必要な知識を付与することを目的として、日本介護福祉士会の示すカリキュラムに則ってブロック又は支部において実施する。また、標準テキストを活用する。
- 介護技術講習主任指導者・指導者養成講習
  - ・主任指導者・指導者養成講習を実施する。（主任指導者養成講習は中央実施、指導者養成講習は支部実施）
- 介護支援専門員現任研修
  - ・「日本介護福祉士会方式アセスメント・ケアプラン」を活用するなどして介護支援専門員の資質向上のための現任研修をブロック又は支部において実施する。
- たんの吸引、経管栄養に関する研修会（予備的な知識・技術を身につける研修）
  - ・介護福祉士の行うたんの吸引や経管栄養について、安心して安全に実施できるよう、法律で定められた研修の受講前に、予備的な知識・技術を身につけることを目的とした研修を支部において実施する。
- 実務者研修教員講習会
  - ・実務経験を3年以上有する者が介護福祉士国家試験を受験するために受講しなければならない実務者研修（450時間）の円滑な運営に資するため、その教員養成を目的とした講習会を実施する。
- 4) その他の研修
- 海外研修の実施
  - ・社会福祉振興・試験センター実施の海外研修への会員参加
- その他時宜に応じて必要な研修
- 3. 関係団体との連携・協力【定款第4条- (3)】
- 保健・医療・福祉の各団体との連携強化
- 必要に応じ他団体、機関、研究所等との連携
- 後継者の育成
  - ・日本介護福祉士養成施設協会等の団体と協力し、後進の育成を図るとともに講師育成を図る。
- 介護福祉士国家試験（実技試験）の実地試験委員派遣協力
- 4. 介護福祉の普及啓発に関する事業【定款第4条- (4)】
- 介護の日に関する事業の実施
  - ・「介護の日」ひろめ隊活動や介護相談等の実施を通して、11月11日「介護の日」の普及啓発を図ると

もに、地域における支え合いの重要性等の理解と認識をひろめ、「介護の日」の取り組みを促進する。

- 老人の日・老人週間に関する事業の実施
  - ・老人の日・老人週間合わせて47都道府県において介護相談マニュアルを活用した介護相談等、各支部の企画による事業を実施する。
- 日本介護福祉士会ニュースの充実・発行（年6回）
- 公益社団法人移行に伴う新たなポスター及びパンフレットの作成
- ホームページによる情報提供
  - ・内容の一層の充実を図るとともに、各支部のホームページ充実の支援を行う。
  - また、各支部や関係団体とのリンクの充実、パンフレットの活用なども図る。
- 調査研究事業の情報提供
- 介護福祉士国家試験受験対策事業の実施（模擬試験等）
- 介護支援専門員実務研修受講試験受験対策事業の実施（模擬試験等）
- 介護に関する出版物の発行及び協力
- 5. 介護福祉士の相互福祉に関する事業【定款第4条- (5)】
- 各種保険制度への団体加入
  - 安心三重奏の充実（喀痰の吸引等医療行為に伴い、新たな保険制度の検討を行う）
- 会員証付帯福利厚生制度の充実
- 6. その他の事業
- 災害救援活動【定款第4条- (6)】
  - ・災害発生時の復興に取り組むため、全支部の協力を得て、ボランティア派遣など災害救援に関わる活動を行う。また、行政、他団体や他職種との連携を深め有意義な支援活動を行う。このような活動が迅速に行えるようにリーダー養成を行う。
  - ・災害支援に関する研修会を各ブロックで開催する。
  - ・災害支援介護福祉士（仮）の養成について検討する。
- 組織財政運営活動【定款第4条- (6)】
  - ・各支部策定の「会員加入促進計画」に基づいて介護福祉士登録者の本会への加入を促進し、組織基盤を確立する。
  - ・会員情報管理システム「ケアウェル」により、各支部との情報管理を一本化し、組織基盤を強化する。また平成24年度に立ち上げた会員専用サイトにより、情報発信の強化に努める。
  - ・本会活動の積極的な周知に努め、賛助会員の獲得を図るなどして組織基盤を整備する。
  - ・都道府県介護福祉士会の健全な発展のため、社団化を促進する。また、各支部の組織強化の支援を行う。
  - ・公的助成の確保を図り、事業の充実を目指す。
- 介護職員等喀痰吸引等制度の安全管理体制等の運用状況に関する調査研究事業
  - ・喀痰吸引等の実施状況、運用実態課題について、今後の制度安定運営のための基礎資料とすることを目的として会員を通じて調査を行う。
- 第三者評価事業の実施・介護サービスの情報の公表事業の推進【定款第4条- (4)】
  - ・日本介護福祉士会による事業の実施ならびに各支部が実施する場合の支援を行う。
  - 日本介護福祉士会設立20周年（平成25年度）記念誌の発行及び記念事業を行う。

# 平成24年度 一般会計収支計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
<b>I 事業活動収支の部</b>			
1. 事業活動収入			
(1) 会費収入	144,000,000	152,852,000	△8,852,000
①入会金収入	17,500,000	18,440,000	△940,000
②年会費収入	124,500,000	132,412,000	△7,912,000
年会費収入	123,000,000	129,294,000	△6,294,000
過年度年会費収入	1,500,000	3,118,000	△1,618,000
③賛助会費収入	2,000,000	2,000,000	0
(2) 事業収入	44,000,000	56,619,582	△12,619,582
①研修会費収入	11,850,000	12,178,500	△328,500
②研修手数料収入	11,750,000	24,461,000	△12,711,000
③協賛金収入	2,000,000	1,540,000	460,000
④購読料収入	200,000	198,000	2,000
⑤手数料収入	17,000,000	16,522,082	477,918
⑥委託料収入	1,200,000	1,720,000	△520,000
第三者評価事業収入	1,200,000	1,720,000	△520,000
(3) 補助金等収入	4,000,000	25,850,000	△21,850,000
①民間助成金収入	4,000,000	10,850,000	△6,850,000
②老人保健健康増進等事業収入	0	15,000,000	△15,000,000
(4) 雑収入	100,000	118,042	△18,042
①雑収入	100,000	118,042	△18,042
受取利息収入	50,000	43,857	6,143
雑収入	50,000	74,185	△24,185
事業活動収入計	192,100,000	235,439,624	△43,339,624
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	143,380,000	175,713,625	△32,333,625
①研修費支出	38,100,000	51,452,760	△13,352,760
②調査研究費支出	2,000,000	20,023,921	△18,023,921
③広報費支出	10,700,000	11,672,998	△972,998
④組織費支出	8,800,000	11,169,442	△2,369,442
⑤専門研究費支出	2,100,000	470,848	1,629,152
⑥その他事業費支出	34,100,000	32,182,018	1,917,982
⑦会員証作成費支出	700,000	0	700,000
⑧人件費支出	39,680,000	37,975,157	1,704,843
⑨事務所費支出	5,200,000	7,420,158	△2,220,158
⑩通信運搬費支出	2,000,000	3,346,323	△1,346,323
(2) 管理費支出	46,720,000	45,661,793	1,058,207
①人件費支出	9,920,000	9,493,789	426,211
②顧問料支出	1,000,000	1,073,700	△73,700
③事務所費支出	1,300,000	1,855,040	△555,040
④通信運搬費支出	500,000	836,581	△336,581
⑤事務費支出	5,000,000	7,122,479	△2,122,479

科 目	予算額	決算額	差 異
⑥渉外費支出	1,000,000	894,749	105,251
⑦租税公課支出	3,500,000	727,300	2,772,700
⑧会議費支出	24,500,000	23,658,155	841,845
(3) 他会計への繰入金	2,000,000	2,000,000	0
支出			
①特別会計(災害)への繰入金支出	2,000,000	2,000,000	0
事業活動支出計	192,100,000	223,375,418	△31,275,418
事業活動収支差額	0	12,064,206	△12,064,206
<b>II 投資活動収支の部</b>			
1. 投資活動収入			
①固定資産取得収入	10,000,000	9,797,662	202,338
投資活動収入計	10,000,000	9,797,662	202,338
2. 投資活動支出			
①固定資産取得支出	10,000,000	11,269,566	△1,269,566
投資活動支出計	10,000,000	11,269,566	△1,269,566
投資活動収支差額	0	△1,471,904	1,471,904
<b>III 財務活動収支の部</b>			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
<b>IV 予備費支出</b>			
当期収支差額	0	10,592,302	△10,592,302
前期繰越収支差額	71,636,856	71,636,856	0
次期繰越収支差額	71,636,856	82,229,158	△10,592,302

平成24年度特別会計決算、平成25年度特別会計予算についてはホームページをご覧ください。

# 平成25年度 一般会計収支予算

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	科 目	予算額	前年度予算額	増 減
<b>I 事業活動収支の部</b>				⑥ 渉外費支出	1,000,000	1,000,000	0
1. 事業活動収入				⑦ 租税公課支出	2,000,000	3,500,000	△1,500,000
(1) 会費収入	150,000,000	144,000,000	6,000,000	⑧ 会議費支出	24,500,000	24,500,000	0
① 入会金収入	17,500,000	17,500,000	0	(3) 他会計への繰入金	0	2,000,000	△2,000,000
② 年会費収入	130,500,000	124,500,000	6,000,000	支出			
年会費収入	129,000,000	123,000,000	6,000,000	① 特別会計（災害）へ	0	2,000,000	△2,000,000
過年度年会費収入	1,500,000	1,500,000	0	の繰入金支出			
③ 賛助会費収入	2,000,000	2,000,000	0	事業活動支出計	258,171,260	192,100,000	66,071,260
(2) 事業収入	50,890,000	44,000,000	6,890,000	事業活動収支差額	△15,610,000	0	△15,610,000
① 研修会費収入	13,490,000	11,850,000	1,640,000	<b>II 投資活動収支の部</b>			
② 研修手数料収入	16,400,000	11,750,000	4,650,000	1. 投資活動収入			
③ 協賛金収入	2,500,000	2,000,000	500,000	① 固定資産取得収入	0	10,000,000	△10,000,000
④ 購読料収入	200,000	200,000	0	投資活動収入計	0	10,000,000	△10,000,000
⑤ 手数料収入	17,000,000	17,000,000	0	2. 投資活動支出			
⑥ 委託料収入	1,300,000	1,200,000	100,000	① 基本財産取得支出	0	0	0
第三者評価事業収入	1,300,000	1,200,000	100,000	② 固定資産取得支出	0	10,000,000	△10,000,000
(3) 補助金等収入	41,571,260	4,000,000	37,571,260	投資活動支出計	0	10,000,000	△10,000,000
① 民間助成金収入	8,520,000	4,000,000	4,520,000	投資活動収支差額	0	0	0
② 老人保健事業推進	33,051,260	0	33,051,260	<b>III 財務活動収支の部</b>			
費等補助金収入				1. 財務活動収入			
(4) 雑収入	100,000	100,000	0	財務活動収入計	0	0	0
① 雑収入	100,000	100,000	0	2. 財務活動支出			
受取利息収入	50,000	50,000	0	財務活動支出計	0	0	0
雑収入	50,000	50,000	0	財務活動収支差額	0	0	0
事業活動収入計	242,561,260	192,100,000	50,461,260	<b>IV 予備費支出</b>	0	0	0
2. 事業活動支出				当期収支差額	△15,610,000	0	△15,610,000
(1) 事業費支出	207,631,260	143,380,000	64,251,260	前期繰越収支差額	82,229,158	71,636,856	10,592,302
① 研修費支出	64,240,400	38,100,000	26,140,400	次期繰越収支差額	66,619,158	71,636,856	△5,017,698
② 調査研究費支出	13,830,860	2,000,000	11,830,860				
③ 広報費支出	13,000,000	10,700,000	2,300,000				
④ 組織費支出	10,300,000	8,800,000	1,500,000				
⑤ 専門研究費支出	1,000,000	2,100,000	△1,100,000				
⑥ その他事業費支出	40,600,000	34,100,000	6,500,000				
⑦ 会員証作成費支出	500,000	700,000	△200,000				
⑧ 人件費支出	54,320,000	39,680,000	14,640,000				
⑨ 事務所費支出	7,840,000	5,200,000	2,640,000				
⑩ 通信運搬費支出	2,000,000	2,000,000	0				
(2) 管理費支出	50,540,000	46,720,000	3,820,000				
① 人件費支出	13,580,000	9,920,000	3,660,000				
② 顧問料支出	1,000,000	1,000,000	0				
③ 事務所費支出	1,960,000	1,300,000	660,000				
④ 通信運搬費支出	500,000	500,000	0				
⑤ 事務費支出	6,000,000	5,000,000	1,000,000				

(注) 1. 借入金限度額 なし

2. 債務負担額 なし

# 介護現場におけるQ&A

## ～法律編～（入居者同士の諍い）



私の勤めるS園には、ショートステイを利用しているXさんという女性がいます。Xさんは、認知症の状態にあります。Xさんは、認知症の影響からか暴言を吐き、他のショートステイ利用者に暴力とみられる行為にでることもありました。そして、事故のあった日、Xさんが何度かYさんを車いすから落とそうとしている行動を介護職員が目撃し止めさせていました。しかし、Xさんは、その後もYさんに固執し、職員が見ていないときに、車いすに乗っているYさんを、車いすから落とし、ケガをさせてしまいました。S園に責任は生じるのでしょうか



S園には、施設の利用契約に基づく安全配慮義務違反により責任が生じる場合があります。

### （1）人員不足等による安全配慮義務違反

仮に、S園の人員配置が介護保険法、老人福祉法及びその他の関係法令に違反するというものであれば、人員の不足又は配置の結果、利用者に対して十分な対応が出来なかったとして、安全配慮義務違反があったと判断されるでしょう。しかし、S園において、このような法令違反がないのであれば、人員配置の結果は、安全配慮義務違反があったとの判断の一事情になるにすぎません。

質問と類似の裁判例（大阪高裁平成18年8月29日判決）においては、施設における人員の配置や事故前後の介護職員の行動等を詳細に認定した上で、人員の配置に安全配慮義務違反があったとはいえないと判断しています。

### （2）契約者の生命、身体の安全に配慮すべきであるのにこれを怠ったことによる安全配慮義務違反

まず、安全配慮義務違反の前提として、XさんがYさんに対して暴行を働くことが予見可能（予見可能性）であり、かつ一定の対策をとれば結果を回避することが可能であった（結果回避可能性）といえることが必要です。

したがって、XさんのYさんに対する行動が突然のものであり、これまでXさんが第三者に暴行等を働くことが全くなかったというのであればそもそも予見可能性がなかったと判断されるでしょう。しかし、ご質問の場合には、Xさんはこれまでも暴力行為に及ぶなどし、かつ事故当日Yさんに対しすでに暴行とみられる行為に出ているのですから、XさんがYさんに対して暴行を働くことを予見することは可能であったと判断されるでしょう。

また、S園の介護職員が、Xさんに暴行等を止めさせるだけでなく、Yさんを他の部屋に連れて行ったり、他の階に移動させるなどして接触できないようにする措置を講じていれば、今回の事故を防止できた可能性があります（結果回避可能性）。したがって、S園が具体的な対策をとるのでなく、単に止めるように説得したに留まるような場合には、具体的な対策をとることが可能であったにもかかわらず、これを怠ったとして、安全配慮義務違反があったと判断されるでしょう。

（\*ただし、安全配慮義務の判断等は、個別の事情に拠るところが大きいため、本回答は類似事案の結果を保証するものではありません。）

（回答者：東京晴和法律事務所 十時麻衣子弁護士）

第20回全国大会開催県

とっとり

シリーズ3

全国大会参加の申し込みは、お済ですか？  
今回は、懇親会のご案内です。



- テーマ 「介護福祉士 われらの“支命（しめい）” ～うちに まかせて ごしないな～
- 期 日 平成25年 11月15日（金）～16日（土）
- 会 場 とりぎん文化会館（鳥取市尚徳町101-5 TEL 0857-21-8700）

～懇親会のご案内～

日 時：平成25年11月15日（金）18：30～  
 参加費：お一人様7,000円  
 会 場：砂丘センター2階大ホール  
 形 式：着席形式（かに御膳料理・飲み物含む）  
 ※懇親会前に砂の美術館をご覧ください。（約40分程度）  
 ※【往路】大会場（17：15頃発）⇒懇親会会場（17：35）  
 【復路】懇親会会場（20：45発）⇒鳥取駅前（21：00頃着）  
 ※往復共無料シャトルバスを運行します。



山陰松葉ガニの食べつくし、ちょっと小ぶりの親ガニも丸々1匹、御膳に登場!! 上手なガニの食べ方も伝授します。地酒と共に、ぜひご堪能ください。尚、お席が先着250名様のご用意となっております。  
 どうぞ皆様、お早目にお申し込み下さいますよう、よろしくお祈りします。

～砂の美術館のご紹介～

砂による彫刻芸術作品「砂像（さぞう）」を専門に展示する、世界初にして唯一の屋内美術館、鳥取砂丘・砂の美術館。  
 ほぼ1年ごとにテーマを変え、世界トップクラスの砂像彫刻家による、砂とは思えないほどに繊細で存在感のある作品を展示してきました。  
 4月20日に開幕した第6期展示のテーマは、「砂で世界旅行・東南アジア編」。日本とアセアン諸国の交流40周年となるこの年に、東南アジア特有の神秘的な世界を砂像で表現しています。  
 展示期間は、平成26年1月5日まで。この期間しか見ることのできない砂の芸術作品「砂像」を、ぜひご覧ください。



ふれあいケア

2013年  
6月号  
6月20日発行

●定価1,020円（本体971円） ●毎月20日発行 ●B5判・80頁  
●送料300円（10冊以上・定期購読の場合は送料サービス）

介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアに関わる施設福祉や在宅福祉の最新情報や、先駆的な実践事例も紹介。

特集 施設で看取る

「住み慣れた施設で最期まで暮らしたい」と願う利用者やそのご家族は少なくありません。限られた人員配置や諸条件のなかで、利用者の望む最期を迎えるために施設ではどのようなことに配慮し、どのような支援をしているのでしょうか。現状と課題について考えます。

特別養護老人ホームでの看取り ほか

好評連載企画

- 老い考 ●介護現場のリスクマネジメント ●パワーUP!訪問介護 ●ワンポイント介護技術
- Close Up福祉用具 ●認知症ケア相談室 ●介護の味方・看護の見方 ●職場のあなたの物語 ほか

定期購読申込み受付中!

【FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい】  
お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号、冊数」を忘れずにご記入下さい。  
バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい（品切れの際はご容赦下さい）。

●お申し込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ●

■ 全社協出版部受注センター ■

受注 TEL: 049-257-1080 FAX: 049-257-3111  
専用 E-mail: zenshakyo-s@shakyo.or.jp



社会福祉 全国社会福祉協議会 出版部  
法人 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ [福祉の本出版目録](#) [検索](#)

▶▶ <http://www.fukushinohon.gr.jp>

支部  
リレー

都道府県介護福祉士会 情報交流の泉⑫ ◆ 福井県

# こんにちは、福井県介護福祉士会です。

## ●福井県介護福祉士会はこんなところ

平成6年に当会は設立し、平成23年に事務所を構え、翌年1月に一般社団法人化しました。会員数は、長年の願いであった300名をやっと超え、事務局もほぼボランティアの状態で開催している小さい介護福祉士会です。

昨年度から、本格的に独自研修事業を始め、今年度は「医療知識系」「教育系」「リーダー管理職系」「介護技術系」等の研修事業を始めたばかりの現在進行形（発展途上？）の会です。事務局ができたせいか、理事会の出席率が飛躍的にあがり、様々な意見が飛び交うようになりました。昨年度は、理学療法士のかたと合同でリハビリ的視点を持った介護技術の勉強会を行い、今年度は「錆びた包丁で刺身は作れない」を合言葉に、介護技術の研修会を増やす計画ができました。研修会だけではなく、地域に介護職の魅力を発信しようと「介護に仕事のここが好き」を募集し、ハローワーク等におかせていただく計画も展開中です。

最近の研修では、3月に遠く岩手県介護福祉士会の方をお招



きし、災害特別研修「東日本大震災からの命のバトン」を行いました。このきっかけは、当会の理事が、東京で行われた日本介護福祉士会の研修に参加した岩手県介護福祉士会の役員の方のお話を（たぶんお酒の場で??）うかがい、急遽実行委員会が結成されました。準備には半年以上かかりましたが、県外からの参加者も含め200名の研修会となりました。岩手県介護福祉士会の理事の萬谷健太さんからは、岩手県介護福祉士会の取り組みを、釜石市の鳩岡貴士さんからは、ご自身が被災され究極の状況の中で「生活を支える」「介護の仕事とは何か」を考えられたことを報告していただきました。県を越え、ブロックを超えた介護福祉士のつながりと仲間がいる大切さを実感できる研修会となりました。

まだまだ手探り状態で、会員数の拡大と組織強化が大きな課題となっていますが、介護の仕事をしている方の支えに、介護をしていらっしゃるご家族の支えに、介護が必要な方の支えになりたいと頑張っています。

全国の会員のみなさへん、よろしく願いいたします。

## 【ちょっと福井県自慢】

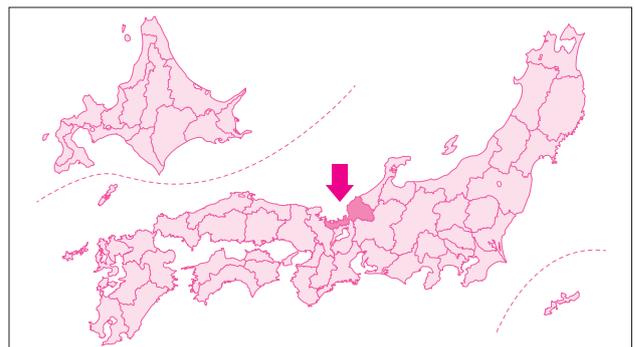
<b>働き者でボランティア活動が盛ん</b>		<b>家族と地域で育む心穏やかな長寿の気風</b>	
女性の就業率 (H22)	2位 (50.9%)	3世代世帯割合 (H22)	2位 (17.6%)
共働き率 (H22)	1位 (56.8%)	持ち家住宅の延べ面積 (H20)	2位 (172.6m <sup>2</sup> )
ボランティア活動の年間行動者率 (H18)	2位 (34.1%)	持ち家比率 (H20)	3位 (77.4%)
<b>保健と医療と福祉を支える長寿</b>		<b>心の健康を支える経済的ゆとり</b>	
救急告示病院の定員 (人口10万人当たり) (H21)	2位 (1,018.3人)	年間収入 (勤労者世帯一世帯あたり) (H21)	2位 (8,056千円)
介護老人福祉施設定員 (65歳以上人口10万人当たり) (H20)	3位 (2,018人)	完全失業率の低さ (H22)	2位 (3.3%)

## ●福井県はこんなところ

ところで、福井県ってどこにあるの？県外の方からはよく聞かれます。ここにあります。

人口80万人の新幹線も空港もない県ですが、コシヒカリのふるさとです。お米も魚もお水も、もちろん日本酒もおいしい自然豊かなところです。永平寺に東尋坊、近年は恐竜博物館も有名です。若狭湾に沈む夕日は、絶景です。ぜひ一度遊びにお越しください。

今回は愛媛県へバトンタッチ！



# 福祉用具を活用しよう

公益財団法人テクノエイド協会

このコーナーでは、本人が実現したいケアプランの生活目標を前提に考え、それに対する福祉用具や生活環境などを生活場面ごとに紹介します。

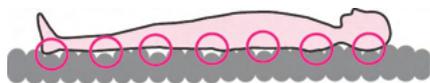
## Part 2 床ずれ - 仕組みを知って防ごう -

今回は、「エアマットレスの特徴と選定」について解説します。

エアマットレスは原則として、離床動作や寝返り動作などができない人が利用します。

### ■特徴

- ・自力で離床動作や寝返りができない人の場合、仰臥位のままでと仙骨部は、ずっと寝具と接触した状態となり、圧力がかかり続ける状態となってしまいます。体圧分散（減圧）に加え、局所的な解放を断続的に行う除圧も必要なことから、圧切り替え型エアマットレスが必要となります。
- ・体圧分散（減圧）効果というのは同じ面積のマットレスで考えた場合には、より厚みのあるものの方が高い効果が得られます。高機能エアマットレスが低圧保持できるのは厚みがあるからです。
- ・圧切り替え機能に左右の動きをプラスしたものが「自動体位変換エアマットレス」と呼ばれるタイプのエアマットレスです。



除圧

圧切り替え型エアマットレスによる除圧

### ■選定

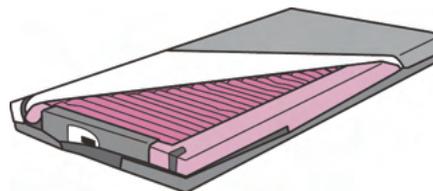
- ・現状自力でどの程度動作ができるのかを確認し、そのできている動作をできる限り阻害せず、その人に必要な体圧分散を行うことのできる機種を選びましょう。
- ・「褥瘡だからエアマットレス」と安易に導入してしまった結果、本来自力でできていた起居動作ができなくなってしまう可能性もあります。エアマットレスには常にこの運動性の問題が付きまとうことを念頭に置いて選定しましょう。
- ・エアマットレスは、横になった時の荷重で空気が排出されて一時的に内部の空気圧が減少したとしても、設定したモード（体重設定の要不要は機種によって異なります）にポンプが自動で空気圧を調整するため、圧に対してはより安全性の高い商品といえます。

### ■種類

エアマットレスには次のようなタイプのものがあります。

オーバーレイ（下にマットレスが必要）、リプレースメント（マットレス不要）、高機能エアマットレス（低圧保持が可能など）、自動体位変換機能付き、ハイ

ブリッドタイプ（静止型褥瘡対応マットレス+エアマットレス）など



ハイブリッドタイプ（静止型褥瘡対応マットレス+エアマットレス）

- ・オーバーレイタイプはマットレスが既に整備されている病院や施設などで広く普及していたタイプです。在宅で利用する場合には、エアマットレスのベース部として特殊寝台付属品のマットレスも用意する必要があります。マットレスを敷かないで利用すると、通気性確保や軽量化のためにベッド底板に空けられている穴にエアマットレスが落ち込んでしまう危険性や、エア抜けなどが起こった際に、硬い底板に身体があたってしまう可能性があります。
  - ・リプレースメントタイプは独立したエア層や薄手マットレスなどによるベース部分を備えたタイプです。別途マットレスを用意しなくても利用できるように在宅向けに開発が進んだタイプです。
  - ・拘縮や変形が強い人、極度に痩せている人、難治性の褥瘡がある人などには、低圧での保持が可能な高機能エアマットレスが適応になります。
  - ・自動体位変換機能付きのエアマットレスは自動で左右に傾くタイプです。深夜の体位変換の負担軽減や沈下性肺炎の予防に有効とされていますが、介助動作や移乗動作がしにくくなる特徴もありますので注意が必要です。
  - ・ハイブリッドタイプは静止型褥瘡対応マットレスとエアマットレスを組み合わせたものです。エアマットレスの特徴である体圧分散・除圧効果に加え、マットレスを底面や側面に配置することによって、エアマットレスの欠点であった運動性に配慮した機能を併せ持っています。
  - ・ポンプがエアマットレスに内蔵されているタイプ（ビルトインポンプ）もあります。このタイプは一般的に手元でスイッチを操作することになりますので、手元スイッチをサイドレールなどにかけておくこともでき、本人による操作も可能です。
- 今回は、「エアマットレスを利用しない解決策」について解説します。

（出典：公益財団法人テクノエイド協会発行「福祉用具選定支援書」より改編）

## 第11回日本介護学会

1. 日 時 平成25年10月11日(金)～12日(土)
2. 場 所 山形テルサ(山形県山形市)
3. テーマ 認知症ケア～認知症をささえる社会とは～
4. 参加定員 400名
5. 参加対象 日本介護福祉士会会員、日本介護学会員、その他一般
6. 会 費 会員3,000円、一般13,000円、学生1,000円
7. プログラム  
 プレセミナー「いまからスタート、介護研究！」(先着50名)  
 基調講演 坂本 洋一氏(和洋女子大学生生活科学系社会福祉学研究室教授)  
 記念講演 朝田 隆氏(筑波大学大学院人間総合科学研究科教授)  
 参加者交流セミナー(先着50名)  
 第1分科会「認知症ケア」  
 第2分科会「介護人材の教育、育成」  
 第3分科会「ケアの質の向上に関する実践」  
 ランチョンセミナー(先着50名)  
 黒田 留美子氏(高齢者ソフト食研究会会長)
8. 問合わせ 公益社団法人日本介護福祉士会事務局

## 九州ブロック研修会

1. 日 程 平成25年10月25日(金)～26日(土)
2. 会 場 ヒルトン福岡シーホーク(福岡市中央区)
3. テーマ 介護福祉士の専門性を考える～医療行為と認知症～(仮)
4. プログラム  
 (10月25日)  
 【基調講演】演題「未定」  
 厚生労働省(予定)  
 【映画上映】(予定)  
 【交流会】  
 (10月26日)  
 【分科会】(予定)  
 【中尾ミエ氏トークショー】  
 (最近、高齢者問題を扱う作品に数多く出演し、脚光を浴びている中尾ミエさんをお招きしトークショーをおこないます)
5. 参加費 会員3,000円、非会員8,000円、学生1,000円
6. 参加定員 600名
7. 申込〆切 9月30日(月)
8. 問合わせ  
 公益社団法人福岡県介護福祉士会 事務局  
 TEL.092-474-7015 FAX.092-436-5234

## 第20回全国大会開催要綱

1. 日 時 平成25年11月15日(金)～16日(土)
2. 場 所 とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)
3. テーマ 介護福祉士 われらの“しめい”～うちに まかせて ごしないな～
4. 参加定員 1,000名
5. 参加対象 公益社団法人日本介護福祉士会会員  
その他一般
6. 会 費 会員3,000円、一般10,000円、学生1,000円
7. プログラム  
 (1日目)  
 プレセミナー「いまからスタート、介護研究！」(先着50名)  
 基調講演 厚生労働省(予定)  
 記念講演 高田 佳子氏(日本笑いヨガ協会代表)
- (2日目)  
 第1分科会「介護福祉士の“しめい”～施設の現場から思うこと～」  
 座長：綿 祐二氏(日本福祉大学福祉経営学部教授)  
 第2分科会「介護福祉士の“しめい”～在宅の現場から思うこと～」  
 座長：佐々木 炎氏(NPO法人ホッとスペース 中原代表)  
 第3分科会「介護職員としてのワーク・ライフ・バランス」  
 座長：徳山 和宏氏(徳山オフィス代表)  
 第4分科会「管理者としての視点」  
 座長：内田 千恵子(公益社団法人日本介護福祉士会副会長)
- 特別講演 徳永 進氏(野の花診療所院長)
8. 問合わせ 公益社団法人日本介護福祉士会事務局

## 都道府県介護福祉士会研修情報

### 東京都介護福祉士会

パーキンソン病等の神経・筋疾患を学ぶ  
～よりよい介護を提供するために～

1. 日程 平成25年8月10日(土) 10:00～15:00
2. 場所 すみだ産業会館第1会議室
3. 内容 パーキンソン関連疾患について、主な症状と進行の経過、対応、リハビリ、難病に関わる制度などについてお話しいただきます。また脊髄小脳変性症やALSなどの神経・筋疾患の代表的な疾患についても解説いただく予定です  
 講師 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター  
 神経内科 診療部長 鈴木正彦先生
4. 定員 80名(先着順)
5. 参加料 会員 4,000円 非会員 6,500円
6. 問合わせ NPO法人 東京都介護福祉士会  
 TEL.03-5624-2821  
 FAX.03-5624-9650

## 皆様からの投稿をお待ちしています

採用された方にはもちろん1,000円分のクオカードを差し上げます！  
詳しくはホームページをご覧ください。

- ・介護の現場で輝いています！
- ・介護現場でのお悩み・疑問
- ・私のストレス解消法
- ・手作り介護用品



(問合せ)



(会員専用サイト「ケアウエル」)



ニュース



The Japan Association of Certified Care Workers

Vol.117  
8月15日号  
平成25年(2013年)

## 公益社団法人 日本介護福祉士会

URL : <http://www.jaccw.or.jp/>E-mail : [webmaster@jaccw.or.jp](mailto:webmaster@jaccw.or.jp)

## 平成25年度第1回都道府県介護福祉士会会長会を開催

本年度第1回目の都道府県介護福祉士会会長会が、神奈川県ウィリング横浜で開催された。

7月26日～27日にかけて行われた平成25年度第1回都道府県介護福祉士会会長会の冒頭で石橋真二会長が挨拶し、介護福祉士の質の向上に向けて日本介護福祉士会生涯研修体系の見直しや認定介護福祉士(仮称)制度の検討を進めていること、また、今年度日本介護福祉士会が設立20周年を迎えるのを機にさらなる組織拡大を図っていききたいことを述べた。(詳細は2ページ)

続いて、佐々木裕介氏(厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長)により「介護人材確保対策の現状について」と題した講演が行われた。(詳細は3ページ)

全体会では、現在修正作業が進められている日本介護福祉士会生涯研修体系について、内田副会長より説明が行われた。(詳細は4ページ)

その他にも、平成25年度事業の進捗状況について説明がなされたほか、第11回日本介護学会及び第20回全国大会の告知などが行われた。

都道府県介護福祉士会会長会2日目の冒頭で吉田均氏(岩手県介護福祉士会会長・岩手県災害派遣福祉チーム検討ワーキング会議委員)より「岩手県における災害派遣福祉チームの取り組みと組織化に

ついて」と題した講演が行われた。(詳細は5ページ)

また、1日目に引き続き全体会が行われ、日本介護福祉士会及び各都道府県介護福祉士の組織強化について、組織強化マニュアルを示して説明を行った。また、ホームページのリニューアルや新しい日本介護福祉士会のパンフレット作成の報告、日本介護福祉士会20周年事業の告知等が行われた。

最後に、木村副会長より閉会の挨拶が行われ、日本介護福祉士会の組織率を向上させることの必要性が訴えられたほか、介護福祉士の社会的評価を上げるためには根拠となるデータが必要であり、そのデータ作成のために日本介護福祉士会の実施する調査に協力していただきたい、と述べた。



## ● 役員動き ● (6月1日～7月31日)

- 6月 6日 第45回介護保険部会(田中名誉会長)
- 6月 7日 認定介護福祉士(仮称)第1回スキーム検討委員会(内田副会長)
- 6月 20日 後藤田正純衆議院議員等との意見交換会、菅内閣官房長官へ「介護福祉士の雇用環境の整備等に関する要望書」を提出(石橋会長、内田副会長)
- 6月21日～22日 北海道・東北ブロック研修会(石橋会長、田中名誉会長)
- 6月21日 千葉県介護福祉士会20周年記念式典(内田副会長)
- 6月25日 公益財団法人社会福祉振興・試験センター評議員会(石橋会長)
- 6月25日 一般財団法人長寿社会開発センター評議員会(石橋会長)
- 6月26日 公益財団法人国際医療技術財団評議員会(石橋会長)
- 6月26日 公益財団法人テクノエイド協会理事会(木村副会長)
- 6月26日 第1回「(仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養

- 成研修」カリキュラム見直し検討会(内田副会長)
- 7月 3日 第1回学会委員会(内田副会長)
- 7月 4日 正副会長会、第2回常任理事会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)
- 7月 4日 第1回生涯研修制度検討委員会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)
- 7月13日～14日 東海・北陸ブロック研修会(石橋会長)
- 7月26日 第1回正会員理事懇談会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)
- 7月26日～27日 第1回都道府県介護福祉士会会長会議(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)
- 7月29日 第2回「(仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修」カリキュラム見直し検討会(内田副会長)
- 7月30日 認定介護福祉士(仮称)第2回スキーム検討委員会(内田副会長)

## 平成25年度第1回都道府県介護福祉士会会長会挨拶

公益社団法人日本介護福祉士会 会長 石橋 真二



今年で介護福祉士資格の登録が始まってから25年となり、この4月で介護福祉士資格の登録者数も110万人を超える中、日本介護福祉士会も設立20周年を迎えました。また、近年介護ニーズが多

様化・高度化しているため、介護福祉士にはより一層の質の向上が求められています。

その上で、日本介護福祉士会として様々な介護福祉士の質や社会的評価の向上に向けた取組みを実施しており、「日本介護福祉士会生涯研修体系の見直し」や「認定介護福祉士(仮称)制度の構築」を進めているところであります。

認定介護福祉士(仮称)制度の検討状況について、昨年度より実施されているモデル研修が引き続き今年度も実施され、また、平成26年度から全

国数カ所で認定介護福祉士(仮称)研修を開催できるよう認定介護福祉士(仮称)の認証・認定の仕組みづくりを進めています。

また、日本介護福祉士会生涯研修体系の中に認定介護福祉士(仮称)制度を位置づけて整理を行い、誰が見てもわかりやすい生涯研修体系の構築も進めています。

次に、日本介護福祉士会が設立20周年を迎えるにあたり、20周年記念事業として、平成25～26年度の新規入会者向けに研修券の配布を行うほか、記念誌の作成、記念イベントの実施、式典の開催等を予定しています。

最後に、日本介護福祉士会としてさらに組織強化を図り、日本の介護福祉の発展に資する団体となれるよう取組みを進めているところであり、そのために会員の皆様のお力添えをお願いいたします。

## ソウェルクラブ ご加入のおすすめ

ソウェルクラブ(福利厚生センター)は、福祉の職場で働く方々に多種多様な福利厚生サービスを提供しています。2012年10月から「クラブオブ」が加わり、一段とパワーアップしました。

### ■職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康相談

### ■職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

### ■地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)

### ■職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

### ■職員の余暇活用のために

- 指定保養所・休暇村他 全国113カ所
- 会員制リゾート施設・ラフォーレ倶楽部他 全国104カ所
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

### ■職員の資質向上のために

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会
- ティズニアアカデミー
- 社会福祉法人新会計基準(解説)
- 防災・危機管理講習会
- 障害者総合支援法(解説)
- 人材育成

### ■職員の生活サポートのために

- 住宅ローン・特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険 傷害保険

### ■各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

### ■ソウェルクラブ「クラブオブ」

- 宿泊、レジャー、スポーツ、映画、カラオケ、グルメなど約7,500カ所の施設を割引料金で利用できます。

### ■しくみ

社会福祉事業経営者が当センターと契約することにより、その事業所に勤務する方々が会員として登録され、自由に福利厚生サービスを利用することができます。

### ■掛金

掛金は職員一人当たり毎年度1万円(一月当たり833円)です。

### ■加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル

**Sowel**  
CLUB

TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
http://www.sowel.or.jp/

社会福祉法人 福利厚生センター  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-3-11  
NBF小川町ビルディング10階

### 福祉で働く人の福利厚生を支援しています。

非常勤職員を対象としたサービスコース(掛金5,000円)を創設します。平成25年11月から、暫定契約(サービス限定・掛金無料)での実施を予定しています。

**講演****福祉人材確保対策の現状について**

厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室長 佐々木 裕介 氏



最初に福祉・介護人材の状況について、介護保険制度が2000年に始まってから現在までの間に提供されるサービス量は2倍近くとなり、介護職員数は140万人を超え、今年年間8.8万人ほど介護に従事する人が増えている、と述べられた。

また、団塊の世代が後期高齢者になる2025年までに提供される介護サービス量は現状の1.5倍となり、必要な介護職員数は約250万人に増加すると推計されていることから、現状よりも100万人以上の介護職員を確保する必要があるため、介護人材の確保と質の向上が喫緊の課題である、と述べられた。

次に、介護人材の確保において人材定着率の低さが大きな課題となっており、人材を育成しても定着しないということが量的な確保という観点で非常に大きな課題になっている、と述べられた。その上で、介護職員の離職率が継続的に低下傾向にあることや、介護福祉士資格を持っているものの、現在介護分野の仕事についていない潜在的介護福祉士の半数以上に復職意向があるという調査結果について述べられた。

介護職員の離職について分析をすると、離職率の高い事業所と離職率の低い事業所に二極化している状況が明らかであり、それぞれの事業所の特性をふまえた対策を講じることが必要であることや、他にも新卒者に介護職への入職を促すこと、業界による魅力を発信するシステムを整えること、地域に応じた介護職員確保対策を検討できる体制を構築することが望ましい、と述べられた。

また、介護職員の質の改善や社会的評価の向上を目的とし、介護福祉士の資格取得方法の見直しが進められていることについて、その見直しの一つとして実務経験ルートで介護福祉士資格を取得する方に

対し実務者研修の受講が義務化され、平成27年度の制度施行に向けて実務者研修を提供する体制が整えられつつあること、今後実務者研修提供体制の拡充を図る必要性が説明された。養成施設ルートにも国家試験受験が義務化されることの説明では国家試験不合格となったものに対し付与される准介護福祉士制度が創設されたが、制度構築時からの状況の変化をふまえ、速やかに介護福祉士資格に一元化を図りたい、と述べられた。

そして、2007年の社会福祉士及び介護福祉士法改正の際の国会附帯決議を受け、介護福祉士のキャリアパスとして認定介護福祉士(仮称)制度の検討が、日本介護福祉士会を中心に、介護事業者や養成施設などの関係団体の協力も得て進められており、幅広い知識・技能を身につけて質の高い介護サービスを提供し、他の介護職員を指導できるレベルに達した介護福祉士を認定介護福祉士(仮称)として認定する仕組みが検討されている所である、と述べられた。この認定介護福祉士(仮称)制度は社会的な介護に対する要請に応え、介護福祉士に対する他職種、事業者、利用者・家族等からの社会的な評価を高めることが目的であり、介護現場で中核的なリーダーとなる人材を養成することを目的としている、と述べられた。その上で、認定介護福祉士(仮称)制度が適切に構築されるよう、日本介護福祉士会が関係団体と連携をとって積極的に取り組んでいく事を、厚生労働省として応援していきたい、と述べられた。

また、ファーストステップ研修についても、介護福祉士の質の向上に有効であると考えられるが、全国的な実施体制が未だ整えられていないことが課題であり、介護福祉士の生涯研修体系の中に位置づけ、積極的に実施されることが望ましい、と述べられた。

最後に日本介護福祉士会に対し、組織強化を図るとともに、介護人材の確保と資質向上に向け介護に関する情報発信や、さらなる研修会の充実に取り組んで欲しい、と述べられた。

## 日本介護福祉士会生涯研修体系を改定

日本介護福祉士では、認定介護福祉士（仮称）制度の検討が進んだことを受け、日本介護福祉士会生涯研修体系の中に認定介護福祉士（仮称）を位置づけることを目的として改定を行いました。これを受け、平成25年度第1回都道府県介護福祉士会会長会において、新しい日本介護福祉士会生涯研修体系の概要について内田副会長より説明が行われました。

日本介護福祉士会生涯研修体系は、介護福祉士のキャリア形成の方向性について、認定介護福祉士（仮称）検討の際に提示された「技術志向」「教育・指導志向」「管理志向」の三つの方向性と同期をとった上で、すべての会員が望むキャリア形成に寄与することを目的として構築されました。

生涯研修体系の基本となる流れは、初めに「初任者研修」及び「ファーストステップ研修」があり、その後「認定介護福祉士（仮称）研修」の第1段階相当の研修としました。

「初任者研修」及び「ファーストステップ研修」は介護福祉士としての十分な力をつけることを目的として構築されており、特に「ファーストステップ研修」は介護福祉士として求められる知識や考え方が身につく有益な研修であると考えています。

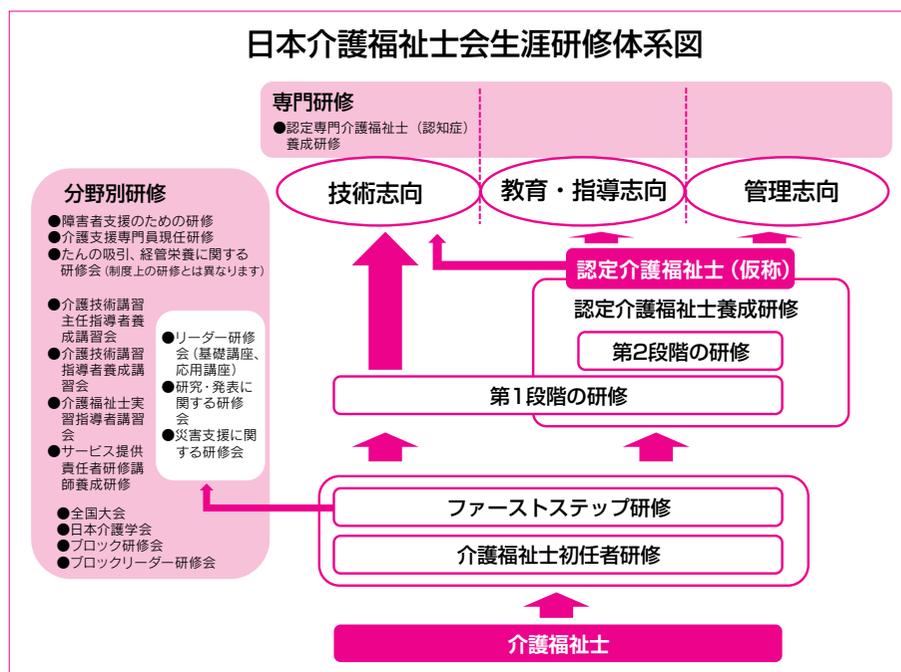
認定介護福祉士（仮称）制度は「教育・指導志向」「管理志向」を目指した資格制度であり、その研修は「チーム運営や医療・リハビリテーションについての新たな知識を獲得したうえで、これらの知識を統合し、さまざまな状態像の利用者への介護過程を展開できるようになる」ことを目的とした「第1段階」と、「チームマネジメント、サービスマネジメント、サービス評価等に必要な知識、チームのサービスの展開や介護実践の指導方法等を学び、チームリーダー等に対する指導が行えるようになる」ことを目的とした「第2段階」研修に分類されています。

この認定介護福祉士（仮称）研修の「第1段階」については全ての介護福祉士がキャリアを形成するうえで受講することが望ましいと考えられ、「技術志向」の介護福祉士も「認定介護福祉士（仮称）研修」の第1段階相当の研修を受講することとして、日本介護福祉士会生涯研修体系の中に位置づけました。

その上で、介護福祉士の専門性を高めるためには「技術志向」「教育・指導志向」「管理志向」それぞれの方角に対応した専門研修や、介護福祉士が自己研鑽するための分野別研修も構築する必要がある、今後日本介護福祉士会としてこうした研修の充実に向け取り組んでいきたいと考えています。

※認定介護福祉士（仮称）制度は現在も検討が進められており、その研修の在り方が変更される可能性があります。そのため、今後も日本介護福祉士会生涯研修体系が修正される場合があります。

※「認定介護福祉士養成研修」及び「ファーストステップ研修」は日本介護福祉士会独自の研修ではなく、全ての介護福祉士が一定の要件のもと受講できる研修です。しかし、介護福祉士のキャリア形成に有益な研修であるため、日本介護福祉士会生涯研修体系の中に位置づけました。



## 岩手県における災害派遣福祉チームの取り組みと組織化について（報告）



吉田 均 氏

岩手県災害派遣福祉チーム検討ワーキング会議委員  
岩手県介護福祉士会 会長

はじめに、東日本大震災発生時より現在に至るまで全国より様々な支援が寄せられていることに対し感謝の辞を述べられた。また、被災地には未だ生活再建が進んでいないこと、介護職員の不足などにより福祉の体制が整っていないなどの課題が残っており、そのため人口減が続いている状況があると説明された。

震災発生直後の被災地ではDMATや保健師チームによる医療サービス支援が実施されていた一方で、福祉専門職の多くは自身の勤務する施設や事業所の仕事で一杯となり被災地へチームとしての支援体制を構築することができない状況があった、と当時の状況が説明された。そのため、各団体による被災地支援とは別に、岩手県社会福祉士会や岩手県介護福祉士会など県内の複数の職能団体が協力して「県内職能団体等による災害支援のためのボランティア派遣システム」の構築を行った、と述べられた。

この「県内職能団体等による災害支援のためのボランティア派遣システム」は構築の際にボランティアの派遣先を被災地の避難所と在宅に絞るターゲットシステムや、被災者の「心のつぶやき」を拾うニーズキャッチシステムを採用し、2011年5月から現在に至るまで被災地のニーズの変化に応じて支援のターゲットや提供体制を修正して活動を続けていると説明された。

その上で、「県内職能団体等による災害支援のためのボランティア派遣システム」における活動が評価され、厚生労働大臣より感謝状を授与されたと報告された。



災害福祉広域支援事業により整備した資機材（1人分）

「災害派遣福祉チーム」創設のための議論が昨年度より実施されており、既に要支援者スクリーニングの判定手法や災害派遣福祉チーム員としての登録研修の在り方が定められたほか、現在は県災害福祉広域支援機構の設立や事業所との連携の在り方について検討が進められていること、が報告された。

最後に、今後日本介護福祉士会として災害派遣福祉チーム制度と連携した被災地支援の在り方を検討する必要がある、災害派遣福祉チーム員養成のための研修実施や、災害派遣福祉チームによる支援が終了した後の中長期支援の実施、さらに海外で発生した災害に対しても福祉チームによる支援が提供できるようなシステムを構築し、災害支援の場において介護福祉士の専門性が発揮できるようにすることが望ましい、と述べられた。



厚生労働大臣より授与された感謝状

「県内職能団体等による災害支援のためのボランティア派遣システム」を構築・実施する中で「発災時から福祉による支援も必要」であることが明らかになったため、実際に被災地でのヒアリングを行いその必要性を確かめたうえで「災害派遣福祉チーム」の創設を岩手県に要望した、と説明された。その結果として、岩手県からも国や与党に「災害派遣福祉チーム」創設の要望書が提出され、最終的に厚生労働省から全国の都道府県に「災害派遣福祉チーム」創設に関する事務連絡が発出された、と報告された。

# 介護現場におけるQ&A

## ～法律編～ (居宅介護中の事故)

日本介護福祉士会ニュースでは、会員の皆様の「介護現場でのお悩み・疑問」にお答えするため、「介護現場におけるQ&A～法律編～」コーナーを設置いたしました。当コーナーでは、東京晴和法律事務所の十時麻衣子弁護士にご協力いただき、会員の皆様の「介護現場でのお悩み・疑問」に対し、法律的にお答えしていきます。



私は、居宅サービス事業者Aから派遣されてホームヘルパーとして寝たきりの状態のXさんを介助していました。ある日、Xさんが足を痛がったので病院に連れて行って検査を受けてもらったのですが、その検査の結果、大腿骨頸部骨折とわかりました。

これが介助によるものなのか、介助と関係なく骨折したものなのか不明ですが、Xさんは介助によるものと言って裁判を起こしてきました。

このような場合、私自身や事業者Aが責任を負うことになるのでしょうか？裁判所はどのように判断するのですか？



### 回答

1 Xさんが、大腿骨頸部骨折によって被った損害の賠償を、居宅サービス事業者Aに請求しようとする場合、当該骨折が介助によるものであることをXさんにおいて証明しなければなりません。

仮に、Xさんにおいて当該骨折が介助によるものと証明された場合には、居宅サービス事業者Aは、損害賠償責任を負わなければならない場合もあります。

しかし、Xさんにおいて当該骨折が介助によるものと証明できず、最終的に介助によるものか否かを判明させることができなかつた場合には、居宅サービス事業者Aにおいて責任を負うことはありません。

2 まず、裁判になった場合には、損害賠償を請求する側、すなわち今回で言えばXさんに「骨折がホームヘルパーの介護によって生じたものである」という事実を主張立証する必要があります。このように取り扱われるのは、「損害賠償請求をすることのできる権利」の存在を主張する者が、その権利発生の要件となっている事実を主張すべきと考えられているからです。

仮にこれと反対に、居宅サービス事業者Aに、骨折がホームヘルパーの介助によるものでないことを証明させようとする、居宅サービス事業者Aは、あらゆる事態を示して、それを全て否定しなければなりません。これは現実にはおよそ不可能と言えるでしょう（このような「ない」ことの証明を求めることを、「悪魔の証明」と言います。）。

そして、裁判所では、証明することの出来なかつた事実はないものと扱って判断します。

すなわち、裁判所において骨折が介助によるものか否か不明であるという場合には、裁判所は「骨折は、ホームヘルパーの介助によって生じた」という事実を認定することはできません。そうすると、Xさんにおいて、「損害賠償請求をすることのできる権利」を発生させるための事実を証明することができなかつたこととなりますので、Xさんの損害賠償請求権が認められることはありません。

ただし、注意していただきたいのは、居宅サービス事業者AにとってXさんの骨折が介助によって生じたものか否か不明であったとしても、裁判所の目から見れば介助サービスの最中に生じたものと認定できると判断された場合には、「証明」があったとして居宅サービス事業者が損害賠償責任を負うこととなります。

## 第11回日本介護学会開催県

## 山形県 ③

一般社団法人 山形県介護福祉士会

## 日本介護学会参加者受付開始と現地実行委員会の動き

一般社団法人山形県介護福祉士会  
副会長(現地実行委員長) 井田 智

介護福祉士会会員及び学会員の皆様、第11回日本介護学会への参加申込はお済みでしょうか？

いよいよ東北みちのく山形を会場とする日本介護学会の開催がカウントダウンに入りました。現在、35演題の発表を予定しています。発表内容は、①認知症ケア ②介護人材の育成 ③ケアの質の向上に関する実践等、たくさんの興味深い内容となっています。

現地実行委員会は今年度に入った4月から立ち上げ、準備に入りました。現在は30名の実行委員の役割分担と具体的な取り組み内容に対応する準備に取り掛かっています。たとえば、JR山形駅から参加者を会場に誘導するにはどこの場所に何人が立って案内するか？ 産直やお土産コーナーにはどのような地元の特色のある品々を陳列するか？ ゆっくり安心して参加いただける企画は何か？ 等、考え始めるときりがありません。

山形は少々不便な地域にあります。会場はJR山形駅西口から徒歩3分の位置にあるため駅を出ればすぐに分かります。JRの場合、東京駅から山形新幹線で約3時間弱です。仙台駅から山形駅までの定期バスが30分ごとに走っています。航空機を利用する方は、山形空港から山形駅への連絡バスで約40分です。隣接県の方は車でお越しいただくと、山形道山形蔵王インター・東北中央道山形中央インターから約15分で会場に到着します。

会場となる「山形テルサ」は、山形交響楽団の本拠地となっており、全体会場として使用する会場は交響楽団がコンサートを開催するホールです。音響設備や施設環境も十分すぎる間違いのない場所です。また、2日目の演題発表する会場は他に2ホール準備し、3つに分かれての発表となります。この「山形テルサ」は、複合施設のため研修室、会議室、交流室、レストラン、フィットネスクラブ、ハローワーク、高齢者・障害者雇用支援協会、シルバー人材センター等が入っています。

今回、JTB東北庄内支店にお願いして宿泊ホテルを準備いたしました。全てのホテルが会場から徒歩10分以内という好条件です。また、JR山形駅東口には地元料理をお出しする飲食店も多数あります。いこいのひと時を存分にお楽しみください。

実行委員会より、皆様のお越しをお待ちしています。



# とっとり シリーズ4

全国大会参加の申し込みは、お済ですか？  
今回は、プログラムのご案内です。



- テーマ 「介護福祉士 われらの“支命(しめい)”～うちに まかせて ごさないな～
- 期 日 平成25年 11月15日(金)～16日(土)
- 会 場 とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町101-5 TEL 0857-21-8700)

## <1日目>平成25年11月15日(金)

- 12:30～受付
- 13:30～開会式典
- 14:00～基調講演 厚生労働省(予定)
- 15:15～記念講演 高田佳子氏(日本笑いヨガ協会代表)  
「笑いヨガでブレイクスルー～笑いがあふれるケア現場～」
- 16:45～懇親会準備・会場移動
- 18:30～懇親会会場:砂丘センター予定
- 20:30 1日目終了

## <2日目>平成25年11月16日(土)

- 09:00～分科会  
\*各分科会にて座長によるミニ講演も予定しています。
- 12:00～昼食・休憩
- 12:10～ランチョンセミナー 金子 勝明氏(東洋羽毛工業株式会社)「介護者に役立つ睡眠」  
先着50名(軽食準備)
- 13:20～全体会
- 14:30～特別講演 徳永 進氏(野の花診療所 院長)  
「家の神さま、いまどこ？」
- 16:00～閉会式典
- 17:00 第20回全国大会閉会

全国的に有名な講師の方ばかりをお招きしております。ぜひ皆様おいで下さい！！

### 第1分科会

「介護福祉士の“しめい”  
～施設の現場から思うこと～」

座長:綿 祐二氏(文京学院大学人間学部 教授)



### 第2分科会

「介護福祉士の“しめい”  
～在宅の現場から思うこと～」

座長:佐々木 炎氏(NPO法人ホッとスペース中原 代表)



### 第3分科会

「介護職員としてのワーク・ライフ・バランス」

座長:徳山 和宏氏(徳山オフィス 代表)

### 第4分科会

「管理者としての視点」

座長:内田 千恵子  
(公益社団法人日本介護福祉士会副会長)



### 記念講演

「笑いヨガでブレイクスルー～笑いがあふれるケア現場～」

高田 佳子(たかだ よしこ)  
日本笑いヨガ協会代表



### 特別講演

「家の神さま、いまどこ？」

徳永 進(とくなが すずむ)  
菜の花診療所 院長



## 公益社団法人化に伴い、 ホームページを全面的にリニューアルしました



この度、日本介護福祉士会が公益社団法人に移行したことに伴って、より見やすくなるようホームページのデザインを一新し、情報の検索がしやすいようにホームページ全体の情報の整理も行いました。

今後は、様々な情報提供をするためのプラットフォームとして活用していきます。また、日本介護福祉士会からの様々なメッセージ等も適宜更新していきますので、会員の皆様におかれましては、常にホームページをチェックしていただき、日本介護福祉士会の動向を把握していただきたいと思います。

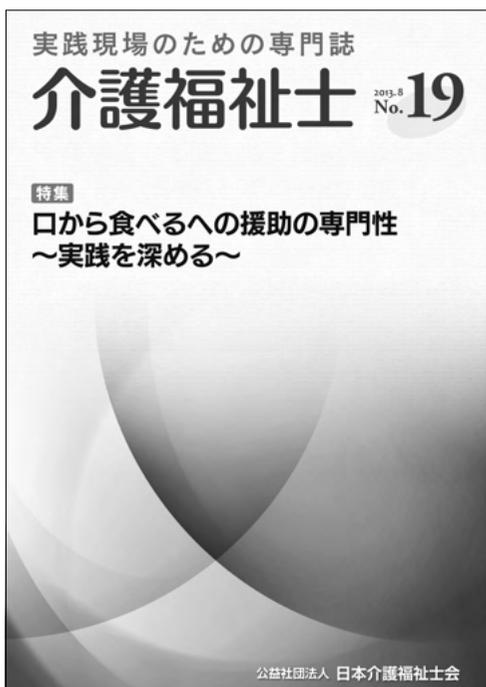
常にホームページの改善を図ってまいりますので、ご意見・ご感想があれば日本介護福祉士会事務局までお送りください。

連絡先メールアドレス：webmaster@jaccw.or.jp

ホームページアドレス：http://www.jaccw.or.jp/



## 専門誌「介護福祉士」をリニューアルしました



この度、介護現場の研究促進のため公益社団法人日本介護福祉士会が発行する「実践現場のための専門誌『介護福祉士』」は内容をリニューアルし、いままでの発行部数3000から46000部（予定）に大幅に増やし、会員の皆様に無料配布することといたしました。

介護福祉士の専門性を向上させて行くには、臨床研究が必須です。そのためにも皆様の日頃から取り組まれているケアを論文の形にして全国の介護福祉士にむけて発信することが必要であると考えています。また、臨床研究の論文を読むことにより、日頃提供しているケアの根拠を把握することができれば、皆様の日々のケアがもっと楽しくなるのではないかと考えています。

この「実践現場のための専門誌『介護福祉士』」が臨床研究を普及させ、介護福祉士の専門性を構築し、ケアの質の向上の一助になることを祈念しております。

今後、「実践現場のための専門誌『介護福祉士』」は年1回以上の頻度で発行してまいります。会員の皆様からの論文の投稿をお待ちしております。

## 日本介護福祉士会は平成26年2月に 創立20周年を迎えます

日本介護福祉士会は平成26年2月に創立20周年を迎えます。20周年にあたりまして、以下の事業を行います。

20周年記念事業において、日本介護福祉士会の今までをしっかりと振り返り、これからの介護福祉士について、また、職能団体としての日本介護福祉士会の方向性を示す機会としていきたいと考えております。

各事業において会員の皆様のご協力が必要となります。内容をご理解いただきましてご協力いただければ幸いです。

### ◆創立20周年記念式典の開催

日本介護福祉士会に多大な貢献をいただいた方の表彰や、日本介護福祉士会の現状と未来を考えるシンポジウム、介護の現場で活躍している方々の発表など、介護福祉士の魅力を発信する式典としていきます。

日 程 : 平成26年2月22日(土)

場 所 : 東京ビッグサイト(レセプションホール)

主な内容: 表彰式(個人会員表彰等)

感謝状贈呈式(賛助会員)

基調講演・シンポジウム・事例発表

※詳細は随時ホームページにて掲載します。会員の皆様の参加をお待ちしております。

### ◆創立20周年記念誌の発行

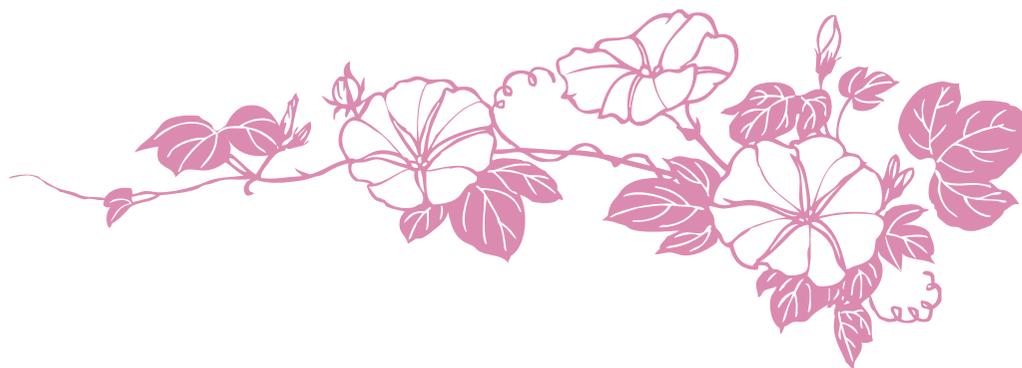
介護福祉士の20年間の歩み、都道府県介護福祉士会の変遷等によりこれまでの日本介護福祉士会を振り返るとともに、これから日本介護福祉士会の目指す方向性を明確に打ち出していく記念誌を目指しています。

会員の皆様に向けた記念誌も発行する予定となっております。

### ◆創立20周年記念キャンペーン

創立20周年を契機に日本介護福祉士会の組織強化のためのキャンペーンとして25年度、26年度の新規入会者に対して3,000円の研修受講券をもれなく交付します。

会員の皆様におかれましては、周りの介護福祉士の方が会員でない場合は入会のご案内をお願いいたします。



## 日本介護福祉士会創立20周年記念事業 「介護福祉士の現場」事例募集要項

日本介護福祉士会創立20周年にあたり、皆様の介護現場での実践事例を募集致します。

ご応募頂いた事例は、当会ホームページでの全件掲載をはじめ、特に優秀と認められた事例については日本介護福祉士会ニュースや20周年記念誌への掲載、また20周年記念式典での事例発表を検討しております。

投稿をご希望の方は必要書類を受付期間内に所定の方法によりお申込み下さい。会員の皆様による多数のご応募をお待ちしております。

### ■ 募集テーマ ■

「やりがい、介護の仕事」……日常業務の中におけるやりがいや、介護を行う上での喜びを感じた、体験事例を募集します。

例) 利用者に勇気や感動をもたらした事例、仲間と困難を乗り越えた事例 など

### ■ 申込方法 ■

○本募集は日本介護福祉士会会員に限定致します。

○応募希望者は別紙「事例応募申込用紙」に必要事項を記入し、事務局あてにEメール又は郵送にて送付してください。

○申込書請求先及び申込先

E-mail : webmaster@jaccw.or.jp

住所 : 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎の門ビル3F

公益社団法人日本介護福祉士会事務局 宛

### ■ 申込受付期間 ■

平成25年7月1日(月)～11月30日(土)(郵送の場合は当日消印有効)

### ■ 提出物 ■

○原稿量は図表を含め、概ねA4用紙で4枚程度とします。

○原稿は必ずパソコンで作成してください。文書はMicrosoft社Word、図表等を使用する際はExcelにて作成してください。写真等は元のままのデータ形式で添えてお送りください。

○提出はEメール又はCD等の電子媒体とします。

○申込頂いた事例はホームページに掲載し、特に優秀とされた事例についてはニュース、記念誌ないしは記念式典において使用することをご本人宛に通知致します。

○記念式典等での発表に選定された事例については、発表向けの形(原稿量の増減、スピーチ向けの文言への変更、または映像化等)へと再編集していただきます。

### ■ 留意事項 ■

○個人情報保護及び倫理上の問題については事前に解決しておいてください。これらの問題が発生した場合は、当会は一切の責を負いません。

※詳細、ご不明な点は日本介護福祉士会事務局までお問い合わせください。

### ■ お問い合わせ先 ■

公益社団法人日本介護福祉士会(担当:神田)

Email : webmaster@jaccw.or.jp

支部  
リレー

都道府県介護福祉士会 情報交流の泉⑬ ◆愛媛県

## ほうよ、愛媛県介護福祉士会ぞなもし!!

愛媛県介護福祉士会は平成6年に全国28番目の支部として発足し、平成23年に一般社団法人化致しました。県民及び県内介護従事者の情報発信源として寄与するとともに、試行錯誤の日々を送っています。

…とまあ硬い話はやめにして、ここからは愛媛県を少しでも多くの人に知って頂く為のPRをさせていただきます。まず、愛媛と聞いて「どこ？」って言われる方が非常に多い(泣)。「四国です」と言うと次に聞こえるのが「ああ〜」と薄い反応が(泣)。四国を4分割した左上が愛媛県です！覚えて下さいね！！さて、我が愛媛県の特産物と言え『ポンジュース』に代表される“みかん”ですね。え？そこのあなた「愛媛って、蛇口をひねったらポンジュースが出るんでしょ？」ですか？はい、よく御存じですね〜。確かにポンジュースの蛇口はございます。但し、松山空港等で期間限定である事を付け加えさせていただきます。余談ですが何故、『ポンジュース』と言う名前になったのか？と言いますと、時の県知事さんが「ニッポンイチ」のジュースになって欲しいと願いを込めて命名されたそうです。はい。少し話がそれましたが、“みかん”は他にも有効活用されています。日本有数の真珠や鯛・はまち養殖が盛んな南予地区(注：愛媛県は横に長い形をしている為に東予・中予・南予の3地区に分けられています。)の宇和島では、みかんの皮を餌に混ぜて育てたその名もズバリ『みかん鯛』に『みかん鯛』の2トップが一押し。食べるとほんのり柑橘の香りが口の中に広がり、何とも爽やかな気分させてくれます。続いては、しまなみ海道で本州と繋がっている東予地区に、昨年「ゆるキャラグランプリ」で堂々の優勝を果たし、今や全国区の人気となった『ばりいさん』を始め(他にもみきゃんとか可愛いゆるキャラも沢山いますよ〜)、ご当地グルメNo.1を決める「B-1グランプリ」で上位入賞を果たした『焼豚玉子飯』なんてのもございます。



南予・東予と来て最後は中予地区ですが、何と言っても『道後温泉』が有名です。日本書紀にもその名が登場し、日本三古湯の一つとしても称されています。(ちなみに、残り2つは兵庫県の有馬温泉と和歌山県の白浜温泉です。)夏目漱石著「坊ちゃん」内の一文「大変うまいと云う評判だから、温泉に行った帰りがけに一寸食べてみた」と出てくる団子は「坊ちゃん団子」として、ここ道後温泉内でも食べる事が出来ます。(個室利用はお値段様々ですが利用する事が出来ます。)そんな道後温泉ではありますが、近々老朽化に伴う全面改修が予定されています。数年後に始まるとも

言われるこの全面改修ですが、完成まで実に10年以上かかる事の事ですから、現在の道後温泉本館をこの目に焼き付けておきたいと思ったそこのあなた！1日も早いお越しをお待ち申し上げますね。他にもまだまだ紹介したい所は一杯ありますよ〜。え〜っと…え？文字数の限界につきもうストップ？分かりました。それでは最後に愛媛県支部は来年、平成26年度中国・四国ブロック研修会の開催県となっております。参加される皆様に喜んで頂ける内容にするべくスタッフ一同頑張っております。中国・四国ブロックといわず、全国皆様のお越しをお待ちしております。〜おもてなしといで湯の里愛媛県においでんかなもし〜  
次は大分県へバトンタッチ！

# 福祉用具を活用しよう

公益財団法人テクノエイド協会

このコーナーでは、本人が実現したいケアプランの生活目標を前提に考え、それに対する福祉用具や生活環境などを生活場面ごとに紹介します。

## Part 2 床ずれ -仕組みを知って防ごう-

今回は、「エアマットレスを利用しない解決策」について解説します。

エアマットレスの欠点としては、本人が動こうとすると中の空気も動いてしまう、つまり加えた力がエアマットレスに逃げてしまうため、どうしても寝返り、起き上がり、立ち上がりといった動作が不安定になってしまいます。

### ■エアマットレスを上手に利用できない時

離床時などにエアマットレスの空気量を増やして硬くすることで、動作を安定させる機能を有するものがあります。

ハイブリッドタイプは、一般的なエアマットレスに比べて運動性は高い反面、エアマットレス部分自体は薄手ですので、高い体圧分散・除圧効果が必要な褥瘡リスクの高い人には不向きです。

ある程度離床動作が可能で、かつ小柄な人の場合、厚手のエアマットレスや、オーバーレイタイプエアマットレスの利用によって、足が床に十分に接地しない可能性があります。ベッドを低床タイプのものにするなどの配慮が必要です。

圧切り替え型エアマットレスの場合、セルの膨縮の際に生じる僅かな揺れによって、船酔いのような状態となる人や、身体に痛みを感じる人もいます。このような場合には、セルの膨縮を止めるモードのあるものか、極力膨縮が小さいものを選ぶ、静止型褥瘡対応マットレスを選ぶといった配慮が必要です。

### ■エアマットレス以外を使用した解決策

**例：拘縮や変形、顕著な骨突出への対応**

**対策：ポジショニングクッションなどで接触面積を増やしましょう。**

マットレスと身体との隙間をできるだけ埋め、接触面積を増やしましょう。「2時間その姿勢を続けることができる」、「本人が辛い」ということが大切なポイントです。本人の体位を真似て、クッションを身体のどこに当てたら楽なのか、自分の身体で体感してみるとよくわかります。

クッションを当てることによって身体の安定性は増し、筋緊張が和らぐのですが、その反面身体が固定されてしまい、本人の意志で動くことは難しくなります。クッションの位置をこまめに移動、修正するという配慮が必要になります。

ポジショニングクッションは一般的に自費購入ですが、中にはレンタルができるものもあります。ただし、介護保険の適用にあたっては、保険者によっては給付が受けられない場合がありますので、対象となる各市区町村担当窓口へお問い合わせください。

ポジショニングクッションのほか、お手持ちのクッションで代用することも可能です。上から荷重をかけてみて底付きしにくいもの、中身があまり流動しない(サポート力がある)ものがよいでしょう。

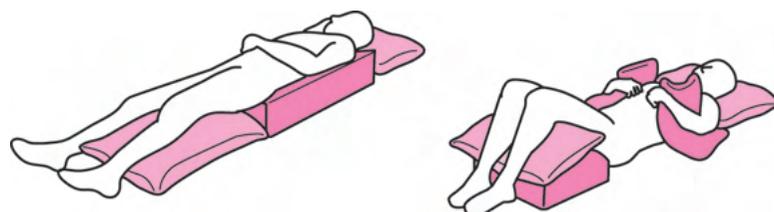
**例：重ねたおむつへの対応**

**対策：おむつの枚数を減らしましょう。**

漏れの心配からおむつを何重にもすることでかえって隙間ができてしまい、そこから漏れるという悪循環も考えられます。おむつはアウター1枚にインナー1枚が基本です。それぞれ様々な種類がありますので、体型や臥位姿勢などに応じて組み合わせて対応しましょう。

今回は、「車いすや車いす用クッションの適切な選定・調整」について解説します。

(出典：公益財団法人テクノエイド協会発行「福祉用具選定支援書」より改編)



ポジショニングクッションで身体との接触面積を増やしましょう

## 会員の皆様から「日本介護福祉士会ニュース」への 投稿を募集しています

以下の記事につきまして、会員の皆様から投稿を受け付けております。今後も会員の皆様の声を反映して様々な情報を発信していきたいと思っております。この機会に奮ってご応募していただきますようお願いいたします。

### ◆現在募集している記事◆

#### 「介護の現場で輝いています」

介護の仕事の楽しさややりがい、印象に残っている事例など、皆様日々活躍している介護の現場をご紹介します。

#### 「私のストレス解消法」

介護福祉士である皆様の日頃取り組んでいるストレス解消法を広めてみませんか。身近にあるものを使って簡単に取り組める、独自のストレス解消法をお待ちしております。

#### 「手作り介護用品」

あなたの職場で使われている手作り介護用品を教えてください。作り方はもちろん、その介護用品に対する利用者や職員の声もお聞かせいただきたいと思います。

掲載された場合には、1,000円のクオカードを贈呈いたします。

原稿提出及び投稿に関するお問い合わせ先

公益社団法人日本介護福祉士会事務局(担当者:神田)

電話 03-3507-0784 FAX 03-3507-8810

メール webmaster@jaccw.or.jp

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

介護専門職情報誌

# 介護福祉

☆毎年3月・6月・9月・12月の25日発行

☆定価860円(本体819円/送料含む)

年間購読料3,440円

☆申込先 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル

TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514

定期購読の申込方法 <http://www.sssc.or.jp/>

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

夏号(25年6月発行)

特集「人間関係とコミュニケーション」

秋号(25年9月発行)

特集「利用者の人権と介護」

## 都道府県介護福祉士会研修情報

## 茨城県介護福祉士会

## 「やさしい・かんたん・きもちいい」

- 日程 平成25年9月16日(月・祝) 10:00~16:00
- 場所 茨城県総合福祉会館4F中研修室
- 内容 ネイルケアやスキンケア、フットマッサージなど、触れることでのQOLの向上を考える学びを実技を交えて展開します。
- 講師 (株)あおば 宇田川 真由美氏
- 定員 40名
- 受講料 会員1,500円・一般3,500円(教材費を含む)
- 問い合わせ 一般社団法人茨城県介護福祉士会事務局  
TEL.029-353-7244 FAX.029-353-7246

## 「平成25年度介護福祉士国家試験筆記対策講座」

- 日程 平成25年9月21日(土) 8:30~17:00  
9月22日(日) 9:00~17:00  
10月5日(土) 9:00~17:00  
10月6日(日) 9:00~17:00  
12月14日(日) 9:00~17:00
- 場所 茨城県職業人材育成センター A-31室  
茨城県総合福祉会館 4階大研修室
- 内容 国家試験の概要/新カリキュラム対応試験の傾向と対策/模擬試験/受験の心構え
- 講師 小平 美代子 (一社)茨城県介護福祉士会理事・  
アール医療福祉専門学校専任教員  
矢花 光 (一社)茨城県介護福祉士会会員・  
つくば国際大学専任講師  
長谷川 みや子氏 アール医療福祉専門学校専任教員  
若松 幸子氏 公益社団法人茨城県看護協会  
訪問看護ステーション絆管理者  
野澤 直樹 (一社)茨城県介護福祉士会会員
- 定員 100名(先着順)
- 受講料 22,000円 ※全日程の受講を原則とします。
- 問い合わせ 一般社団法人茨城県介護福祉士会事務局  
TEL.029-353-7244 FAX.029-353-7246

## 東京都介護福祉士会

## 「認知症ケアと医療との連携」

- 日程 平成25年10月23日(水) 10:30~16:00
- 場所 東京ビッグサイト東4・5ホール
- 内容 地域包括ケアを支える介護と看護の連携  
講師:白十字訪問看護ステーション 統括所長  
株式会社ケアーズ 代表取締役  
秋山 正子氏(看護師)  
認知症の医学的理解とこれからの認知症ケア  
講師:社会福祉法人ロザリオの聖母会  
海上療養所 副院長 上野 秀樹氏
- 定員 150名(先着順)
- 受講料 会員1,800円・一般3,000円
- 問い合わせ NPO法人東京都介護福祉士会  
TEL.03-5624-2821 FAX.03-5624-9650

## 滋賀県介護福祉士会

## 「認知症ケア特別研修」

- 内容・日程・場所
- 最新の認知症ケア「病氣」  
平成25年9月14日(土) 10:00~17:00  
長寿社会福祉センター 大教室
- 認知症ケアとコミュニケーション  
平成25年9月15日(日) 10:00~17:00  
コープしが福祉 ネットワークセンター
- 認知症ケアにおける介護過程とライフサポートプラン  
平成25年9月16日(月・祝) 10:00~17:00  
草津市まちづくりセンター
- 講師 宮島 渡氏 長野県高齢者総合福祉施設アザレアン  
さなだ総合施設長
- 定員 50名(各日とも)
- 受講料 ファーストステップ研修修了者:3,000円  
会員・賛助会員:4,000円・非会員:5,000円
- 問い合わせ 一般社団法人滋賀県介護福祉士会事務局  
TEL.077-568-1758 FAX.077-532-8142

## オールジャパンケアコンテスト

主催:第4回オールジャパンケアコンテスト実行委員会  
共催:鳥取県  
主管:社会福祉法人こうほうえん

## 11月11日(月)

13:30~ 開会式

14:00~17:00

## ●記念講演

「認知症と在宅生活」 上野秀樹氏

社会福祉法人ロザリオの聖母会海上療養

所/桜新町アーバンクリニック医師

内閣府障害者政策委員会委員

「訪問介護24時間体制のサービス」

マリアンネ・ドウエ氏(通訳 和子・マイヤー)

コリング市(デンマーク)在宅介護課課長

教育・社会福祉士、1983年より介護の仕事

に従事

18:00~ 懇親会

## 11月12日(火)

10:00~14:00 コンテスト

14:20~14:50 アトラクション

15:00~15:30 表彰・閉会式

## 【お問い合わせ先】

第4回オールジャパンケアコンテスト実行委員  
会事務局

担当:中山寿子・斉藤良子・高橋美幸

TEL:0859-24-3111

FAX:0859-24-3113

## 第20回全国大会開催要綱

1. 日時 平成25年11月15日(金)～16日(土)
2. 場所 とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)
3. テーマ 介護福祉士 われらの“生命(しめい)”  
～うちにまかせて ごさないな～
4. 参加定員 1,000名
5. 参加対象 公益社団法人日本介護福祉士会会員  
その他一般
6. 会費 会員3,000円、一般10,000円、学生1,000円
7. プログラム  
(1日目)  
プレセミナー「いまからスタート、介護研究！」  
(先着50名)  
基調講演 厚生労働省(予定)  
記念講演 高田 佳子氏(日本笑いヨガ協会代表)  
(2日目)  
第1分科会「介護福祉士の“しめい”～施設の現場から思うこと～」  
座長:綿 祐二氏(日本福祉大学福祉経営学部教授)  
第2分科会「介護福祉士の“しめい”～在宅の現場から思うこと～」  
座長:佐々木 炎氏(NPO法人ホッとスペース 中原代表)  
第3分科会「介護職員としてのワーク・ライフ・バランス」  
座長:徳山 和宏氏(徳山オフィス代表)  
第4分科会「管理者としての視点」  
座長:内田 千恵子(公益社団法人日本介護福祉士会副会長)  
特別講演 徳永 進氏(野の花診療所院長)
8. 問い合わせ 公益社団法人日本介護福祉士会事務局

## 関東・甲信越ブロック研修会

### 「職業介護福祉士」～介護福祉士として働く～

介護福祉士を取り巻く環境は日々大きく変化しています。多様化する介護ニーズに対応する知識・技術はもちろんのこと、私たちの地位向上や処遇改善等多岐にわたります。その変化に迅速かつ柔軟に対応できる専門性を身につけるとともに、介護を一般の方々に周知することを目的とし本大会を開催致します。

1. 日時 平成25年10月20日(日) 10:00～17:00
2. 場所 群馬医療福祉大学
3. 定員 500名
4. 参加費 会員/3,000円 非会員/5,000円 学生/1,000円
5. プログラム  
第1分科会 テーマ「人材育成」  
第2分科会 テーマ「認知症ケア」  
第3分科会 テーマ「ターミナルケア」  
特別講演 比田井 和孝(ひだいかずたか)氏  
我武者羅応援団(がむしゃらおうえんだん)
6. 問い合わせ 一般社団法人 群馬県介護福祉士会  
TEL.027-255-6226 FAX.027-255-6173

## 近畿ブロック研修会

### 「介護福祉人材の育成」

1. 日時 平成25年11月29日(金)～30日(土)
2. 場所 ラフォーレ琵琶湖 大会講堂
3. 定員 200名
4. 参加費 会員/2,000円 非会員/4,000円 学生・教職員/500円  
交流会参加費用 5,000円  
※交流会は滋賀県介護福祉士会設立20周年記念も兼ねます。
5. プログラム  
1日目  
(基調講演) 厚生労働省(予定)  
(記念講演) ～専門職を目指す介護福祉人材の育成～  
講師:奈倉 道隆氏(聖隷クリストファー大学教授)  
交流会 及び滋賀県介護福祉士会 設立20周年記念式典  
2日目  
「人を育てることは自らを育てること」無限の可能性を秘めた、あなたへ  
講師:土橋 久忠氏(山梨学院大学キャリアティベロップメントアドバイザー)
6. 問い合わせ 一般社団法人 滋賀県介護福祉士会  
TEL.077-568-1758 FAX.077-532-8142

## 九州ブロック研修会

### 第18回 九州ブロック大会 in ふくおか

1. 日時 平成25年10月25日(金)～26日(土)
2. 場所 ヒルトン福岡シーホーク
3. テーマ 時代が求める介護福祉士  
～利用者ニーズに沿った連携のために～
4. 参加費 会員/3,000円 非会員/8,000円 学生/1,000円  
交流会8,000円
5. プログラム  
(10月25日) 基調講演  
「介護職をめぐる状況について(仮)」  
講師 宮島 俊彦氏(前厚生労働省老健局長)  
(10月26日) 分科会  
第1分科会 <<介護職に求められる医療行為>> シンポジウム  
第2分科会 <<介護福祉士と障害者支援制度>> 講演  
第3分科会 <<地域包括ケアを考える>> 事例発表
6. 参加定員 600名
7. 申込締切 9月30日(月)
8. 問い合わせ 公益社団法人 福岡県介護福祉士会  
TEL.092-474-7015 FAX.092-436-5234

### 障害者支援のための研修

1. 日時 平成25年10月26日(土)～27日(日)
2. 場所 1日目:ヒルトン福岡シーホーク  
2日目:西新パレスホール
3. 参加費 会員/無料 非会員/5,000円(ともに資料代を含む)
4. 参加定員 約60名(希望者多数の場合は、先着順)
5. 申込締切 9月30日(月)
6. 問い合わせ 公益社団法人 福岡県介護福祉士会  
TEL.092-474-7015 FAX.092-436-5234

発行所/公益社団法人 日本介護福祉士会

事務局(〒105-0001)東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎の門ビル3F

電話(03)3507-0784 FAX(03)3507-8810 <http://www.jaccw.or.jp> 発行責任者・石橋真二

会員専用サイト「ケアウエル」 <http://www.jaccw-carewel-site.net/>



(問合せ)



(会員専用サイト「ケアウエル」)



# ニュース



The Japan Association of Certified Care Workers

## Vol.118

### 10月15日号

平成25年(2013年)

# 公益社団法人 日本介護福祉士会

URL : <http://www.jaccw.or.jp/>E-mail : [webmaster@jaccw.or.jp](mailto:webmaster@jaccw.or.jp)

## 次期役員選挙について

平成26年度役員改選へ向けて第1回選挙管理委員会が行われ、岩手県介護福祉士会所属の吉田均氏が委員長に選出された。  
今回は、公益社団法人化後初めての改選となる。

役員候補者選出に関する公示

平成25年10月15日  
公益社団法人日本介護福祉士会  
選挙管理委員会

以下のとおり、公益社団法人日本介護福祉士会の役員候補者選出を行いますので公示致します。

### 1 選出する役員候補者の構成および人数

- ① 正会員理事 20名以内  
【正会員理事の内訳】
  - (1) 全国選出理事 8名以上14名以内
  - (2) ブロック選出理事 6名(下記6ブロック各1名)  
北海道・東北、関東・甲信越、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州
- ② 正会員以外の理事 8名以内
- ③ 監事 2名(正会員監事1名 正会員以外監事 1名)

### 1 選出する役員の任期

平成26年5月の定時総会から平成28年の定時総会まで

### 1 選出時期および選出方法

- ① 全国選出理事  
平成26年1月15日(水)  
全国選出理事立候補者の選出は、代議員に投票用紙を直接郵送しその投票により票数上位14名を当選者とする。
- ② ブロック選出理事  
平成26年1月15日(水)  
ブロック選出理事立候補者の選出は、ブロックごとの代議員に投票用紙を直接郵送し、その投票による選挙とする。

### 1 全国及びブロック選出理事立候補の受付

- ① 立候補受付期間  
平成25年11月11日(月)～11月22日(金)  
郵送によることとし、締切日以降の消印書類は受け付けない。

### ● 役員の動き ● (8月1日～9月30日)

8月 9日 東洋羽毛(株)創立60周年記念祝賀会(内田副会長)  
8月21日 第95回介護給付費分科会(内田副会長)  
8月25日 在宅医療と介護の連携における情報システム利用に関するガイドライン検討委員会【東京大学】(木村副会長)  
8月28日 第46回介護保険部会(内田副会長)  
8月31日～9月1日 認定介護福祉士(仮称)モデル研修(石橋会長、内田、木村副会長)  
9月 4日 第47回介護保険部会(内田副会長)  
9月 6日 正副会長会、第3回常任理事会(石橋会長、内田、三浦副会長)

9月10日 「認定介護福祉士(仮称)の在り方に関する検討会」(石橋会長)  
9月11日 第96回介護給付費分科会(内田副会長)  
9月12日 日本医師会創立110周年を祝う会(石橋会長)  
9月15日～16日 認定介護福祉士(仮称)モデル研修(石橋会長、内田副会長)  
9月18日 第48回介護保険部会(内田副会長)  
9月19日 前参議院議員中村博彦氏惜別の会出席(石橋会長)  
9月23日 第8回老人保健施設 中四国ブロック大会 開会式出席(石橋会長)

## ② 受付・郵送先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎の門ビル3階  
公益社団法人 日本介護福祉士会 選挙管理委員会

## 1 立候補者の要件

- ① 立候補者は、正会員であり、かつ立候補届出時に入会后3年以上経過し、選挙年度までの会費を納めていなければならない。
- ② 立候補者は、正会員20人による推薦がなければならない。

## 1 立候補の方法

立候補は、以下の書類を郵送により提出するものとする。

- ① 全国選出理事の立候補に必要な書類
  - ・役員(全国選出理事)立候補届(様式 選-1)
  - ・役員(全国選出理事)立候補者推薦書(20人分)(様式 選-2)
  - ・役員(全国選出理事)立候補者推薦理由書(様式 選-3)
  - ・役員(全国選出理事)立候補者公示用原稿(様式 選-4)
- ② ブロック選出理事の立候補に必要な書類
  - ・役員(ブロック選出理事)立候補届(様式 選-5)
  - ・役員(ブロック選出理事)立候補者推薦書(20人分)(様式 選-6)
  - ・役員(ブロック選出理事)立候補者推薦理由書(様式 選-7)
  - ・役員(ブロック選出理事)立候補者公示用原稿(様式 選-8)

なお、上記の指定様式以外を用いた場合及び書類が一つでも欠けている場合は受け付けないものとする。

## 1 禁止事項

- ① ブロック選出理事は全国選出理事に立候補することはできない。
- ② 推薦者は同時に複数の立候補者を推薦することはできない。
- ③ 推薦者は立候補できない。
- ④ 選挙管理委員は立候補できない。また、立候補者を推薦できない。
- ⑤ 代議員は立候補できない。

## ※ 補足事項

- ① 選挙管理委員会は、役員選出にかかる事務の全てを管理します。
- ② 立候補に必要な書類(上記別記様式)は、請求により本会事務局より送付致します。また、本会ホームページからもダウンロード(PDF書類)が可能です。
- ③ 立候補者名簿は、12月15日に本会ニュース及びホームページを通じて公示致します。
- ④ 正会員以外の理事候補者及び監事候補者は、規定により本年度内の推薦委員会において選出致します。
- ⑤ 選挙管理委員会は、役員候補者名簿(全国選出理事、ブロック選出理事、正会員以外の理事、監事各候補者の名簿)を整え、平成26年度定時総会に提出致します。総会において役員を選任(承認)を行います。
- ⑥ 総会において役員が承認が得られ、正式に理事に就任した後理事会を開催して、予め「役職選考会」で内定した候補者を役職者に決定致します。

## 選挙管理委員会 委員名簿

ブロック	氏名(所属支部)
北海道・東北	○吉田均(岩手)
関東・甲信越	福田仁(群馬)
東海・北陸	沖田健太郎(愛知)
近畿	砂田貴彦(滋賀)
中国・四国	宇都宮ひとみ(山口)
九州	長友信也(宮崎)

氏名の前の○印は委員長

## 『介護の日』 イベントの実施について

11月11日『介護の日』にあわせて、今年度も各都道府県介護福祉士会がイベントを実施します。お近くのイベントに足を運んでいただき、新たな視点で「介護」を見つめなおしてみませんか？ イベントの詳細は各都道府県介護福祉士会事務局までお問い合わせください。

支 部	日 程	実 施 場 所	支 部	日 程	実 施 場 所
山 形	11月13日	ビックウイング	京 都	11月1～10日 のいずれか1日	京都駅タワー前周辺、他
茨 城	10月25日～ 10月31日	茨城県庁「県民情報センター 県 政広告コーナー」	大 阪	11月2日	大淀コミュニティセンター
	11月16日	つくば国際会議場多目的ホール	兵 庫	11月23日	兵庫県福祉センター 多目的 ホール
栃 木	11月9日	とちぎ健康の森	和歌山	11月16日、 17日	和歌山ビッグ愛
群 馬	11月4日	群馬県庁			
埼 玉	11月11日	浦和駅東口及び西口	岡 山	11月9日	岡山県総合福祉会館1階大ホール
東 京	11月17日	東京国際フォーラム	広 島	11月11日～ 17日	リム・ふくやま
神奈川	①9月21日 ②9月29日 ③11月11日	①横浜駅 高島屋前広場 ②ヴェルクよこすか ③伊勢原シティプラザ	香 川	①10月14日	①サンメッセ香川(サンメッセ ホール)
	新 潟	11月4日		朱鷺メッセ	②11月4日
富 山	11月10日	富山市まちなか賑わい広場 「グランドプラザ」	愛 媛	11月11日	愛媛県総合社会福祉会館2階 「多目的ホール」
石 川	①11月11日	①石川県福祉総合研修センター 4F 石川県介護福祉士会 事 務局	高 知	11月10日	高知市中央公園
	②11月16日	②石川県女性センター	福 岡	①10月19日 ～11月11日 ②11月11日	①福岡県下 ②福岡県介護福祉士会事務局
福 井	11月10日、 11日	福井市地域交流プラザ アオツ サ1Fアトリウム	熊 本	11月10日	熊本県庁行政棟本館地下大会議室
山 梨	11月10日	甲府駅前	大 分	11月10日	・大分県社会福祉介護研修セン ター ・大分市新日鉄住金人材育成セ ンター攻玉寮
長 野	11月9日	山形村ミラ・フード館			
岐 阜	①12月1日 ②12月8日	①ソフトピアアジアパン ②岐阜県立図書館	宮 崎	11月10日	宮交シティ 2階 ガリバー広場
	愛 知	①10月5日 ②11月9日	①あいち健康の森公園 ②ナディアパークアトリウム及び 北東外有効空地	鹿 児 島	11月11日
三 重	11月10日	鈴鹿ハンター	沖 縄	11月20日	裏添市てだこホール

※9月30日現在

## 認定介護福祉士(仮称) シリーズ1

## 認定介護福祉士(仮称) 制度の構築が進められています

2011年度より、日本介護福祉士会が事務局となり認定介護福祉士(仮称)制度の構築が進められています。本年度は、2014年度中の制度化に向け、認定介護福祉士(仮称)認証・認定スキームの検討が進められています。また、本事業では昨年度より引き続き研修カリキュラムの妥当性などについての評価・検証を行うことを目的として、モデル研修を実施しています。

そこで、認定介護福祉士(仮称)のイメージやモデル研修の概況などについて「認定介護福祉士(仮称)シリーズ」として掲載することとしました。今後、認定介護福祉士(仮称)の検討にご協力をお願いしている先生やモデル研修受講者からのメッセージを紹介していきます。

初回である今号では、「認定介護福祉士(仮称)の在り方に関する検討会」の委員長である太田貞司先生と、日本介護福祉士会会員でありモデル研修受講者の鈴木乃氏よりご寄稿をいただきました。

### 「認定介護福祉士(仮称)」創設と介護福祉士の今後

聖隷クリストファー大学大学院 社会福祉研究科教授 太田 貞司 氏



#### 1. “次はケアマネ”の現実

「次はケアマネ」ではないのか。やはり、職場、地域で働き続ける介護福祉士のキャリアパスが必要だ」という声がモデル研修の受講者から聞かれるようになった。

介護福祉士のベテランが介護職場を去らなければならないという現実がある。これは変えなければならないだろう。もちろん中には、ケアマネジャーになって活躍したいという人もいる。それはそれでよい。しかし、本人も「残りたい」、利用者も職場や地域も「あの人が介護職場に残ってほしい」と思う人がキャリアパスの途がないため、やむを得ず介護職場を去るという場合が少なくない。

#### 2. 来年度「認定介護福祉士(仮称)」創設を目指して

2007年の社会福祉士及び介護福祉士法改正時、より専門的対応ができる人材の育成の課題について国会の付帯決議がなされ、厚生労働省に検討会が設置され、介護福祉士資格取得後一定の実務経験を経て、幅広い知識・技術を身に付け、質の高い介護を行い、他の現場職員を指導できるレベル

の「認定介護福祉士(仮称)」を設けることが必要とされた。

これを受けて、介護で生涯働き続けることができるためのキャリアパスの方向を示すため、日本介護福祉士会が事務局となり、事業者団体、養成校の関係者や学識経験者によって2011年8月に「認定介護福祉士(仮称)の在り方に関する検討会」が設けられた。現在、全国の現場の介護福祉士50名程の協力を得て、どのような「認定介護福祉士(仮称)」が今後必要か、モデル研修を行いながら検討を重ねている。なお、狙い、役割、求められる実践力、モデル研修の在り方等の検討内容は、『中間まとめ』(平成23、24年度)として、日本介護福祉士会のHPで公表されているのでご覧いただきたい。

モデル研修の第一段階は9月1日で終わり、台風が首都圏に直撃というニュースが流れる9月15日に研修生が東京に集まり第二段階が始まった。今年度中に、モデル研修の結果を踏まえて検討を終え、来年度中には「認定介護福祉士(仮称)」創設の予定である。

#### 3. 厚い介護職層がなければ、絵に描いた餅

2025年の「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、地域に介護職の量的、質的な確保が必要になる。人口1万人当たり400人弱の介護職の確保が

必要と試算されている。そのため、介護職場のリーダーのリーダー、経験があり力がある職場や地域の介護福祉士のリーダーが必要だ。2012年は、医療側からも介護側からも、「地域包括ケアシステム」の構築“元年”と言われているが、地域に厚い介護職の層が築かれなければ、その構築は、絵に描いた餅と言ってもよい。

#### 4. 「認定介護福祉士(仮称)」への期待

「認定介護福祉士(仮称)」は現在検討中であるが、介護現場の施設の介護主任、ユニットリーダー、「サービス提供責任者」、小規模多機能型居宅介護の介護主任等を「育てる」立場にいる人を対象に一定の経験がある人で、施設と在宅の経験があることが望ましいということになる。介護ニーズに応じた介護職チームを創り出すこと、他職種との連携を生活の視点の介護職側から進めること、さらに次世代を育成する役割を担うことが役割といってよい。特定分野の高度専門者、事業所管理者、教員等の養成ではない。介護現場の介護福祉士のジェネラリストの養成で、地域型の介護

福祉実践を推進できる人材養成となろう。

また、今後重要な役割となることが予想される「地域ケア会議」に、地域の介護職の代表として「認定介護福祉士(仮称)」が出席し、医療と介護の連携の課題を、介護職側から発言し、職場や地域の高齢者や障害者の生活課題の解決に向けて提案していくことも重要になってくる。生活支援の視点で、いちばん利用者に“身近で”、“継続して”日常的に生活上の課題を細かく見ながら支援しているのは介護職である。医療と介護の連携を進め、地域での“暮らし”を豊かにするために、重要な役割を担うことになる。これは「地域型」介護福祉士と言える。

現在、地域の介護職代表として介護福祉士が「地域ケア会議」に出席しているところはあまり見られない。「認定介護福祉士(仮称)」が育てば、「地域ケア会議」でも大きな役割を果たすことになる。しかも、地域の職能団体・日本介護福祉士の会員として、地域の介護福祉士のリーダーとして、職場や地域の介護職の課題について発言する役割が、きわめて重要になってくるだろう。

## 認定介護福祉士(仮称) モデル研修に参加して

介護老人保健施設フロリール調布 鈴木 乃



このモデル研修を受講し、今思うことは、私たち介護職員をそして障害者・高齢者を、そして地域に暮らす人々を幸せにすることができる研修だということです。正直、大変です。「事前課題」「事後課題」「事後課題」「事後課題」

「事後課題」「事後課題」2年にわたって繰り返されています。そして講師の先生方も厳しいです！(怒られるかも…)しかし、それだけ本気だということです。介護の世界には様々な資格・研修がありますが、この研修のように様々な分野の学びを『繋げて』教えてくれる機会は少ないのではないのでしょうか。私たちがよく口にする「日常

生活を支援する」という言葉がありますが、まさに日常生活は様々な『繋がり』があるからこそ成り立ち、この『繋がり』を大切に、支援するのが介護福祉士の専門性だと気づかされました。制度化云々という話題もありますが、この研修では最初に述べたように「自分もみんなも幸せにする方法」が学べます。それだけで素晴らしいことだと思います。「お年寄りや障がいを持った方が嫌い」という方はいらっしやらないと思います。研修はあと半年間続きます。正直辛いです。しかし半年後の自分を想像するとワクワクするのも事実です。今まで仕事をしていてこんな風に思うことはありませんでした。今はまだ生まれたての資格ですが、私がこれだけ変わったのですから、全国の介護福祉士で育てていけば必ず国や現場は変わるはず。そう願っています。



## 海外研修に参加して

8月31日～9月14日まで、公益財団法人社会福祉振興・試験センターの主催する海外研修が行われました。今回はスウェーデンでの研修に参加した4名の報告をお伝えします。

浅野幸子（公益社団法人日本介護福祉士会 理事）

日本では残暑が続く中、8月31日から9月14日迄の日程で全国から集まった11名の仲間とともに「介護福祉士海外研修」に行つて参りました。研修初日は研修先であるノーランディケア社からのオリエンテーションを受け、その後スウェーデン社会福祉についての現状を学びました。そこで、国策としての日本とスウェーデンでの制度の違いを痛感しました。2日目、高齢者ケア・認知症ケア専門家のインゲ氏からスウェーデンにおける認知症ケアの現状を講義いただき、翌日から2グループに分かれ午前午後のシフトで研修に臨みました。研修初日に其々が学びたいことも聴いていただき、研修内容も充実したものとなりました。特に印象に残ったのは、床式走行リフトが使用され、2人介助がごく自然であったこと。個人に焦点をあてた介護が実践されていたことに感銘を受けました。スウェーデンスタッフも明るい人が多く、親切にして頂きました。最終日の答礼レセプションでは、私たち日本人から日本の福祉を紹介、日本とスウェーデンの介護・福祉を共有する時間を持ちました。最後は「炭坑節」を日本語とスウェーデン語と一緒に踊り、日本で東京オリンピックが決定されたさ中、私たちも日本の「お・も・て・な・し」の心でスウェーデンの仲間と忘れられない最後の夜を過ごしました。書きたいことはまだありますが、紙面の関係上お許しください。来年も、多くの介護福祉士が他国の介護を学ぶ機会に恵まれるよう期待するとともに、日本の現状と他国の介護の違いを実際を目で見て考える重要性を今後、何らかの形で伝えていきたいと考えています。Tack så mycket（ありがとうございました）



玉土 靖（合同会社 たまのケア 代表社員）

今回、介護福祉士海外研修・調査に応募し10年越しでやっと念願の福祉先進国スウェーデンでの研修に参加させて頂くことができました。はじめは、スウェーデン語も話せないのに大丈夫なのか不安でいっぱいでしたが、現地の職員さんと利用様達が心よく受け入れてくれたので安心して研修をうける事ができました。

日本での介護現場の経験が、海外でも十分通じることを肌で感じることもでき、また両国の福祉制度・政策などの違いも知ることができ将来の日本の介護の方向性が観えてきました。そして、なんと研修終盤には簡単なスウェーデン語で挨拶が出来き自信ができました。今は、現地の職員さん達とFacebookで友達繋になっています。

このような、大変貴重な体験が出来たことに本当に各関係者皆様方に感謝の気持ちでいっぱいです。

ぜひ、現場で働いている介護福祉士会会員の皆さまにもこの感動と実体験を共感できたらと思います。

さあ次は、あなたの番です！

野口清孝（特別養護老人ホームシルバーケア吉野ヶ里ユニットリーダー）

初めに、私自身介護施設に務め、7年が経ち、その中で自分の知識不足、指導力不足を痛感していました。日々変わりゆく介護業界で、私たち介護職はどうあるべきなのかを学びたいと強く思いこの研修へ参加しました。

現地ではまずスウェーデンの社会保障の在り方、認知症に対する考え方を学び、その後現場研修を行いました。スウェーデンでは延命治療を極力しないという考えがあり、その方にとっての苦しみを延ばさない、残りの人生を楽しく過ごしてもらうという事が非常に印象深く、また、スウェーデンでは一人一人の意思を尊重していることが強く感じられました。又、現場研修では介護器具の充実、コミュニケーションの質や量など、自職場と客観的に比較する事ができ、人材を増やすだけでなくこのような面の充実を考えていけば良い介護が出来るのではと感じました。

最後に研修を通し、立場は異なるが同じ職業として夢や希望を持った方々と出会えた事、素晴らしい経験をさせてもらった事に心より感謝します。

金子浩崇（日本介護福祉士会事務局）

この度は社会福祉振興・試験センターの主催する介護福祉士海外研修に本部員として参加させていただき、本部員にも関わらず研修にまで参加させていただきました。

参加する前は私自身初めての北欧であり、15日間という長い日程で不安に思うことが多くありましたが、実際に行ってみると目に映るものすべてが新鮮であり興味深く、感じていた不安は瑣事であることに気付きました。

研修では、ケアに対する根本的な考えや理念は日本と変わりませんが、文化、価値観、制度等の違いを学び、また、研修を通じて介護職員が個を尊重し合うからこそ、利用者の意志を尊重できる、そしてそれを実践しているということ、物事はシンプルに考えるべきであるということの2点が深く印象に残りました。

最後ではありますが、このような研修の機会を与えていただいた関係者各位に心から感謝を申し上げますとともに、15日間生活を共にした調査団員各位に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

第20回 全国大会開催県

# とっとり

シリーズ5

懇親会のカニを試食してきました。  
とても、美味でした。  
座席数が残りわずかとなっております。  
懇親会参加予定の方はお早めにお申し込み下さい。



- テーマ 「介護福祉士 われらの“支命(しめい)”～うちに まかせて ごしないな～」
- 期 日 平成25年 11月15日(金)～16日(土)
- 会 場 とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町101-5 TEL 0857-21-8700)

カニの雑炊も  
できちゃうなあ…。

カニの甲羅で  
熱燗もいいなあ…。

えっ!  
これに親カニも  
付いちゃうの。



焼きカニは、  
焼き過ぎないようにね。

何から食べるか  
迷っちゃうなあ…。  
まずは、乾杯だあ～!!

残りの座席も  
後わずかだな。

蒸籠カニ寿司も  
美味ですよ。

カニのお刺身で  
しゃぶしゃぶも通だなあ…。



# ふれあいケア

2013年  
11月号  
10月21日発行

●定価1,020円(本体971円) ●毎月20日発行 ●B5判・80頁  
●送料300円(10冊以上・定期購読の場合は送料サービス)

介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアに関わる施設福祉や在宅福祉の最新情報や、先駆的な実践事例も紹介。

## 特集 「食べる」ということ

人が生きるうえで「食べる」ことが重要です。一方で、脳梗塞などにより咀嚼や嚥下が困難になった高齢者に胃ろうを造設する事例が増えています。もちろん、胃ろう造設後でも状態の改善により口からの食事を再開することは可能です。「食べる」楽しみを大切に、生活の質を低下させないための介護現場におけるさまざまな取り組み・工夫を解説と実践から学びます。

### 好評連載企画

- 老い考 ●介護現場のリスクマネジメント ●パワーUP!訪問介護 ●ワンポイント介護技術
- Close Up福祉用具 ●認知症ケア相談室 ●介護の味方・看護の見方 ●職場のあなたの物語 ほか

### 定期購読申込み受付中!

【FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい】  
お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号、冊数」を忘れずにご記入下さい。  
バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい(品切れの際はご容赦下さい)。

●お申し込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ●

#### ■ 全社協出版部受注センター ■

受注 TEL: 049-257-1080 FAX: 049-257-3111  
専用 E-mail: zenshakyō-s@shakyo.or.jp



社会福祉 法人 全国社会福祉協議会 出版部  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ

福祉の本出版目録

検索

▶▶ <http://www.fukushinohon.gr.jp>

支部  
リレー

都道府県介護福祉士会 情報交流の泉⑭ ◆大分県

## 来てみなれえ～ そらあしんけんいいとこやけん

やってきました支部リレー、幸せの県おおいた。(番号つけると<sup>しあわせ</sup>44番目)意気込んで取り掛かったはいいが、支部1,300人の状況?活動報告?…どのような切り口が適当か思い悩みました。最終的に今回は全国的に左程知られていないであろう「おおいた」のPRに徹しようと思います。

大分が世に一番名をはせているもの、これはもう紛れもなく「温泉」でありましょう。

源泉数は実に4471か所、これは日本全体の六分の1にあたります。湧出量を問われればこれまた毎分285,185リットル、分かりにくいので言い換えると東京ドーム2.5杯分まドームに湯を張ったとこなど誰も見たことないとおつこまれそうではありますが、そんなとこらしいです。言わずもがな、どちらも日本一とくれば、「おんせん県」と発したくなるのも分かる気が致します。県を挙げてのPR活動のキャッチフレーズが「日本一のおんせん県おおいた 味力も満載」ときたら、これはもう言った者勝ちの世界。温泉のみならずしっかりとグルメアピールも忘れていません。

話題をその魅力、もとい「味力」のご紹介に転じることにします。

この文が紙面を飾り皆さんの目にとまるころは、関アジ・関サバが旬真っ只中であります。(皆様がすぐに開封すればの話、よしんば何年後かでも秋口に読んでくれれば話はおります。)旬といえば昨今にわかに脚光を浴び全国区に躍り出たものに「からあげ」があります。他県の人からは違いが分らないと言われますが、「とり天」も名物、大分は鶏にとっては、鬼門にあたります。鶏を供養するわけじゃないが、宇佐神宮という全国44,000社ある八幡宮の総本社もあります。その宇佐は「USAから揚げ」として売り出していますが、無論アメリカとは関係ありません。宇佐とならんでからあげで有名な中津は福沢諭吉・鯉などでも有名、来年は大河ドラマ黒田官兵衛が旗揚げされ、ふいーばあー必至であります。

名所を語りますと日本一の人道専用吊橋「九重大吊橋」がございます。長さ390m、高さは173mと壮大なものであり、まあ地元の者しか分らないでしょうが九重連山、九酔溪、震動の滝(日本の滝100選)などの絶景が眼下に拡がり観る者を取りこにいたします。まだまだ枚挙にいとまがないところではありますが、紙面に限界があるので…。

最後のプチ自慢!? AKBの「サッシー」こと指原さんも大分出身であります。しかしながら大分に来てはほとんどありませんので「あしからず」。

「あ～ー仕事終えたあ～『いいちこ』にするか『二階堂』はたまたま……。」

次は岩手県へバトンタッチ!



## 会員のみなさまからの投稿を受け付けています！

日本介護福祉士会では、会員の皆様とともに事業を行っていきたくと考えています。日々のお仕事でお忙しいこととは思いますが、是非1度、あなたの貴重な経験を全国の介護福祉士仲間と共有してみませんか！

投稿いただいた方にはもちろんクオカード1,000円分を差し上げます！

### 介護の現場の事例 『やりがい、介護の仕事』

日本介護福祉士会創立20周年記念事業の一貫として、介護現場での実践事例を募集しています。日常業務の中におけるやりがいや、介護を行ううえでの喜びを感じた体験事例をお寄せください。いくつかの事例については、日本介護福祉士会ニュースや、20周年記念式典において発表したいと考えています。

- 申込締切：平成25年11月30日(土) 消印有効
- 原稿量：概ねA4用紙4枚程度
- 原稿はデータ(ワード又はエクセル)にて作成して下さい。
- 詳しくは日本介護福祉士会のホームページをご参照下さい。

### 日本介護福祉士会ニュース

日本介護福祉士会ニュースでは、以下の原稿を募集しています。

- 介護の現場で輝いています！**  
介護現場で活躍する会員の皆様の印象に残っている事例、記憶に残っている取り組みや、忘れられない利用者など、テーマは自由です。
- 相談コーナー**  
介護現場での日々の取り組みで、「法律はどうなっているのだろうか？」と疑問に感じていることや悩みをお寄せ下さい。
- 手作り介護用品**  
介護現場の最前線で働く介護福祉士だからこそ思い浮かんだ発明品、便利グッズを教えてください。
- 私のストレス解消法**  
毎日忙しく働く皆様の効果的なストレス解消法をお待ちしています。

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

介護専門職情報誌

# 介護福祉

☆毎年3月・6月・9月・12月の25日発行

☆定価860円(本体819円/送料含む)

年間購読料3,440円

☆申込先 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル

TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514

定期購読の申込方法 <http://www.sssc.or.jp/>

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

夏号(25年6月発行)

特集「人間関係とコミュニケーション」

秋号(25年9月発行)

特集「利用者の人権と介護」

# 福祉用具を活用しよう

公益財団法人テクノエイド協会

このコーナーでは、本人が実現したいケアプランの生活目標を前提に考え、それに対する福祉用具や生活環境などを生活場面ごとに紹介します。

## Part 2 床ずれ -仕組みを知って防ごう-

今回は「車いすや車いす用クッションの適切な選定・調整」について解説します。

クッションのない車いすや、へたったウレタンクッションに座ってはいませんか？これらのことは褥瘡以前の問題ですが、褥瘡がすでにできてしまっている場合には大変危険な状態です。直ちにクッションの見直しが必要です。そして褥瘡の有無に関わらずに、車いすにはクッションを必ず使用するものだという認識をもちましょう。

車いすやクッションの選定・調整が適切に行われていないと、姿勢が崩れ、局所的に圧が集中したり、ずれが生じたりと褥瘡の原因になりかねません。褥瘡ができたときには、車いすが原因になっているかもしれないという考えのもとに、車いすやクッションの使い方を見直してみましょう。

### ■車いす上でずっこけ座りになってはいませんか？

高齢者に限らず、大抵の人が長時間座位姿勢を続けると、その内に坐骨が前に滑ったずっこけ姿勢になります。私たちはこのような姿勢をとることで、臀部や腰まわりに集中した上半身の重みを背面にも分散させ、無意識に臀部周辺の負担を軽減しようとしています。しかし、このような姿勢は骨盤が後傾した状態になり、仙骨周辺が座面に接触し、圧力が集中すると同時に、ずっこけ姿勢に移る時に仙骨と座面の間には、ずれ力が発生し更に皮膚にダメージを与えます。

また、正しい姿勢で座ることができていても、ずっこけ姿勢と正しい姿勢を繰り返していると、尾骨部や坐骨部にも褥瘡ができることがあります。

### 【対策：ずっこけ姿勢の原因を特定し、改善しましょう】

座位時に臀部が痛くなり、その痛みを逃がすためにずっこけ姿勢になってしまう人の場合には、体圧分散効果のあるクッションを導入することも必要です。また、座位姿勢を保持する体幹の筋力が不足していて、座っているうちにずっこけ姿勢になってしまう人の場合には、ずっこけ姿勢に繋がる坐骨の前滑りを止める役割を持つ「アンカーサポート機能」のあるクッションの導入が必要です。ただし、骨盤が後傾した状態で固まってしまっている人の場合には、アンカー機能が働きにくくなります。

車いすのフットサポートの高さは低すぎても高すぎても身体に合った高さでない場合には、姿勢の崩れを誘発してしまいますので、きちんと身体に合わせるようにしましょう。

ティルトタイプの車いすを利用することも、ずっこけ姿勢防止に有効です。座面角度に前後差をつけることで臀部に集中した体圧を背中側へ分散させると同時に、坐

骨の前滑りを防止し、姿勢の保持がしやすくなります。

リクライニングしかできない車いすでは、かえってずっこけ姿勢を誘発してしまいます。リクライニング機能が必要な人の場合には、必ずティルト機能もある「ティルト・リクライニングタイプ」を選ぶようにしましょう。

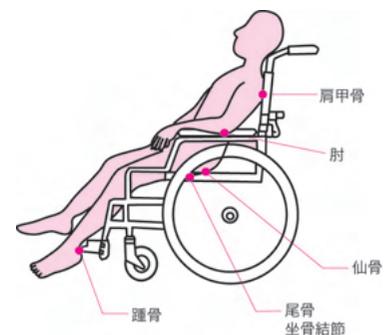
### ■車いす上での姿勢が左右に傾いた状態になっていませんか？

体幹の筋力低下、腰周りの筋力低下、円背といった変形など様々な原因が考えられますが、左右どちらか一方に身体が傾き体重が集中することで、坐骨や腰部に負担がかかり、ずっこけ姿勢を誘発するなど、さらに姿勢が崩れる悪循環を招きます。姿勢の傾きが確認できた場合は、何らかの対策が必要です。

### 【対策：車いす上で身体を安定させる方法を考えましょう】

身体に対して座幅が広すぎると骨盤の位置が安定せず、姿勢全体の崩れに繋がります。座幅の調整や選定ができる車いすもありますので、本人の体格に合うものを選びましょう。また、テーブルやクッションを利用して上肢の重みを分散させる方法もあります。

円背の人の場合、バックサポート角度が垂直に近く、背張り調整ができない車いすだと、背中の突出部があたるためバックサポート部分との接触面積が少なくなり、背中側へ体重を預けることが難しくなります。バックサポート



座位姿勢での褥瘡発生好発部位

を骨盤の後傾に合わせ、背張り調整できる車いすの利用により、背中の突出部を後方へ逃がすことができ、より広い面積で身体を支えることが可能になります。さらにサポートが必要な場合には、バックサポートに取り付けて使用するクッションなどを検討してみるのもよいでしょう。

ティルトタイプの車いすも姿勢保持には有効です。座面角度に前後差をつけることで背中側へも体圧を分散させるため、姿勢の保持がしやすくなります。

今回は、「踵骨部の褥瘡」について解説します。

(出典：公益財団法人テクノエイド協会発行「福祉用具選定支援書」より改編)

*Case Worker Course of NHK Gakuen*

# 24年間で培った福祉教育で

# 介護福祉士国家試験を目指す！

## ・ ・ 11月1日願書受付開始 ・ ・

### 社会福祉コース「介護福祉士専攻」

これから介護職を目指す

2年間の通信学習を修了後、9か月の実務経験を積むことにより、介護福祉士国家試験の受験資格を得ることができます。通信教育の学習で国家試験受験資格が取得できるこの制度は、この平成26年1月入学が最後です。

NHK学園修了生の介護福祉士国家試験合格率は常に全国平均を上回り、第25回の国家試験合格率は72.2%の結果となりました。

修了後は、ホームカミングデイを実施し、先輩の合格体験を聞く、国家試験合格対策の講座を実施するなど、国家試験の受験までフォローします。

地域で活躍しているCSネットワーク（同窓会）も皆様の学びを応援しています。

### 介護福祉士実務者研修コース

実務を積みながら学習

平成28年1月実施の国家試験からは、実務経験3年に加え、「450時間」の実務者研修を修了することが必須条件。

NHK学園では、国家試験の受験資格を得ることだけを目標とするのではなく、学習の過程において、現場実践に役立つ講義をこころがけています。介護福祉施設やグループホームなど様々な施設で働いている方が、グループワークで意見交換することで、今まで知る機会がなかった知識を身につけた方もいます。

また、「人間の尊厳と自立」「社会の理解I」「介護過程I」は国家試験の受験科目であることから、基礎的な学習として重要なため履修科目に設定し、かつ、働きながらも無理なく1年間じっくり考えて勉強できるカリキュラムを組んでいます。

#### 【お問合せ・案内書請求】

NHK学園専攻科 TEL 042-572-3151 (代)

FAX 042-574-3559

東京都国立市富士見台2-36-2

学生募集中！

まずは、資料をお取り寄せください。

NHK学園

検索

## 日本介護福祉士会 創立20周年記念式典

- テーマ 日本介護福祉士の20年 ～未来へ向かって～
- 日程 平成26年2月22日(土)
- 会場 東京ビッグサイト(レセプションホール)
- 主催 公益社団法人日本介護福祉士会
- プログラム
  - 10:30～ 開会式
  - 11:15～ 表彰式
    - ・日本介護福祉士会推薦者表彰
    - ・都道府県介護福祉士会表彰
    - ・個人会員表彰
    - ・賛助会員
  - 13:00～ 感謝状贈呈
  - 基調講演 「介護福祉士の展望と介護福祉士会に望むこと」(仮題)
  - 14:15～ シンポジウム 「介護福祉士の現状と展望、介護福祉士の使命」(仮題)
  - 16:45～ 事例発表～介護福祉士の現場～ 「やりがい、介護の仕事」(仮題)
  - 18:00～ 祝賀会
- 参加対象
  - ・公益社団法人日本介護福祉士会会員
  - ・社会福祉協議会、行政機関等の役職員
  - ・関係団体役員
  - ・介護福祉士養成校、福祉関係の学生および教職員
  - ・福祉、保健、医療関係者、その他一般
- 参加費 記念式典：無料 祝賀会：7,000円
- 参加定員 500名
- 問合わせ 公益社団法人日本介護福祉士会事務局  
TEL.03-3507-0784 FAX.03-3507-8810

## 九州ブロックリーダー研修会

- 日時 平成26年1月11日(土)～12日(日) 10時～17時
- 場所 佐賀県在宅生活サポートセンター
- 内容 リフトリーダー養成研修  
～利用者ニーズに沿った連携のために～
- 定員 30名(予定)
- 問合わせ 一般社団法人佐賀県介護福祉士会 事務局  
TEL.0952-75-3292

## 都道府県介護福祉士会研修情報

### 茨城県介護福祉士会

#### 平成25年度スキルアップ研修

- 日時 平成25年11月10日(日) 13:00～16:00
- 場所 茨城県総合福祉会館 4階大研修室
- テーマ 看取りケアのここが知りたい!  
一チームで関わる、当事者・家族の想いに心を寄せて～
- 講師 目黒 瞳氏(茨城県立中央看護専門学校 技師  
訪問看護認定看護師)
- 定員 40名 ●申込締切 9月30日(月)
- 受講料 会員：無料 一般：1,000円
- 問合わせ 一般社団法人茨城県介護福祉士会事務局  
TEL.029-353-7244 FAX.029-353-7246

### 東京都介護福祉士会

#### 認知症ケア研修～認知症の人の介護過程～

- 日時 平成25年12月15日(日) 9:30～16:30
- 場所 北とびあ9階 901会議室
- テーマ 認知症の人の介護過程
  - ・認知症の人からのメッセージを聞く
  - ・認知症を理解するための3つのステップ
  - ・行動の背景を読み解く
- 講師 宮島 渡氏(アザレアンさなだ施設長)
- 定員 40名 ●申込締切 12月6日(金)
- 受講料 会員3,300円・一般5,800円
- 問合わせ NPO法人東京都介護福祉士会  
TEL.03-5624-2821 FAX.03-5624-9650

## 都道府県介護福祉士会研修情報

### 長野県介護福祉士会

#### 「スーパービジョン」研修会

- 日時 平成25年11月23日(土) 9:10～16:30
- 場所 サンバルテ山王
- 内容 スーパービジョンの理解と展開方法を学ぶ
- 講師 菊池健志氏(神奈川県保健福祉局地域保健福祉部  
主幹、実践ソーシャルワーク塾長)
- 定員 70名 ●申込締切 10月15日
- 受講料 会員3,000円・非会員5,000円

#### 「介護過程」研修会

- 日時 平成25年11月26日(火) 9:10～16:30
- 場所 塩尻総合文化センター 3F 301号
- 内容 AM「現状の課題整理と介護過程の概略」  
PM「演習」
- 講師 峯尾武巳氏(神奈川県立保健福祉大学教授)
- 定員 80名 ●申込締切 10月15日
- 受講料 会員3,000円・非会員5,000円

#### 「介護職員の健康・ストレス管理」研修会

- 日時 平成25年11月27日(水) 9:10～16:30
- 場所 塩尻総合文化センター 2F 大会議室
- 内容 ・いつもと違う自分に気づく  
・ストレスに強くなるため ・病気の人の対応
- 講師 伊藤かおる氏((株)コミュニケーションズアイ代  
表取締役社長)
- 定員 80名 ●申込締切 10月15日
- 受講料 会員3,000円・非会員5,000円

#### 「コミュニケーション技術の応用」研修会

- 日時 平成25年12月3日(火) 9:10～16:30
- 場所 塩尻市民交流センター えんぱーく 4F 401
- 内容 ・自分を整える ・他者との関係をつくる入口  
・ケアコミュニケーション
- 講師 伊藤かおる氏((株)コミュニケーションズアイ代  
表取締役社長)
- 定員 70名 ●申込締切 10月25日
- 受講料 会員3,000円・非会員5,000円
- 問合わせ 公益社団法人長野県介護福祉士会  
TEL.026-223-6670 FAX.026-223-6679

### 静岡県介護福祉士会

#### 介護福祉ニーズに視点をのいた介護過程の展開方法を学ぶ

- 日程 1日目 平成25年11月30日(土) 10:00～16:00
  - ・介護過程の展開の基礎知識
  - ・介護福祉ニーズに視点をのいた介護過程の概要、展開事例紹介
- 2日目 平成25年12月21日(土) 10:00～16:00
  - ・介護福祉ニーズに視点をのいた介護過程の展開の体験談
  - ・介護アセスメント、介護計画立案(演習含む)他
- 3日目 平成26年1月11日(土) 10:00～16:00
  - ・介護計画の実施・評価・修正の記入方法
  - ・介護過程の展開方法についての理解、グループワーク・発表
- 4日目 平成26年3月8日(土) 9:30～13:00
  - ・報告会
- 場所 シズウェル
- 講師 杉山せつ子氏(聖隷クリストファー大学 社会福祉学部介護福祉学科 講師)
- 参加対象 資格取得後3年以上現場経験があり、現在担当ケースを持っている人
- 定員 30名
- 受講料 15,000円(会員限定)  
※入会希望の方はご連絡下さい
- 申込締切 10月21日(月)
- 問合わせ 一般社団法人静岡県介護福祉士会  
TEL.054-253-0818 FAX.054-253-0829





平成26年(2014年)1月1日(水)

公益社団法人 日本介護福祉士会ニュース

(1) Vol.119

# ニュース



The Japan Association of Certified Care Workers

## Vol.119

### 1月1日号

平成26年(2014年)

# 公益社団法人 日本介護福祉士会

URL : <http://www.jaccw.or.jp/>E-mail : [webmaster@jaccw.or.jp](mailto:webmaster@jaccw.or.jp)

## 新年にあたって

公益社団法人日本介護福祉士会 会長 石橋 真二



新年明けましておめでとうございます。

社会福祉士及び介護福祉士法が制定され25年が経過し、介護福祉士の登録者数も平成25年9月には118万人を超える状況になりました。

介護福祉士制度も2007年に介護福祉士の定義規定・義務規定の見直し、資格取得方法の一元化などの一部改正が行なわれ、2011年は喀痰の吸引など一部の医療行為が可能となる法律改正が行なわれる等、時代に求められる介護ニーズの変化と共に介護福祉士に求められる役割は幅広くなり、介護福祉士はより高度な知識、技術と高い倫理が求められるようになりました。

このようななか、私たち日本介護福祉士会は平成6年2月の設立以来、全国の介護福祉士の仲間とともに、常に新たな時代の介護ニーズに対応するため、介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する専門性の向上、介護福祉士の資質の向上などに努め、国民の介護サービス向上と介護福祉士の専門性の確立、社会的評価の確立に取り組んできたところです。

なお、平成23年度より介護福祉士の上位資格として認定介護福祉士(仮称)の検討を進め、平成24年度からはモデル研修を行い、平成26年度の本格実施に向け

て準備を行っているところです。

認定介護福祉士(仮称)の創設は介護福祉士のキャリアパスの構築、介護福祉士の専門性の向上及び社会的評価の向上につながり、大変意義深いものになります。できるだけ早い時期に47都道府県での研修開催を目指していますので、この趣旨をご理解いただき、認定介護福祉士(仮称)制度の確立に対し、会員及び関係者の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

また、本会は平成25年度に公益社団法人へ移行することができました。このことに対しても全国の都道府県介護福祉士会の皆様、行政をはじめとする関係者の皆様にはご理解とご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。また、平成26年2月には創立20周年を迎えることになり、創立20周年記念行事を東京で開催いたします。この記念行事にも多くの皆様に参加していただき、共に祝いすると同時に、介護福祉士の仕事が若い世代から憧れの職業となるよう職能団体として心新たにする機会になることを願います。

今年も、20周年、組織率の向上、専門性の確立、認定介護福祉士(仮称)などキャリアパスに応じた研修の確立など取り組むべき課題は多いですが、本会がますます発展できるよう改めて会員の皆様、行政、関係団体、関係者各位の皆様方にご協力・ご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

### ● 役員の動き ● (10月1日～12月8日)

10月 2日 第50回介護保険部会(内田副会長)

10月 8日 介護事業者懇談会(石橋会長)

10月10日 第4回常任理事会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)

10月11日～12日 第11回日本介護学会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)

10月16日 第51回介護保険部会(内田副会長)

10月20日 関東・甲信越ブロック研修会(石橋会長)

10月25日～26日 九州ブロック研修会(石橋会長)

10月27日 茨城県介護福祉士会20周年記念式典(石橋会長)

11月 4日 静岡県介護福祉士会20周年記念式典(石橋会長)

11月14日 第52回介護保険部会(内田副会長)

11月14日 第5回常任理事会(石橋会長、木村、三浦副会長)

11月15日～16日 第20回全国大会inとっとり(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)

11月20日 東京大学高齢社会総合研究機構・ガイドライン検討委員会(木村副会長)

11月20日～21日 日本介護福祉士養成施設協会・全国教職員研修会(石橋会長)

11月27日 第53回介護保険部会(内田副会長)

11月29日～30日 近畿ブロック研修会(石橋会長)



## 第20回全国大会 鳥取で開催

「介護福祉士 われらの“支命(しめい)”」  
～うちらにまかせてごしないな～



鳥取県介護福祉士会  
三橋一久会長

開会に先立ち、鳥取県介護福祉士会会長三橋一久、また日本介護福祉士会会長石橋真二より開会の挨拶が行われた。介護ニーズが多様化・高度化する中、介護福祉士に求められる役割や質が高まっており、日本介護福祉士会は介護福祉士の資質の向上に向けた研修の実施、キャリアパスに合わせた生涯研修体系の構築、専門性を高めるための学会運営、介護の日の啓蒙活動、認定介護福祉士(仮称)制度の構築などに取組んでいると報告した上で、全国から会員が集まって事例発表などが実施される全国大会は非常に有意義な機会であるとし、全国大会が開会した。また、厚生労働省、鳥取県知事代理、鳥取市長をはじめ数多くの来賓の方にご参列いただき、祝辞を頂いた。

大会初日は、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室室長補佐関口彰氏より「福祉・介護人材確保対策の現状と介護福祉士に求められる役割」と題した基調講演を頂いたほか、日本笑いヨガ協会代表高田佳子氏より「笑いヨガでブレイクスルー～笑いあふれるケア現場～」と題した記念講演を頂いた。

大会二日目は、午前中に4部会に分かれて分科会が行われた。分科会は「介護福祉士の“しめい”～施設の現場から思うこと～」(第1分科会)、「介護福祉士の“しめい”～在宅の現場から思うこと～」(第2分科会)、「介護職員としてのワーク・ライフ・バランス」(第3分科会)、「管理者としての視点」(第4分科会)の4テーマで実施され、日本介護福祉士会会員による事例発表及び座長による講評、質疑応答が行われた。また、部会ごとに座長によるミニ講演が行われた。第1分科会では綿祐二氏(日本福祉大学福祉経営学部教授)より、介護の専門性を確立するためには実践を踏まえて理論と実践を融合させることが大切であることが語られた。第2分科会では佐々木炎氏(NPO法人ホッとスペース中原代表)より、地域包括ケアシステムにおける介護福祉士の役割の重要性と、

その役割を果たすために必要な変化について、述べられた。第3分科会では徳山和宏氏(徳山オフィス代表)より、「ワーク・ライフ・バランス」を整えることの重要性や意義と、自発的に行動を起こすことの重要性が説明された。第4分科会では内田千恵子(日本介護福祉士会副会長)が、管理者として理念を踏まえたマネジメントを実施することの重要性を説明した。

続けて、昼食時にランチョンセミナーが開催され、東洋羽毛工業株式会社の睡眠健康指導士金子勝明氏より「介護者に役立つ睡眠」と題し、より良く眠るための心得が説明されたほか、夜勤に合わせた睡眠のとり方に関する講演が行われた。

午後は、まず全体会が行われ、それぞれの分科会で発表された事例の講評が行われた。その後、野の花診療所院長徳永進氏によって「家の神さま、いまどこ？」と題した特別講演が行われた。

最後に、第20回全国大会開催支部実行委員長松村絹子、日本介護福祉士会副会長木村晴恵より挨拶が行われたほか、次回全国大会開催地である京都府介護福祉士会会長杉原優子による挨拶で閉会した。

全国から約700名の参加者が集まった大会の熱気は冷めることなく、大盛況のうちに幕を閉じた。(各講演の内容は3ページ参照)



日本介護福祉士会  
木村晴恵副会長



## 基調講演

### 福祉・介護人材確保対策の現状と介護福祉士に求められる役割



厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課  
福祉人材確保対策室 室長補佐  
関口 彰 氏

最初に、今後の介護人材確保の見通しや昨今の介護職員の雇用情勢、主な福祉・介護人材確保施策の現状と今後の方向等について説明された。また、地方自治体が地域に即した介護人材確保対策を構築することの重要性、を述べられた。

介護ニーズが変化する中、介護福祉士の資質の向上と量の確保が喫緊の課題であり、専門性を高め、社会から高い評価を得られることの重要性として「求められる介護福祉士像(平成18年)」を示された。

そのうえで、介護福祉士に望むこととして、日々の介護実践に取り組む中で、介護の専門家として知識や技能の強化など自己研鑽に努めるとともに、後進への指導を適切に行うこと、また、社会的な評価がなければ処遇改善は難しい前提で、専門性を活かし

た介護実践を発信していく必要性、現在日本介護福祉士会を中心に検討が進められている認定介護福祉士(仮称)の養成研修の積極的受講を求められた。

日本介護福祉士会に対しては、生涯研修体系や介護実践事例を集積し介護専門性のエビデンスを構築するなど、質の高い介護福祉士の育成に寄与するとともに、キャリアアップや研修等のバックアップなど職能団体として介護福祉士が安心して働き続けられるよう果たすべき役割は大きい、と述べられた。

行政も介護福祉士の質の向上に向け、資格取得方法や養成カリキュラムの見直しを不断に検討するほか、介護保険における介護福祉士の位置づけ、キャリアアップや雇用管理への対応の必要性を述べられた。

最後に、介護の重要性や意義、介護福祉士の専門性を社会に周知することの意義を語られ、「介護の日」を、啓発活動を行う有効な機会として国民に対し積極的な発信をお願いしたい、と述べられた。

## 記念講演

### 笑いヨガでブレイクスルー ～笑いがあふれるケア現場～



日本笑いヨガ協会代表  
高田 佳子 氏

一級建築士として笑顔でいられる空間づくりをテーマとしてイベントの企画や制作に携わられた後、笑いの効用や高齢者の笑いに興味を持たれ、大学院で老年学を学ばれた。現在は、笑いヨガの指導・講演活動などを行われている。

人間にとって笑うことは必要不可欠であるが、高齢者の場合、加齢により自然と笑いの量が減るため、笑いヨガを行うことが望ましい、と述べられた。

笑いヨガとは、体を動かし呼吸を整えながら笑う動作を行う、持っている障害や認知レベルに関わらず実施できる体操のことであり、ストレスの解消や認知症の予防など様々な効果が期待される、と説明された。

最後に、幸せな人生を送るためには笑い続ける必要がある、とメッセージを頂いた。

## 特別講演

### 家の神さま、いまどこ？



野の花診療所 院長  
徳永 進 氏

京都大学医学部を卒業後、京都・大阪の病院・診療所を経て、鳥取赤十字病院の内科医となられる。2001年12月より、鳥取市内にてホスピスケアのある有床診療所「野の花診療所」を始められた。

昔は、「出産」「育児」「排泄処理」「教育」「食事(農耕)」「老い」「死」「葬式」など様々な役割を”家”が担っていたが、国家が近代化する中で多くの役割が”家”から失われた、と語られた。

その上で、末期の患者でも自宅に戻った後に一時的に元気を取り戻す事例があることを示し、「老い」「死」など”家”が捨てたものを取り戻してはどうか、と問題提起された。

そのためには、在宅での「死」を可能にするための方策の構築が必要であり、その中で看取りなどの新たな役割に対応することが介護福祉士に求められている、と述べられた。

## 全国大会を終えて

一般社団法人鳥取県介護福祉士会 実行委員長 松村 絹子



第20回の記念すべき大会を、全国各地から、約700名の方々ご参加いただき鳥取県で開催できましたことを、皆さまに深く感謝申し上げます。

今年のテーマは、「介護福祉士 われらの“支命(しめい)”」とさせていただきましたが、現在、高齢化、重度化そして、家族力、近隣力の低下などにより、介護を必要とされる方々が、どう生きて良いのか、不安をかかえておられるのではないかと思います。介護福祉士に寄せられる期待は、日に日に増しており、身体介護のみならず、その方の生涯をサポートできる専門性を、私たちは日々学んで行く必要があるのではないのでしょうか。本当に様々な方が要介護状態になられ、介護を求められます。私は最近思う事があるのですが、それは、介護場面の中で、わがまま、身勝手、一般常識に欠けるなどと言い、その方の生き様まで、私たちは、変えてしまっていたのではないかと、深く反省することです。

また、いろいろな形でその方の最後を見届けることがあります。昨日までデイサービスにいられてたとか、数時間前に言葉を交わしたとか、ご家族より、深い信頼関係で結ばれている場合もあります。私は、ご縁をいただいた人たちが、「あなたに出会えて本当によかった」と思ってくださいような、介護をこれからも目指して行きたいと思っております。

今回は、皆さまに山陰の紅葉と海の幸をご堪能いただきたく、懇親会では、カニづくしをご用意させていただきました。皆さまに大変喜んでいただきました。また、ゆったりと、時が流れている感覚の鳥取県ですので、いろいろなことで、お疲れの時には、是非、お越しいただき、のんびり過ごしてみられてはいかがでしょうか。

最後に開催にあたり大変お世話になりました方々にお礼を申し上げたいと思います。まず、この大会の主催者である日本介護福祉士会事務局の皆さま、何度もお忙しい中を足を運んでくださり、助言、構成などいただきとても心強く思いました。ありがとうございました。

そして、県事務局をはじめ、実行委員のみなさん、日々の勤務でお忙しい中を、大会スタッフとして快く参加してくださった総勢85名のみなさん、本当にありがとうございました。

2年前に全国大会のお話をいただいた時にはかなり不安もありましたが、全国の皆さまの過去の功績により、全国大会のマニュアルが事細かくできあがっておりますので、どうぞ、各都道府県介護福祉士会のみなさま、安心して大会開催に取り組んでいただき、より沢山の方に全国にふれる機会を作っていただければと思います。

ありがとうございました。

## 全国大会の初日終了後、280名近くの参加を得て懇親会が行われました

懇親会では、カニづくしの料理が振る舞われたほか、鳥取県出身のシンガーソングライターである種まきピアニストりほ♪氏によるコンサートなどが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

また、全国の介護福祉士会より持参されたお土産が、懇親会の参加者に抽選で手渡されました。

懇親会場は楽しく穏やかな雰囲気の中、全国から集まった参加者の情報交換や日頃の疲れを癒す場となりました。



カニづくし



抽選会



コンサート

## 役員候補者選出に関する公示

平成25年12月15日  
公益社団法人日本介護福祉士会  
選挙管理委員会

正会員理事の全国選出理事立候補及びブロック選出理事立候補の届出があり、書類を審査した結果全員が立候補条件を満たしていることが確認できたので、以下のとおり公示する。

### <全国選出理事選挙について>

定数(8名以上14名以内)に対し、17名の立候補があった。立候補者が定数を超えるため、全国の代議員を選挙権者とした投票による選挙を実施する。

#### 1 投票期間

平成26年1月6日(月)から平成26年1月9日(木)

#### 1 投票方法

代議員へ選挙管理委員会から投票用紙を郵送する。投票用紙に立候補者1名の氏名を記入し、返送用封筒にて選挙管理委員会宛てに郵送する。ただし、郵便局窓口へ持参し、配達日指定郵便とすること。

※「配達日指定郵便」は郵便局窓口のみでの受け付けとなり、郵便ポストへ投函した場合、返送用封筒に貼付してある「配達日指定シール」は無効となるので、留意すること。また、「配達日指定郵便」以外の方法により返送された投票用紙は、その理由に関わらず全て無効とする。

※その他投票の詳細については投票要領によるものとする。

#### 1 選挙権者

公益社団法人日本介護福祉士会代議員。ただし、平成25年度の年会費を平成25年12月25日までに納入している者とする。

### <ブロック選出理事選挙について>

北海道・東北・関東・甲信越・近畿・中国・四国・九州の5ブロックにおいて定数である1名の立候補があったので、役員(理事及び監事)選出規則第19条第1項により、この5名を無投票当選としブロック選出理事予定者とした。

東海・北陸ブロックについては、定数1名に対し2名の立候補があった。立候補者が定数を超えるため、該当ブロックの代議員を選挙権者とした投票による選挙を実施する。

#### 1 投票期間

平成26年1月6日(月)から平成26年1月9日(木)

#### 1 投票方法

東海・北陸ブロックの代議員へ選挙管理委員会から投票用紙を郵送する。投票用紙に立候補者1名の氏名を記入し、返送用封筒にて選挙管理委員会宛てに郵送する。ただし、郵便局窓口へ持参し、配達日指定郵便とすること。

※「配達日指定郵便」は郵便局窓口のみでの受け付けとなり、郵便ポストへ投函した場合、返送用封筒に貼付してある「配達日指定シール」は無効となるので、留意すること。また、「配達日指定郵便」以外の方法により返送された投票用紙は、その理由に関わらず全て無効とする。

※その他投票の詳細については投票要領によるものとする。

#### 1 選挙権者

公益社団法人日本介護福祉士会代議員であって当該ブロックに所属する者。

ただし、平成25年度の年会費を平成25年12月25日までに納入している者とする。

#### ※補足

- ・全国選出理事選挙及びブロック選出理事選挙の開票は平成26年1月19日に選挙管理委員会により実施し、全国選出理事については得票上位者14名、ブロック選出理事については、1名を当選者とし、それぞれ理事予定者とします。開票結果は、次回ニュース及び本会ホームページを通じて公示します。
- ・全国選出理事選挙及びブロック選出理事選挙のそれぞれについて、得票数の順位により当選者の決定ができない場合、選挙管理委員会の行うくじによって当選者を決定します。
- ・全国選出理事予定者およびブロック選出理事予定者は、来年5月に予定されている平成26年度定時総会において承認を受けた後、正式に理事に就任する予定になっています。
- ・正会員以外の理事予定者(8名以内)及び監事予定者は、役員(理事及び監事)選出規則第10条第1項に規定する役員推薦委員会により選出され、来年5月に予定されている平成26年度定時総会において承認を受けた後、正式に理事又は監事に就任する予定になっています。
- ・これらの理事及び監事予定者すべてが選出された後、定時総会までの間に、「役職者の互選規程」に基づき全国選出理事予定者の中から正副会長等を選出していく予定になっています。

<全国選出理事立候補者(届出順・敬称略)>

氏名	所属支部名	現支部役職	氏名	所属支部名	現支部役職	氏名	所属支部名	現支部役職
前田 薫	宮崎	会長	大谷 久也	佐賀	会長	内田 千恵子	東京	副会長
本名 靖	埼玉	—	田村 尚	群馬	会長	木村 晴恵	京都	理事
小林 彰宏	静岡	理事	石橋 真二	香川	会長	石本 淳也	熊本	会長
山本 英清	千葉	会長	安達 眞理子	兵庫	会長	羽山 政弘	北海道	事務局長
岡田 史	新潟	顧問	齋藤 七七重	岡山	理事	零石 理枝	宮城	理事
三浦 晃史	大分	会長	鳥居 紀子	山口	会長			

<ブロック選出理事立候補者(ブロック別届出順・敬称略)>

ブロック名	氏名	所属支部名	現支部役職	ブロック名	氏名	所属支部名	現支部役職
北海道・東北	斎藤 幸子	山形	会長	近畿	浅野 幸子	大阪	会長
関東・甲信越	畠山 仁美	長野	会長	中国・四国	三橋 一久	鳥取	会長
東海・北陸	舟田 伸司	富山	副会長	九州	因 利恵	福岡	会長
	及川 ゆりこ	静岡	副会長				

# ソウェルクラブ ご加入のおすすめ

ソウェルクラブ(福利厚生センター)は、福祉の職場で働く方々に多種多様な福利厚生サービスを提供しています。2012年10月から“クラブオフ”が加わり、一段とパワーアップしました。

## ■職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康相談

## ■職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

## ■地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)

## ■職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

## ■職員の余暇活用のために

- 指定保養所・休暇村他 全国113カ所
- 会員制リゾート施設・ラフォーレ倶楽部他 全国104カ所
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

## ■職員の資質向上のために

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会
- デイズニアアカデミー
- 社会福祉法人新会計基準(解説)
- 防災・危機管理講習会
- 障害者総合支援法(解説)
- 人材育成

## ■職員の生活サポートのために

- 住宅ローン・特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険 傷害保険

## ■各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

## ■ソウェルクラブ“クラブオフ”

- 宿泊、レジャー、スポーツ、映画、カラオケ、グルメなど約7,500カ所の施設を割引料金で利用できます。

## しくみ

社会福祉事業経営者が当センターと契約することにより、その事業所に勤務する方々が会員として登録され、自由に福利厚生サービスを利用することができます。

## 掛金

掛金は職員一人当たり毎年度1万円(一月当たり833円)です。

加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル



TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
http://www.sowel.or.jp/

社会福祉法人 福利厚生センター  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-3-11  
NBF小川町ビルディング10階

## 福祉で働く人の福利厚生を支援しています。

非常勤職員を対象としたサービスコース(掛金5,000円)を創設します。平成25年11月から、暫定契約(サービス限定・掛金無料)での実施を予定しています。

**認定介護福祉士(仮称) シリーズ2****認定介護福祉士(仮称)の普及に期待**

和洋女子大学 生活科学系社会福祉学研究室教授 坂本 洋一 氏

**1. はじめに**

2011年8月に「認定介護福祉士(仮称)の在り方に関する検討会」が設置され、2011年及び2012年の検討会の中間まとめを経て、2013年

には、具体的に認定介護福祉士(仮称)を制度的にどのように構築するかという検討段階に入ってきた。そこで、2013年4月に、「認定介護福祉士(仮称)の在り方に関する検討会」の作業グループとでもいう下部の検討委員会として、「制度スキーム検討委員会」と「研修カリキュラム検討委員会」が設置された。私は、「制度スキーム検討委員会」の委員長として、制度スキームの取りまとめを行い、親会ともいえる「認定介護福祉士(仮称)の在り方に関する検討会」での検討に資する資料をまとめている。2013年の検討会の中間まとめが12月中には公表されることになっており、本稿で、その内容を公表することは避けたい。したがって、本稿では、制度スキーム委員会を進める過程で感じた認定介護福祉士(仮称)に対する私自身の想いを述べたい。

**2. 地域の担い手になる認定介護福祉士(仮称)**

介護分野における2025年問題は、介護職員を増やすことと同時に質の高い個別ケアを提供できる体制を構築することが大きな課題となっている。その介護サービスの展開は、日常生活圏域を単位として、包括的になされようとしている。そこで、認定介護福祉士(仮称)は、地域の介護サービスの核となる人材として期待される。地域での介護サービスは、チームアプローチが重要であり、医療と福祉との緊密な連携が求められる。この連携は、以前から叫ばれていたことで、今に始まったわけではない。連携のためには、各専門職の役割

を理解し、フェース・ツ・フェースでお互いに意見を尊重し、利用者主体のサービスを念頭に入れる必要がある。地域での包括的なサービスは、看護師、医師等様々な職種と付き合うことになるが、認定介護福祉士(仮称)が介護職の代表として、連携の軸を形成することが求められる。介護職は、ある意味で、利用者の日常生活をよく知っており、利用者との信頼関係を構築している立場にある。

地域の状況は、人口、文化、歴史等様々な要因によって異なってくる。そのような要因を活かしながら、介護を必要とする人たちが豊かに暮らす地域社会を形成することが肝要であり、認定介護福祉士(仮称)が、個別支援だけでなく、地域を介護の視点からみて、このような地域社会であったら生活しやすいのではないか、という提案も積極的に行えるようになってほしい。そうすることによって、だれもが住みやすい新たな地域社会が生まれると思う。

**3. 認定介護福祉士(仮称)に障害者分野の介護福祉士も参加**

認定介護福祉士(仮称)の制度を構築するとき、障害者分野で働いている介護福祉士を考慮する必要がある。障害者分野では、障害者総合支援法により、生活介護事業所、就労移行支援事業、就労継続支援A型及びB型事業所、障害者支援施設で、障害者を支援している介護福祉士は多い。このような人たちに、認定介護福祉士(仮称)のキャリアパスの形成を期待する。ともすれば、2025年問題として、高齢者の支援だけを想定する状況に陥りがちである。障害者の年齢階層をみると、身体障害者の60%以上は、65歳以上であり、介護保険制度の利用対象者であるが、若年障害者も介護サービスを必要とする人が多く、地域での生活を望んでいる。障害者総合支援法に基づく介護サービスを受けている人たちを支援している介護福祉士

にも、認定介護福祉士(仮称)への道を拓き、地域の障害者が望む暮らしを実現することにつながるべきである。

#### 4. さいごに

認定介護福祉士(仮称)の制度の構築は、わが国の社会政策をプランニングする上で、重要な事柄

である。そのような制度の構築に少しでも関わりをもてることに感謝するとともに、その責任の重さを感じている。認定介護福祉士(仮称)の制度は、全国的な展開を実現しなければならない。皆さんといっしょに、認定介護福祉士(仮称)の制度構築に努力していきたい。

## 認定介護福祉士(仮称)の役割 ～モデル研修から感じたこと～

社会福祉法人依田窪福祉会 デイサービスセンター上本入 長井 孝子 氏



2012年10月から始まった認定介護福祉士(仮称)モデル研修も1年が経過しました。

第一段階では医療やリハビリについて新しい知識を獲得し、それらの知識を踏まえた上で他職種との連携をしていくためにはどの視点を共有するのか、他職種に何を伝えるのかといったことを学びました。そして現在第2段階では、組織論や法令理解、サービス評価といったマネジメントに関する事を学び、チームのリーダーに対する指導ができることを求められています。

このモデル研修を受講して、私たちは心と体を

使って仕事をすることは得意であるけれども、考え言葉にすることに苦手意識を持っているのではないかと実感しました。

認定介護福祉士(仮称)に求められていることは「言語化」「可視化」「伝達力」そして「説得力」であると考えます。根拠を持ったサービスを提供していくためには私たち認定介護福祉士(仮称)が現場で伝え続けていかななくてはなりません。多くの介護福祉士が力をつけ、社会的地位を確立していくことが日本全体の介護を変えていく大きな変化になるのではないのでしょうか。まさに今、この大きな変革のときに私たち認定介護福祉士(仮称)モデル研修受講者はチャンスをいただいていると思います。この研修を無駄にすることなくたくさんの方の事を学び、実践につなげていきたいです。

ふれあいケア

2013年  
**12月号**  
11月20日発売

●定価1,020円(本体971円) ●毎月20日刊行 ●B5判・80頁  
●送料300円(10冊以上・定期購読の場合は送料サービス)

介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアにかかわる施設福祉や在宅福祉の最新情報、先駆的な実践事例も紹介。

特集

### 適切な移乗・移動の介護

～利用者が安心できる技術～

好評連載企画

- 古い考
- 認知症ケア相談室
- パワーUP! 訪問介護
- Close Up 福祉用具
- 介護現場のリスクマネジメント
- ワンポイント介護技術
- 介護の味方・看護の見方
- 職場のあなたの物語 ほか

**定期購読申込み受付中!**

●お申し込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ●

■ 全社協出版部受注センター ■  
 受注 TEL: 049-257-1080 FAX: 049-257-3111  
 専用 E-mail: zenshakyo-s@shakyo.or.jp

全社協

社会福祉  
法人 全国社会福祉協議会 出版部  
 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ   ▶▶ <http://www.fukushinohon.gr.jp>

# 第11回日本介護学会開催

## 認知症ケア～認知症を支える社会とは～

平成25年10月11日から12日にかけて、山形テルサ（山形県山形市）において第11回日本介護学会が開催され、全国から400人を超える参加者が集まりました。



山形県介護福祉士会  
齋藤幸子会長

日本介護学会は、山形県介護福祉士会会長齋藤幸子と日本介護福祉士会会長・日本介護学会会長石橋真二の挨拶で始まった。その中で、「魅力的な介護」を構築するためには、魅力的な介護職員を増やすことで介護現場をより魅力的にするとともに、高い志を持って介護現場に就職した介護福祉士が生き生きと働ける現場を増やすことが必要であり、その為にも、日常の介護実践を研究としてまとめ発表する学会の意義は大きく、また今後研究の内容を教育や実践の場に反映させていくことが重要である、と挨拶された。また、山形県知事代理、山形市長にご参列いただき、祝辞を頂いた。

引き続き坂本洋一氏（和洋女子大学生生活科学系社会福祉学研究室教授）による基調講演「介護研究の意義と目的」が行われた。また、朝田隆氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科教授）による記念講演「認知症の理解：生活障害から考えるケア」が行われた。（詳細は10ページ参照）

大会2日目は、3部会に分かれ分科会が行われた。今年は計35本の研究発表が発表された。

第1分科会は下垣光氏（日本社会事業大学社会福祉学部福祉援助学科准教授）を助言者に迎え「認知症ケア」をテーマに、第2分科会は橋本美香氏（山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科准教授）を助言者に迎え「介護人材の教育、育成」をテーマに、第3分科会は本名靖氏（東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科教授）を助言者に迎え「ケアの質の向上に関する実践」をテーマに行われ、それぞれ各研究発表者による発表および助言者からの助言、参加者

との質疑応答が行われた。

最後に内田千恵子（日本介護福祉士会副会長・学会委員長）から挨拶が行われ、介護福祉士の専門性を高めるためには介護実践を研究し論文としてまとめて発表し、その後更に研究を進める過程が不可欠であると述べられた。また、全ての介護福祉士が、自身の介護実践を研究的なマインドで分析できるようになることが求められる、と述べられた。学会は、最後に次回日本介護学会開催地である山口県介護福祉士会会長の鳥居紀子による挨拶で終了した。

また、第11回日本介護学会では、第10回日本介護学会に引き続き、各種セミナーが実施された。セミナーは学術集会開催前にプレセミナー「現場で働く介護福祉士にとっての研究とは？～研究は“武器”～自らの専門性を語るために」、開催中に参加者交流セミナー「発表者を囲んで」、ランチョンセミナー「高齢者ソフト食とは「黒田留美子式高齢者ソフト食」」が開催され、学会参加者の学びの場、また意見交換の場となった。（詳細は11ページ参照）



日本介護福祉士会  
内田千恵子副会長



## 記念講演

### 認知症の理解：生活障害から考えるケア



筑波大学 医学医療系 臨床医学域  
精神医学 教授  
朝田 隆 氏

大学卒業後、救急医療などの現場で医師として働かれた後、イギリスオックスフォード大学老年科に留学され、帰国後医療現場での勤務や大学講師などを歴任され、現在は筑波大学で教授を務められている。精神保健指定医、日本老年医学会指導医として認定されている。

現在、高齢者における認知症患者の割合が増加しており、全国で認知症患者数が460万人、認知症予備軍が400万人に上るといわれており、その属性を見ると、年齢別では「85～89歳」の間、性別では「女性」に多い傾向があり、また認知症予備軍が多いのは「70～84歳」の間である、と説明された。

認知症予防の観点で考えると認知症の「促進因子」と「防御因子」を整理することが大事であるとし、「促進因子」としては「加齢」や「生活習慣」「遺伝的要因」など、「防御因子」としては「知的活動、運動」や「食事、アルコール」などがある、と説明された。その上で、認知症予防には「中年以降の生活習慣の改善」が最も効果的である、と述べられた。

適切なケアを実施するためには「認知症症状」を理解する必要があるとし、「認知症症状」を理解するための視点として「認知機能」「BPSD」「生活機能障害」の3点を挙げ、特にケアの際に重要となるのは「BPSD」と「生活機能障害」である、と説明された。このうち、「BPSD」は介護者との葛藤を深め在宅生活を困難にする要素であり、技術的に対応することが困難であり、一方で、「生活機能障害」はそれだけで重大な問題の原因とはなりにくい連続的に発生する障害であり、技術的に対応することが可能な障害である、と述べられた。

認知症の介護という視点で考えると、「生活機能障害」に対応する技術を高めることが望ましいとされ、その為に「生活機能障害の科学化」を進めることが必要であり、それぞれの基本動作をより細分化された動作として整理すると共に、困難である動作とその原因について分析することで適切な介入場面とその方法を明確にできるとし、その為の取組みを進めている、と説明された。

最後に、認知症の方に支援をする際には、その方のやる気を引き出すことが最も重要であり、このことを介護専門職や家族介護者に理解して欲しいと、述べられた。

## セミナー

プレセミナー「現場で働く介護福祉士にとっての研究とは？～研究は“武器”～自らの専門性を語るために」は大会1日目の開会式前に行われ、川添誠（滋賀県介護福祉士会 ケアポート栗東）鶴房祐治



（滋賀県介護福祉士会 アフェロンテ彦根）により実施され、介護福祉士が研究を行う意義や目的、また研究を実施する際の

考え方などについて講義が行われた。

参加者交流セミナー「発表者を囲んで」は大会1日目終了後の夜に開催され矢原隆行氏（広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科准教授）によって実施され、軽食を取りながら、研究を行う意義や介護福祉



士の専門性についてグループワークを行い、参加者間での意見交換が行われた。

ランcheonセミナー「黒田留美子式高齢者ソフト食」は大会2日目に黒田留美子氏（潤和リハビリテーション診療研究所客員研究員 管理栄養士 農学博士）を迎え開催され、セミナー参加者は昼食を取りながら、高齢者に食事支援を行う際の食材や食事形態についての考え方について講義が行われた。

## 基調講演

### 介護研究と意義と目的



和洋女子大学生活科学系  
社会福祉学研究室教授  
坂本 洋一 氏

大学卒業後、国立身体障害者リハビリテーションセンター生活訓練専門職などを歴任された後、厚生省大臣官房障害保健福祉部企画

課障害福祉専門官を務められ、退官後は和洋女子大学で教授として教鞭を執られている。

臨床現場に携わる専門職員の大多数にすぐ使用可能な技術を求める傾向があるが、その技術について考えると、常に新しい技術が求められていることとともに、すべての個性に対応する技術がないことを理解しなくてはいけない、と述べられた。

その上で、介護の専門性を高めるには、それぞれの介護職員が臨床の中で自身の技術を高められるようにすることが重要であり、そのための手法として研究が有効である、と述べられた。

研究を行う際には、同じ事象であっても見る人によってとらえ方が異なるということを認識すること

が最も重要であり、基本的な思いが共有されているチームを構築し、そのなかで真実追求を目的とした話し合いをすることが必要である、と述べられた。

研究を実施する際には、初めに自分自身の臨床体験や先行研究などをふまえた一般仮説をたて、それぞれの主観を意識しながら、質的なアプローチや量的なアプローチを活用して仮説を証明することが必要である、と説明された。

また、研究を行う際の注意点として研究の手法を明らかにし再現性の確保を図ることが大事である、と述べられた。

介護研究で最も大事なことは、介護の対人援助としての特性を踏まえ利用者の持つ可能性を拡大する視点を持つことと、利用者とのやりとりの中での気づきを研究に反映させることである、と伝えられた。

最後に、今後行われる介護研究の質の向上を図るために、介護福祉士の職能団体である日本介護福祉士会が介護事例研究論文のデータベースの作成を行い、多くの研究者が先行研究を共有できる仕組みを構築してほしい、と述べられた。

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

介護専門職情報誌

# 介護福祉

☆毎年3月・6月・9月・12月の25日発行

☆定価860円(本体819円/送料含む)

年間購読料3,440円

☆申込先 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル

TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514

定期購読の申込方法 <http://www.sssc.or.jp/>

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

秋号(25年9月発行)

特集「利用者の人権と介護」

冬号(25年12月発行)

特集「介護予防と自立支援」

## 福祉用具を活用しよう

公益財団法人テクノエイド協会

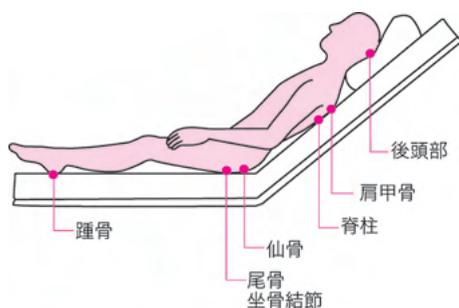
このコーナーでは、本人が実現したいケアプランの生活目標を前提に考え、それに対する福祉用具や生活環境などを生活場面ごとに紹介します。

### Part 2 床ずれ -仕組みを知って防ごう-

この部分に褥瘡を作るということは、生活がベッド上に限定されてきていることを意味します。可能な範囲で離床できるように環境を整えましょう。

#### ■介護ベッドを正しく使いましょう

ベッドの背上げ時に膝上げ→背上げの順番で行わなかった場合、足元側に身体が動き、踵がマットレスにこすりつけられ、ダメージを負います。



ベッド上(長座位)での褥瘡好発部位

踵に受けてしまったずれ力は、一度踵をマットレスから浮かせる(持ち上げる)ことで解消しましょう。

#### ■広い面積で下肢を支えて踵部にかかる圧力を解放しましょう

足首の下にクッションなどを入れて踵部を浮かせて圧を解放したとしても、クッションを入れた足首部分に足全体の荷重がかかってしまいます。

#### ①踵がずっとマットレスに接触していませんか?

【対策：ポジショニングクッションなどを使って下肢全体を広く支え、踵がマットレス面に接触しないようにしましょう】

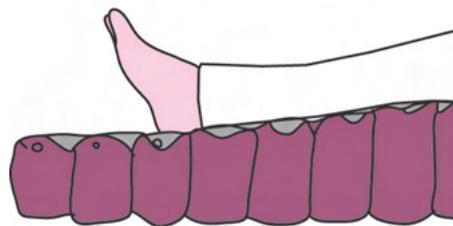


下肢全体を広くクッションなどで支え、踵を浮かせましょう

このときのポイントは、「下肢全体を広く支えること」です。足首の下だけにポジショニングクッションなどを入れてしまうと、その部分に下肢の重みが集中してしまい、新たな圧迫の原因となってしまいます。

下肢の血行が悪い人の場合には、踵への血行を阻害しないためにも、ポジショニングクッションなどの使用によって膝下が高く上がってしまわないよう注意しましょう。

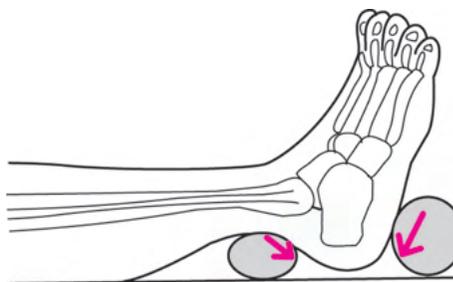
エアマットレスの中には、膝下から踵部分に向って傾斜を付けることで下肢を支え、踵に集中する圧を分散させる機能を有するものもあります。



膝下から踵部分に向って傾斜を付けることで下肢を支え、踵への圧を分散するエアマットレス

#### ②踵に円座を使用していませんか?

【対策：円座の使用は中止しましょう。】



円座を使用すると、穴に向って皮膚が引っ張られ負荷がかかります

穴の開いている中央部については圧力から解放されていますが、その一方で穴の周辺の皮膚は引っ張られ負荷がかかった状態となります。

今回は、「大転子部の褥瘡」について解説します。

(出典：公益財団法人テクノエイド協会発行「福祉用具選定支援書」より改編)

支部  
リレー

都道府県介護福祉士会 情報交流の泉⑮ ◆岩手県

## がんばろう岩手



みなさま、ご支援ありがとうございました。岩手県介護福祉士会です！！

岩手県介護福祉士会は平成4年に会員130名で設立し、現在会員約560名の組織です。ご存じのとおり岩手県は本州1位の面積を有しておりますが、当会は県内を5つのブロック（盛岡広域・宮古広域・岩手中央広域・胆江広域・両磐広域）に分け、活動しています。

平成23年3月11日に発災した東日本大震災では、特に岩手県沿岸部に甚大な被害がありました。当時から現在まで、全国からたくさんのご支援をいただいております。日本介護福祉士会からも全国各地から、延べ185名の会員さんがボランティアに駆けつけてくださいました。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

岩手県では、当会を含む県内職能団体11団体が、東日本大震災の経験から災害時支援のあり方を検証し、連名で「災害派遣福祉チームの創設」を県に要望しました。その職能団体の活動が基となり、年度内に「岩手県災害派遣福祉チーム」が創設されます。ご支援いただいた感謝をこめ岩手県から全国の皆様に発信できるよう官民一体となって準備を進めています。どうぞご注目ください。

また、今年は「あまちゃん」により岩手県北が大ブレイク。まさにじえ！じえじえ！じえじえじえ！です。岩手県には他にも「世界遺産平泉」「三陸のリアス式海岸」「宮澤賢治の故郷イーハトーブ」「民話と河童のふるさと遠野」「盛岡三大麺」…面積が広い分、魅力も盛りだくさんです。冬の岩手はお肌が引き締まる寒さですが、ぜひ足を運んでいただき、力強い風を感じてください。

専門職として街づくりを考え、被災者の皆さんに寄添い、生活再建を支え続けている地元の介護福祉士の仲間がいます。全国の仲間の存在や応援が、地元で頑張る私たちの支えになります。これからも、応援よろしくおねがいします。



次は群馬県へバトンタッチ！

# 介護現場におけるQ&A

## ～法律編～ (第7回 居宅介護中の事故)

日本介護福祉士会ニュースでは、会員の皆様の「介護現場でのお悩み・疑問」にお答えするため、「介護現場におけるQ&A～法律編～」コーナーを設置いたしました。当コーナーでは、東京晴和法律事務所の十時麻衣子弁護士にご協力いただき、会員の皆様の「介護現場でのお悩み・疑問」に対し、法律的にお答えしていきます。



私が働いている施設では、デイサービスを提供しています。

このデイサービスを受けていたMさん(重度の認知症ではあるものの、自由に歩行することは可能で、自身で歩いて帰宅することもありました。)が先日、施設から抜け出して事故にあって亡くなってしまいました。玄関には鍵がかかっていましたが、窓が開いていたので窓から出てしまったのではないかと思います。

Mさんのご遺族が損害賠償を求めて裁判を提起してきましたが、施設に責任はあるのでしょうか。



回答

1 施設は、施設においてMさんが窓から施設を抜け出すこと、Mさんが徘徊し死亡するといったことが起こることを予見することが可能であり、かつこれを回避することができたのにしなかったような場合には、損害賠償責任を負うことになります。

2 ご相談いただいた内容だけでは施設が責任を負うか否かを直ちに判断することはできません。ご相談いただいた内容に加えて、たとえば、Mさんには徘徊癖があり、施設においてそのことを認識していたこと、Mさんが施設から出たがっている様子を見せていたこと等の事情があれば、施設職員においてMさんが施設を抜け出すことを予見することができたといえる可能性があります。さらに、Mさんは自由に歩行できたということですから、窓の高さ、位置及びその形状如何によっては、Mさんが施設の窓から抜け出すことは可能で、この点についても施設職員は予見できたといえる場合があります。

以上のような諸事情を考慮して、施設においてMさんが窓から施設を抜け出すことを予見でき、これを防止する義務があったといえる場合には、Mさんが施設から抜け出したことについて施設は責任を負うこととなります。

もっとも、Mさんが死亡した点についてまで施設が責任を負うか否かは別途検討する必要があります。Mさんの判断能力が著しく低下しており、一人で外出することは不可能といえる場合には、施設から抜け出した際に事故に遭って死亡することは通常考えられる結果であろうと判断される可能性があります。このように判断された場合には、Mさんが抜け出さないようにするという施設の義務の不履行とMさんの死亡という結果との間に因果関係があるとされて施設がMさんの死亡についてまで責任を負うこととなります。

しかし、ご相談いただいたケースでは、Mさんは自身で歩いて自宅に帰ることができたということですので、事故に遭って死亡することは通常考えられる結果とまではいえないと判断される可能性が高いといえます。この場合には、施設の義務違反とMさんの死亡との間に因果関係はないと判断され、死亡の結果について、施設は責任を負わないこととなります。

3 以上のとおり、施設が責任を負うか否かは、Mさんの身体の状態と施設の状況が大きく影響してきます。

## 「介護の日」イベント実施報告

今年も11月11日「介護の日」にあわせて、各都道府県介護福祉士会が関係団体と協力しイベントを実施いたしました。そのいくつかをご紹介します。

### 茨城県介護福祉士会

10月25日から31日まで、茨城県県内でパネル展示やポスター掲示、パンフレットの配布を行いました。また、11月16日にはつくば国際会議場において、一般市民を対象とした「介護実技講習会」を行いました。地元新聞に掲載されるなど、参加者及び地域の方々へ介護福祉士会をアピールできたイベントになりました。

### 富山県介護福祉士会

11月10日に、介護、福祉関連団体で主催するイベントに参加し、免荷式リフトPOPO(大和ハウス)実演、アロマトリートメント体験コーナー、シルバーリハビリ体操を行いました。イベントには養成校学生による出し物や、協賛企業の出展もありました。テレビ局や新聞社の取材はもちろん、スタッフ全員が同じはっぴを着ることで介護福祉士会をアピールするなど、成果の多いイベントとなりました。



### 石川県介護福祉士会県介護福祉士会

11月11日には介護電話相談、家族介護教室。11月16日にはアロマハンドマッサージや写真展示を行いました。特にアロマハンドマッサージはマッサージを受けながら会話もできると好評でした。行列ができるほどでした。

### 愛知県介護福祉士会

11月9日、ナディアパークで介護相談、車椅子体験コーナー、「体操棒で介護予棒体操(体操棒を作る体験)」を行いました。介護福祉士会のPRとともに介護予防体操を行い、来場者も盛り上がりつつあった様子でした。若者が多い場所での開催であったため、来年以降は周知方法を工夫し、さらに多くの方に参加してもらえるようにしたいと考えています。

### 大分県介護福祉士会

11月10日に高齢者疑似体験を行いました。会員であるインストラクターによって、大人から子どもまで様々な方が参加しました。体験終了後には、介護福祉士がどんな仕事をしているのかについて分かりやすく説明しました。会場となった大分県社会福祉介護研修センターの20周年とも重なり、来場者も多く盛況でした。

### 福岡県介護福祉士会

11月24日(日)、福岡県主催の「ふくおか介護フェスタ2013」が開催され、介護協や老健協、老老協等を含む7つの協力団体の一つとして協力しました。鳥越俊太郎氏による記念講演、ふくおか・ケア・コンテスト2013決勝大会等があり、会員や学生、一般の方など400名超が来場されました。

ケア・コンテストでは、9月から実施した県内4地区予選大会の1位通過者が介護技術を競いました。課題は直前提示で競技時間は7分間。ステージ上に、ベッド、車いす、杖、衣服や靴、段差等が用意され、様々な技術を見るための要素が盛り込まれました。緊張の中にも日頃の様子がよく伝わる技術披露でした。初めて介護の現場を垣間見たという方から、「介護の奥深さを感じた」との声もあり、一般の方にも「介護」がより身近に感じられる機会となりました。



また、その他の都道府県介護福祉士会でも、ポスターや写真の掲示、リーフレットやクリアファイルの配布など、「介護」や「介護の日」について多くの方に知ってもらえる機会として様々な活動が行われました。同時に会のノボリを立てたり、同じスタッフジャンパーを来たりすることで、介護福祉士会のアピールも行うことができました。

## 日本介護福祉士会 創立20周年記念式典

- テーマ 日本介護福祉士の20年 ～未来へ向かって～
- 日程 平成26年2月22日(土)
- 会場 東京ビッグサイト(レセプションホール)
- 主催 公益社団法人日本介護福祉士会
- プログラム(予定)
  - 10:30～ 開会式
  - 10:40～ 来賓代表挨拶
  - 10:50～ 来賓紹介
  - 11:15～ 表彰式
  - 13:00～ 基調講演  
「介護福祉士の展望と介護福祉士に望むこと」(仮題)
  - 14:15～ シンポジウム  
「介護福祉士の現状と展望、介護福祉士の使命」(仮題)
  - 16:45～ 事例発表～介護福祉士の現場～  
「やりがい、介護の仕事」
  - 18:00～ 祝賀会
- 参加対象
  - ・公益社団法人日本介護福祉士会会員
  - ・社会福祉協議会、行政機関等の役職員
  - ・関係団体役員
  - ・介護福祉士養成校、福祉関係の学生および教職員
  - ・福祉、保健、医療関係者、その他一般
- 参加費 記念式典：無料 祝賀会：7,000円
- 申し込み方法 ホームページに掲載の申込書に必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込み下さい。
- 申込期限 平成26年1月31日(金)
- 問い合わせ 公益社団法人日本介護福祉士会事務局  
TEL.03-3507-0784 FAX.03-3507-8810
- ※翌日2月23日(日)
  - ◆平成25年度第2回都道府県介護福祉士会会長会議
  - ◆創立20周年記念講演  
講師 上智大学総合人間科学部教授 梶本 一三郎氏  
(先着30名様まで、一般の方も聴講することができます。)

## 都道府県介護福祉士会研修情報

### 茨城県介護福祉士会

- 平成25年度介護福祉士初任者研修  
(公益社団法人日本介護福祉士会生涯研修制度)
- 日時 平成26年2月1、2日、2月8日  
各日9:00～17:00
  - 場所 茨城県総合福祉会館 4階研修室

### リフトリーダー養成研修

- 日時 平成26年3月21、22日 各日10:00～17:00
- 場所 茨城県総合福祉会館 3階多目的ホール
- 問い合わせ 一般社団法人茨城県介護福祉士会事務局  
TEL.029-353-7244 FAX.029-353-7246

## 皆様からの投稿をお待ちしています

採用された方にはもちろん1,000円分のクオカードを差し上げます！  
詳しくはホームページをご覧ください。

- ・介護の現場で輝いています！
- ・介護現場でのお悩み・疑問
- ・私のストレス解消法
- ・手作り介護用品

### 東京都介護福祉士会

高齢者とのコミュニケーション～コミュニケーションを通して高齢者と介護者が共にエンパワメントするには～

- 日時 平成26年2月11日(火・祝) 9:30～16:30
- 場所 ティアラこうとう 地下1階 大会議室
- 内容
  - ・認定介護福祉士等の制度について(キャリアパス)
  - 講師：東京都介護福祉士会副会長 内田 千恵子
  - ・コミュニケーションの基礎知識と技術
  - エンパワメントモデルとは
  - ・認知症の高齢者とのコミュニケーションの実際
  - 講師：東洋大学 ライフデザイン学部  
野村 豊子 氏
- 定員 100名 ●申込締切 2月4日(火)
- 受講料 会員3,500円・一般5,500円
- 問い合わせ NPO法人東京都介護福祉士会  
TEL.03-5624-2821 FAX.03-5624-9650

### 宮崎県介護福祉士会

介護福祉士等有資格者への講習会

～キャリア段位制度と介護福祉士の未来～

- 日時 平成26年1月19日(日)10:00～16:00(予定)
- 場所 宮崎県福祉総合センター 人材研修館 4F大研修室
- 講演予定者 シルバーサービス振興会 企画/総務部長  
久留 善武 氏  
日本介護福祉士会 名誉会長  
富山県介護福祉士会 会長 田中 雅子 氏
- 定員 100名
- 参加費 無料
- 問い合わせ 一般社団法人宮崎県介護福祉士会  
TEL.0985-22-3710 FAX.0985-22-3711

### 鹿児島県介護福祉士会

ケアプラン作成研修会

- 日時 平成26年3月21日(金・祝) 9:30～16:30
- 場所 県社会福祉センター 7階 大会議室
- 内容
  - ・ケアプラン作成の目的、アセスメントの考え方についての講義
  - ・ケアプラン作成演習
- 講師
  - ・羽生 光太郎 氏(居宅介護支援事業所 三船病院 管理者 主任介護支援専門員)
  - ・介護福祉士会 高齢者委員会、障がい者委員会
- 定員 60名
- 受講料 県介護福祉士会会員：1,000円 一般：3,000円
- 申込締切 平成25年3月14日(金)
- 問い合わせ 一般社団法人静岡県介護福祉士会  
TEL.054-253-0818 FAX.054-253-0829

平成25年度 介護福祉士初任者研修

- 日時および会場
  - 1日目：平成26年2月8日(土)  
10:00～16:50  
鹿児島県社会福祉センター7階
  - 2日目：平成26年2月9日(日)  
8:50～18:00  
鹿児島県社会福祉センター7階
  - 3日目：平成26年3月8日(土)  
9:00～18:00  
鹿児島国際大学 5号館 介護実習室  
510号教室
- 対象者
  - ・原則として介護福祉士取得後 実務経験2年以内の方
- 定員 50名
- 受講料 会員：12,000円 一般：15,000円
- 申込締切 平成25年1月24日(金)
- 問い合わせ 一般社団法人鹿児島県介護福祉士会  
TEL.099-206-3050 FAX.099-299-1888

発行所/公益社団法人 日本介護福祉士会  
事務局(〒105-0001)東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎の門ビル3F  
電話(03)3507-0784 FAX(03)3507-8810 <http://www.jaccw.or.jp>  
会員専用サイト「ケアウェル」 <http://www.jaccw-carewel-site.net/>



(問合せ)



(会員専用サイト「ケアウェル」)

発行責任者・石橋真二



平成26年（2014年）2月15日（土）

公益社団法人 日本介護福祉士会ニュース

(1) Vol.120

# ニュース



The Japan Association of Certified Care Workers

**Vol.120**  
**2月15日号**  
平成26年（2014年）

## 公益社団法人 日本介護福祉士会

URL : <http://www.jaccw.or.jp/>E-mail : [webmaster@jaccw.or.jp](mailto:webmaster@jaccw.or.jp)

### 選挙結果及び役職者の互選に関する公示

平成26年2月15日

公益社団法人日本介護福祉士会

選挙管理委員会

以下のとおり、「役員候補者選出に関する公示」に伴い行われた選挙について、1月19日に開票した結果を公示するとともに、「役職者の互選規程」に基づき、平成26年度役員改選にかかる役職者の互選を行うので公示します。

#### 1 選挙結果

##### (1) 全国選出理事選挙

全国選出理事については、定数14名に対し17名の立候補届があり、選挙管理委員会による書類審査の結果17名を12月15日付で公示し、全国の代議員を選挙権者とした投票による選挙を実施しました。その結果は次のとおり。

順位	氏名	支部名	得票数
当 1	石橋 真二	香川	27
当 2	鳥居 紀子	山口	20
当 3	内田 千恵子	東京	15
当 4	石本 淳也	熊本	14
当 4	山本 英清	千葉	14
当 6	岡田 史	新潟	11
当 6	前田 薫	宮崎	11
当 8	齋藤 七七重	岡山	10
当 9	大谷 久也	佐賀	9

順位	氏名	支部名	得票数
当 9	三浦 晃史	大分	9
当 11	木村 晴恵	京都	8
当 11	小林 彰宏	静岡	8
当 11	田村 尚	群馬	8
当 11	羽山 政弘	北海道	8
	15 本名 靖	埼玉	6
	16 安達 真理子	兵庫	5
	16 零石 理枝	宮城	5

(得票数順、同数の場合は五十音順)

※投票総数：194票（有効：188票、無効6票）

##### (2) ブロック選出理事選挙

東海・北陸ブロック選出理事については、定数1名に対し2名の立候補届があり、選挙管理委員会による書類審査の結果2名を12月15日付で公示し、当該ブロックの代議員を選挙権者とした投票による選挙を実施しました。その結果は次のとおり。

順位	氏名	支部名	得票数
当 1	舟田 伸司	富山	24
	2 及川 ゆりこ	静岡	8

(得票数順)

※投票総数：32票（有効：32票、無効0票）

## 2 役職者の互選に関する公示

### 1 選出する役職者

- (1) 会長 1人  
 (2) 副会長 3人以内 (会長立候補者の指名による)

### 1 選出する役員の任期

平成26年5月の定時総会から平成28年の定時総会まで

### 1 選出方法

平成26年度定時総会開催の概ね1ヶ月前に、選挙管理委員長が理事予定者全員を招集し役職選考会を開催する。

会長の選考は、全国選出理事予定者による立候補制とし、無記名投票により最多得票者を次期会長内定者とする。ただし、得票数が同数の場合は選挙管理委員会の行くくじ引きとし、立候補者が1人の場合は無投票とする。

副会長は、会長立候補者が立候補時に3人以内の副会長候補者を全国選出理事より指名し、会長内定に伴い副会長内定者となる。

### 1 立候補の受付

3月3日から3月12日を立候補届出期間とし、所定の立候補届出を郵送により提出する。

なお、届出は上記期間内の消印をもって有効とし、選挙管理委員会あてに立候補届在中と朱書きのうえ郵送する。

### 1 立候補者の要件

会長立候補者、副会長立候補者ともに全国選出理事予定者でなければならない。

## 平成26年度 年会費振替のお知らせ 5月26日に実施します。

- 下記の日程でご指定の口座から年会費の自動振替を実施いたします。  
 つきましては前日までに口座へのご入金をお願いいたします。

日 程：平成26年5月26日(月)

対象者：口座登録されている継続会員のみなさま

※口座情報に関することや会費納入について不明な点がございましたら、恐れ入りますがご本人様より会員番号をご用意のうえ、日本介護福祉士会事務局までお問い合わせください。

※この日程の引落に関する通知は、本記事をもって替えさせていただきますので、予めご了承ください。

### ●役員の動き● (12月1日～1月31日)

- |  |  |
|--|--|
| 12月 3日 中央福祉人材センター運営委員会(内田副会長)                                | 1月11日～12日 「認定介護福祉士(仮称)モデル研修」(石橋会長、内田副会長)                             |
| 12月 6日 「国民医療を守るための総決起大会」(石橋会長)<br>日本精神科病院協会との意見交換(石橋会長)      | 1月15日 社会保障審議会第98回介護給付費分科会(内田副会長)                                     |
| 12月10日 社会保障審議会第97回介護給付費分科会(内田副会長)                            | 1月17日 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課の武内福祉人材確保対策室長らとの組織強化に関する意見交換(石橋会長、内田、木村、三浦副会長) |
| 12月14日～15日 「認定介護福祉士(仮称)モデル研修」(石橋会長、内田副会長)                    | 平成25年度第6回常任理事会(石橋会長、内田、木村、三浦副会長)                                     |
| 12月18日 平成25年度第1回制度・政策検討委員会(石橋会長、田中名誉会長)<br>消費者教育推進会議(田中名誉会長) | 1月21日 第21回全国大会第1回実行委員会(木村副会長)  |
| 12月19日 平成25年度第2回「認定介護福祉士(仮称)の在り方に関する検討会」(石橋会長)               | 1月23日 第2回「介護人材養成のための効果的なキャリアアップの仕組みに関する調査研究委員会」(内田、木村、三浦副会長)         |
| 12月20日 社会保障審議会第54回介護保険部会(内田副会長)                              | 1月31日 創立20周年記念座談会(石橋会長、田中名誉会長)                                       |
| 12月21日 日本歯科医師会主催研修講師(内田副会長)                                  |  |
| 1月10日 第5回20周年記念事業検討委員会(石橋会長)                                 |  |

第21回全国大会開催県



# きょうと

## シリーズ 1



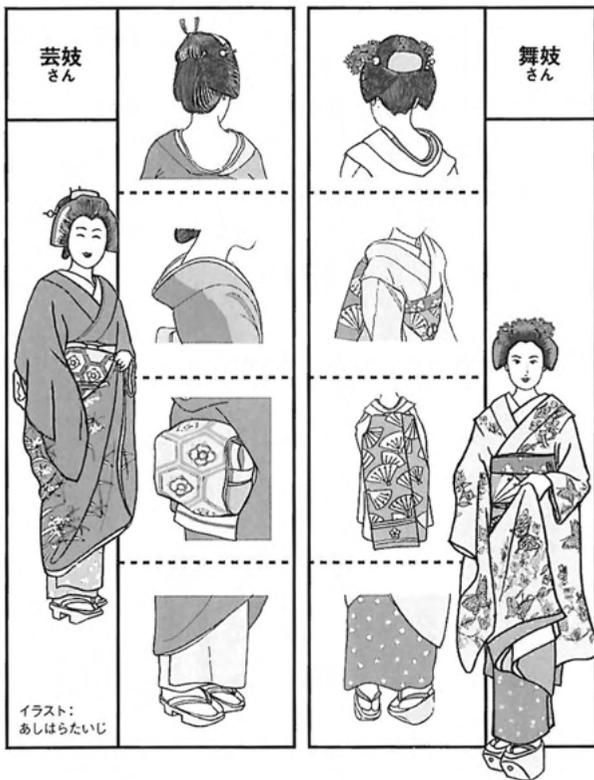
### 「介護福祉士 考える力 表現する力 つなぐ力」 ～古都から発信 もって帰っておくれやす～



ご存知のように、京都には歴史的な神社仏閣をはじめ様々な建築物や美術品が多く集まっています。それらを創り育ててきた伝統産業や文化も幅広く継承されています。しかし、そうした伝統や文化は、昔のまま守り伝えられてきただけではありません。京都の人々は様々な歴史の波に向き合いながら、伝統と新しい時代の要請を融合させ工夫することで、伝統文化を時代の先端として発信する努力と工夫を重ねてきました。

京都の伝統文化の発信と同じように、全国大会で介護福祉士の新たな発信を目指します。

今回の大会テーマは、私たち介護福祉士が時代の要請にこたえ、次の時代を拓くために求められる「考える力」、専門性を言葉にして発信できる「表現する力」、実践に欠かせない多職種との連携や、利用者と地域・社会を取り結ぶ「つなぐ力」について考えていきたいと思います。多くのご参加をお待ちしています。



#### 「京都」のミニ知識～知ってますか?～

夜に京都の祇園のあたりを歩くと「舞妓(まいこ)さん」「芸妓(げいこ)さん」に良く出会います。

舞妓さんはその名の通り、伝統芸能の舞(日本舞踊)を舞う、若い高度技能専門職です。

皆さんは舞妓さんと芸妓さんの衣装の違いをご存知ですか?

「まず髪型。芸妓さんはかつらだが、舞妓さんは地毛で日本髪を結び、季節に合わせた「花かんざし」をつけている。次に着物と帯。舞妓さんは肩に縫い上げがあり、後ろ姿は舞妓さんの代名詞にもなっている「だらりの帯」だ。最後に履物。舞妓さんは高さ10センチほどある「おこぼ」だから、わかりやすい。」

(出典:「京都花街の経営学」京都女子大学教授・西尾久美子著 東洋経済新報社 p63)

ぜひ、京都で本物の舞妓さんに出会ってみてください。

## 認定介護福祉士(仮称) シリーズ3

## 認定介護福祉士(仮称) 研修について

東洋大学ライフデザイン学部教授 本名 靖 氏



平成26年2月、認定介護福祉士(仮称)のモデル研修が最終段階を迎えています。このモデル研修の内容を精査し、認定介護福祉士(仮称)の養成研修体系が出来上がり、認証・認定機構が研修実施機関の研修を認可して、研修がスタートすることになります。

考えてみればここまで到着するだけでも長い時間がかかったような気がします。2011年1月に厚生労働省福祉基盤課から「今後の介護人材養成のあり方に関する検討会報告書」が公表されました。その報告書では『介護人材の養成体系を整理し、今後のキャリアパスは「初任者研修(実務者研修)→介護福祉士→認定介護福祉士」を基本とする簡素でわかりやすいものとし、介護の世界で生涯働き続けることができるという展望を持てるようにする』と書かれていました。この内容を受けて、2011年8月から「認定介護福祉士(仮称)のあり方に関する検討会」が設置されたことは、既に太田先生、坂本先生がこのシリーズで紹介されています。

検討会が開始されるまでの期間、当時の福祉基盤課福祉人材確保対策室では認定介護福祉士像を模索し、そのためにどのような検討が必要なのかを整理していました。報告書のなかでは「認定介護福祉士に求められる、養成課程で修得した知識・技術を、実務経験を通じて確固たるものとした上で、それを十全に活用し、多様な生活障害を持つ利用者に質の高い介護を実践するとともに、介護チームの中で、介護技術の指導や職種間連携のキーパーソンとなり、チームケアの質を改善していく能力である」と述べられていました。その内容を実践するためには、どのような認定介護福祉士像を描くのか、またどのような研修カリキュラムが必要なのかを吟味し確定していくことが「認定介護福祉士(仮称)のあり方に関する検討会」の役割となりました。養成研修カリキュラムを作成し、実際にモデル研修を実施してその効果を測定し、研修内容を確定する作業がやっと終了する段階まで来たところです。

私は「研修カリキュラム検討委員会」という「あり方に関する検討会」の実戦部隊としてこの制度の

構築に力を注いできました。モデル研修では実践的な科目の講師も行い、実際に受講生の成長をこの目で確認しています。モデル研修を受講している介護福祉士は確実にその実力を伸ばしています。その背景には、全国の介護福祉士の中から選ばれた50名であるという自覚と責任があると思っています。学習の基礎となる経験は十分に培っていましたが、その経験を理論的に裏付ける幅広い知識、技術を修得するために、月に2回のペースで土日に全国から集まり、宿泊で研修を受けるという生活を2年間続けたのですから、安易な気持ちでは続かなかったと思います。

このモデル研修を実施してみて感じるのは、介護福祉士として現場で実践的に介護職員を指導できる実務者がどうしても必要だということです。介護人材の量の確保が叫ばれていますが、介護の領域に入ってくる人材は一般の企業より多いはずです。その人達を指導できる介護福祉士が少ないので離職していく人材も多いと聞いています。現場で指導できる介護福祉士を育てる役割を負うのが認定介護福祉士です。数は少なくとも精鋭部隊を養成することで、次の実践的な指導者が育ち、多くの介護職員を指導できる体制ができあがるのではないのかと考えています。単純に介護職員を増やすことを考えるのではなく、介護の現場に入ってきてくれた人を丁寧に指導する体制を整えることが結果として介護職員の量の確保に繋がる近道になると信じています。

質の高い介護を実践する介護福祉士を養成するために、何をしたらよいかということがモデル研修の第一段階で示されたと思います。モデル研修の第一段階では、多様な生活障害を持つ利用者に対して質の高い介護を実践する能力が求められました。質の高い介護とは自立・自律支援であり、利用者の生活の幅を狭めないこと、生活を止めないことが目指されています。この段階は介護福祉士養成で課題となっていた、養成校を卒業(実務で介護福祉士を取得)した段階の介護福祉士が「求められる介護福祉士」に至る過程と重なるように感じています。資格取得時から求められる介護福祉士までの過程でどのような研修と実践が必要なのかという内容が示されないままでしたが、認定介護福祉士(仮称)のモデル研修を実施して初めて、この研修内容が示すことができた実感しています。そして、そうであれば、現在の介護福祉士養成課程を再度見直す視点も同時

にできたこととなります。

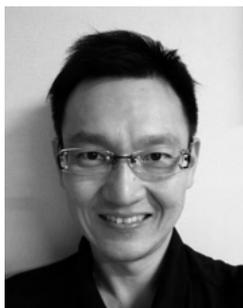
2025年問題の鍵となる介護人材の量的な確保のためにも、確固とした介護職員のキャリアパスを構築していくことが求められています。認定介護福祉士(仮

称)制度は介護人材確保の重要な施策であり、介護福祉士の将来的な展望を見通す確実な一歩であると信じてこの制度の構築に尽力しますので、介護福祉士の多くの皆様にご協力頂きたいと思っております。

## 認定介護福祉士(仮称)モデル研修に参加

～知識のなさを痛感。学ぶ楽しさを実感。職場の雰囲気に変化も!～

社会福祉法人 慶美会 特別養護老人ホーム マイホーム習志野 八須 祐一郎 氏



平成24年10月からこのモデル研修に参加。平成26年2月に終了予定ですが、こんなに長い研修は初めてで、働きながらの勉強はとても大変でした。医学や運動学、シーティングなどの介護に直接かかわるものはもちろんのこと、他職種連携、チームケアを実施していく上での組織論やマネジメントなど、チームリーダーとして「根拠に基づく知識」としたスキルが認定介護福祉士(仮称)には求められています。研修回数を重ねていくたびに自分の知識のなさを痛感し、「最後までついていけるかな?」と思ったこともありました。しかし、研修終了を迎える今となっては、全カリキュラムを乗り越えられた事が自信となり、学ぶ楽しさを実感できた研修でした。

このモデル研修でもう1つ実感できたことがありました。それは、学んだ事を自職場で展開する課題についてですが、あるユニットではしっかりと事例対象の担当者を決め、チーム皆に1つ1つステップを踏みながらアプローチしていく姿があり、まさにこの研修の目標でもある「言語化・可視化・発信力」を実践したものでした。また、介護主任、ユニットリーダーが自ら「リーダーとして」必要なスキルを学ぼうとする雰囲気が芽生え始め、課題を共有し不足のスキルを学んでいく姿もありました。職場の雰囲気も少しずつ変わり始めてきています。

チームリーダーとしての役割を担う認定介護福祉士(仮称)ではありますが、同時に介護福祉士が「その方の生活を支援する専門職」として、今以上に社会に認識されるようなアプローチも必要です。私自身もこうした動きが出来るよう、頑張っていきたいと思えます。

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

介護専門職情報誌

# 介護福祉

☆毎年3月・6月・9月・12月の25日発行

☆定価860円(本体819円/送料含む)

年間購読料3,440円

☆申込先 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル

TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514

定期購読の申込方法 <http://www.sssc.or.jp/>

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士としては是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

冬号(25年12月発行)

特集「介護予防と自立支援」

春号(26年3月発行)

特集「新人教育」

## 第12回日本介護学会開催県

## 山口県①

一般社団法人 山口県介護福祉士会

平成26年10月10・11日に第12回介護学会が山口県で開催されることになりました。

『維新の故郷(ふるさと)で熱く語ろう 未来の介護』をキャッチフレーズに、山口県での介護学会に多くの皆様に参加していただけるよう、4回シリーズで『わが県やまぐち』を紹介したいと思います。

## 山口県介護福祉士会と介護研究

今から7年前…平成19年に山口県介護福祉士会は、各都道府県の介護福祉士会の中で最初に介護研究セミナーを開催しました。

講師は、広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科 教授矢原隆行先生→(イケメンの矢原先生の魅力で、会員が研究を始めたという説あり!?)

しかし現実には、『介護研究って?何すればいいの?』『データ?平均値?』日常の介護現場では聞きなれない言葉に戸惑いながら、『介護研究セミナーI』は始まり、受講生も指導者である矢原先生も苦悩の日々が続きました。

1年後の研究発表会…受講生が取り組んできた介護研究は、まさに汗と涙の結晶となり、山口県で『介護研究』が花開いた瞬間でした。その後も介護研究セミナーは継続して取り組まれ、平成20年度以降、日本介護学会で毎年発表するまでに成長しました。平成23年度には介護研究経験者によるチューターが県下4地域で誕生し、介護研究セミナーを合宿形式で行うなど、ますます集中力アップ!で頑張っています。

山口県介護福祉士会は、介護研究セミナーを通して『専門職として研究を積み重ねていくこと』、『エビデンスに基づいた介護の実践や介護福祉士の専門性を高めていくこと』、『ケアの質の向上につなげていくこと』を学びながら、進化を続けているのです。

介護研究セミナーの様子

介護研究の貴公子(講師)  
矢原 隆行先生

日本三大奇橋 錦帯橋



次回シリーズ②では、  
山口県の観光スポットを  
たっぷりご紹介いたします。  
お楽しみに!!



国宝 瑠璃光寺 五重塔

## 福祉用具を活用しよう

公益財団法人テクノエイド協会

このコーナーでは、本人が実現したいケアプランの生活目標を前提に考え、それに対する福祉用具や生活環境などを生活場面ごとに紹介します。

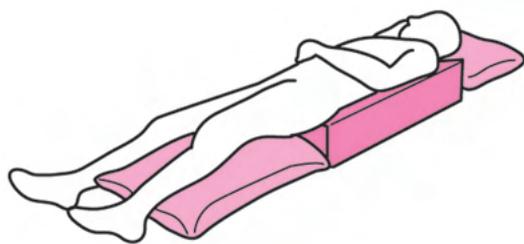
### Part 2 床ずれ -仕組みを知って防ごう-

今回は「大転子部の褥瘡」について解説します。

大転子部にかかる圧の解放が何らかの理由で自力ではできない、もしくは不十分な人の場合は、寝具や介護などによる圧対策を行う必要があります。

#### ■極端にオムツを重ね付けていませんか？

大転子の褥瘡の場合も、仙骨部と同様にオムツに注意が必要です。極端にオムツの枚数が多い場合には、寝具による体圧分散効果が妨げられている可能性があります。ポジショニングクッションなどで接触面積を増やし、オムツの枚数を減らす工夫をしましょう。



ポジショニングクッションで身体との接触面積を増やす工夫

#### ■いつも側臥位をとっていませんか？

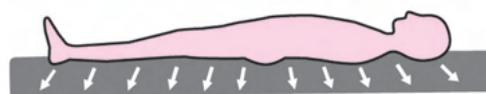
側臥位以外の姿勢をとる工夫、または接触面積を増やす工夫をしましょう。

本人が側臥位での寝姿勢を好む傾向がある場合には、まずテレビの配置など居室環境が影響していないか考えましょう。

極端な円背や長年の習慣によって、側臥位での寝姿勢を変えることが難しい場合には、体圧分散効果のあるマットレスの導入を検討しましょう。

#### ①静止型褥瘡対応マットレス

原則として、離床動作・寝返り動作などができる人、身体状況が悪い人が使用します。

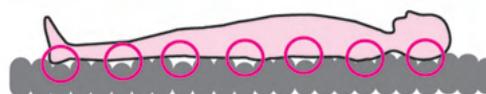


減圧 (体圧分散)

静止型マットレスによる減圧 (体圧分散)

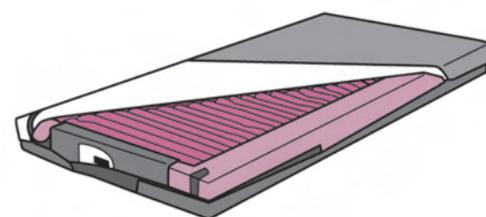
#### ②エアマットレス

原則として、離床動作や寝返り動作ができない人が使用します。



除圧

圧切り替え型エアマットレスによる除圧



ハイブリッドタイプ (静止型褥瘡対応マットレス+エアマットレス)

抱き枕やポジショニングクッションなどを使用することも、接触面積を増やすことで大転子にかかる圧力を分散する効果が期待できます。しかし、多少自力で動ける方の場合は、かえって邪魔になってしまうこともありますので、導入を検討する場合には本人の寝心地に配慮するようにしましょう。

今回は、「車椅子上での褥瘡予防①」について解説します。

(出典：公益財団法人テクノエイド協会発行「福祉用具選定支援書」より改編)

連載

12

## 介護の現場で輝いています！

社会福祉法人合掌苑 橋本 一彦

私は、東京都町田市にある社会福祉法人合掌苑という特別養護老人ホームにある訪問介護事業所でサービス提供責任者をしております。

合掌苑は『人は尊厳をもち、権利として生きる』という理念のもと、介護サービスを長年続けて参りました。その理念を実現するために、施設内ではお客様や職員達の笑顔が溢れております。この理念や施設内の雰囲気により一目惚れをして就職してくる方もおり、私もその一人です。

もちろん、このような法人が簡単にできたわけではなく、厳しい教えも多くあります。『少しでも早く援助ができるようになる』、『挨拶はしっかりする』、『職員同士でも丁寧な言葉遣いをする』等。このような当たり前なことを当たり前にできるようになることが実はとても難しく、日々努力しております。そして、このような教え一つ一つが理念を実現するために必要不可欠であると職員は理解しており、皆が実現を目指して動いているからこそ、笑顔が溢れ、一目惚れをされるほどの施設になっているのだと思います。

利用者をお客様とお呼びし、お客様とも職員同士でも丁寧な言葉遣いで話していると、不思議と優しい気持ちになっていきます。そのような気持ちで働いていると、もっと自分にも何かできないかという想いが沸き上がってきます。そのため、施設内にはお客様に喜んでいただけるような工夫が多くあります。

また、誰かが気付いた小さな疑問を皆で考えるということも、私たちが大切にしていることの一つです。それは誰かが気付いたことでも真剣に考え、そのような気付きの一言から、より良い施設を作っていきたいと思っているからです。職員だけではなく、パートさんや実習生の方々からの意見も積極的に取り入れます。そのため、会議では多くの意見が発表されることもあります。

パートさんは様々な施設で働いていることが多いので、多くの意見をいただけます。さらに、『こんなに真剣に話を聞いてくれるところは今までなかった』とおっしゃってくださることもあります。そのような言葉をいただく度に、私は合掌苑に就職できたことをとても嬉しく感じます。

しかし、私が介護福祉士会に入会し、多くの研修に出てから、外の事業所には素晴らしい方々が多くいらっしゃるということを知りました。そのような方々とお話をさせていただく度に、多くの刺激を受け、まだまだ成長しなければいけないという気持ちになります。研修で学ぶ内容も新鮮なものばかりで、自分の勉強不足が身に染みます。しかし、その分日々の援助をより良くさせていただける内容ばかりで、とても助かっております。

また、私は講師として会の行事に参加する機会をいただくことができ、その中からも多くのことを学び、多くの素晴らしい方々とお会いすることができました。講師をすると、とても勉強になると聞いており、私もそうは思っていたのですが、実際にやってみると自分の想像以上に勉強できたと実感しました。人に教えることが勉強になるということは分かっていました。しかし、それ以上に自分が分かっていると思込んでいたことを再確認し、理解してから講師として教えるということや、全く知らない内容を新たに学んでさらに教えるということが、私にとってはとても素晴らしい時間となりました。そこで私たちに教えてくださる方々とも、参加したからこそお会いできた方々だと思えば、このような機会をくださった介護福祉士会に感謝しても足りません。

今、介護の世界では繋がりが大切だと言われています。私も若輩者ながら同じような気持ちを持っております。介護福祉士会に入会させていただき、さらにそこから様々な方とお会いでき、様々なお話を聞かせていただき、様々な経験をさせていただきました。私は今とても楽しく日々を過ごさせていただいております。それも全てこの会に入会できたからだと思っております。今後も、このような素晴らしい繋がりを大切にしながら日々を送っていきたいと思っております。



支部  
リレー

都道府県介護福祉士会 情報交流の泉⑩ ◆群馬県

## 鶴舞う形の群馬県

会員のみなさま、こんにちは。群馬県介護福祉士会です。

群馬県介護福祉士会は平成22年に一般社団法人化し、『心豊かな暮らしを支えるあなたのパートナー』の言葉をモットーに現在会員約790名の組織で活動しています。

群馬県は自然豊かな山々に囲まれ、活火山の一つである浅間山を始め、榛名山、赤城山、妙義山の上毛三山、草津温泉を抱く草津白根山など全国的に有名な山々が多く、「にっぽんの温泉100選」で一位に輝いた草津温泉を始め伊香保温泉、水上温泉など温泉も豊富です。平成26年度の世界遺産を目指す富岡製糸場は、明治政府が日本の近代化のために最初に設置した模範器械製糸場であるなど歴史を伝える文化があります。

県の形が羽を広げた鶴のようにみえる群馬県。群馬といえば…「からっ風」「雷」「かかあ天下」なんて言葉を耳にするとおもうのですが、それだけではありません!!他には、高崎のだるま、嬭恋村のキャベツ、下仁田ねぎ、こんにゃく、絹・生糸、などなど名産物もたくさんあります。

群馬県のマスコットキャラクターである『ぐんまちゃん』はゆるキャラグランプリでも活躍し見事2年連続で3位に入賞しました!

会としては昨年の関東・甲信越ブロック研修会が本県で開催され、心を込めたおもてなしをする為、学生の若さと元気なパワーをもらいながら会員と学生とで協力し研修会を見事、大成功で終わる事が出来ました。参加して下さった会員様、ありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

会の研修事業もご紹介します!生涯研修体系にもある初任者研修を始め、ファーストステップ研修や訪問介護事業には欠かせないサービス提供責任者研修、実習指導者研修、介護福祉士試験対策としての筆記・実技対策など、の活動を心待ちにしてくれる会員の声を反映した活動を心がけています。会の活動を紹介する広報委員の活動も、支部の応援を得て広報誌で紹介しています。本音を言えば、もっと活動の幅がたくさんの人を巻き込んで行いたいというところでしょうか!?

今年午年です。群馬県の年です!!!まだまだ寒い日が続きますが、そんな時は美味しいものを食べるに、そして温かい温泉に浸かり日頃の疲れを癒しに群馬県へ遊びに来て下さい☆お待ちしております。



次は大阪府へバトンタッチ!

## 生涯研修ポイント制度のご案内について

平成26年4月より、  
新しく研修受講券による研修参加費の割引がスタートします！  
この機会に、是非職場の仲間や友人に入会を勧めてください！

- ① 日本介護福祉士会創立20周年の記念キャンペーンとして、平成25年度及び平成26年度新規入会者に対して、3,000円分の研修受講券を差し上げます。（順次お送りしています。）
- ② 生涯研修ポイント100ポイント取得ごとに、日本介護福祉士会又は都道府県介護福祉士会の開催する研修会の受講料として使用できる『1,000円分の研修受講券』を差し上げます。
- ③ ②により『研修受講券』を希望する会員の方は、日本介護福祉士会事務局宛に「研修受講券申請書」と「生涯研修手帳の写し」を送付してください。研修履歴を確認後、『1,000円分の研修受講券』をお送りいたします。
- ④ 研修受講券の有効期限は発行年度を含めた3年の3月末日とします。

### 研修受講券使用方法：

介護福祉士会の開催する研修にお申込みの際、研修受講券が使用できる研修であるか要綱をご確認下さい。使用できる研修である場合、申込書に【研修受講券を使用する】旨、ご記入いただき、研修当日にご提出下さい。

### 研修受講券使用にあたっての注意事項：

- ・所有の100ポイントにつき1,000円分の研修受講券との交換となります。
- ・研修受講券を利用の際、お釣りの返金は行いません。
- ・研修受講券は現金等との換金は致しません。
- ・原則として研修受講券は再発行致しません。
- ・有効期限が過ぎた研修受講券は使用できません。



# 平成26年度介護福祉士海外研修・調査 募集要項

公益財団法人社会福祉振興・試験センター(以下「センター」という。)では毎年、現に福祉に関する業務を行っている三福祉士(介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士)の海外研修・調査を行っています。日本介護福祉士会(以下「本会」という。)では、その中の介護福祉士海外研修・調査の申し込みを受け付けています。

## ●実施主体

公益財団法人社会福祉振興・試験センター

## ●研修・調査の実施方法

施設又は在宅における介護の実態について、福祉先進国(昨年はスウェーデン/ヘルシンボリ市)で、現地のケアワーカーと高齢者介護の実地体験研修を行う。

## ●派遣対象者(10名)

- (1) 平成26年9月1日現在において、次のいずれにも該当する者
  - ア 現に社会福祉施設等において、介護業務に従事して3年以上の者
  - イ 介護福祉士の資格取得後3年以上の者
  - ウ 25歳以上55歳未満の者
- (2) 研修・調査終了後も引き続き介護業務に従事する意志を有する者
- (3) 心身ともに健康で、協調性があり、研修期間中団体行動ができる者
- (4) 過去において、センターの海外研修に参加したことのない者

※本会の会員であるか否かは問わない。

## ●研修・調査実施期間

平成26年8月30日(土)～9月13日(土)【15日間】

## ●研修・調査派遣国

福祉先進国(北欧)を予定

## ●研修費用

原則、センターが全額負担

## ●オリエンテーション

平成26年7月18日(金)東京都内にて実施  
(派遣決定者はこれに出席することを条件とする)

## ●応募方法

(締切：平成26年5月9日(金) 本会必着)

参加希望者は、次に掲げる書類を、本会を經由してセンターに提出するものとする。

- (1) 「介護福祉士海外研修・調査参加申込書」(所定のもの)
- (2) 履歴書(写真添付のこと)
- (3) 健康診断書(1年以内の定期健康診断書等。コピー可)
- (4) 小論文(1,200字程度、横書き、A4サイズ。たて用紙を使用し、海外研修に参加したい目的及び理由を明記すること)

## ●派遣者の選考方法

センターにおいて書類審査により決定し、選考結果は6月下旬に通知する。

## ●研修・調査報告書

派遣者は、報告書を提出するものとする。

※提出書類は一切返却しないものとする。

※その他詳細、申込用紙のダウンロードは本会のホームページをご覧ください。



25年度派遣団員

## 都道府県介護福祉士会研修情報

### 東京都介護福祉士会

#### 認知症ケア研修～認知症の人の介護過程～

- 日時 平成26年5月11日(日)9:30～16:30
- 場所 北とびあ 9階 902会議室
- 内容
  - ・認知症の人からのメッセージを聞く
  - ・認知症を理解するための3つのステップ(評価的理解、分析的理解、共感的理解)
  - ・行動の背景を読み解く
  - ・認知症の状態を引き起こす要因
  - ・認知症の人の心理的ニーズ
  - ・アセスメント前段階の思考の整理 など
- 講師 宮島 渡 氏(アザレアンさなだ 施設長)
- 定員 40名
- 申込締切 4月25日(金)又は定員になり次第
- 受講料 会員3,300円・一般5,800円
- 問合わせ NPO法人東京都介護福祉士会  
TEL.03-5624-2821 FAX.03-5624-9650

### 静岡県介護福祉士会

#### 障害者支援のための研修

- 日程 平成26年3月29日(土)・30日(日)
- 場所 静岡県総合社会福祉会館 シズウエル 703会議室
- 対象者 公益社団法人日本介護福祉士会会員または障害者支援に関わっている介護福祉士等  
・2日間受講可能な方
- 定員 60名(希望者多数の場合、会員優先となります)
- 受講料 会員2,500円・一般5,000円(テキスト代含む)
- 申込締切 3月15日(土)又は定員になり次第
- 問合わせ 一般社団法人静岡県介護福祉士会  
TEL.054-254-0818 FAX.054-253-0829

### 山口県介護福祉士会

#### 介護予防リハビリ体操指導者養成 初期研修

- 日時 【ステップ1】平成26年4月13日(日)～14日(月)  
【ステップ2】平成26年4月19日(土)～20日(日)
- 場所 山口県セミナーパーク社会福祉研修棟 社会福祉研修室
- 講師 大田 仁史 氏(茨城県立健康プラザ 管理者)  
窪田 高志 氏(山口コ・メディカル学院 専任教員)  
山口県介護福祉士会インストラクター
- 対象者 (1) 本会正会員であること。  
(2) 4日間の全日程を受講できる方。  
(3) 資格取得後、本会の介護予防体操指導者として活動する意思のある方。  
(4) 本会入会后、3年以上の方を優先します。  
(5) 非会員の方は事前に本会へ入会いただくことを条件に受講を付けます。

- 定員 30名
- 申込締切 3月28日(金)又は定員になり次第
- 受講料 20,000円(4日間の全日程で)

#### 山口県介護福祉士会総会並びに講演会

- 日時 平成26年5月18日(日)講演会:10時から12時
- 場所 山口県社会福祉会館4階 大ホール
- 内容 「介護記録と権利擁護～なぜ記録の充実が求められるのか?～」
- 講師 久田 則夫 氏(日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科 教授)

※講演会のみ一般参加可能

#### 介護実技指導者養成講座(基礎研修)

- 日時 平成26年5月10日(土)より計5日間
- 講師 鳥居 紀子 氏(山口県介護福祉士会 会長)
- 問合わせ 一般社団法人 山口県介護福祉士会  
TEL.083-987-0122 FAX.083-987-0124

# ソウエルクラブ ご加入のおすすめ

ソウエルクラブ(福利厚生センター)は、福祉の職場で働く方々に多種多様な福利厚生サービスを提供しています。2012年10月から“クラブオブ”が加わり、一段とパワーアップしました。

#### ■職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康相談

#### ■職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

#### ■地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)

#### ■職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

#### ■職員の余暇活用のために

- 指定保養所・休暇村他 全国113か所
- 会員制リゾート施設・ラフォーレ倶楽部他 全国104か所
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

#### ■職員の資質向上のために

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会
- ティズニールアカデミー
- 社会福祉法人新会計基準(解説)
- 防災・危機管理講習会
- 障害者総合支援法(解説)
- 人材育成

#### ■職員の生活サポートのために

- 住宅ローン・特別資金ローン
- ソウエル団体生命保険 傷害保険

#### ■各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

#### ■ソウエルクラブ“クラブオブ”

- 宿泊、レジャー、スポーツ、映画、カラオケ、グルメなど約7,500か所の施設を割引料金で利用できます。

#### しくみ

社会福祉事業経営者が当センターと契約することにより、その事業所に勤務する方々が会員として登録され、自由に福利厚生サービスを利用することができます。

#### 掛金

掛金は職員一人当たり毎年度1万円(一月当たり833円です)。

#### 加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル

TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
http://www.sowel.or.jp/  
社会福祉法人 福利厚生センター  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-3-11  
NBF小川町ビルディング10階

#### 福祉で働く人の福利厚生を支援しています。

平成26年4月から非常勤職員を対象としたサービスコース(掛金5,000円)を創設します。それに先立ち平成25年11月から、暫定契約(サービス限定・掛金無料)でのサービスを開始しました。

発行所/公益社団法人 日本介護福祉士会

事務局(〒105-0001)東京都港区虎ノ門1-22-13 西麩虎の門ビル3F

電話(03)3507-0784 FAX(03)3507-8810 http://www.jaccw.or.jp

会員専用サイト「ケアウエル」 http://www.jaccw-carewel-site.net/

発行責任者・石橋真二



(問合せ)



(会員専用サイト「ケアウエル」)